

令和5年度
糸満市市民意識調査
報告書

令和6年3月

目次

I. 調査概要	1
II. 調査結果	2
◆1. あなた(回答者)のことについてお伺いします。	2
◆2. 結婚や子育て、仕事についてお伺いします。	6
◆3. 住みやすさや今後も住み続けたいかについてお伺いします。	36
◆4. 日ごろの暮らしについてお伺いします。	52
●文化・スポーツ・健康について	52
●災害への備えについて	63
●男女共同参画について	71
●公共交通について	84
●公園について	95
●自治会について	107
◆5. 市政についてお伺いします。	120
◆6. これまでの設問にかかわらず、ご意見などがありましたらご記入ください。	139
III. 調査票	151

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、令和3年度からの「第5次糸満市総合計画」、「第2期糸満市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく取り組みについて、市民の皆さまが感じていることや関心のあることを把握し、今後の計画推進に役立てるために実施するものです。併せて、同計画等の進捗管理のため、設定された指標についても調査を実施しました。

2. 調査の内容

- (1)あなた(回答者)のことについて
- (2)結婚や子育て、仕事について
- (3)住みやすさや今後も住み続けたいかについて
- (4)日頃の暮らし(文化・スポーツ・健康、災害への備え、男女共同参画、性の多様性、生活交通、公園、自治会)について
- (5)市政について
- (6)市への意見等について

3. 調査方法

- (1)調査期間:令和6年2月14日(水)～3月8日(金)
- (2)調査対象:令和6年1月1日時点における18歳以上の市民
- (3)対象者数:2,000名
- (4)抽出方法:住民基本台帳から調査対象を無作為抽出
- (5)調査方法:郵送による配布、郵送又はインターネットによる回収

4. 回収結果

- (1)回答数:610件(郵送 422件、WEB 188件)
- (2)回答率:30.5%

5. 留意点

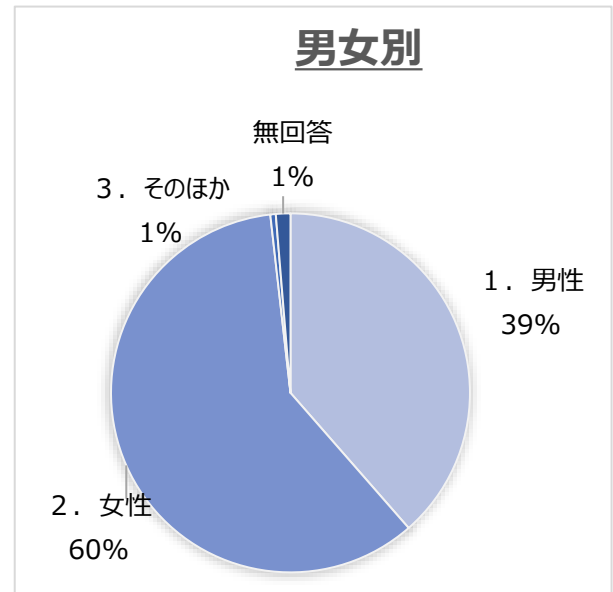
- (1)図中の「n」は、各設問の回答数を示します。
- (2)調査結果の数値は、原則として百分率(%)で表記し、小数点以下第二位を四捨五入しています。そのため、合計値は必ずしも100%になるとは限りません。また、複数回答については、回答項目ごとに算定しているため合計数値は100%にならない場合があります。
- (3)文章にある数値(%)は、集計後に小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計数値(%)が一致しない場合があります。
- (4)経年変化に係る分析は、過去の調査等のデータを用いています。
- (5)不適切な回答については、回答者の意思の表明が読み取れるもの(訂正、取り消し等)は、できる限り反映させて処理しました。

Ⅱ. 調査結果

◆1. あなた(回答者)のことについてお伺いします。

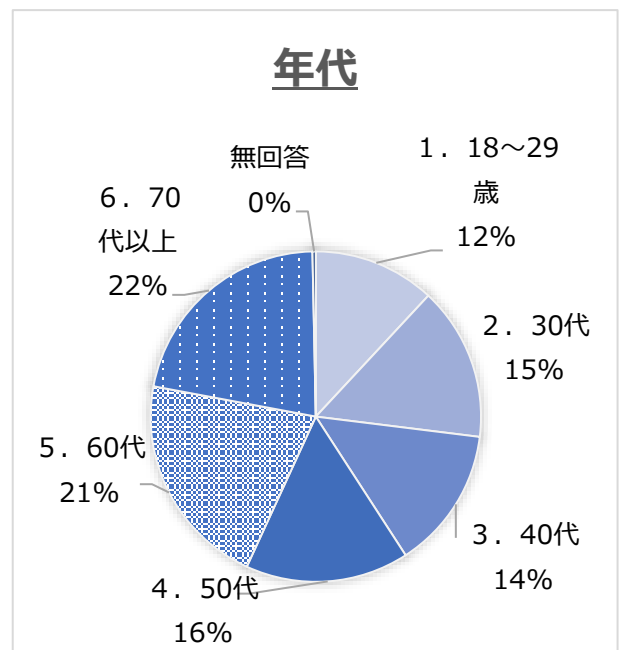
[問1]男女別

選択項目	回答数	比率
1. 男性	235	38.5%
2. 女性	364	59.7%
3. その他	3	0.5%
無回答	8	1.3%
	610	100%



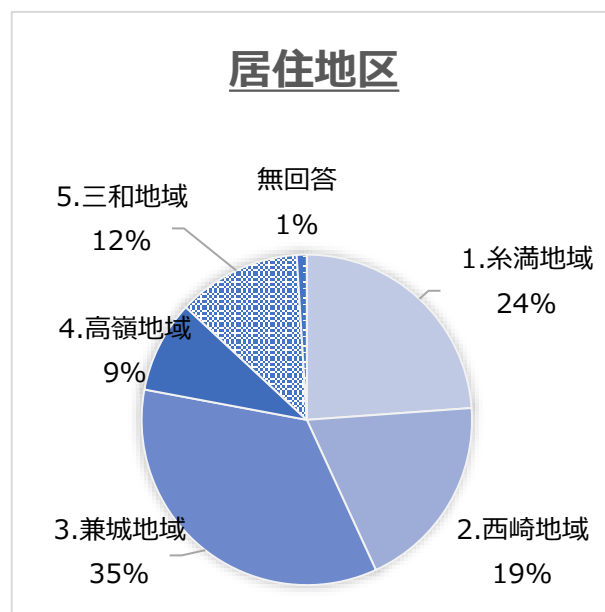
[問2]年代

選択項目	回答数	比率
1. 18～29 才	73	12.0%
2. 30 代	92	15.1%
3. 40 代	85	13.9%
4. 50 代	96	15.7%
5. 60 代	129	21.1%
6. 70 代以上	133	21.8%
無回答	2	0.3%
	610	100%



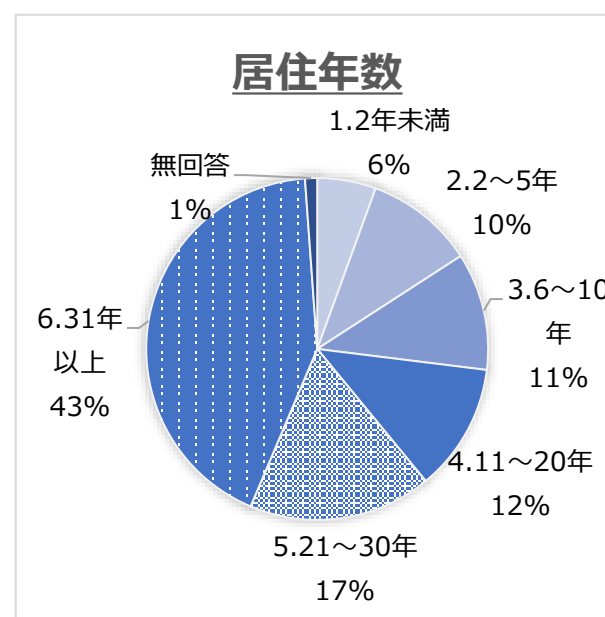
[問3]お住まいの地域

選択項目	回答数	比率
1. 糸満地域	146	23.9%
2. 西崎地域	117	19.2%
3. 兼城地域	212	34.8%
4. 高嶺地域	55	9.0%
5. 三和地域	74	12.1%
無回答	6	1.0%
	610	100%



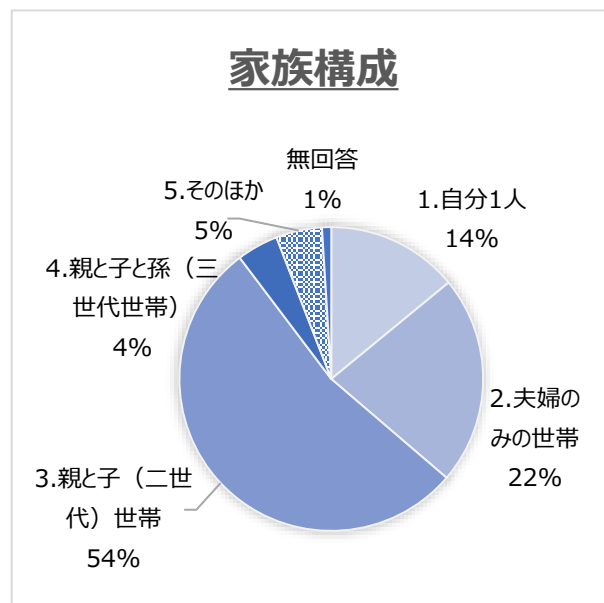
[問4]糸満市での居住年数

選択項目	回答数	比率
1. 2年未満	34	5.6%
2. 2～5年	62	10.2%
3. 6～10年	68	11.1%
4. 11～20年	73	12.0%
5. 21～30年	106	17.4%
6. 31年以上	260	42.6%
無回答	7	1.1%
	610	100%



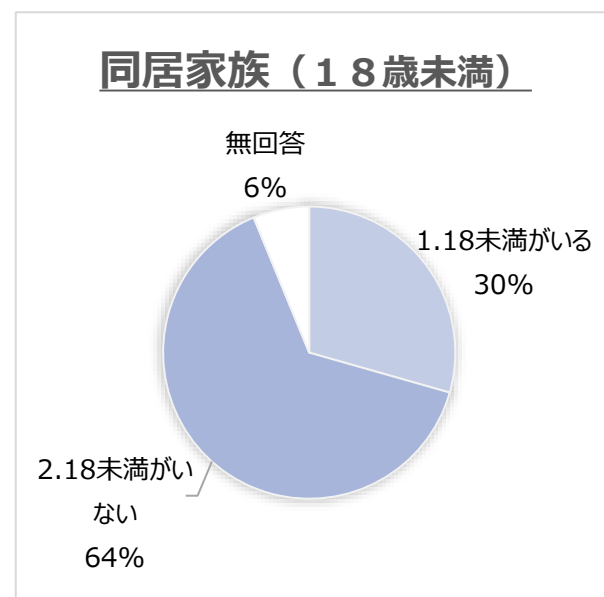
[問5]家族構成

選択項目	回答数	比率
1. 自分1人	84	13.8%
2. 夫婦のみの世帯	136	22.3%
3. 親と子(二世帯)世帯	327	53.6%
4. 親と子と孫(三世帯世帯)	27	4.4%
5. そのほか	30	4.9%
無回答	6	1.0%
	610	100%



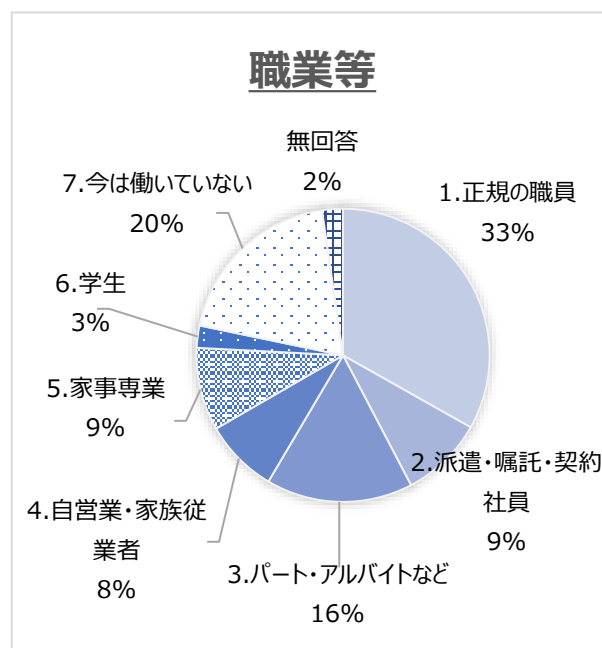
[問6]同居家族

選択項目	回答数	比率
1. 18 歳未満がいる	180	29.5%
2. 18 歳未満はいない	392	64.3%
無回答	38	6.2%
	610	100%



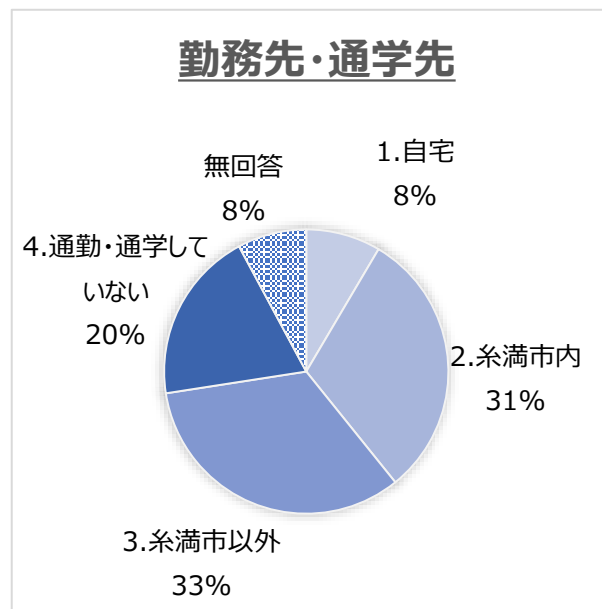
[問7]職業など

選択項目	回答数	比率
1. 正規の職員	202	33.1%
2. 派遣・嘱託・契約社員	56	9.2%
3. パート・アルバイトなど	98	16.1%
4. 自営業・家族従業者	50	8.2%
5. 家事専業	56	9.2%
6. 学生	15	2.5%
7. 今は働いていない	119	19.5%
無回答	14	2.3%
	610	100%



[問8]勤務先・通学先

選択項目	回答数	比率
1. 自宅	52	8.5%
2. 糸満市内	188	30.8%
3. 糸満市以外	202	33.1%
4. 通勤・通学していない	120	19.7%
無回答	48	7.9%
	610	100%

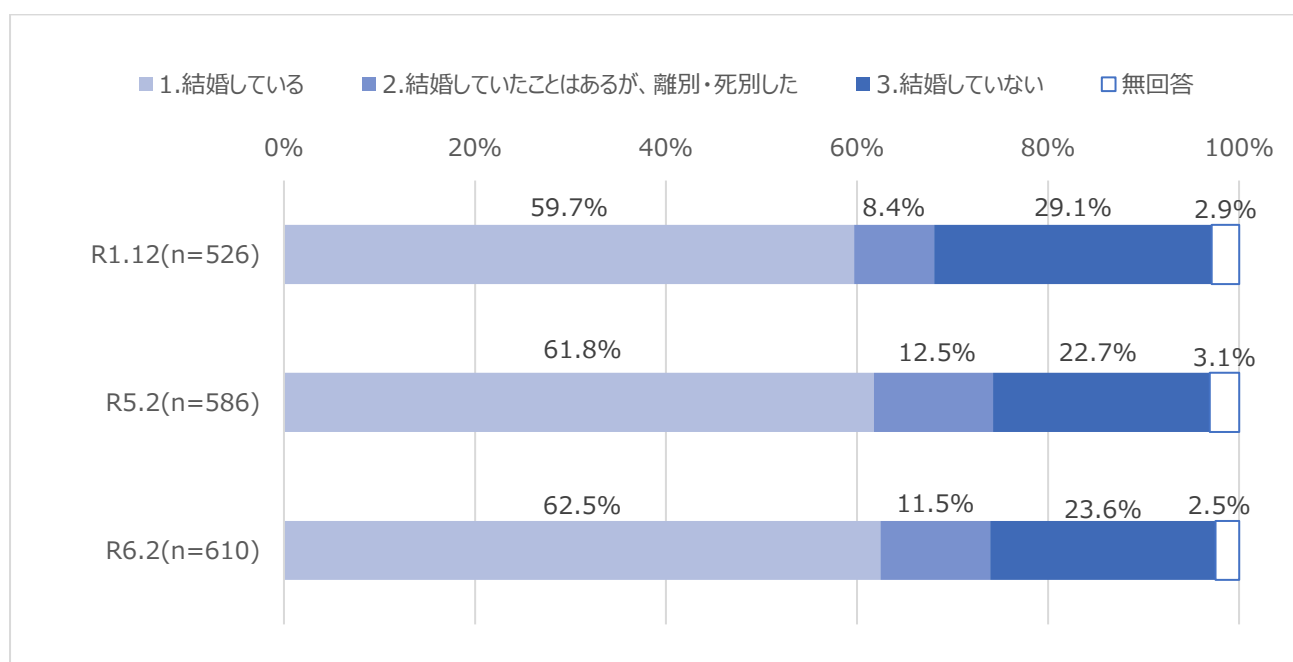


◆2. 結婚や子育て、仕事についてお伺いします。

問9. あなたは、結婚(事実婚を含む)していますか。(一つに○)

「1.結婚している」と答えた割合が62.5%と最も高く、次いで「3.結婚していない」23.6%、「2.結婚していたことはあるが、離別・死別した」11.5%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「3.結婚していない」と答えた割合が29.1%から23.6%と5.5%減少している。

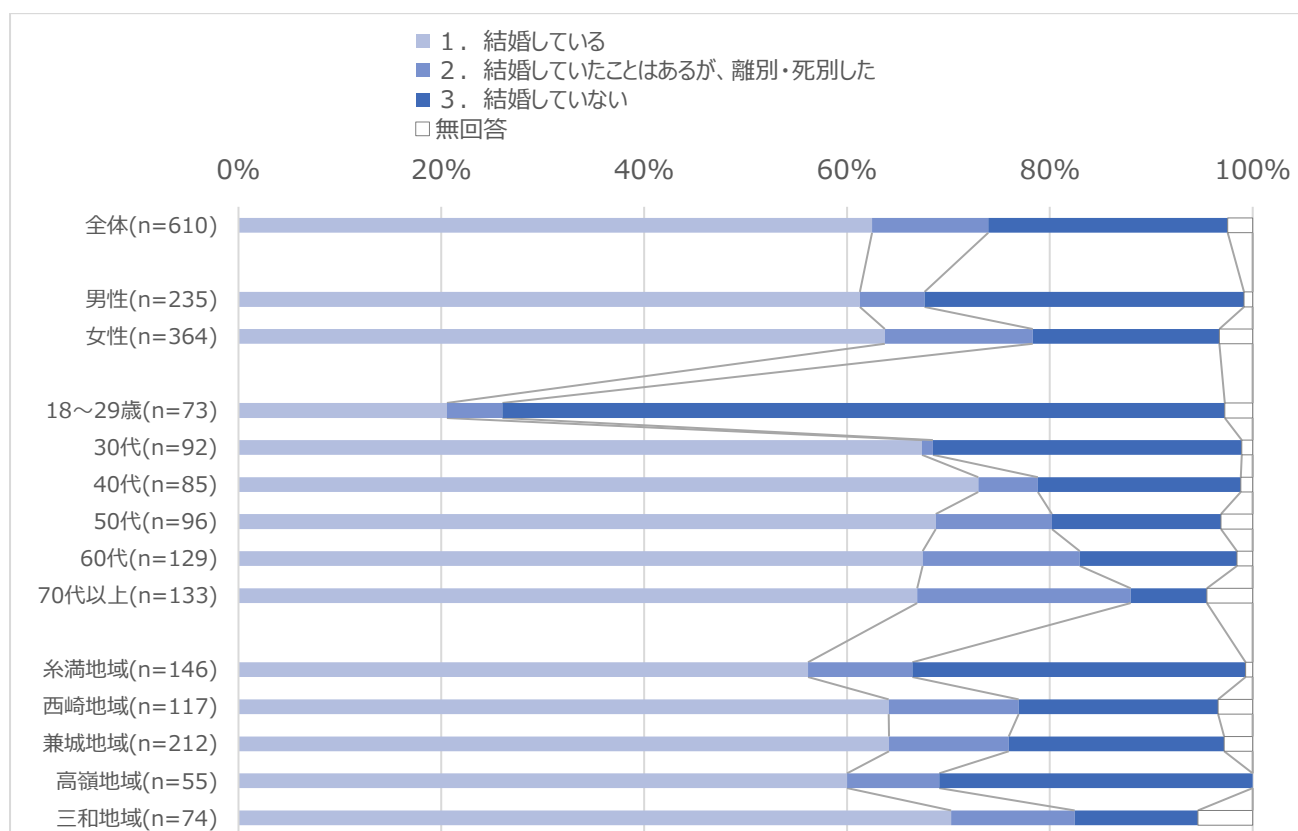


	R1.12月 (n=526)	R5. 2月 (n=586)	R6. 2月 (n=610)
1. 結婚している	59.7%	61.8%	62.5%
2. 結婚していたことはあるが、離別・死別した	8.4%	12.5%	11.5%
3. 結婚していない	29.1%	22.7%	23.6%
無回答	2.9%	3.1%	2.5%

男女別では、「2.結婚していたことはあるが、離別・死別した」と答えた割合が男性6.4%に対して女性14.6%と女性が高く、逆に「3.結婚していない」と答えた割合が女性18.4%に対して男性31.5%と男性が高くなっている。

年代別では、「3.結婚していない」と答えた割合が、18～29才で71.2%、30代で30.4%(全体23.6%)と、他の年代よりも高くなっている。

地域別では、三和地域で「1.結婚している」と答えた割合が70.3%と最も高く、糸満地域で56.2%と最も低くなっている。

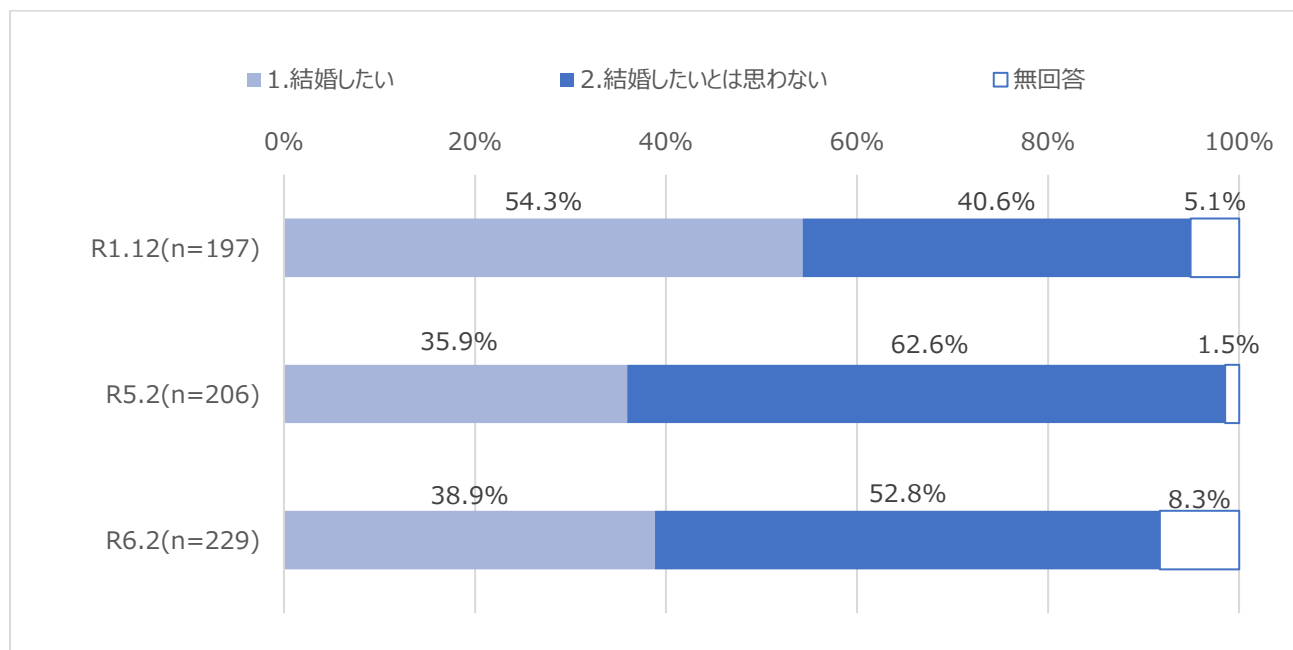


	1. 結婚している	2. 結婚していたことはあるが、離別・死別した	3. 結婚していない	無回答
全体(n=610)	62.5%	11.5%	23.6%	2.5%
1. 男性(n=235)	61.3%	6.4%	31.5%	0.9%
2. 女性(n=364)	63.7%	14.6%	18.4%	3.3%
1. 18～29 歳(n=73)	20.5%	5.5%	71.2%	2.7%
2. 30 代(n=92)	67.4%	1.1%	30.4%	1.1%
3. 40 代(n=85)	72.9%	5.9%	20.0%	1.2%
4. 50 代(n=96)	68.8%	11.5%	16.7%	3.1%
5. 60 代(n=129)	67.4%	15.5%	15.5%	1.6%
6. 70 代以上(n=133)	66.9%	21.1%	7.5%	4.5%
1. 糸満地域(n=146)	56.2%	10.3%	32.9%	0.7%
2. 西崎地域(n=117)	64.1%	12.8%	19.7%	3.4%
3. 兼城地域(n=212)	64.2%	11.8%	21.2%	2.8%
4. 高嶺地域(n=55)	60.0%	9.1%	30.9%	0.0%
5. 三和地域(n=74)	70.3%	12.2%	12.2%	5.4%

問 10.（結婚していない方に伺います。） 今後、結婚したいと思いますか。（一つに○）

「2.結婚したいとは思わない」と答えた割合が52.8%と、「1.結婚したい」と答えた割合38.9%を上回っている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「2.結婚したいとは思わない」と答えた割合が40.6%から52.8%と12.2%増加し、「1.結婚したい」と答えた割合が54.3%から38.9%と15.4%減少している。

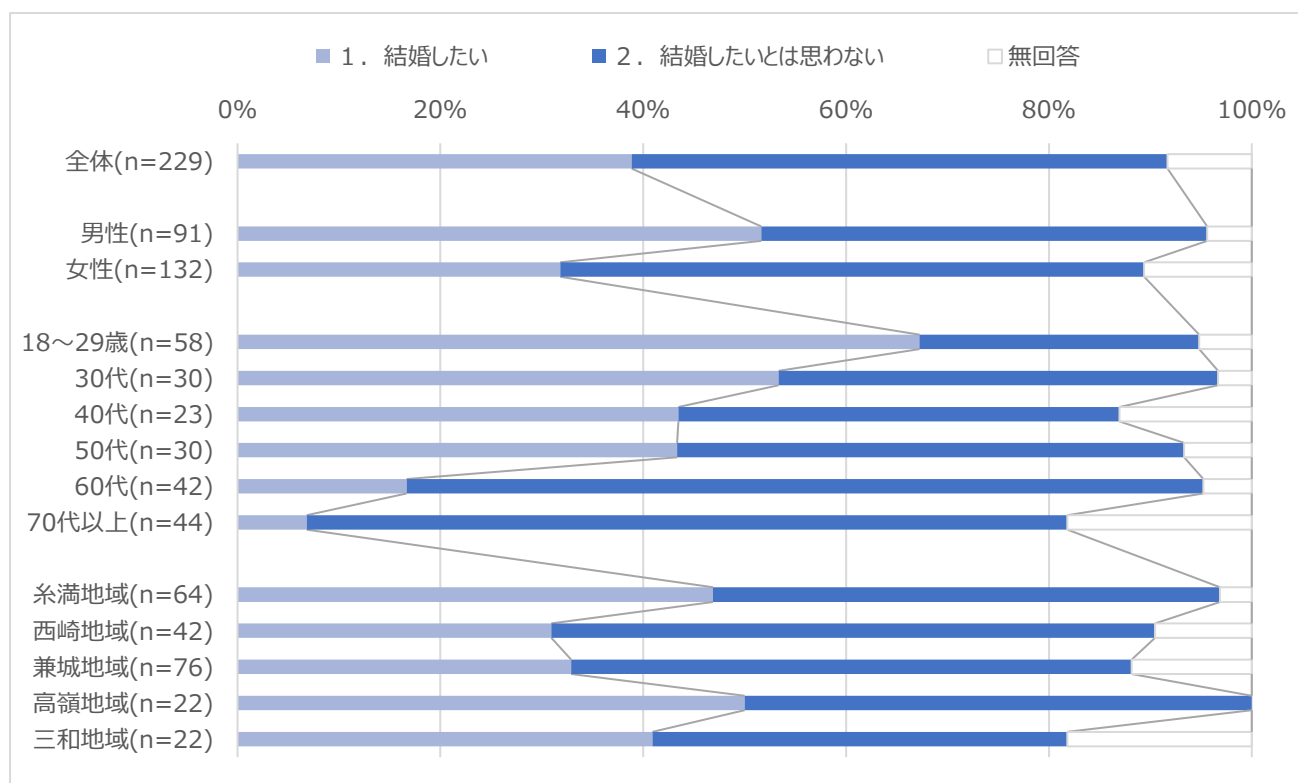


	R1.12(n=197)	R5.2(n=206)	R6.2(n=229)
1. 結婚したい	54.3%	35.9%	38.9%
2. 結婚したいとは思わない	40.6%	62.6%	52.8%
無回答	5.1%	1.5%	8.3%

男女別では、「2.結婚したいとは思わない」と答えた割合が男性 44. 0%に対して女性57. 6%と女性が高く、逆に「1.結婚したい」と答えた割合が女性31. 8%に対して男性51. 6%と男性が高くなっている。

年代別では、各年代のサンプル数が概ね40以下であることに留意する必要があるが、「1.結婚したい」と答えた割合が40代以下では概ね半数前後(40代43. 5%、30代53. 3%、18～29 才67. 2%)に対して、50代以上では、50代43. 3%、60代16. 7%、70代以上6. 8%となっている。

地域別では、「1.結婚したい」と答えた割合が高嶺地域で50. 0%と最も高く、西崎地域で31. 0%と最も低くなっている。



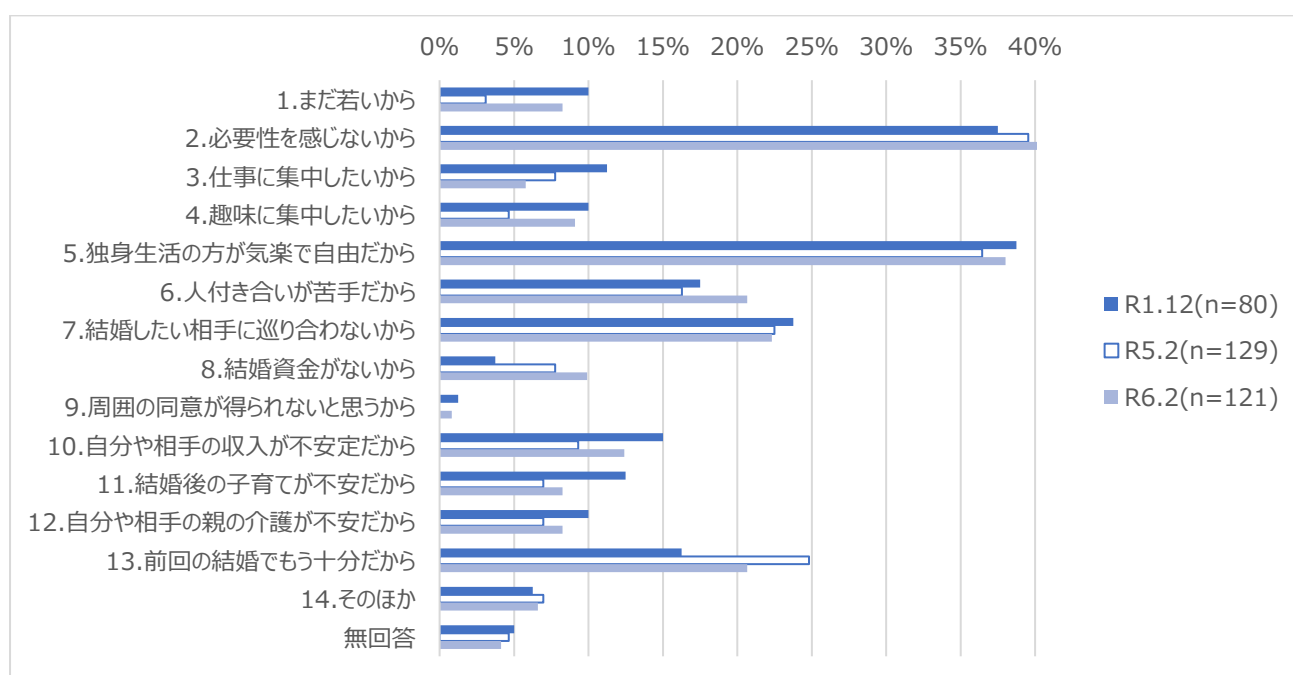
	1. 結婚したい	2. 結婚したいとは思わない	無回答
全体(n=229)	38.9%	52.8%	8.3%
1. 男性(n=91)	51.6%	44.0%	4.4%
2. 女性(n=132)	31.8%	57.6%	10.6%
1. 18～29 歳(n=58)	67.2%	27.6%	5.2%
2. 30 代(n=30)	53.3%	43.3%	3.3%
3. 40 代(n=23)	43.5%	43.5%	13.0%
4. 50 代(n=30)	43.3%	50.0%	6.7%
5. 60 代(n=42)	16.7%	78.6%	4.8%
6. 70 代以上(n=44)	6.8%	75.0%	18.2%
1. 糸満地域(n=64)	46.9%	50.0%	3.1%
2. 西崎地域(n=42)	31.0%	59.5%	9.5%
3. 兼城地域(n=76)	32.9%	55.3%	11.8%
4. 高嶺地域(n=22)	50.0%	50.0%	0.0%
5. 三和地域(n=22)	40.9%	40.9%	18.2%

問 11.「結婚したいとは思わない」を選択した方は、その理由を教えてください。

(当てはまるものすべてに○)

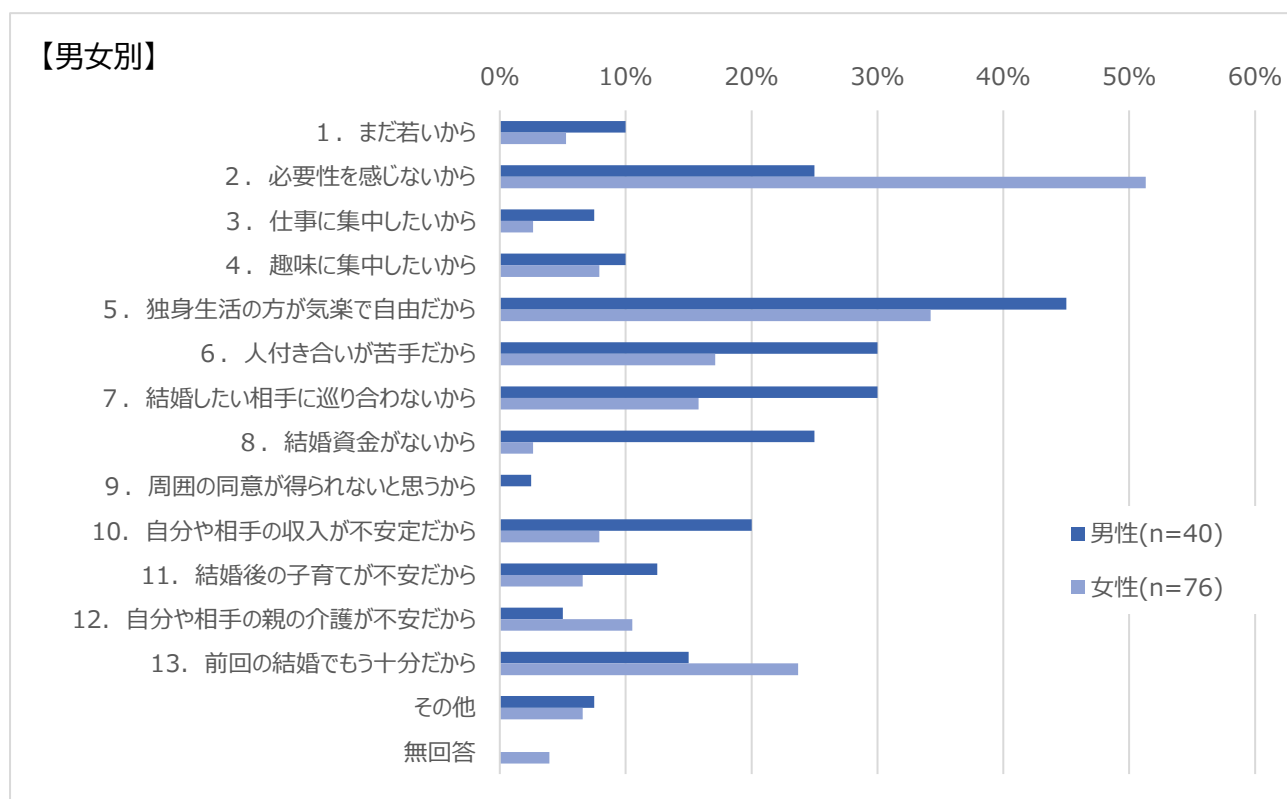
「2.必要性を感じない」と答えた割合が 43.0%、次いで「5.独身生活の方が気楽で自由だから」38.0%、「7.結婚したい相手に巡り合わないから」22.3%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「8.結婚資金がないから」と答えた割合が3.8%から9.9%と6.2%増加している他、「2.必要性を感じないから」と答えた割合が 37.5%から 43.0%と 5.5%増加している。また、「3.仕事に集中したいから」と答えた割合が11.3%から 5.8%と 5.5%減少している他、「11.結婚後の子育てが不安だから」と答えた割合も12.5%から8.3%と 4.2%減少している。



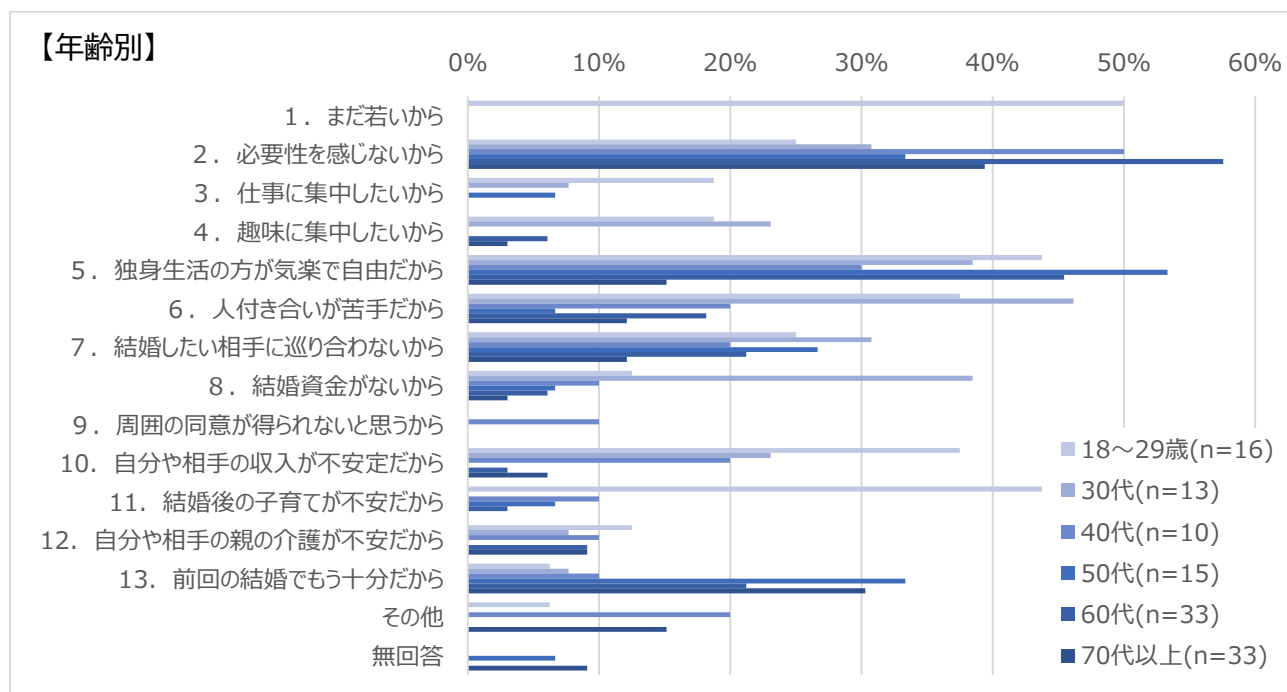
	R1.12 (n=80)	R5.2 (n=129)	R6.2 (n=121)
1. まだ若いから	10.0%	3.1%	8.3%
2. 必要性を感じないから	37.5%	39.5%	43.0%
3. 仕事に集中したいから	11.3%	7.8%	5.8%
4. 趣味に集中したいから	10.0%	4.7%	9.1%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	38.8%	36.4%	38.0%
6. 人付き合いが苦手だから	17.5%	16.3%	20.7%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	23.8%	22.5%	22.3%
8. 結婚資金がないから	3.8%	7.8%	9.9%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	1.3%	0.0%	0.8%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	15.0%	9.3%	12.4%
11. 結婚後の子育てが不安だから	12.5%	7.0%	8.3%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	10.0%	7.0%	8.3%
13. 前回の結婚でもう十分だから	16.3%	24.8%	20.7%
14. その他	6.3%	7.0%	6.6%
無回答	5.0%	4.7%	4.1%

男女別では、「2.必要性を感じないから」と答えた割合が男性 25.0%に対して女性 51.3%と女性が高く、「13.前回の結婚でもう十分だから」と答えた割合が男性15. 0%に対して女性23. 7%と女性が高く、また、「12.自分や相手の親の介護が不安だから」と答えた割合も男性 5. 0%に対して女性 10. 5%と女性が高くなっている。一方で、男性が高い項目としては「5. 独身生活の方が気楽で自由だから」男性 45. 0%、女性 34.2%、「6.人付き合いが苦手だから」男性 30. 0%、女性 17. 1%となっている。



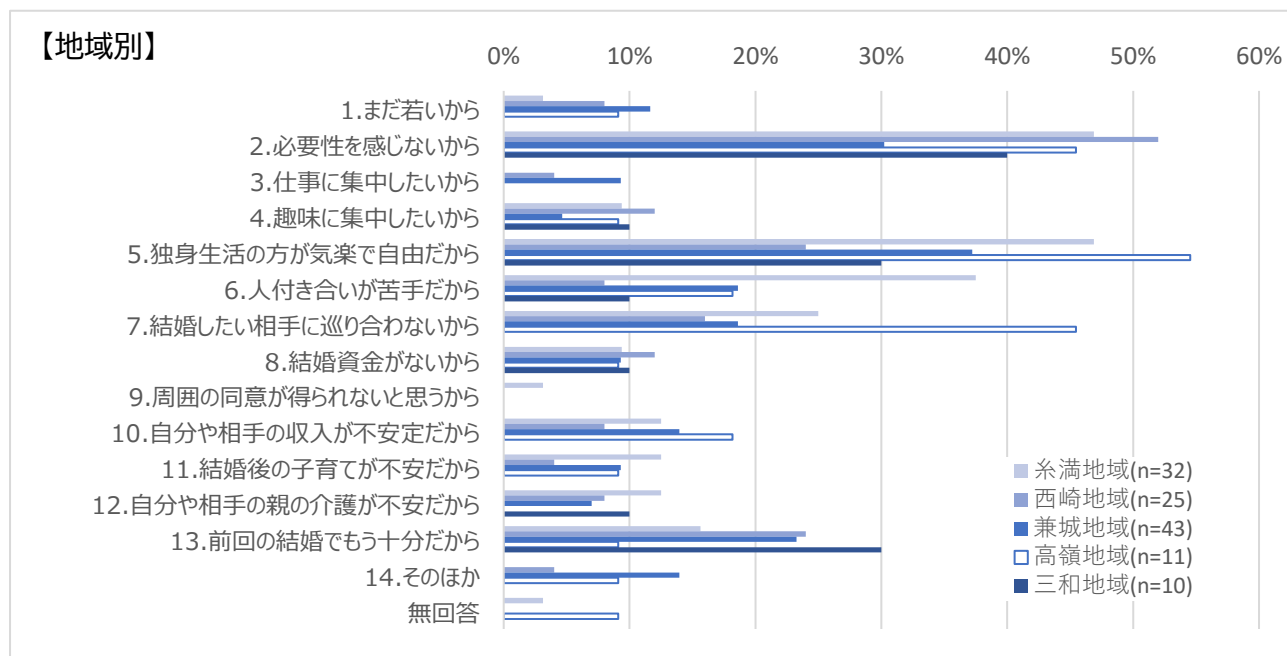
	男性 (n=40)	女性 (n=76)
1. まだ若いから	10.0%	5.3%
2. 必要性を感じないから	25.0%	51.3%
3. 仕事に集中したいから	7.5%	2.6%
4. 趣味に集中したいから	10.0%	7.9%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	45.0%	34.2%
6. 人付き合いが苦手だから	30.0%	17.1%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	30.0%	15.8%
8. 結婚資金がないから	25.0%	2.6%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	2.5%	0.0%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	20.0%	7.9%
11. 結婚後の子育てが不安だから	12.5%	6.6%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	5.0%	10.5%
13. 前回の結婚でもう十分だから	15.0%	23.7%
14. そのほか	7.5%	6.6%
無回答	0.0%	3.9%

年代別では、各年代のサンプル数が40以下であることに留意する必要があるが、18～29 才では「1.まだ若いから」50.0%、「5. 独身生活の方が気楽で自由だから」43.8%、「11. 結婚後の子育てが不安だから」43.8%といった項目が他の年代に比べて高くなっている。また、30代においては、「6.人付き合いが苦手だから」46.2%、「8.結婚資金がないから」38.5%、「7.結婚したい相手に巡り合わないから」30.8%といった項目が他の年代よりも高くなっている。



	18~29 歳(n=16)	30代 (n=13)	40代 (n=10)	50代 (n=15)	60代 (n=33)	70代以上 (n=33)
1. まだ若いから	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2. 必要性を感じないから	25.0%	30.8%	50.0%	33.3%	57.6%	39.4%
3. 仕事に集中したいから	18.8%	7.7%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
4. 趣味に集中したいから	18.8%	23.1%	0.0%	0.0%	6.1%	3.0%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	43.8%	38.5%	30.0%	53.3%	45.5%	15.2%
6. 人付き合いが苦手だから	37.5%	46.2%	20.0%	6.7%	18.2%	12.1%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	25.0%	30.8%	20.0%	26.7%	21.2%	12.1%
8. 結婚資金がないから	12.5%	38.5%	10.0%	6.7%	6.1%	3.0%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	37.5%	23.1%	20.0%	0.0%	3.0%	6.1%
11. 結婚後の子育てが不安だから	43.8%	0.0%	10.0%	6.7%	3.0%	0.0%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	12.5%	7.7%	10.0%	0.0%	9.1%	9.1%
13. 前回の結婚でもう十分だから	6.3%	7.7%	10.0%	33.3%	21.2%	30.3%
14. そのほか	6.3%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	15.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	9.1%

地域別では、兼城地域を除く地域ではサンプル数が概ね40以下であることに留意する必要があるが、「5. 独身生活の方が気楽で自由だから」と答えた割合が糸満地域で46.9%、高嶺地域で54.5%と他の地域より高くなっている。また、「7. 結婚したい相手に巡り合わないから」と答えた割合が高嶺地域で45.5%と他の地域よりも高くなっている。



	糸満地域 (n=32)	西崎地域 (n=25)	兼城地域 (n=43)	高嶺地域 (n=11)	三和地域 (n=10)
1. まだ若いから	3.1%	8.0%	11.6%	9.1%	0.0%
2. 必要性を感じないから	46.9%	52.0%	30.2%	45.5%	40.0%
3. 仕事に集中したいから	0.0%	4.0%	9.3%	0.0%	0.0%
4. 趣味に集中したいから	9.4%	12.0%	4.7%	9.1%	10.0%
5. 独身生活の方が気楽で自由だから	46.9%	24.0%	37.2%	54.5%	30.0%
6. 人付き合いが苦手だから	37.5%	8.0%	18.6%	18.2%	10.0%
7. 結婚したい相手に巡り合わないから	25.0%	16.0%	18.6%	45.5%	0.0%
8. 結婚資金がないから	9.4%	12.0%	9.3%	9.1%	10.0%
9. 周囲の同意が得られないと思うから	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10. 自分や相手の収入が不安定だから	12.5%	8.0%	14.0%	18.2%	0.0%
11. 結婚後の子育てが不安だから	12.5%	4.0%	9.3%	9.1%	0.0%
12. 自分や相手の親の介護が不安だから	12.5%	8.0%	7.0%	0.0%	10.0%
13. 前回の結婚でもう十分だから	15.6%	24.0%	23.3%	9.1%	30.0%
14. その他	0.0%	4.0%	14.0%	9.1%	0.0%
無回答	3.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%

●14.そのほか

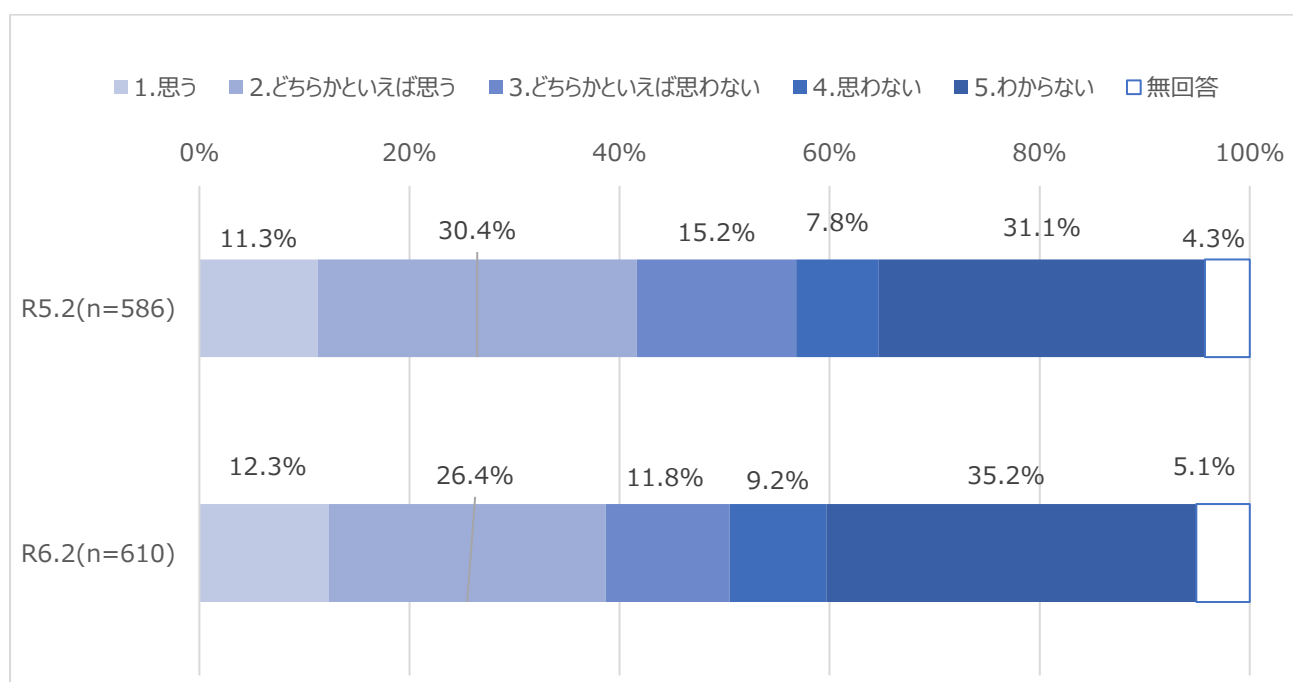
- 老人だから、高齢の為
- 75 歳以上で高齢だから
- 80 才になっているから。
- 相手が同性だから。
- 結婚は人生の中で選択肢の一つにすぎないため、こだわっていない。
- ずっと一人が良いと思っている

問 12. 糸満市は、子育てがしやすいまちだと思いますか。(一つに○)

「5.分からない」と答えた割合が35.2%と最も高く、次いで「2.どちらかといえば思う」と答えた割合 26.4%となっている。

思うと答えた割合(「思う」「どちらかといえば思う」の合計)は 38.7%と、思わないと答えた割合(「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計)21.0%よりも高くなっている。

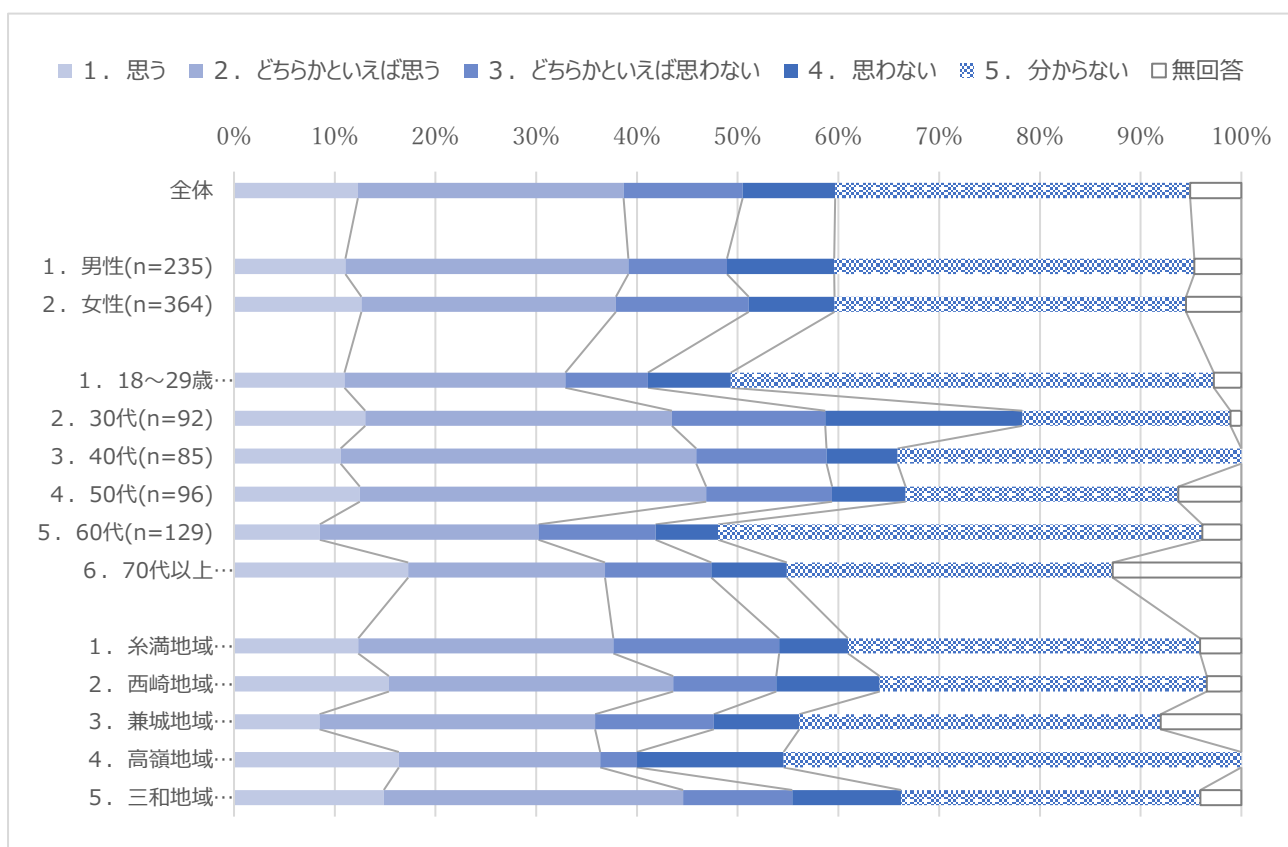
	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1.思う	11.3%	12.3%
2.どちらかといえば思う	30.4%	26.4%
3.どちらかといえば思わない	15.2%	11.8%
4.思わない	7.8%	9.2%
5.分からない	31.1%	35.2%
無回答	4.3%	5.1%



男女別では、思わないと答えた割合(「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計)が男性は 20.4% に対し、女性は21. 7%と女性がわずかに高くなっている。

年代別では、思うと答えた割合(「思う」「どちらかといえば思う」の合計)が、60 代で 30. 2%と他の年代に比べて低くなっている。また、思わないと答えた割合(「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計)が、40代未満では(18～29 才 16.4%、30代34. 8%、40代20. 0%)と他の年代(70代以上 18.0%、50代 19. 8%)に比べて高くなっている。

地域別では、思うと答えた割合(「思う」「どちらかといえば思う」の合計)が兼城地域で35.9%と他の地域(36. 4%～44. 6%)に比べて低くなっている。また、思わないと答えた割合(「どちらかといえば思わない」「思わない」の合計)が高嶺地域では 18. 1%と他の地域(20. 3%～23. 3%)よりも低くなっている。



	1. 思う	2. どちらか といえば思う	3. どちらかとい えは思わない	4. 思わな い	5. 分から ない	無回答
全体	12.3%	26.4%	11.8%	9.2%	35.2%	5.1%

1. 男性(n=235)	11.1%	28.1%	9.8%	10.6%	35.7%	4.7%
2. 女性(n=364)	12.6%	25.3%	13.2%	8.5%	34.9%	5.5%

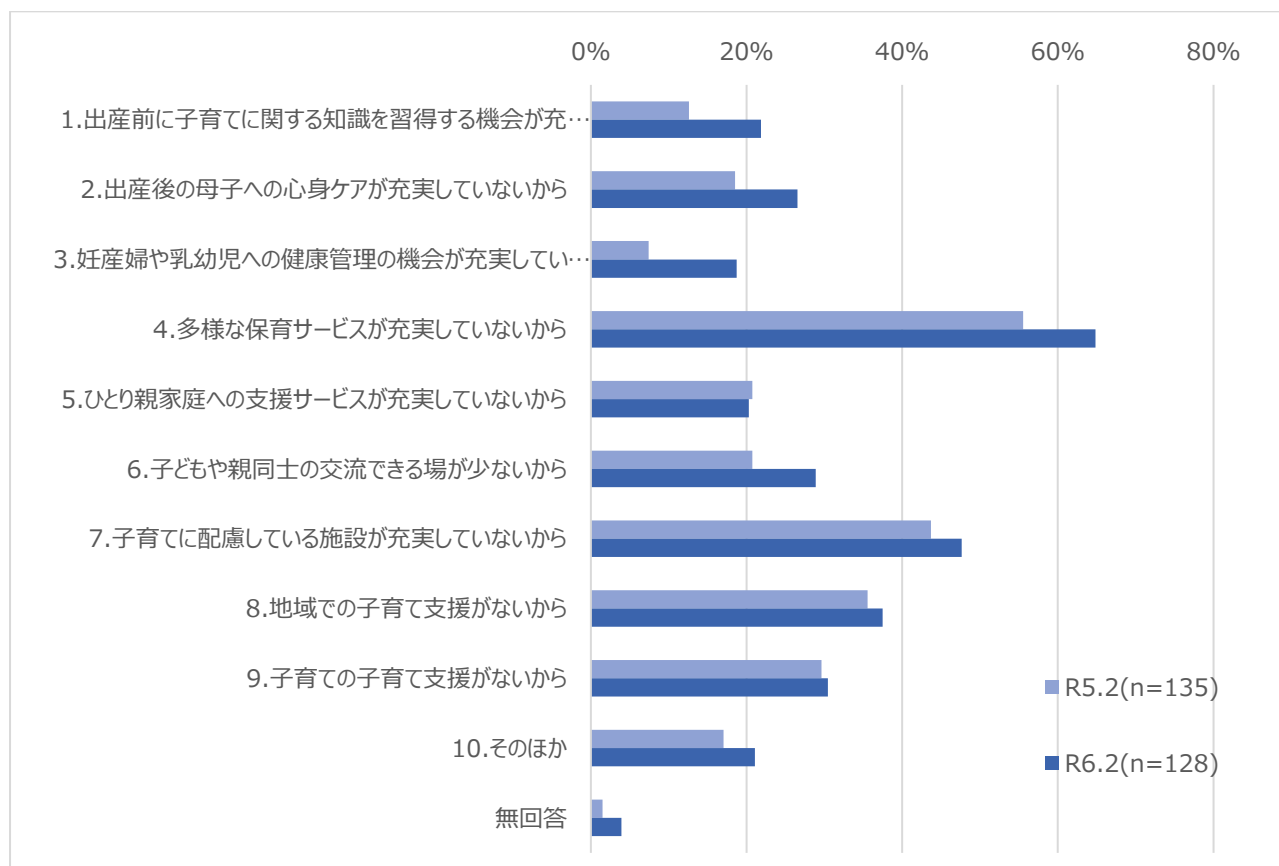
1. 18～29(n=73)	11.0%	21.9%	8.2%	8.2%	47.9%	2.7%
2. 30代(n=92)	13.0%	30.4%	15.2%	19.6%	20.7%	1.1%

3. 40代(n=85)	10.6%	35.3%	12.9%	7.1%	34.1%	0.0%
4. 50代(n=96)	12.5%	34.4%	12.5%	7.3%	27.1%	6.3%
5. 60代(n=129)	8.5%	21.7%	11.6%	6.2%	48.1%	3.9%
6. 70代以(n=133)	17.3%	19.5%	10.5%	7.5%	32.3%	12.8%

1. 糸満地域(n=146)	12.3%	25.3%	16.4%	6.8%	34.9%	4.1%
2. 西崎地域(n=117)	15.4%	28.2%	10.3%	10.3%	32.5%	3.4%
3. 兼城地域(n=212)	8.5%	27.4%	11.8%	8.5%	35.8%	8.0%
4. 高嶺地域(n=55)	16.4%	20.0%	3.6%	14.5%	45.5%	0.0%
5. 三和地域(n=74)	14.9%	29.7%	10.8%	10.8%	29.7%	4.1%

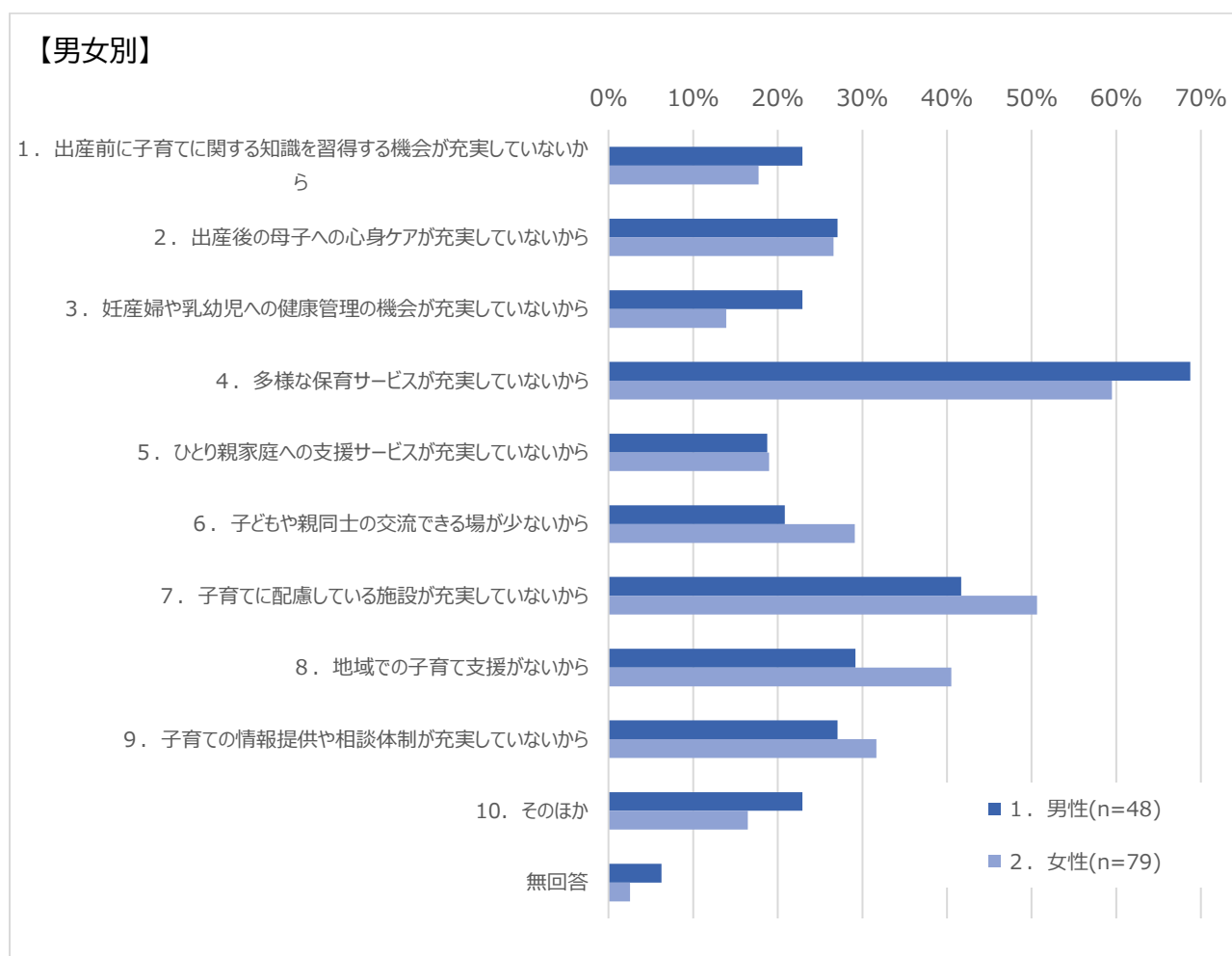
問 13.「どちらかといえば思わない」、「思わない」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

「4.多様な保育サービスが充実していないから」と答えた割合が 64. 8%と最も高く、次いで「7. 子育てに配慮している施設が充実していないから」47. 7%、「8. 地域での子育て支援がないから」37. 5%となっている。



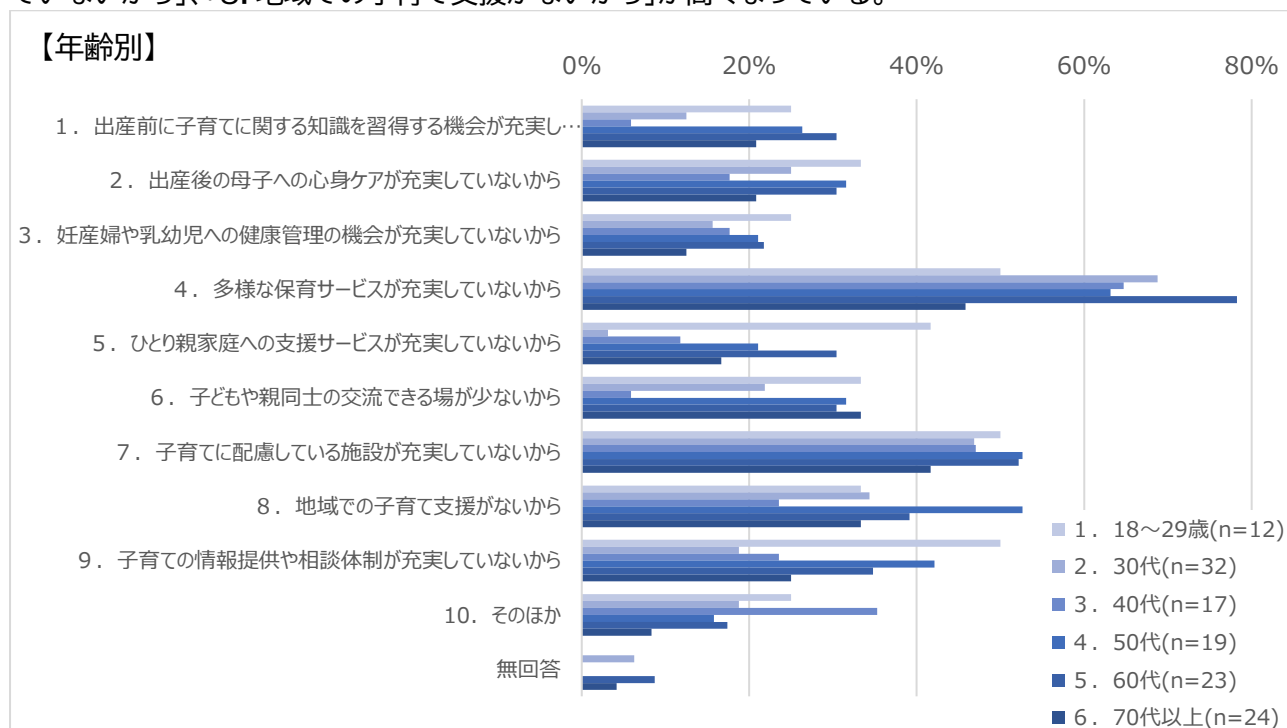
	R5.2 (n=135)	R6.2 (n=128)
1. 出産前に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	12.6%	21.9%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	18.5%	26.6%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	7.4%	18.8%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	55.6%	64.8%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	20.7%	20.3%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	20.7%	28.9%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	43.7%	47.7%
8. 地域での子育て支援がないから	35.6%	37.5%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	29.6%	30.5%
10. その他	17.0%	21.1%
無回答	1.5%	3.9%

男女別では、「4. 多様な保育サービスが充実していないから」と答えた割合が、男性 68. 8%に対して女性 59. 5%と男性が高くなっている。一方で、「7. 子育てに配慮している施設が充実していないから」と答えた割合は、男性 41. 7%、女性 50. 6%と女性が高くなっている。



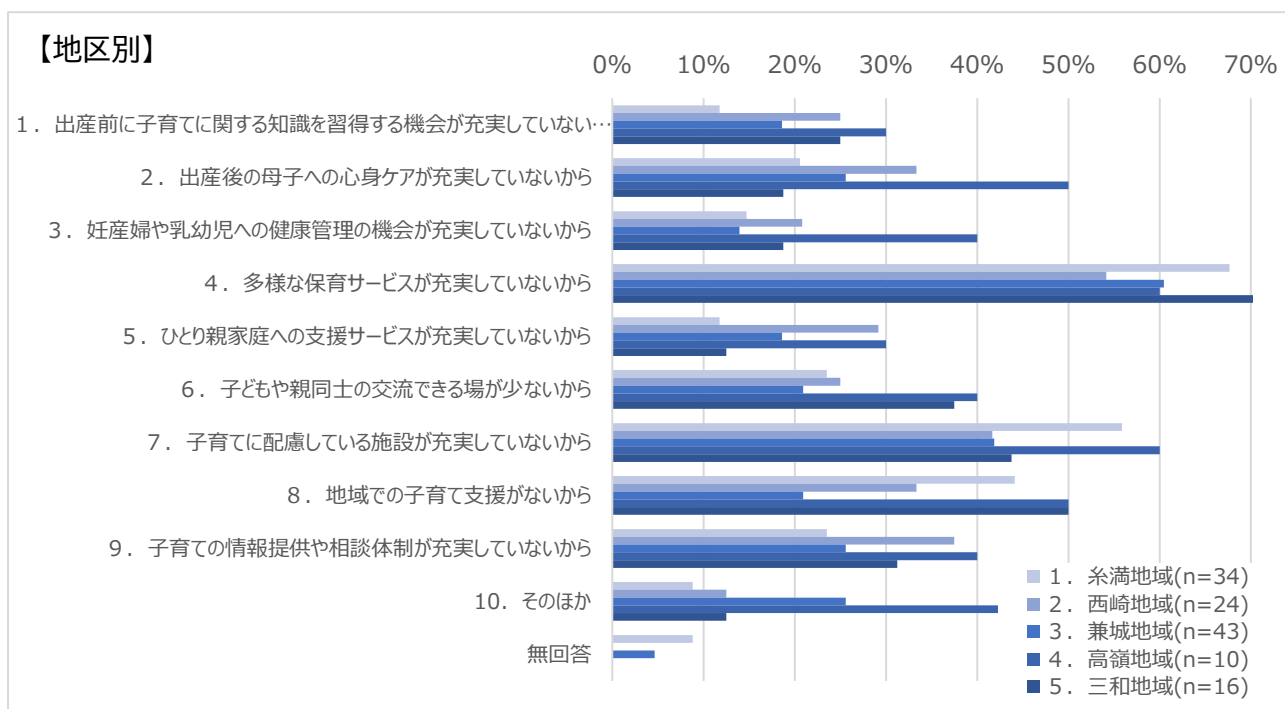
	男性 (n=48)	女性 (n=79)
1. 出産前に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	22.9%	17.7%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	27.1%	26.6%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	22.9%	13.9%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	68.8%	59.5%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	18.8%	19.0%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	20.8%	29.1%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	41.7%	50.6%
8. 地域での子育て支援がないから	29.2%	40.5%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	27.1%	31.6%
10. そのほか	0.0%	0.0%
無回答	6.3%	2.5%

年代別では、各年代のサンプル数が約30以下であることに留意する必要があるが、全ての世代で「4. 多様な保育サービスが充実していないから」が高くなっている。次に「7. 子育てに配慮している施設が充実していないから」、「8. 地域での子育て支援がないから」が高くなっている。



	1. 18~29歳 (n=12)	2. 30代 (n=32)	3. 40代 (n=17)	4. 50代 (n=19)	5. 60代 (n=23)	6. 70代以上 (n=24)
1. 出産前に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	25.0%	12.5%	5.9%	26.3%	30.4%	20.8%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	33.3%	25.0%	17.6%	31.6%	30.4%	20.8%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	25.0%	15.6%	17.6%	21.1%	21.7%	12.5%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	50.0%	68.8%	64.7%	63.2%	78.3%	45.8%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	41.7%	3.1%	11.8%	21.1%	30.4%	16.7%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	33.3%	21.9%	5.9%	31.6%	30.4%	33.3%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	50.0%	46.9%	47.1%	52.6%	52.2%	41.7%
8. 地域での子育て支援がないから	33.3%	34.4%	23.5%	52.6%	39.1%	33.3%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	50.0%	18.8%	23.5%	42.1%	34.8%	25.0%
10. その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	8.7%	4.2%

地域別では、高嶺・三和地域ではサンプル数20以下である点に留意する必要があるが、「4. 多様な保育サービスが充実していないから」と答えた割合が三和地域では81.3%(全体64.8%)と他の地域に比べて高くなっている。また、「7. 子育てに配慮している施設が充実していないから」と答えた割合が高嶺地域で60.0%(全体47.7%)と他の地域に比べて高くなっている。



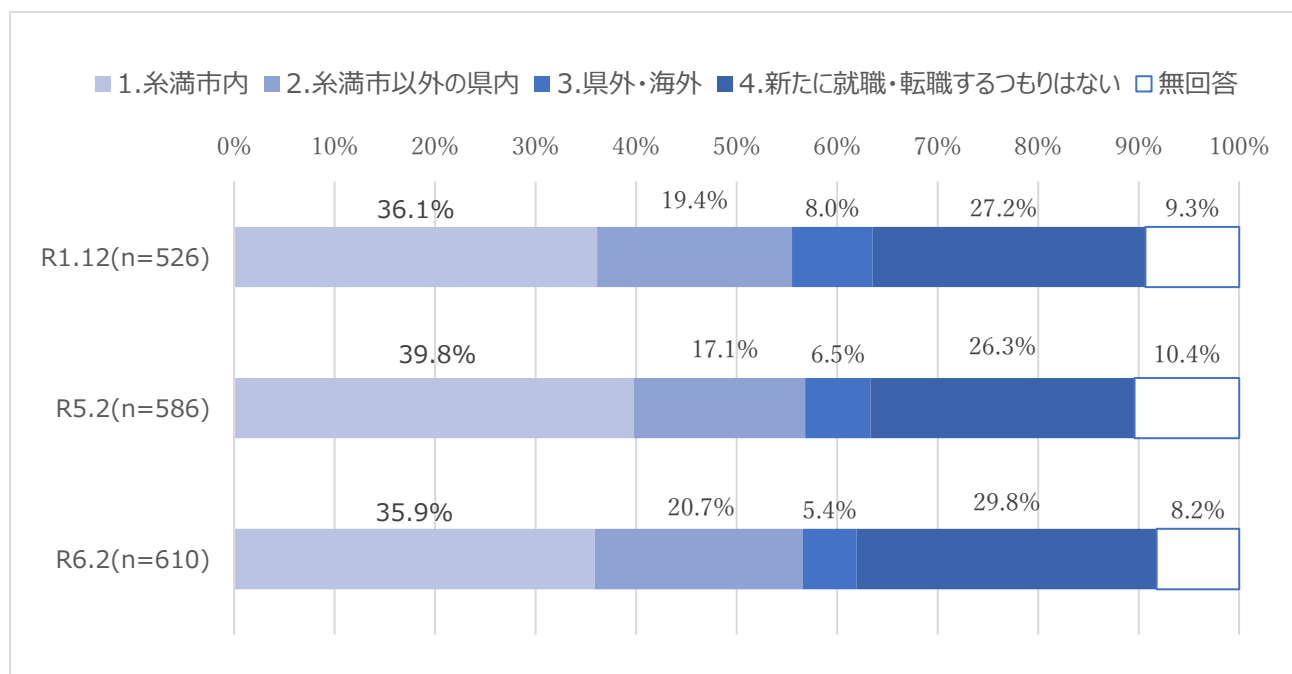
	1. 糸満地域 (n=34)	2. 西崎地域 (n=24)	3. 兼城地域 (n=43)	4. 高嶺地域 (n=10)	5. 三和地域 (n=16)
1. 出産前に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから	11.8%	25.0%	18.6%	30.0%	25.0%
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから	20.6%	33.3%	25.6%	50.0%	18.8%
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから	14.7%	20.8%	14.0%	40.0%	18.8%
4. 多様な保育サービスが充実していないから	67.6%	54.2%	60.5%	60.0%	81.3%
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから	11.8%	29.2%	18.6%	30.0%	12.5%
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから	23.5%	25.0%	20.9%	40.0%	37.5%
7. 子育てに配慮している施設が充実していないから	55.9%	41.7%	41.9%	60.0%	43.8%
8. 地域での子育て支援がないから	44.1%	33.3%	20.9%	50.0%	50.0%
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから	23.5%	37.5%	25.6%	40.0%	31.3%
10. その他	8.8%	12.5%	25.6%	50.0%	12.5%
無回答	8.8%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%

●10.その他

- シングルでも子育てがしやすい環境をつくってほしい
- よそから来た人への風あたり強い。
- 給食費が無償化しないから
- こども園や、小学校が徒歩で通える環境ではない。
- 子育て終わりました。
- 公園の遊具が修理されてない。子ども 3 人以上住めるアパートほとんどない。
- 市中心部以外の地域(農業?等の支援がとほしい。
- 子供の預かりが充実していない。
- 学校の都合で吹奏楽部などの文化系の指導者がいない。
- 不妊治療中。
- 治安が良くない。
- 医療費など高校生も補助してほしい
- 5 年で終わると来ていた区画整理が終わらない。仮換地が終らず、郵便が届きにくい、救急車が遅れるなどの影響があった。これに関する明確な説明がなく非常に不誠実。パスポートが市で申請できない。台風時の対応発表が他の市町村に比べ遅い。本当に市なのか疑問に思う時がある。
- 多子世帯への給付金やサービスが充実していないから
- 小学生に通学するにあたり毎月お金が必要(謎の 2 千円)
- 他地域に比べて低価格の習い事などが充実していない。
- 保育園が兄弟同じ所に通わせにくいから
- 経済的支援が少ない
- 産婦人科が少なすぎる
- 糸満市政のレスポンスの遅さと的外れさから。
- 保育園が受からない
- 沖縄自体が住みにくいから
- 子供がいないので把握してません
- 公園の整備がされていない場所が多いため。
- 0-3 が遊べる施設が土日空いていない、室内のところは有料なところばかり。こども園入れない
- 子供いないからよくわからない
- 若者の授かり婚の際、働き先を見つけたい為に保育園に入りたいけど求職中の人はポイントが少なく入れない。また、保育園以外の預け先もあるが働き先を探したいのに金額が高い為、正直利用して不便でした。もう少し他の市町村みたいに若年層の子育てを理解してほしいと思いました。もちろん、保育希望者が多いというのは重々承知していますが。

問 14. 今後、就職または転職するとした場合、どこで就業したいと思いますか。(一つに○)

「1. 糸満市内」と答えた割合が35.9%と最も高く、次いで「4. 新たに就職・転職するつもりはない」29.8%、「2. 糸満市以外の県内」20.7%となっている。

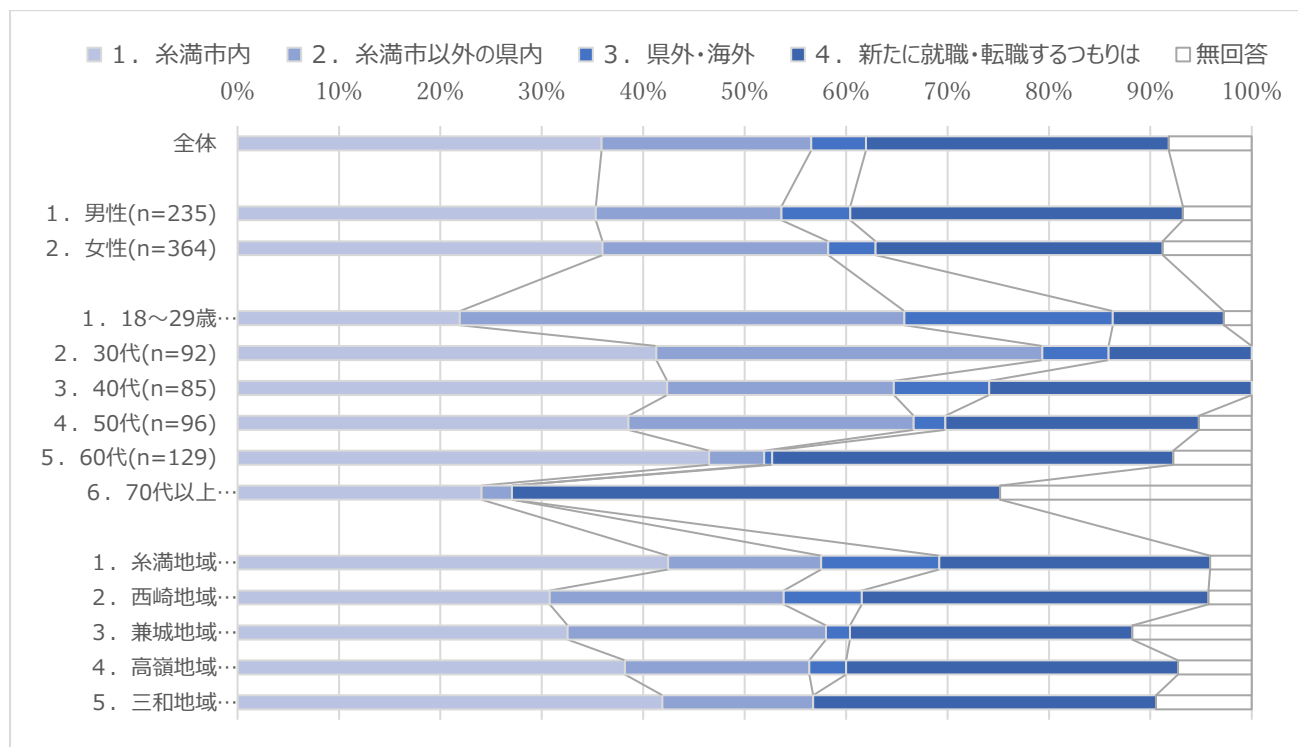


	R1.12 (n=526)	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1. 糸満市内	36.1%	39.8%	35.9%
2. 糸満市以外の県内	19.4%	17.1%	20.7%
3. 県外・海外	8.0%	6.5%	5.4%
4. 新たに就職・転職するつもりはない	27.2%	26.3%	29.8%
無回答	9.3%	10.4%	8.2%

男女別では、「4. 新たに就職・転職するつもりはない」と答えた割合が男性32.6%、女性28.2%と男性が高くなっているが、「2. 糸満市以外の県内」と答えた割合は男性18.3%、女性22.3%と女性が高くなっている。

年代別では、今後の就職・転職において糸満市以外で就業したいと思っている割合が、18～29才では64.4%、30代でも44.6%と、他の年代と比べて高くなっている。

地域別では、三和地域では「3. 県外・海外」と答えた割合が0%と最も低くなっている。また、「1. 糸満市内」と答えた割合が西崎地域で30.8%と最も低く、糸満地域で42.5%と最も高くなっている。



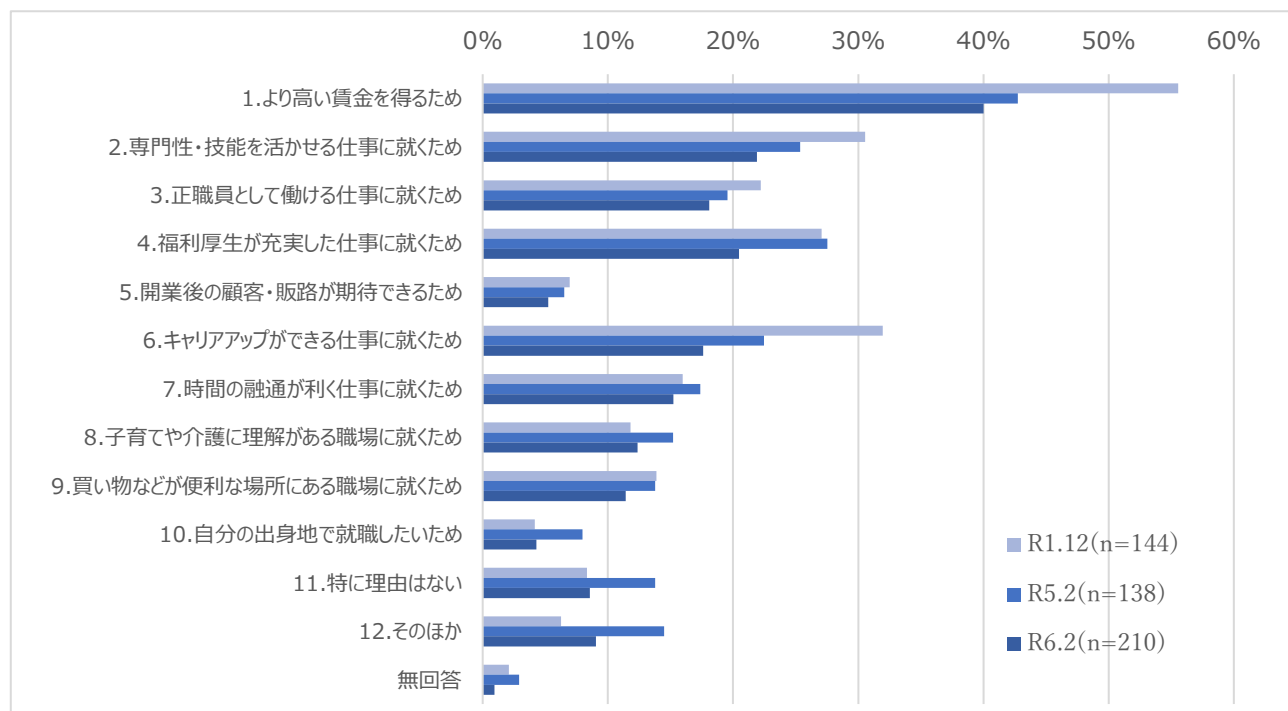
	1. 糸満市内	2. 糸満市以外の県内	3. 県外・海外	市外 (2. 糸満市 以外の県内 + 3 県外・海外)	4. 新たに就職・転職するつもりはない	無回答
全体(n=612)	35.9%	20.7%	5.4%	26.1%	29.7%	8.2%
男性(n=236)	35.3%	18.3%	6.8%	25.1%	32.6%	6.8%
女性(n=365)	36.0%	22.3%	4.7%	26.9%	28.2%	8.8%
1. 18～29歳 (n=73)	21.9%	43.8%	20.5%	64.4%	11.0%	2.7%
2. 30代(n=92)	41.3%	38.0%	6.5%	44.6%	14.1%	0.0%
3. 40代(n=85)	42.4%	22.4%	9.4%	31.8%	25.9%	0.0%
4. 50代(n=96)	38.5%	28.1%	3.1%	31.3%	25.0%	5.2%
5. 60代(n=129)	46.5%	5.4%	0.8%	6.2%	39.5%	7.8%
6. 70代以上 (n=133)	24.1%	3.0%	0.0%	3.0%	48.1%	24.8%

1. 系満地域 (n=146)	42.5%	15.1%	11.6%	26.7%	26.7%	4.1%
2. 西崎地域 (n=117)	30.8%	23.1%	7.7%	30.8%	34.2%	4.3%
3. 兼城地域 (n=212)	32.5%	25.5%	2.4%	27.8%	27.8%	11.8%
4. 高嶺地域 (n=55)	38.2%	18.2%	3.6%	21.8%	32.7%	7.3%
5. 三和地域 (n=74)	41.9%	14.9%	0.0%	14.9%	33.8%	9.5%

問 15. 糸満市以外で働きたいと選択した方は、その理由を教えてください。
(当てはまるものすべてに○)

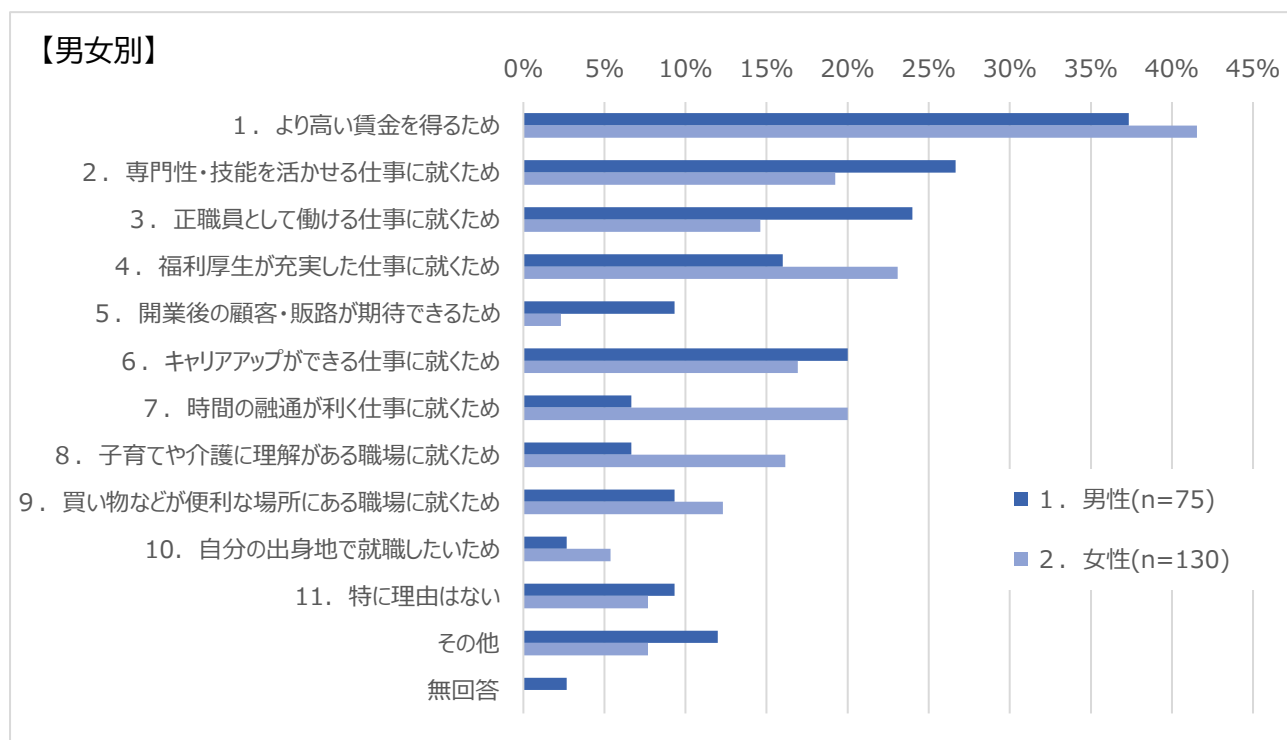
「1. より高い賃金を得るため」と答えた割合が42.6%と最も高く、次いで「2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため」21.5%、「4. 福利厚生が充実した仕事に就くため」21.1%、「3. 正職員として働ける仕事に就くため」18.7%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「1. より高い賃金を得るため」と答えた割合が55.6%から42.6%と13.0%減少しており、また、「6. キャリアアップができる仕事に就くため」と答えた割合が31.9%から18.2%と13.8%減少している。



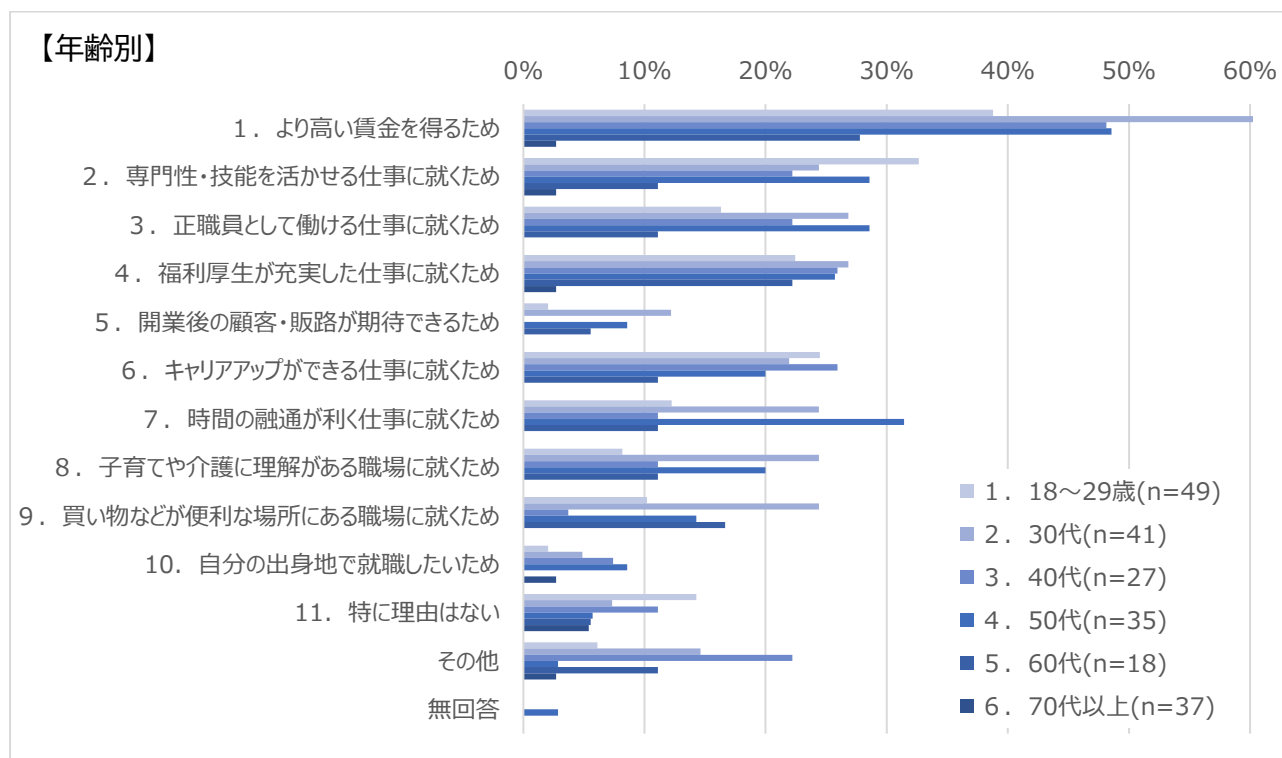
	R1.12 (n=144)	R5.2 (n=138)	R6.2 (n=209)
1. より高い賃金を得るため	55.6%	42.8%	42.6%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	30.6%	25.4%	21.5%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	22.2%	19.6%	18.7%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	27.1%	27.5%	21.1%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	6.9%	6.5%	5.3%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	31.9%	22.5%	18.2%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	16.0%	17.4%	19.1%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	11.8%	15.2%	14.8%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	13.9%	13.8%	12.9%
10. 自分の出身地で就職したいため	4.2%	8.0%	5.3%
11. 特に理由はない	8.3%	13.8%	10.0%
12. その他	6.3%	14.5%	9.6%
無回答	2.1%	2.9%	1.0%

男女別では、「1. より高い賃金を得るため」と答えた割合が男性 37.3%に対して女性 41.5%と女性が高く、また、「4. 福利厚生が充実した仕事に就くため」と答えた割合も男性 16.0%に対して女性 23.1%と女性が高くなっている。一方で、「2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため」と応えた割合は男性 26.7%、女性19.2%と男性が高くなっている。



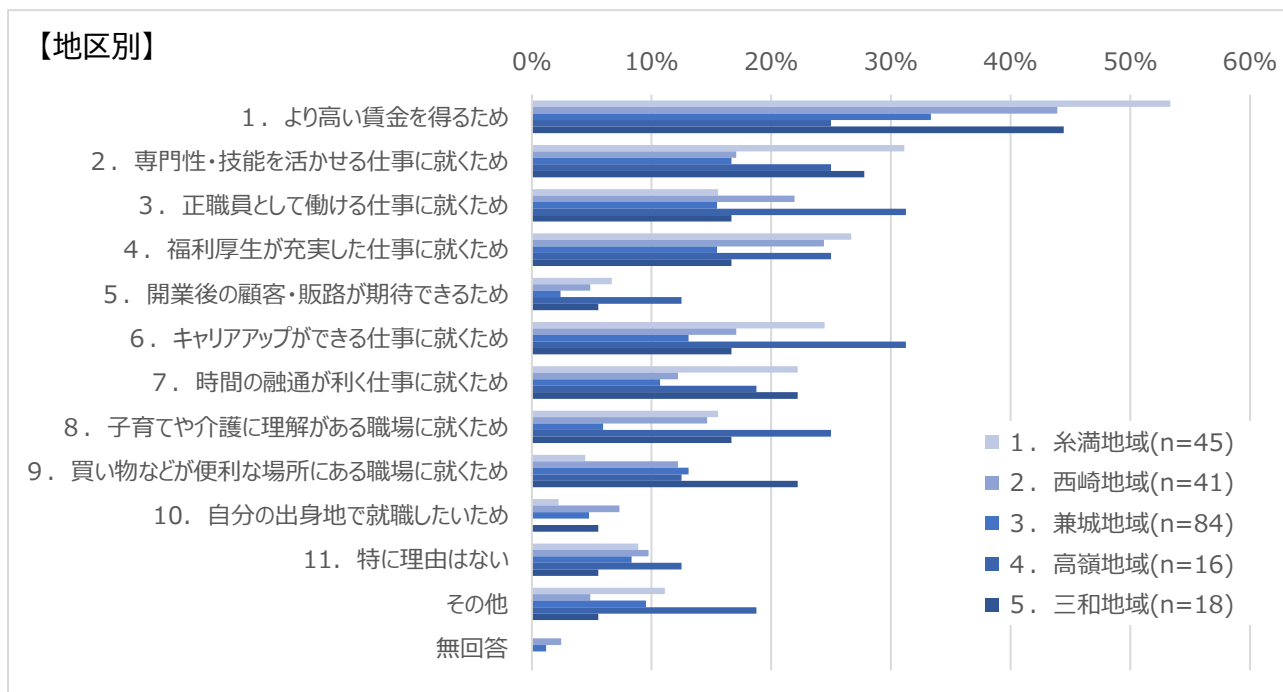
	男性 (n=75)	女性 (n=130)
1. より高い賃金を得るため	37.3%	41.5%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	26.7%	19.2%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	24.0%	14.6%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	16.0%	23.1%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	9.3%	2.3%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	20.0%	16.9%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	6.7%	20.0%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	6.7%	16.2%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	9.3%	12.3%
10. 自分の出身地で就職したいため	2.7%	5.4%
11. 特に理由はない	9.3%	7.7%
12. そのほか	12.0%	7.7%
無回答	2.7%	0.0%

年代別では、各年代のサンプル数が約 50 以下となっていることに留意する必要があるが、18～29才においては「2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため」32. 7%(全体 21. 5%)、「11. 特に理由はない」14. 3%(全体 10. 0%)の項目が他の年代より高くなっている。30 代においては「1. より高い賃金を得るため」65. 9%(全体42. 6%)、「4. 福利厚生が充実した仕事に就くため」26. 8%(全体21. 1%)、「5. 開業後の顧客・販路が期待できるため」12. 2%(全体 5. 3%)の項目が他の年代よりも高くなっている。



	1. 18～29歳 (n=49)	2. 30代 (n=41)	3. 40代 (n=27)	4. 50代 (n=35)	5. 60代 (n=18)	6. 70代以上 (n=37)
1. より高い賃金を得るため	38.8%	65.9%	48.1%	48.6%	27.8%	2.7%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	32.7%	24.4%	22.2%	28.6%	11.1%	2.7%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	16.3%	26.8%	22.2%	28.6%	11.1%	0.0%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	22.4%	26.8%	25.9%	25.7%	22.2%	2.7%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	2.0%	12.2%	0.0%	8.6%	5.6%	0.0%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	24.5%	22.0%	25.9%	20.0%	11.1%	0.0%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	12.2%	24.4%	11.1%	31.4%	11.1%	0.0%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	8.2%	24.4%	11.1%	20.0%	11.1%	0.0%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	10.2%	24.4%	3.7%	14.3%	16.7%	0.0%
10. 自分の出身地で就職したいため	2.0%	4.9%	7.4%	8.6%	0.0%	2.7%
11. 特に理由はない	14.3%	7.3%	11.1%	5.7%	5.6%	5.4%
12. そのほか	6.1%	14.6%	22.2%	2.9%	11.1%	2.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%

地域別では、高嶺地域と三和地域のサンプル数が20以下となっている点に留意する必要があるが、「1. より高い賃金を得るため」と答えた割合が糸満地域では53.3%(全体42.6%)と他の地域に比べて高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=45)	2. 西崎地 域(n=41)	3. 兼城地 域(n=84)	4. 高嶺地 域(n=16)	5. 三和地 域(n=18)
1. より高い賃金を得るため	53.3%	43.9%	33.3%	25.0%	44.4%
2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため	31.1%	17.1%	16.7%	25.0%	27.8%
3. 正職員として働ける仕事に就くため	15.6%	22.0%	15.5%	31.3%	16.7%
4. 福利厚生が充実した仕事に就くため	26.7%	24.4%	15.5%	25.0%	16.7%
5. 開業後の顧客・販路が期待できるため	6.7%	4.9%	2.4%	12.5%	5.6%
6. キャリアアップができる仕事に就くため	24.4%	17.1%	13.1%	31.3%	16.7%
7. 時間の融通が利く仕事に就くため	22.2%	12.2%	10.7%	18.8%	22.2%
8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため	15.6%	14.6%	6.0%	25.0%	16.7%
9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため	4.4%	12.2%	13.1%	12.5%	22.2%
10. 自分の出身地で就職したいため	2.2%	7.3%	4.8%	0.0%	5.6%
11. 特に理由はない	8.9%	9.8%	8.3%	12.5%	5.6%
12. そのほか	11.1%	4.9%	9.5%	18.8%	5.6%
無回答	0.0%	2.4%	1.2%	0.0%	0.0%

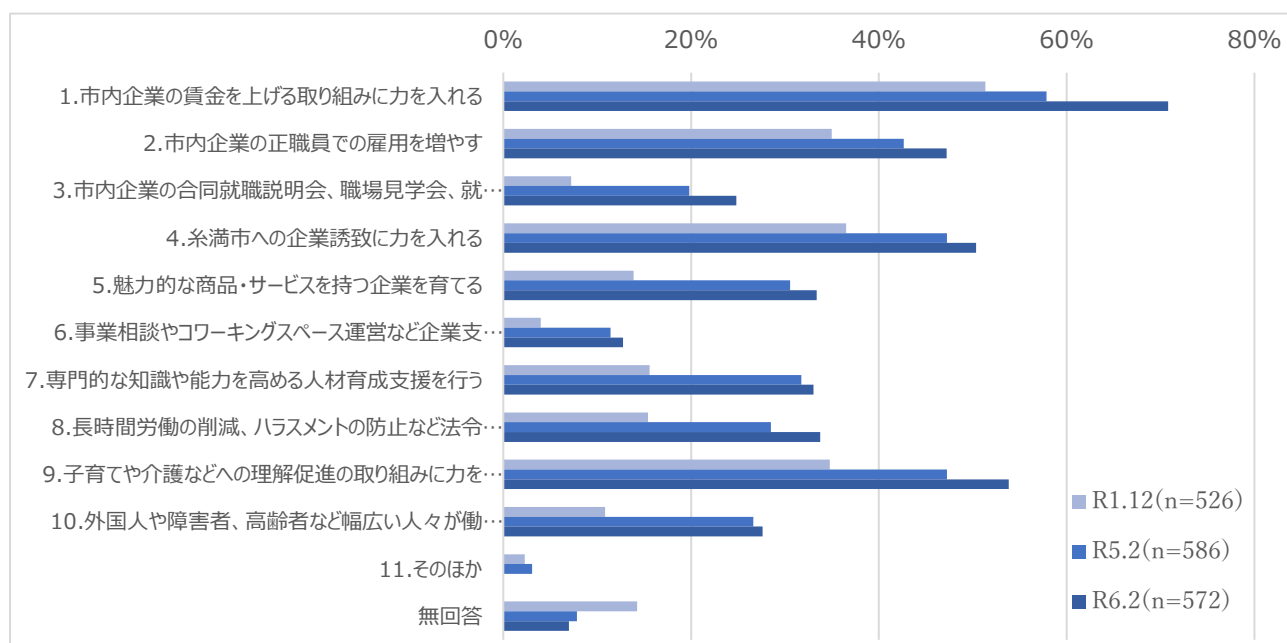
●12.その他

- 糸満市は住みやすいが、人口も少なく狭く人と人が近い感じがするので、知らない人がいる市町村で働きたい。
- 交通の便が良いから。
- 子どもの学校が近くなるため。
- 現在と同じ所で
- 子育て支援が沖縄で1番良い。
- 高校まで無償化の市に行きたい。
- 働く場所次第なので、地域は関係ない。
- 新しい地域に行ってみたいため。
- 活気がある。雰囲気が明るい。
- 無期雇用契約に転換する申込みの手続き中の為
- 働きたくない。
- その場所に住んでそこでやりたい仕事があるから
- 今後の仕事は決まった
- 他の地域でも生活してみたい。
- 引越しの為
- 糸満の人間の気質が苦手
- 糸満市政のレスポンスの遅さと的外れさから糸満市政に期待していないため。
- 沖縄が嫌いだから
- 転勤がある為

問 16. 糸満市で働く人が増えるためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。
(当てはまるものすべてに○)

「1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる」と答えた割合が 66.1%と最も高く、次いで「9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる」50.5%、「4. 糸満市への企業誘致に力を入れる」47.0%となっている。

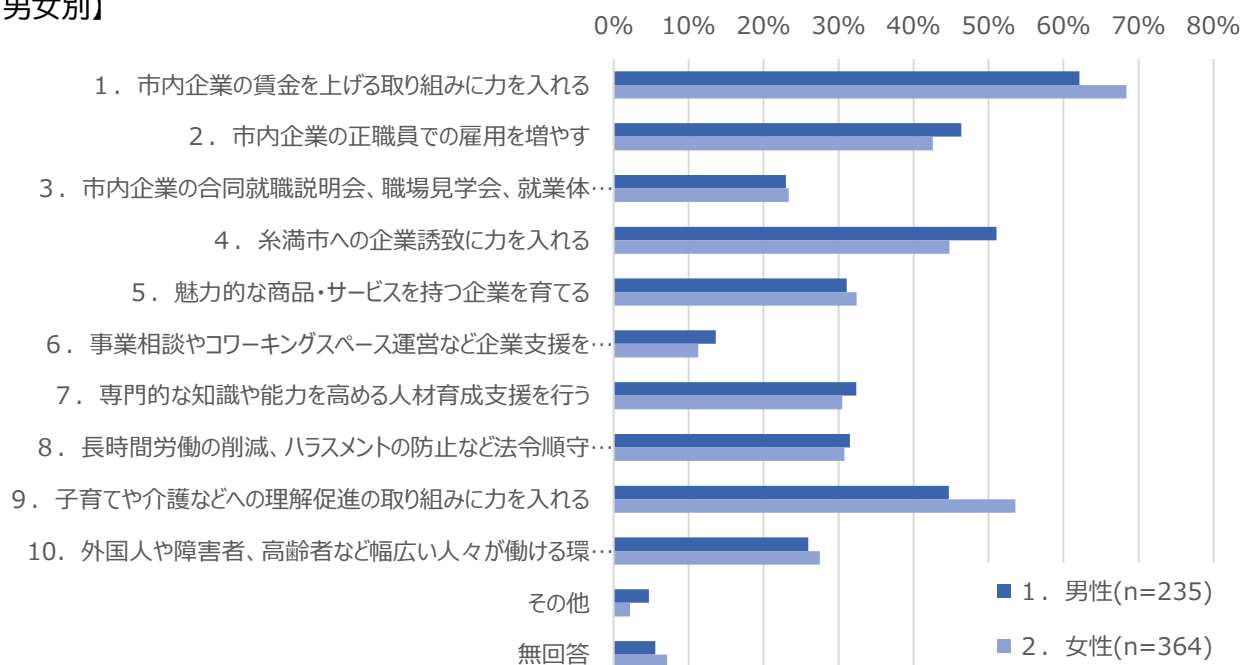
令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、全ての項目の回答が増加しており、特に「1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる」と答えた割合が 51.3%から 66.1%と14.7%増加している。また、「5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる」と答えた割合は13.9%から31.3%と17.4%増加している。



	R1.12 (n=526)	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	51.3%	57.8%	66.1%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	35.0%	42.7%	44.3%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	7.2%	19.8%	23.1%
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる	36.5%	47.3%	47.0%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	13.9%	30.5%	31.3%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	4.0%	11.4%	12.0%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	15.6%	31.7%	31.0%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の取り組みに力を入れる	15.4%	28.5%	31.3%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	34.8%	47.3%	50.5%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	10.8%	26.6%	27.2%
11. その他	2.3%	3.1%	3.1%
無回答	14.3%	7.8%	6.6%

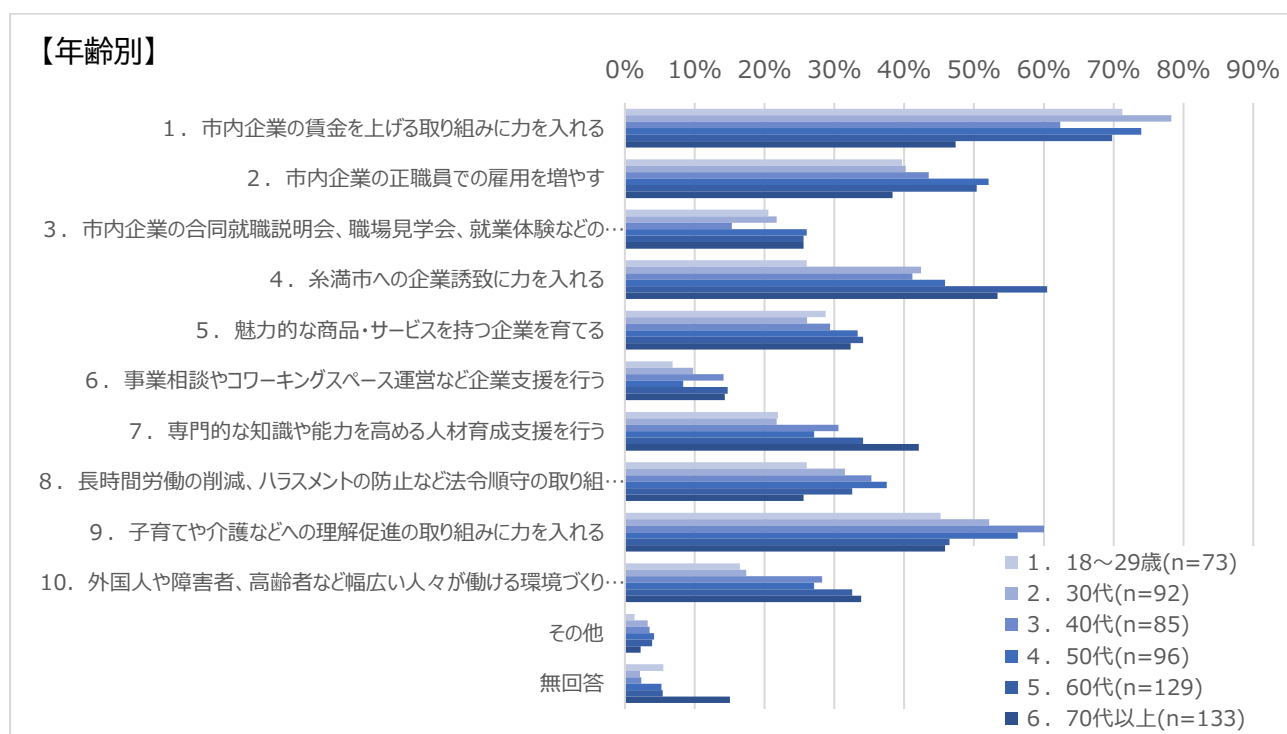
男女別では、「1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる」と答えた割合が男性 62.1%に対して女性 68.4%と女性が高くなっている。一方で、「4. 糸満市への企業誘致に力を入れる」と答えた割合は男性 51.1%、女性44.8%と男性が高くなっている。

【男女別】



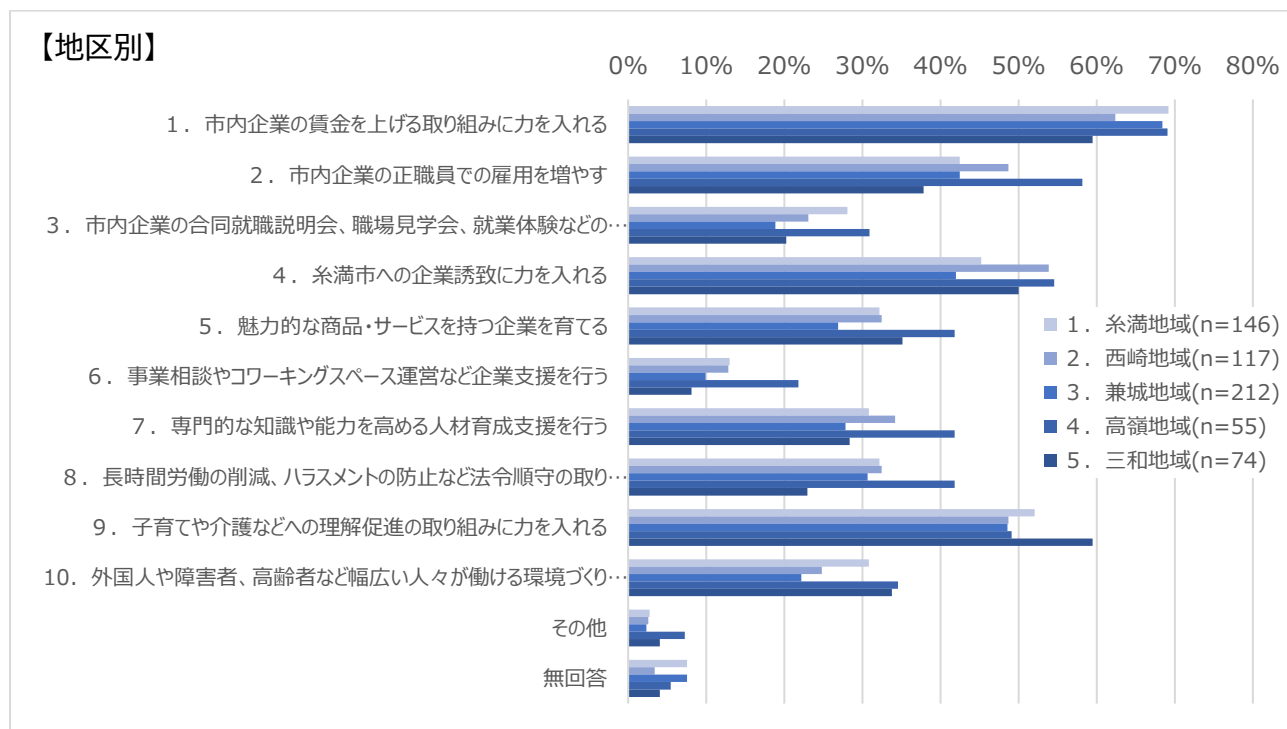
	1. 男性 (n=235)	2. 女性 (n=364)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	62.1%	68.4%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	46.4%	42.6%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	23.0%	23.4%
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる	51.1%	44.8%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	31.1%	32.4%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	13.6%	11.3%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	32.3%	30.5%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の取り組みに力を入れる	31.5%	30.8%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	44.7%	53.6%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	26.0%	27.5%
11. そのほか	4.7%	2.2%
無回答	5.5%	7.1%

年代別では、70代以上以外の年代で「1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる」が他の項目と比べ1番高くなっている。70代では「4. 系満市への企業誘致に力を入れる」が53.4%(全体 47.0%)と高くなっている。



	1. 18~29歳(n=73)	2. 30代(n=92)	3. 40代(n=85)	4. 50代(n=96)	5. 60代(n=129)	6. 70代以上(n=133)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	71.2%	78.3%	62.4%	74.0%	69.8%	47.4%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	39.7%	40.2%	43.5%	52.1%	50.4%	38.3%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	20.5%	21.7%	15.3%	26.0%	25.6%	25.6%
4. 系満市への企業誘致に力を入れる	26.0%	42.4%	41.2%	45.8%	60.5%	53.4%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	28.8%	26.1%	29.4%	33.3%	34.1%	32.3%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	6.8%	9.8%	14.1%	8.3%	14.7%	14.3%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	21.9%	21.7%	30.6%	27.1%	34.1%	42.1%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の取り組みに力を入れる	26.0%	31.5%	35.3%	37.5%	32.6%	25.6%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	45.2%	52.2%	60.0%	56.3%	46.5%	45.9%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	16.4%	17.4%	28.2%	27.1%	32.6%	33.8%
11. そのほか	1.4%	3.3%	3.5%	4.2%	3.9%	2.3%
無回答	5.5%	2.2%	2.4%	5.2%	5.4%	15.0%

地域別では、高嶺地域で「2. 市内企業の正職員での雇用を増やす」と答えた割合が58. 2%(全体44. 3%)と他の地域よりも高くなっている他、「3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす」30. 9%(全体23. 1%)、「4. 糸満市への企業誘致に力を入れる」54. 5%(全体 47. 0%)と、ほとんどの項目で他の地域よりも高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地 域(n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる	69.2%	62.4%	68.4%	69.1%	59.5%
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす	42.5%	48.7%	42.5%	58.2%	37.8%
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす	28.1%	23.1%	18.9%	30.9%	20.3%
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる	45.2%	53.8%	42.0%	54.5%	50.0%
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる	32.2%	32.5%	26.9%	41.8%	35.1%
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う	13.0%	12.8%	9.9%	21.8%	8.1%
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う	30.8%	34.2%	27.8%	41.8%	28.4%
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の取り組みに力を入れる	32.2%	32.5%	30.7%	41.8%	23.0%
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる	52.1%	48.7%	48.6%	49.1%	59.5%
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる	30.8%	24.8%	22.2%	34.5%	33.8%
11. そのほか	2.7%	2.6%	2.4%	7.3%	4.1%
無回答	7.5%	3.4%	7.5%	5.5%	4.1%

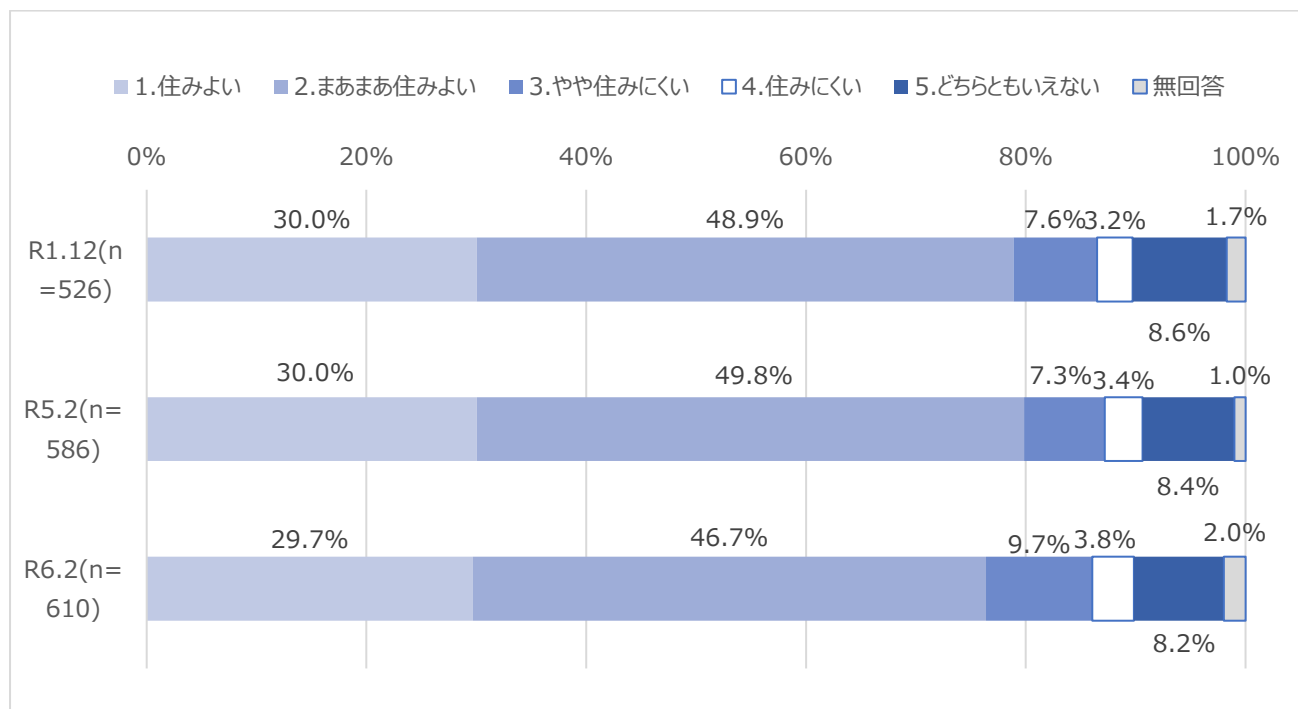
●11.その他

- 企業の地域へのあっせん、優先してもらい雇用を増やす！
- 子育てにやさしく理解のある行政であってほしい
- 全国の若者へ糸満市の魅力を発信し移住就業へつなぐ
- 医療機関の充実
- かくれた人材を発掘する
- 地元で働いたことが無い。
- ショッピング施設、温泉、スポーツジム等を建設し、もしくは既存の施設等に糸満市民制を追加する。
- 福利厚生が良い企業の誘致
- わからない
- 子育て世代が住める家と子育て支援の充実化
- 市以外から車通勤する方のための道路の整備。道幅などの夕方渋滞などスムーズに帰宅できるイメージがあれば糸満市で働く人が増えると思う。
- 住みやすい町づくり
- 9, 10いづれにしても働く場所がない。
- 保育士ですが、他の市は住宅手当が出るところもあるが糸満市は無いと聞きました。他の市や県から糸満市へ就職して貰うためには必要なことだと思います。
- 労働条件を市が変えることは不可能。それ以外でがんばれ。那覇でできることや豊見城でできることが糸満市でできないから企業も来ないし、アフター5 もつまらない。
- 個人が長く働き続ける為に、その個人にあった生業の定着を促す個人向けの支援が必要だと思う。一つの成功体験が個人を育て、就労の意欲を高めると思う。
- 仕事の質を上げる。技術業、サービス業など全ての職種。
- 子ども目線から見る様々な仕事の情報の入手、労働の種類の多さ

◆3. 住みやすさや今後も住み続けたいかについてお伺いします。

問 17. あなたにとって糸満市は住みよいですか。(一つに○)

住みよいと答えた割合(「1. 住みよい」と「2. まあまあ住みよい」と答えた割合の合計)が76.4%で、住みにくいと答えた割合(「3. やや住みにくい」「4. 住みにくい」と答えた割合の合計)13.5%を大きく上回っている。

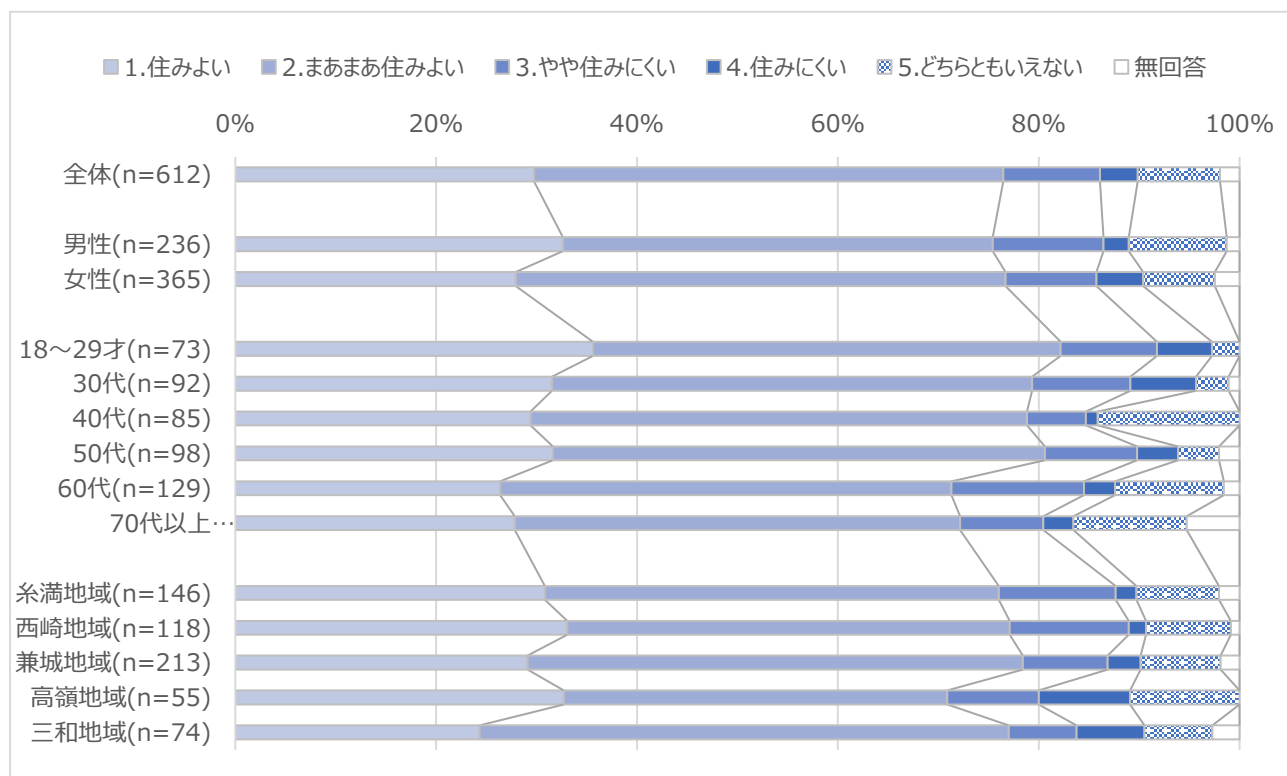


	R1.12月 (n=526)	R5.2月 (n=586)	R6.2月 (n=610)
1.住みよい	30.0%	30.0%	29.7%
2.まあまあ住みよい	48.9%	49.8%	46.7%
3.やや住みにくい	7.6%	7.3%	9.7%
4.住みにくい	3.2%	3.4%	3.8%
5.どちらともいえない	8.6%	8.4%	8.2%
無回答	1.7%	1.0%	2.0%

男女別では、「1. 住みよい」と答えた割合は男性32.3%、女性28.0%と男性が高くなっているが、「4. 住みにくい」と答えた割合は男性2.6%、女性4.7%と女性が高くなっている。

年代別では、18～29才は住みよいと答えた割合（「1. 住みよい」と「2. まあまあ住みよい」と答えた割合の合計）が82.2%と最も高いが、30代と60代では住みにくいと答えた割合（「3. やや住みにくい」「4. 住みにくい」と答えた割合の合計）が16.3%と最も高くなっている。

地域別では、住みにくいと答えた割合（「3. やや住みにくい」「4. 住みにくい」と答えた割合の合計）が高嶺地域で18.2%と最も高く、兼城地域で11.8%と最も低い。

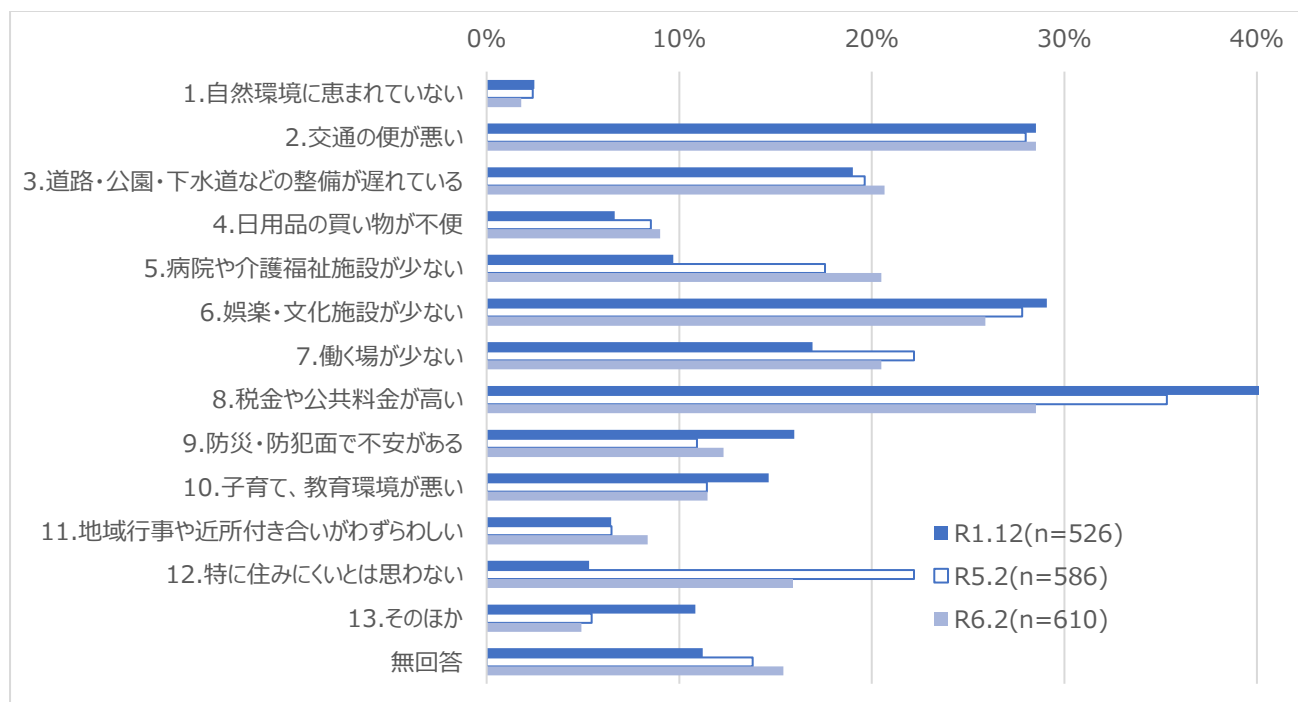


	住みよい 「1. 住みよい」+「2. まあまあ住みよい」	住みにくい 「3. やや住みにくい」 +「4. 住みにくい」	5. どちらとも いえない	無回答
全体(n=610)	76.4%	13.4%	8.2%	2.0%
1. 男性(n=235)	75.3%	13.6%	9.7%	1.3%
2. 女性(n=364)	76.6%	13.7%	7.1%	2.5%
1. 18～29 歳 (n=73)	82.2%	15.1%	2.7%	0.0%
2. 30 代(n=92)	79.3%	16.3%	3.3%	1.1%
3. 40 代(n=85)	78.8%	7.1%	14.1%	0.0%
4. 50 代(n=96)	80.2%	13.5%	4.2%	2.1%
5. 60 代(n=129)	71.3%	16.3%	10.9%	1.6%
6. 70 代以上 (n=133)	72.2%	11.3%	11.3%	5.3%
1. 糸満地域(n=146)	76.0%	13.7%	8.2%	2.1%
2. 西崎地域(n=117)	76.9%	13.7%	8.5%	0.8%
3. 兼城地域(n=212)	78.3%	11.8%	8.0%	1.9%
4. 高嶺地域(n=55)	70.9%	18.2%	10.9%	0.0%
5. 三和地域(n=74)	77.0%	13.5%	6.8%	2.7%

問 18. あなたが「糸満市は住みにくい」と思うところがあれば教えてください。
(当てはまるものすべてに○)

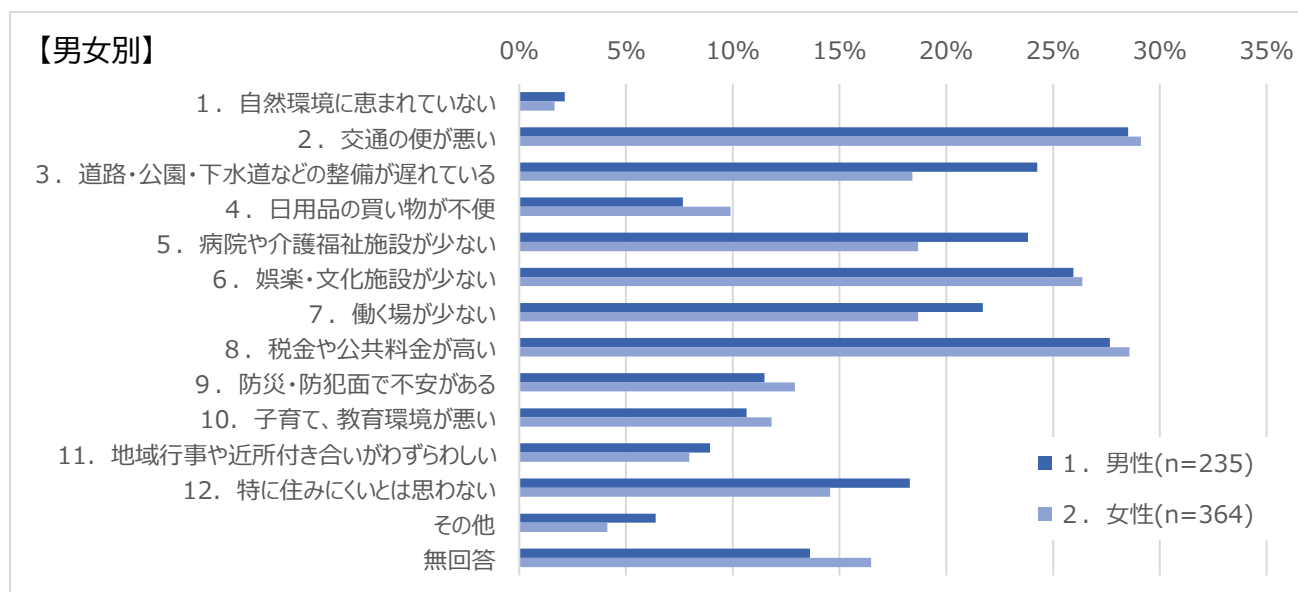
「2.交通の便が悪い」と答えた割合が 28.5%と最も高く、次いで「8.税金や公共料金が高い」28.5%、
「6.娯楽・文化施設が少ない」25.9%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「5.病院や介護福祉施設が少ない」と答えた割合が 9.7%
から20.5%と10.8%増加している。また、「12.特に住みにくいとは思わない」と答えた割合が 10.8%
から15.9%と 5.1%増加している。一方、「8. 税金や公共料金が高い」と答えた割合は43.0%から 28.
5%と 14.4%減少している。



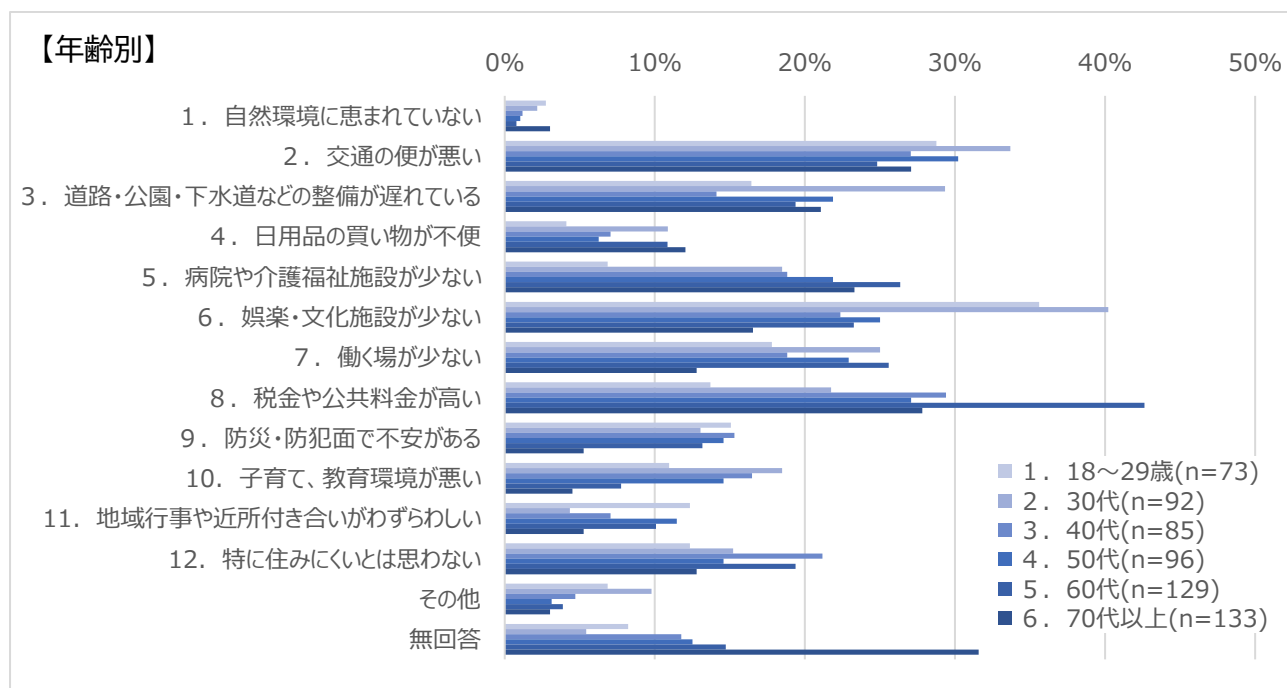
	R1.12月 (n=526)	R5.2月 (n=586)	R6.2月 (n=610)
1. 自然環境に恵まれていない	2.5%	2.4%	1.8%
2. 交通の便が悪い	28.5%	28.0%	28.5%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	19.0%	19.6%	20.7%
4. 日用品の買い物が不便	6.7%	8.5%	9.0%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	9.7%	17.6%	20.5%
6. 娯楽・文化施設が少ない	29.1%	27.8%	25.9%
7. 働く場が少ない	16.9%	22.2%	20.5%
8. 税金や公共料金が高い	43.0%	35.3%	28.5%
9. 防災・防犯面で不安がある	16.0%	10.9%	12.3%
10. 子育て、教育環境が悪い	14.6%	11.4%	11.5%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	6.5%	6.5%	8.4%
12. 特に住みにくいとは思わない	10.8%	22.2%	15.9%
13. その他	5.3%	5.5%	4.9%
無回答	11.2%	13.8%	15.4%

男女別では、それほど大きな差は見られない。



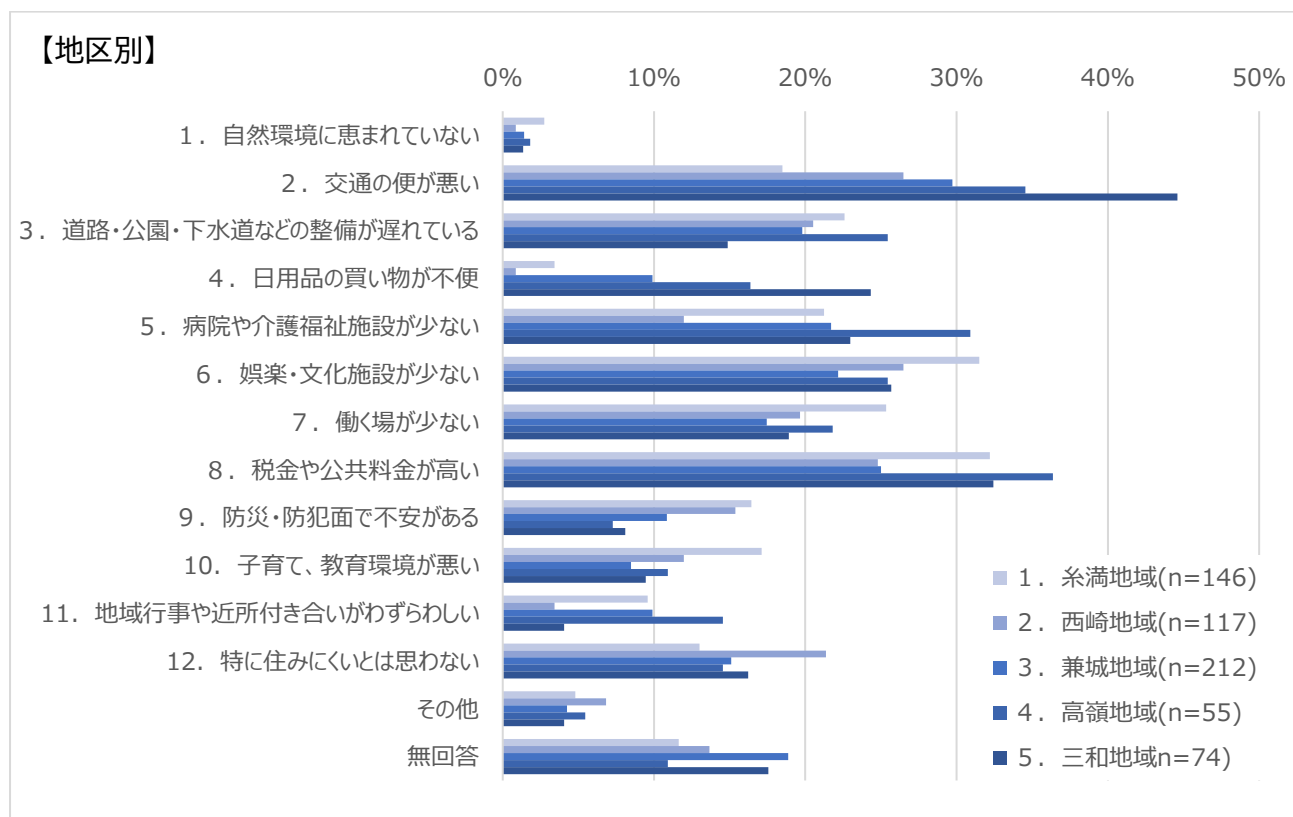
	男性 (n=236)	女性 (n=364)
1. 自然環境に恵まれていない	2.1%	1.6%
2. 交通の便が悪い	28.5%	29.1%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	24.3%	18.4%
4. 日用品の買い物が不便	7.7%	9.9%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	23.8%	18.7%
6. 娯楽・文化施設が少ない	26.0%	26.4%
7. 働く場が少ない	21.7%	18.7%
8. 税金や公共料金が安い	27.7%	28.6%
9. 防災・防犯面で不安がある	11.5%	12.9%
10. 子育て、教育環境が悪い	10.6%	11.8%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	8.9%	8.0%
12. 特に住みにくいとは思わない	18.3%	14.6%
13. そのほか	6.4%	4.1%
無回答	13.6%	16.5%

年代別では、18～29才では「11.地域行事や近所付き合いがわずらわしい」と答えた割合が12.3%(全体8.4%)と他の年代より高くなっている。30代では「2.交通の便が悪い」と答えた割合が33.7%(全体28.5%)、「3.道路・公園・下水道などの整備が遅れている」と答えた割合が29.3%(全体20.7%)、「6.娯楽・文化施設が少ない」と答えた割合が40.2%(全体25.9%)、「10.子育て、教育環境が悪い」と答えた割合が18.5%(11.5%)と他の年代よりも高くなっている。



	1. 18～29歳(n=73)	2. 30代(n=92)	3. 40代(n=85)	4. 50代(n=96)	5. 60代(n=129)	6. 70代以上(n=133)
1. 自然環境に恵まれていない	2.7%	2.2%	1.2%	1.0%	0.8%	3.0%
2. 交通の便が悪い	28.8%	33.7%	27.1%	30.2%	24.8%	27.1%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	16.4%	29.3%	14.1%	21.9%	19.4%	21.1%
4. 日用品の買い物が不便	4.1%	10.9%	7.1%	6.3%	10.9%	12.0%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	6.8%	18.5%	18.8%	21.9%	26.4%	23.3%
6. 娯楽・文化施設が少ない	35.6%	40.2%	22.4%	25.0%	23.3%	16.5%
7. 働く場が少ない	17.8%	25.0%	18.8%	22.9%	25.6%	12.8%
8. 税金や公共料金が安い	13.7%	21.7%	29.4%	27.1%	42.6%	27.8%
9. 防災・防犯面で不安がある	15.1%	13.0%	15.3%	14.6%	13.2%	5.3%
10. 子育て、教育環境が悪い	11.0%	18.5%	16.5%	14.6%	7.8%	4.5%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	12.3%	4.3%	7.1%	11.5%	10.1%	5.3%
12. 特に住みにくいとは思わない	12.3%	15.2%	21.2%	14.6%	19.4%	12.8%
13. そのほか	6.8%	9.8%	4.7%	3.1%	3.9%	3.0%
無回答	8.2%	5.4%	11.8%	12.5%	14.7%	31.6%

地域別では、糸満地域において「6. 娯楽・文化施設が少ない」と答えた割合が 31.5%(全体25.9%)と他の地域よりも高くなっている。また、高嶺地域では「3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている」と答えた割合が 25.5%(全体 20.7%)と他の地域よりも高くなっている。三和地域においては、「2. 交通の便が悪い」と答えた割合が 44.6%(全体 28.5%)、「4. 日用品の買い物が不便」と答えた割合が 24.3%(全体 9.0%)と他の地域に比べて高くなっている。



	糸満地域 (n=146)	西崎地域 (n=118)	兼城地域 (n=213)	高嶺地域 (n=55)	三和地域 (n=74)
1. 自然環境に恵まれていない	3.4%	0.8%	1.4%	1.8%	1.4%
2. 交通の便が悪い	18.5%	27.1%	30.0%	34.5%	44.6%
3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている	22.6%	20.3%	19.7%	25.5%	14.9%
4. 日用品の買い物が不便	3.4%	0.8%	9.9%	16.4%	24.3%
5. 病院や介護福祉施設が少ない	21.2%	12.7%	21.6%	30.9%	23.0%
6. 娯楽・文化施設が少ない	31.5%	26.3%	22.1%	25.5%	25.7%
7. 働く場が少ない	25.3%	19.5%	17.4%	21.8%	18.9%
8. 税金や公共料金が安い	32.2%	24.6%	24.9%	36.4%	31.1%
9. 防災・防犯面で不安がある	16.4%	15.3%	10.8%	7.3%	8.1%
10. 子育て、教育環境が悪い	17.1%	11.9%	8.5%	10.9%	9.5%
11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい	9.6%	3.4%	9.9%	14.5%	4.1%
12. 特に住みにくいとは思わない	13.0%	21.2%	15.0%	14.5%	16.2%
13. そのほか	4.8%	6.8%	4.2%	5.5%	4.1%
無回答	11.6%	13.6%	18.8%	10.9%	17.6%

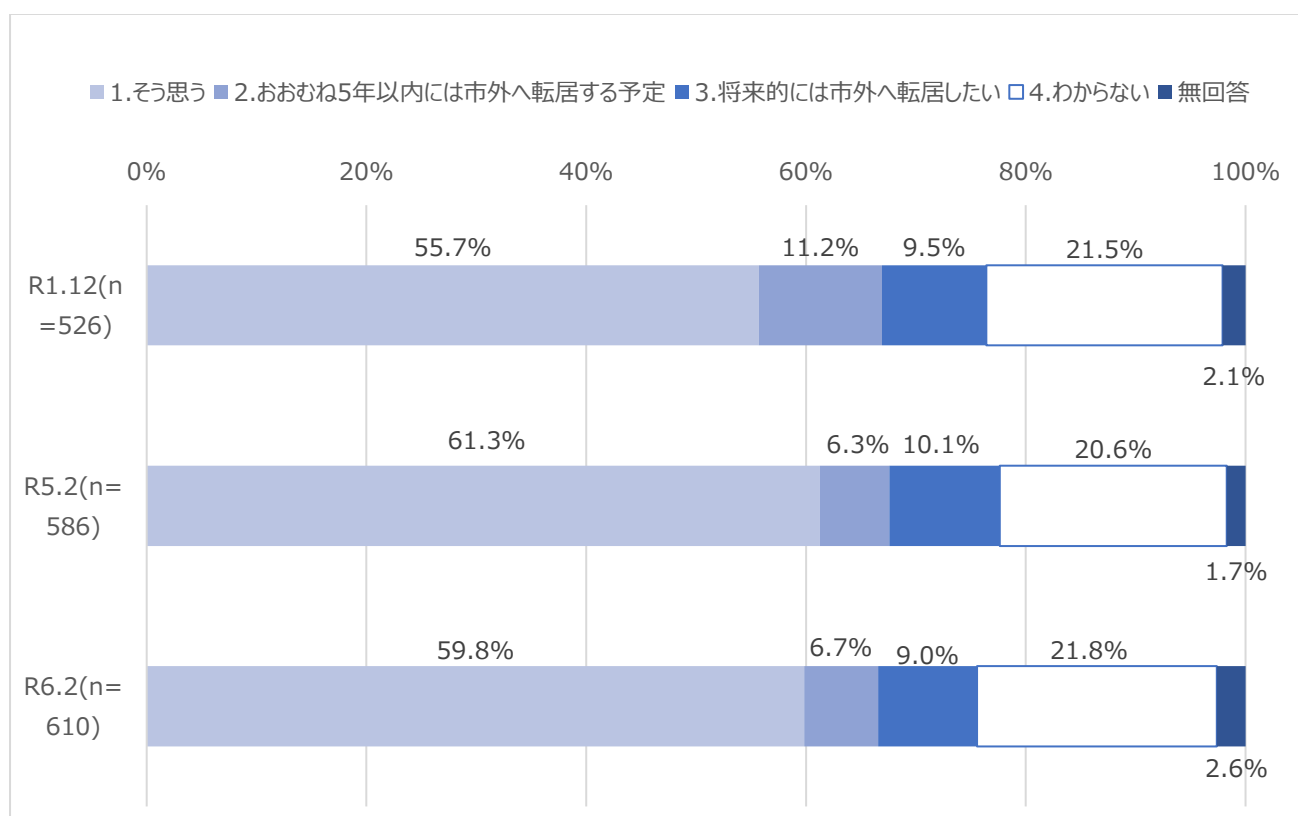
●13.その他

- 草をやいているのか、いつもくさい。そういった所をどうにかして欲しい。
- 信号が多すぎる
- 11 番の理由とは違うが、市が小さいので職場の人に合いやすい。
- 道路の草がじゃま。特に歩道だと散歩しにくい。
- 市役所の対応に不備が多く、遅い。
- 産婦人科が少ない
- 公園はたくさんあるが整備されていない。
- モノレール通してほしい。糸満の昔の町人も少ない。ビッグやユニオンとかをスーパーにしたら良い。
- 道路の整備になってない
- 近隣に昼夜たむろする非行少年、少女が増えて生活に困る。大きな総合病院がない。
- ポイ捨てが多い
- 外国人が増えて、マナーが悪い。駐車の方法等。
- 市役所が埋立地で海の近くに立っているのは不安。
- 路駐の取締まりがなく、夜間に子供の出歩きが多過ぎる。
- 働く場所はあるが、賃金が低いので市外に出ないといけない。
- ゴミが多い(道路など)野良猫が多い。(糞尿被害)
- 使われていない土地や畑が多くもったいない。使いたいのが誰に聞いたら良いか分からない。もっともつと活用するべきです。
- 学校の教師の資質。給食の質。台風の影響。
- モノレール、高速道路がとおい。
- いとちゃんバスの利用が予約制ではなく定時運行が良い。
- 米須小学校近くの道路(S カーブ)、真壁地域の直線道路は道幅が狭く 10 年以上前から工場がストップしている。危険。
- ゴミがちらかっている。暴走するバイクがいる。
- 役所に誠実な対応が必要。
- 勤務先から遠い
- 日中バスの本数が少ない。バス路線が少ない。
- 歩道が汚い
- 糸満市政のレスポンスの遅さとの外れさから、今後の糸満市政にも期待できないため。
- 独特の文化が強いから
- ショッピングセンター、美容施設が少なく若者が遊べるようなところがない
- 夏は暑い、社会のサポートを感じたことがない

問 19. あなたは、今後も糸満市に住み続けたいと思いますか。(一つに○)

「1. そう思う」と答えた割合が 59.8%と最も高く、次いで「4. 分からない」21.8%、「3. 将来的には市外へ転居したい」9.0%、「2. おおむね 5 年以内には市外へ転居する予定」6.7%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「1. そう思う」と答えた割合が55.7%から 59.8%と 4.1%増加し、「2. おおむね 5 年以内には市外へ転居する予定」と答えた割合が11.2%から 6.7%と 4.5%減少している。

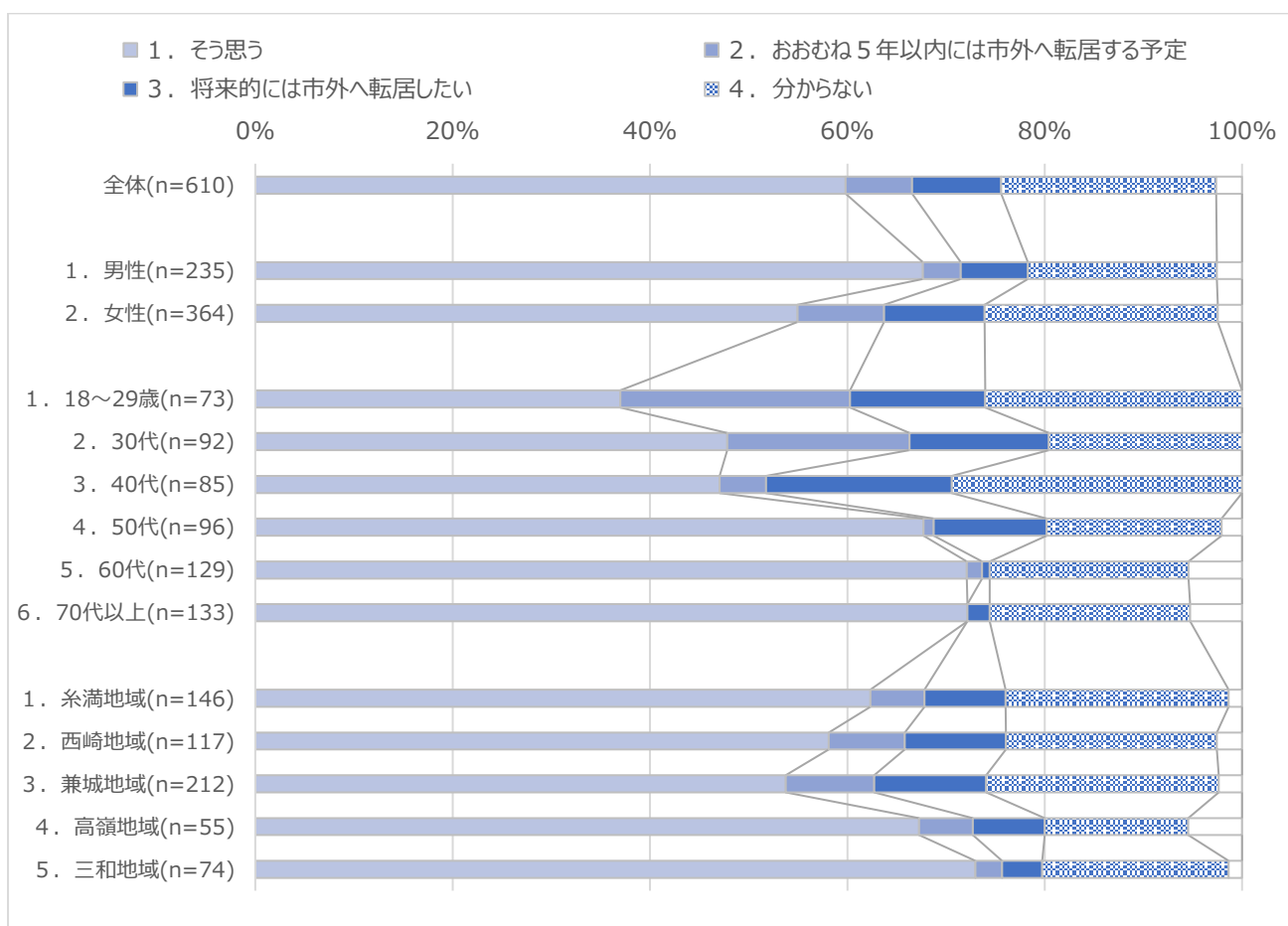


	R1.12 月 (n=526)	R5. 2 月 (n=586)	R6. 2 月 (n=610)
1. そう思う	55.7%	61.3%	59.8%
2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定	11.2%	6.3%	6.7%
3. 将来的には市外へ転居したい	9.5%	10.1%	9.0%
4. 分からない	21.5%	20.6%	21.8%
無回答	2.1%	1.7%	2.6%

男女別では、「1. そう思う」と答えた割合が男性67.7%、女性54.9%と男性が高く、一方で「4. 分からない」と答えた割合が男性19.1%、女性23.6%と女性が高くなっている。

年代別では、18～29才では「1. そう思う」と答えた割合が37.0%(全体59.8%)と他の年代よりも低くなっており、一方で「2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定」23.3%(全体6.7%)と他の年代よりも高くなっている。40代においても、「3. 将来的には市外へ転居したい」18.8%(全体9.0%)と他の年代よりも高くなっている。

地域別では、兼城地域において「2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定」と答えた割合が9.0%(全体6.7%)、「3. 将来的には市外へ転居したい」と答えた割合が11.3%(全体9.0%)と他の地域よりも高くなっている。



	1. そう思う	2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定	3. 将来的には市外へ転居したい	4. 分からない	無回答
全体(n=610)	59.8%	6.7%	9.0%	21.8%	2.6%
1. 男性(n=235)	67.7%	3.8%	6.8%	19.1%	2.6%
2. 女性(n=364)	54.9%	8.8%	10.2%	23.6%	2.5%
1. 18～29歳(n=73)	37.0%	23.3%	13.7%	26.0%	0.0%
2. 30代(n=92)	47.8%	18.5%	14.1%	19.6%	0.0%

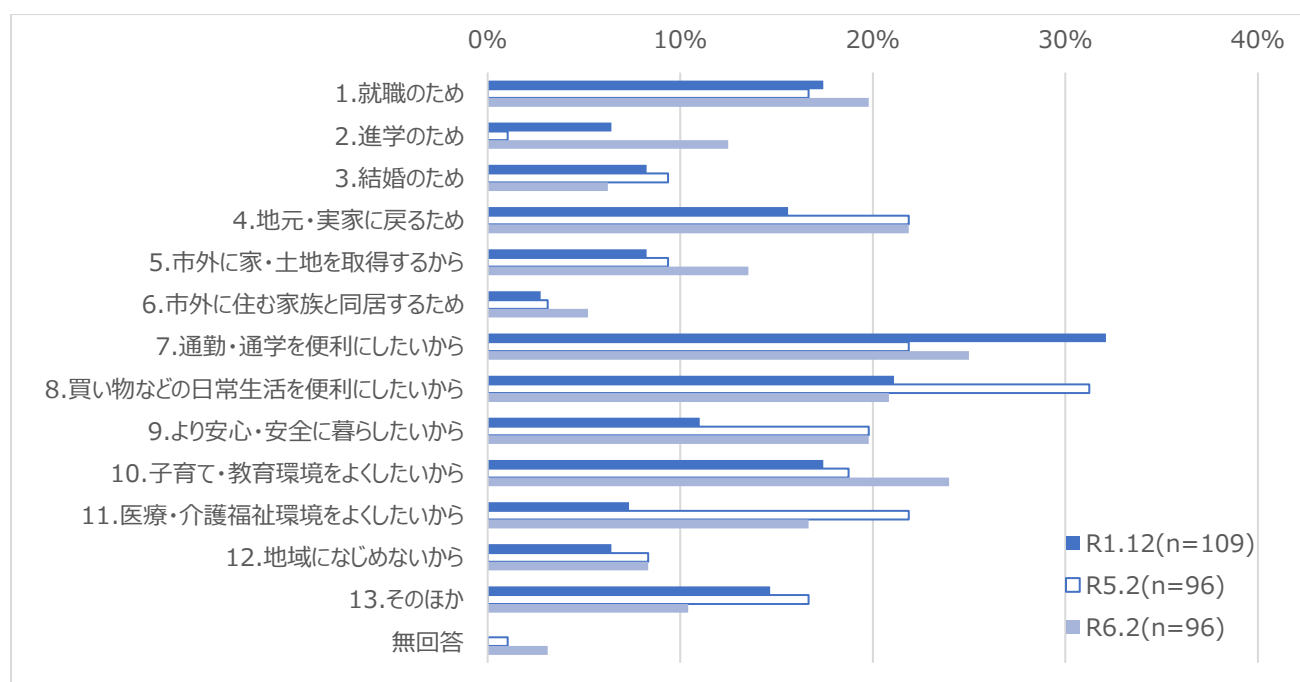
3. 40代(n=85)	47.1%	4.7%	18.8%	29.4%	0.0%
4. 50代(n=96)	67.7%	1.0%	11.5%	17.7%	2.1%
5. 60代(n=129)	72.1%	1.6%	0.8%	20.2%	5.4%
6. 70代以上(n=133)	72.2%	0.0%	2.3%	20.3%	5.3%

1. 糸満地域(n=146)	62.3%	5.5%	8.2%	22.6%	1.4%
2. 西崎地域(n=117)	58.1%	7.7%	10.3%	21.4%	2.6%
3. 兼城地域(n=212)	53.8%	9.0%	11.3%	23.6%	2.4%
4. 高嶺地域(n=55)	67.3%	5.5%	7.3%	14.5%	5.5%
5. 三和地域(n=74)	73.0%	2.7%	4.1%	18.9%	1.4%

問 20.「おおむね5年以内には市外へ転居する予定」、「将来的には市外へ転居したい」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

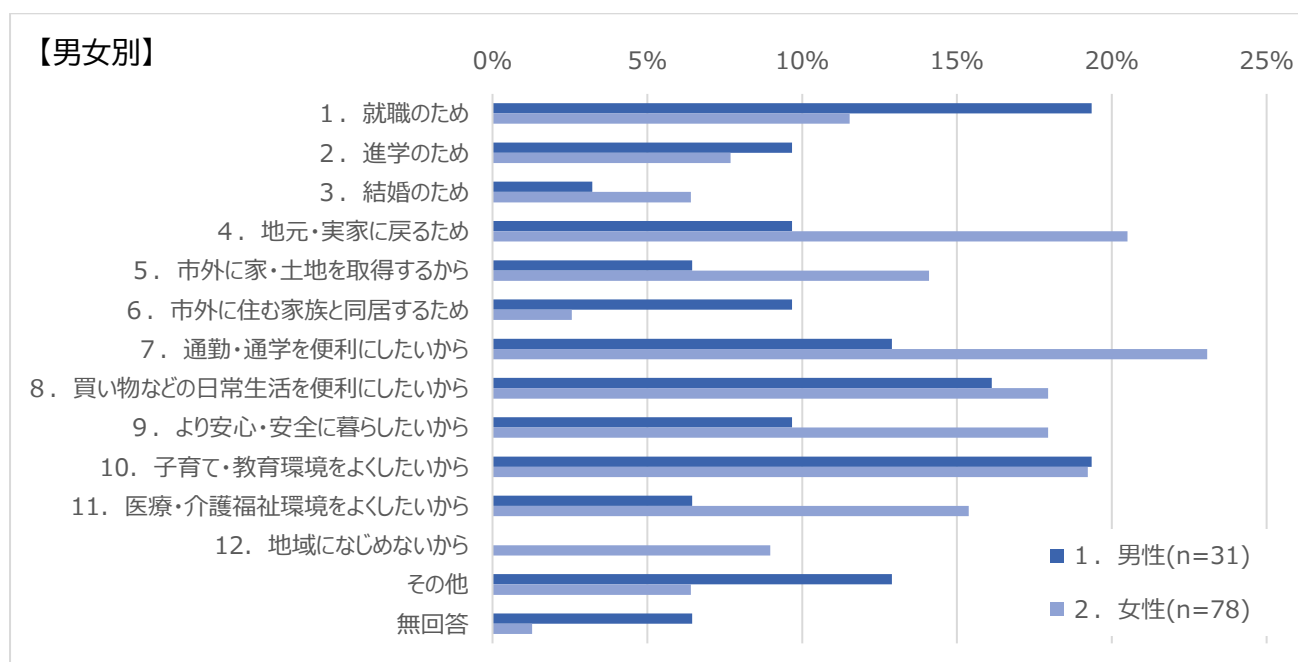
「7.通勤・通学を便利にしたいから」と答えた割合が25.0%と最も高く、次いで「10.子育て・教育環境をよくしたいから」24.0%、「4. 地元・実家に戻るため」21.9%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから」と答えた割合が7.3%から16.7%と9.3%増加している。また、「9.より安心・安全に暮らしたいから」と答えた割合も11.0%から19.8%と8.8%増加、「2.進学のため」と答えた割合も6.4%から12.5%と6.1%増加している。一方で、「7. 通勤・通学を便利にしたいから」と答えた割合は32.1%から25.0%と7.1%低下している。



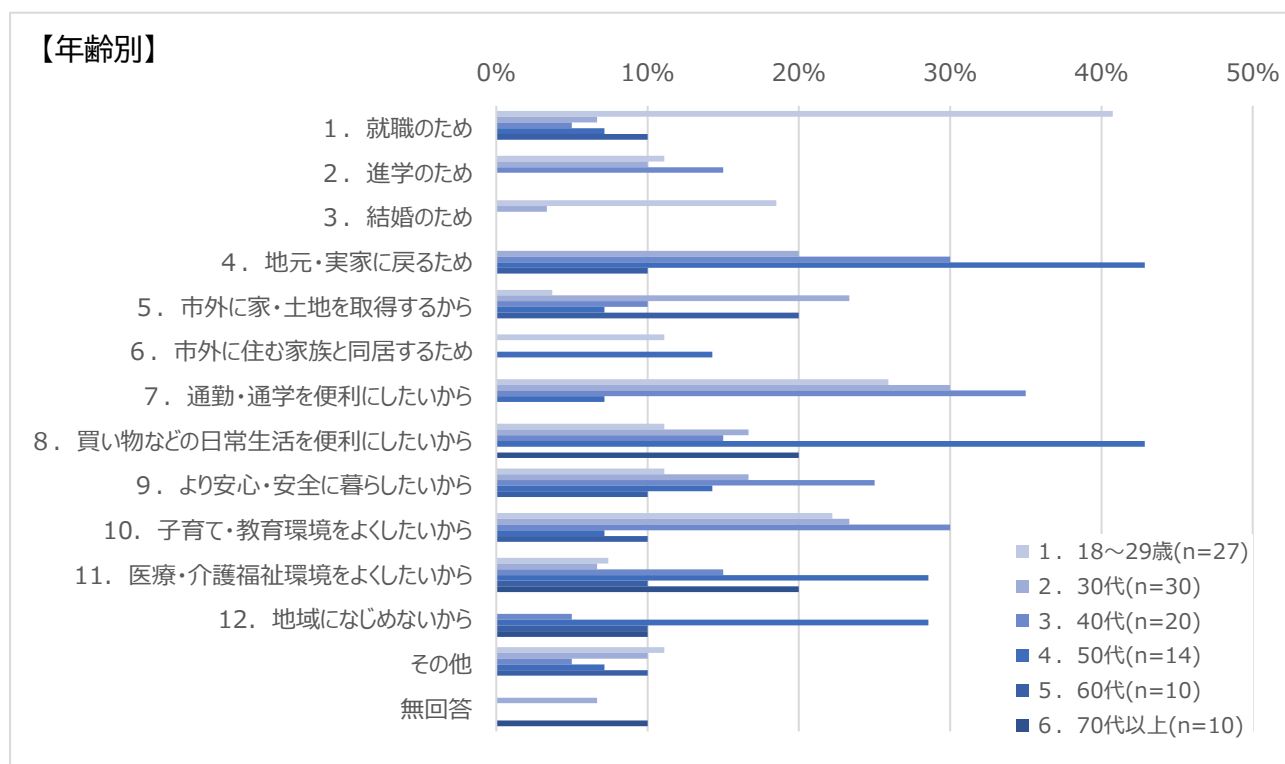
	R1.12月 (n=109)	R5.2月 (n=96)	R6.2月 (n=96)
1. 就職のため	17.4%	16.7%	19.8%
2. 進学のため	6.4%	1.0%	12.5%
3. 結婚のため	8.3%	9.4%	6.3%
4. 地元・実家に戻るため	15.6%	21.9%	21.9%
5. 市外に家・土地を取得するから	8.3%	9.4%	13.5%
6. 市外に住む家族と同居するため	2.8%	3.1%	5.2%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	32.1%	21.9%	25.0%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	21.1%	31.3%	0.8%
9. より安心・安全に暮らしたいから	11.0%	19.8%	19.8%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	17.4%	18.8%	24.0%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	7.3%	21.9%	16.7%
12. 地域になじめないから	6.4%	8.3%	8.3%
13. その他	14.7%	16.7%	10.4%
無回答	0.0%	1.0%	3.1%

男女別では、女性が「7. 通勤・通学を便利にしたいから」と答えた割合23.1%、「4. 地元・実家に戻るため」20.5%、「10. 子育て・教育環境をよくしたいから」19.2%となっている。



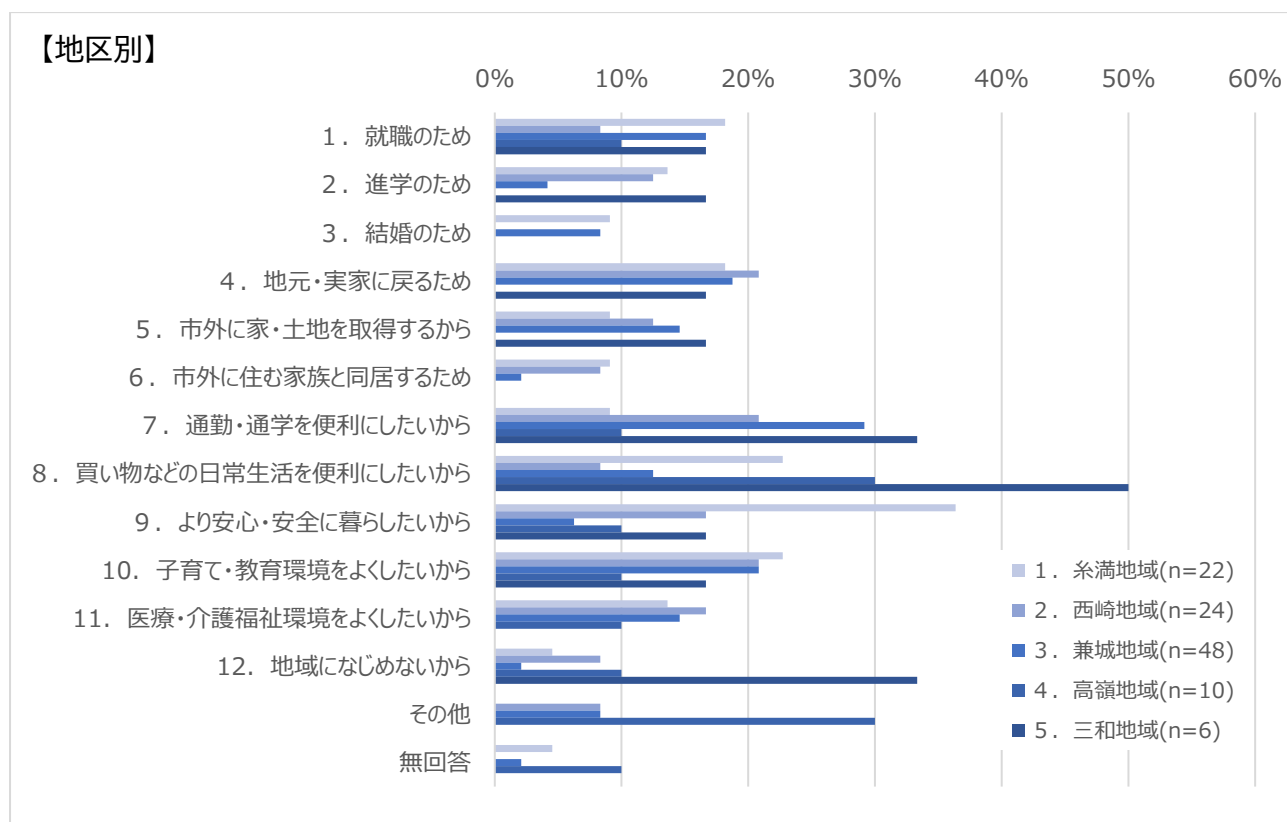
	1. 男性 (n=31)	2. 女性 (n=78)
1. 就職のため	19.4%	11.5%
2. 進学のため	9.7%	7.7%
3. 結婚のため	3.2%	6.4%
4. 地元・実家に戻るため	9.7%	20.5%
5. 市外に家・土地を取得するから	6.5%	14.1%
6. 市外に住む家族と同居するため	9.7%	2.6%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	12.9%	23.1%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	16.1%	17.9%
9. より安心・安全に暮らしたいから	9.7%	17.9%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	19.4%	19.2%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	6.5%	15.4%
12. 地域になじめないから	0.0%	9.0%
13. そのほか	12.9%	6.4%
無回答	6.5%	1.3%

年代別では、各年代のサンプル数が 30 未満となっている点に留意する必要があるが、18～29才では「1. 就職のため」40.7%(全体 17.0%)、「3. 結婚のため」18.5%(全体 5.4%)の項目が他の年代よりも高くなっている。また、40代では「7. 通勤・通学を便利にしたいから」35.0%(全体 21.4%)の項目が他の年代よりも高くなっている。



	1. 18～29歳 (n=27)	2. 30代 (n=30)	3. 40代 (n=20)	4. 50代 (n=14)	5. 60代 (n=10)	6. 70代以上 (n=10)
1. 就職のため	40.7%	6.7%	5.0%	7.1%	10.0%	0.0%
2. 進学のため	11.1%	10.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 結婚のため	18.5%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 地元・実家に戻るため	0.0%	20.0%	30.0%	42.9%	10.0%	0.0%
5. 市外に家・土地を取得するから	3.7%	23.3%	10.0%	7.1%	20.0%	0.0%
6. 市外に住む家族と同居するため	11.1%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	25.9%	30.0%	35.0%	7.1%	0.0%	0.0%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	11.1%	16.7%	15.0%	42.9%	0.0%	20.0%
9. より安心・安全に暮らしたいから	11.1%	16.7%	25.0%	14.3%	10.0%	0.0%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	22.2%	23.3%	30.0%	7.1%	10.0%	0.0%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	7.4%	6.7%	15.0%	28.6%	10.0%	20.0%
12. 地域になじめないから	0.0%	0.0%	5.0%	28.6%	10.0%	10.0%
13. そのほか	11.1%	10.0%	5.0%	7.1%	10.0%	0.0%
無回答	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%

地域別では、兼城地域のサンプル数以外が 50 未満であることに留意する必要があるが、三和地域においては、「7. 通勤・通学を便利にしたいから」と答えた割合が 33.3%(全体21.4%)、「8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから」50.0%(全体 17.9%)と他の地域より高くなっている



	1. 糸満地域(n=22)	2. 西崎地域(n=24)	3. 兼城地域(n=48)	4. 高嶺地域(n=10)	5. 三和地域(n=6)
1. 就職のため	18.2%	8.3%	16.7%	10.0%	16.7%
2. 進学のため	13.6%	12.5%	4.2%	0.0%	16.7%
3. 結婚のため	9.1%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
4. 地元・実家に戻るため	18.2%	20.8%	18.8%	0.0%	16.7%
5. 市外に家・土地を取得するから	9.1%	12.5%	14.6%	0.0%	16.7%
6. 市外に住む家族と同居するため	9.1%	8.3%	2.1%	0.0%	0.0%
7. 通勤・通学を便利にしたいから	9.1%	20.8%	29.2%	10.0%	33.3%
8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから	22.7%	8.3%	12.5%	30.0%	50.0%
9. より安心・安全に暮らしたいから	36.4%	16.7%	6.3%	10.0%	16.7%
10. 子育て・教育環境をよくしたいから	22.7%	20.8%	20.8%	10.0%	16.7%
11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから	13.6%	16.7%	14.6%	10.0%	0.0%
12. 地域になじめないから	4.5%	8.3%	2.1%	10.0%	33.3%
13. そのほか	0.0%	8.3%	8.3%	30.0%	0.0%
無回答	4.5%	0.0%	2.1%	10.0%	0.0%

● 1 3 そのほか

- 夫の転勤のため
- 将来の事を考えたら、もう少し交通の便に良い所が安心かも。
- 仕事の都合上
- 他県へ転勤予定だから
- 転勤のため
- 地元で親が単身生活の為、老後は家族の誰かが側にいる事が望ましいから
- 海に面した地域の為、今後必ず起こると言われる地震が心配。
- 現在が転勤で住んでいるだけだから

◆4. 日ごろの暮らしについてお伺いします。

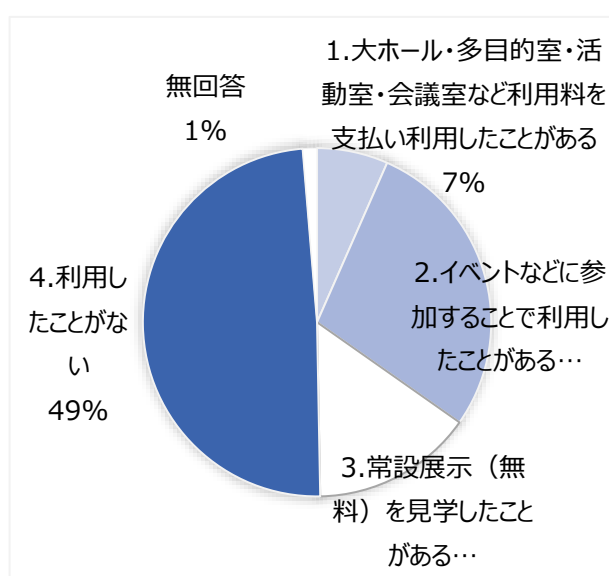
●文化・スポーツ・健康について

問21 観光客の誘客や地域文化の発展を目的として、糸満市観光文化交流拠点施設「シャボン玉石けん くくる糸満」が2022年4月にオープンしました。

「シャボン玉石けん くくる糸満」のことを利用したことがありますか。(1つに○)

「4.利用したことがない」と答えた割合は54.8%、「2. イベントなどに参加することで利用したことがある」と答えた割合が31.5%、「3. 常設展示(無料)を見学したことがある」と答えた割合は16.7%となっている。

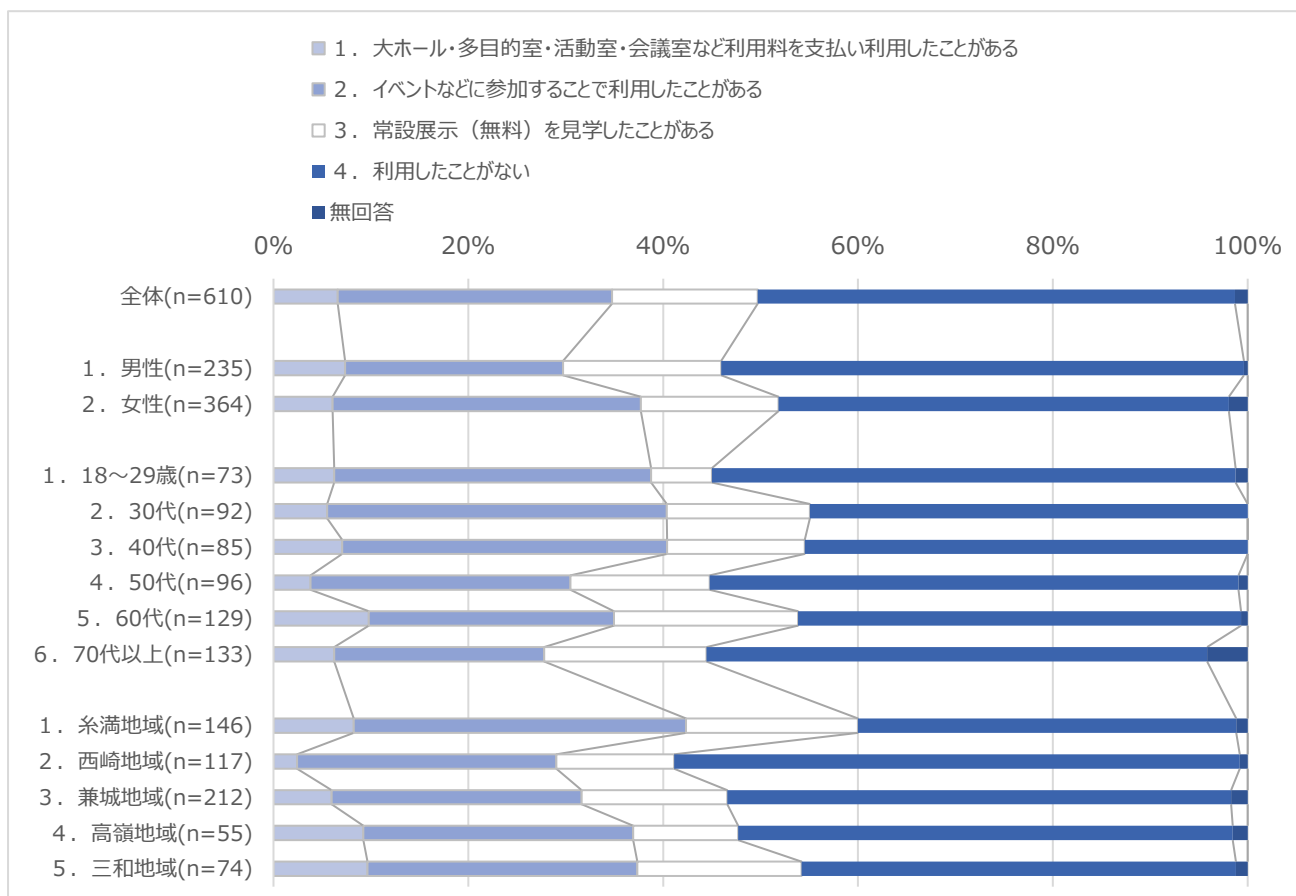
選択項目	回答数	比率
1.大ホール・多目的室・活動室・会議室など利用料を支払い利用したことがある	45	7.4%
2.イベントなどに参加することで利用したことがある	192	31.5%
3.常設展示(無料)を見学したことがある	102	16.7%
4.利用したことがない	334	54.8%
無回答	9	1.5%



男女別では、「4. 利用したことがない」と答えた割合が男性59.1%、女性52.2%と最も高くなっている。

年代別では、「1. 大ホール・多目的室・活動室・会議室など利用料を支払い利用したことがある」と答えた割合が60代10.9%と最も高く、「2. イベントなどに参加することで利用したことがある」と答えた割合は30代が41.3%と最も高くなっている。

地域別では、「1. 大ホール・多目的室・活動室・会議室など利用料を支払い利用したことがある」と答えた割合が高嶺地域で10.9%、三和地区で10.8%と高くなっており、西崎地域で2.6%と最も低くなっている。

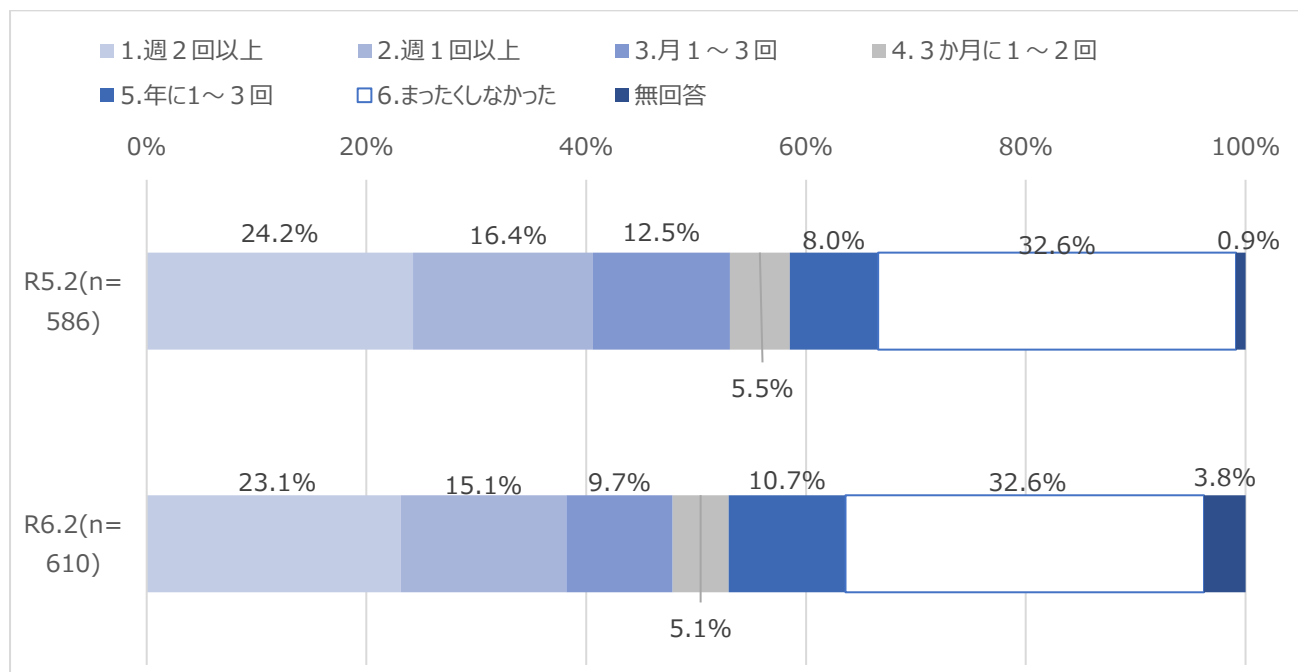


	1. 大ホール・多目的室・活動室・会議室など利用料を支払い利用したことがある	2. イベントなどに参加することで利用したことがある	3. 常設展示(無料)を見学したことがある	4. 利用したことがない	無回答
全体(n=610)	7.4%	31.5%	16.7%	54.8%	1.5%
1. 男性(n=235)	8.1%	24.7%	17.9%	59.1%	0.4%
2. 女性(n=364)	6.9%	35.7%	15.9%	52.2%	2.2%
1. 18～29歳(n=73)	6.8%	35.6%	6.8%	58.9%	1.4%
2. 30代(n=92)	6.5%	41.3%	17.4%	53.3%	0.0%

3. 40代(n=85)	8.2%	38.8%	16.5%	52.9%	0.0%
4. 50代(n=96)	4.2%	29.2%	15.6%	59.4%	1.0%
5. 60代(n=129)	10.9%	27.9%	20.9%	50.4%	0.8%
6. 70代以上(n=133)	6.8%	23.3%	18.0%	55.6%	4.5%
1. 糸満地域(n=146)	9.6%	39.7%	20.5%	45.2%	1.4%
2. 西崎地域(n=117)	2.6%	28.2%	12.8%	61.5%	0.9%
3. 兼城地域(n=212)	6.6%	28.3%	16.5%	57.1%	1.9%
4. 高嶺地域(n=55)	10.9%	32.7%	12.7%	60.0%	1.8%
5. 三和地域(n=74)	10.8%	31.1%	18.9%	50.0%	1.4%

問22. あなたは、過去1年間にどのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか
(一つに○)。

「6. まったくしなかった」と答えた割合が32.6%と最も高く、次いで「1. 週2回以上」23.1%、「2. 週1回程度」15.1%となっている。R5年度と比べて割合に大きな変化はない。

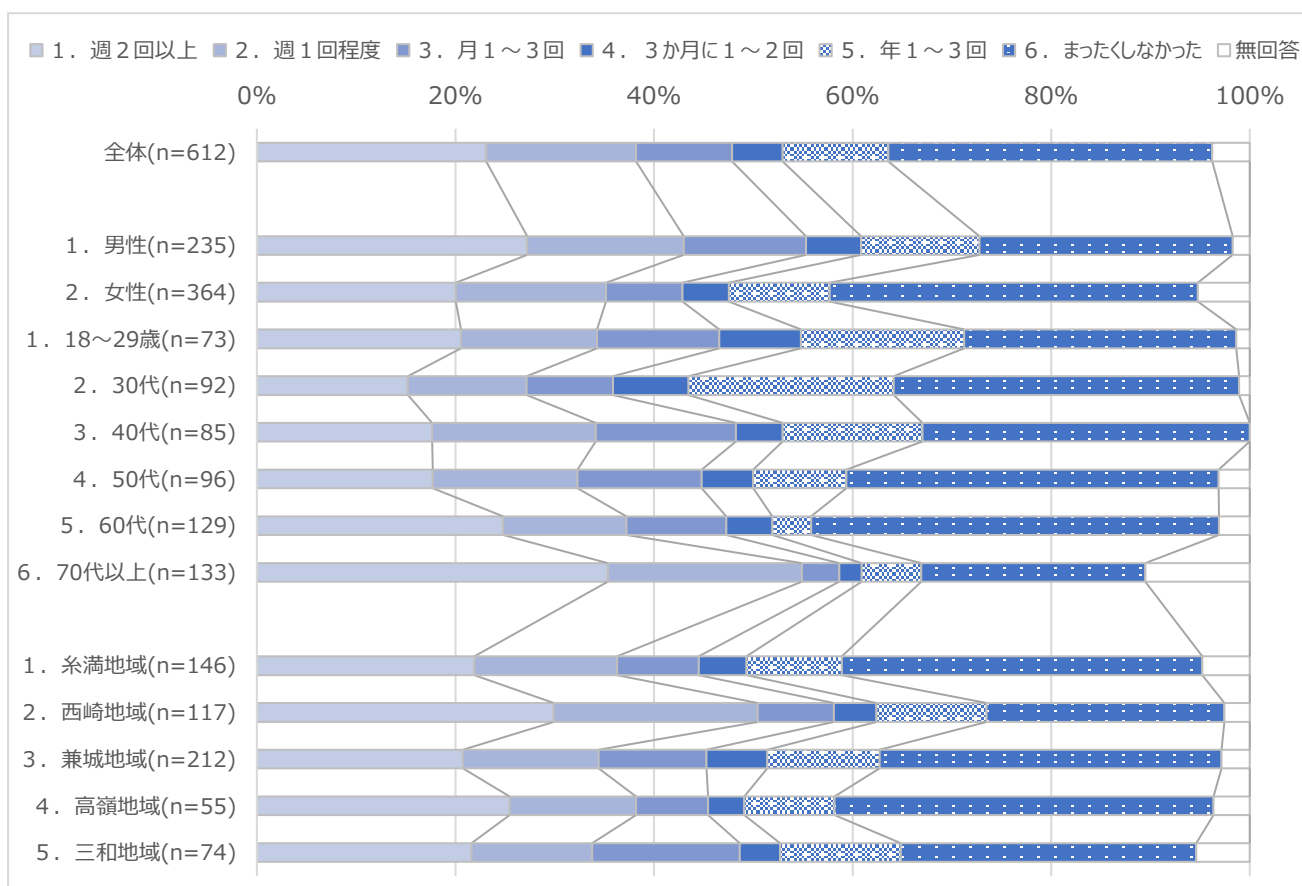


選択項目	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1.週2回以上	24.2%	23.1%
2.週1回以上	16.4%	15.1%
3.月1～3回	12.5%	9.7%
4.3か月に1～2回	5.5%	5.1%
5.年に1～3回	8.0%	10.7%
6.まったくしなかった	32.6%	32.6%
無回答	0.9%	3.8%

男女別では、「6. まったくしなかった」と答えた割合が男性25.5%、女性37.1%と女性の方が高くなっている。そのほかの項目では、女性より男性の方が高くなっている。

年代別では、60代では「6. まったくしなかった」と答えた割合が41.1%(全体32.5%)と他の年代よりも高くなっている。70代では「1. 週2回以上」と答えた割合は35.3%(全体23.0%)、「2. 週1回以上」と答えた割合は19.5%(全体15.0%)と他の年代より高くなっている。30代から50代では、「1. 週2回以上」と答えた割合が低くなっている。

地域別では、「1. 週2回以上」と答えた割合が西崎地域で29.9%(全体23.0%)、「2. 週1回以上」と答えた割合が西崎地域で20.5%(全体15.0%)と他の地域よりも高くなっている。

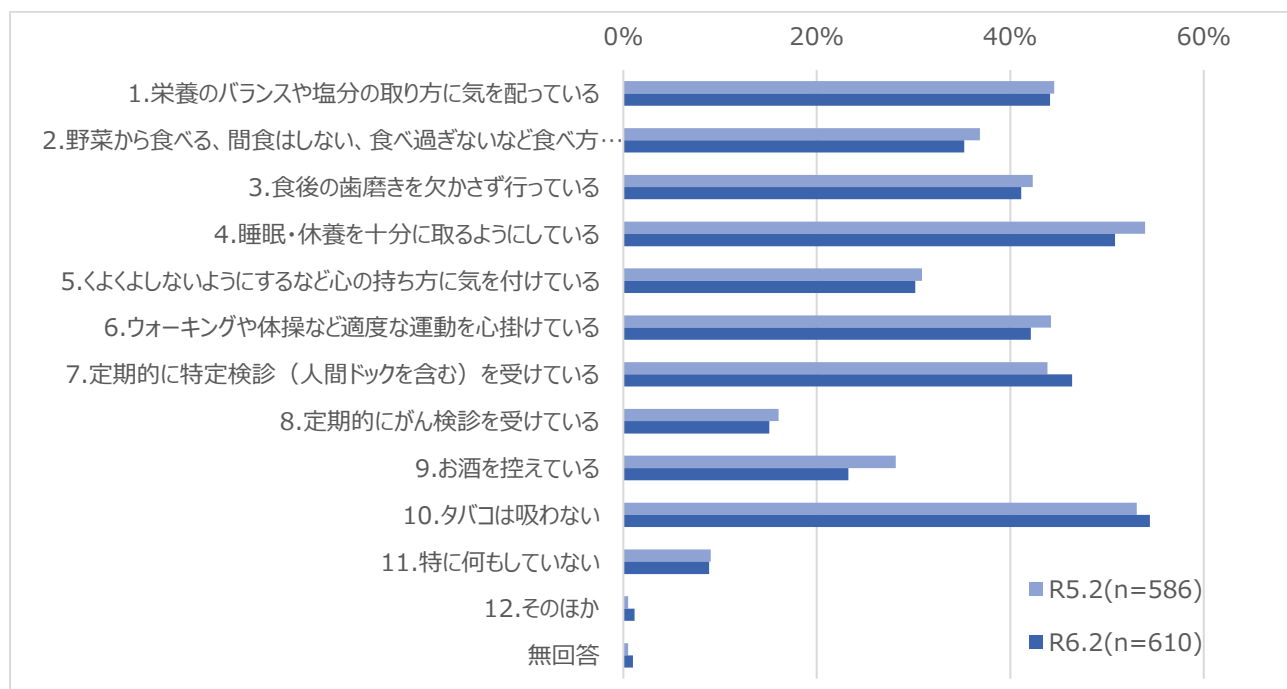


	1. 週2回以上	2. 週1回程度	3. 月1~3回	4. 3か月に1~2回	5. 年1~3回	6. まったくしなかった	無回答
全体(n=612)	23.0%	15.0%	9.6%	5.1%	10.6%	32.5%	3.8%
1. 男性(n=235)	27.2%	15.7%	12.3%	5.5%	11.9%	25.5%	1.7%
2. 女性(n=364)	20.1%	15.1%	7.7%	4.7%	10.2%	37.1%	5.2%
1. 18~29歳(n=73)	20.5%	13.7%	12.3%	8.2%	16.4%	27.4%	1.4%
2. 30代(n=92)	15.2%	12.0%	8.7%	7.6%	20.7%	34.8%	1.1%
3. 40代(n=85)	17.6%	16.5%	14.1%	4.7%	14.1%	32.9%	0.0%
4. 50代(n=96)	17.7%	14.6%	12.5%	5.2%	9.4%	37.5%	3.1%
5. 60代(n=129)	24.8%	12.4%	10.1%	4.7%	3.9%	41.1%	3.1%
6. 70代以上(n=133)	35.3%	19.5%	3.8%	2.3%	6.0%	22.6%	10.5%
1. 糸満地域(n=146)	29.9%	20.5%	12.3%	5.5%	11.9%	25.5%	1.7%
2. 西崎地域(n=117)	29.9%	20.5%	12.3%	5.5%	11.9%	25.5%	1.7%
3. 兼城地域(n=212)	20.1%	15.1%	7.7%	4.7%	10.2%	37.1%	5.2%
4. 高嶺地域(n=55)	20.5%	13.7%	12.3%	8.2%	16.4%	27.4%	1.4%
5. 三和地域(n=74)	15.2%	12.0%	8.7%	7.6%	20.7%	34.8%	1.1%

1. 糸満地域(n=146)	21.9%	14.4%	8.2%	4.8%	9.6%	36.3%	4.8%
2. 西崎地域(n=117)	29.9%	20.5%	7.7%	4.3%	11.1%	23.9%	2.6%
3. 兼城地域(n=212)	20.8%	13.7%	10.8%	6.1%	11.3%	34.4%	2.8%
4. 高嶺地域(n=55)	25.5%	12.7%	7.3%	3.6%	9.1%	38.2%	3.6%
5. 三和地域(n=74)	21.6%	12.2%	14.9%	4.1%	12.2%	29.7%	5.4%

問23. あなたは、健康のために何か心掛けていることはありますか。
(当てはまるものすべてに○)

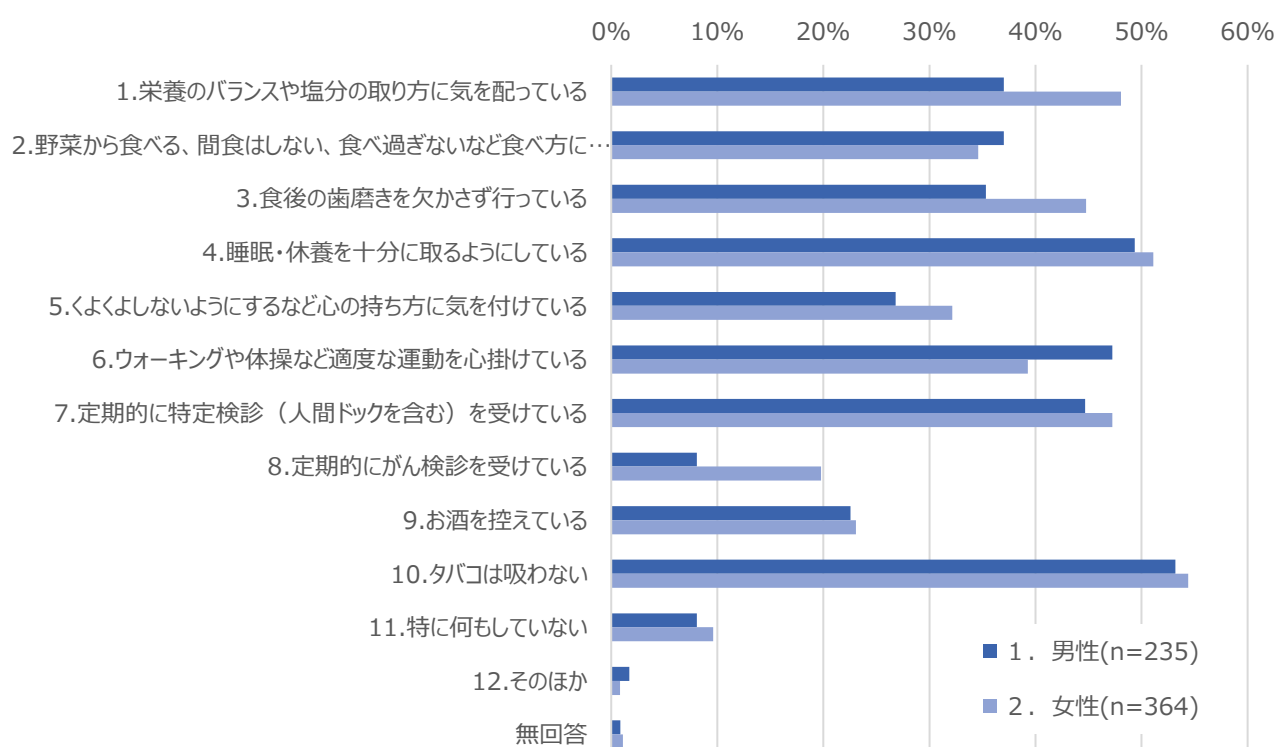
「10. タバコは吸わない」と答えた割合が54.4%と最も高く、次いで「4. 睡眠・休養を十分取るようにしている」50.8%、「7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている」46.4%、「1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている」44.1%、「6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている」42.1%となっている。



選択項目	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	44.5%	44.1%
2. 野菜から食べる、間食はしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	36.9%	35.2%
3. 食後の歯磨きを欠かさず行っている	42.3%	41.1%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	53.9%	50.8%
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	30.9%	30.2%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	44.2%	42.1%
7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている	43.9%	46.4%
8. 定期的ながん検診を受けている	16.0%	15.1%
9. お酒を控えている	28.2%	23.3%
10. タバコは吸わない	53.1%	54.4%
11. 特に何もしていない	9.0%	8.9%
12. そのほか	0.5%	1.1%
無回答	0.5%	1.0%

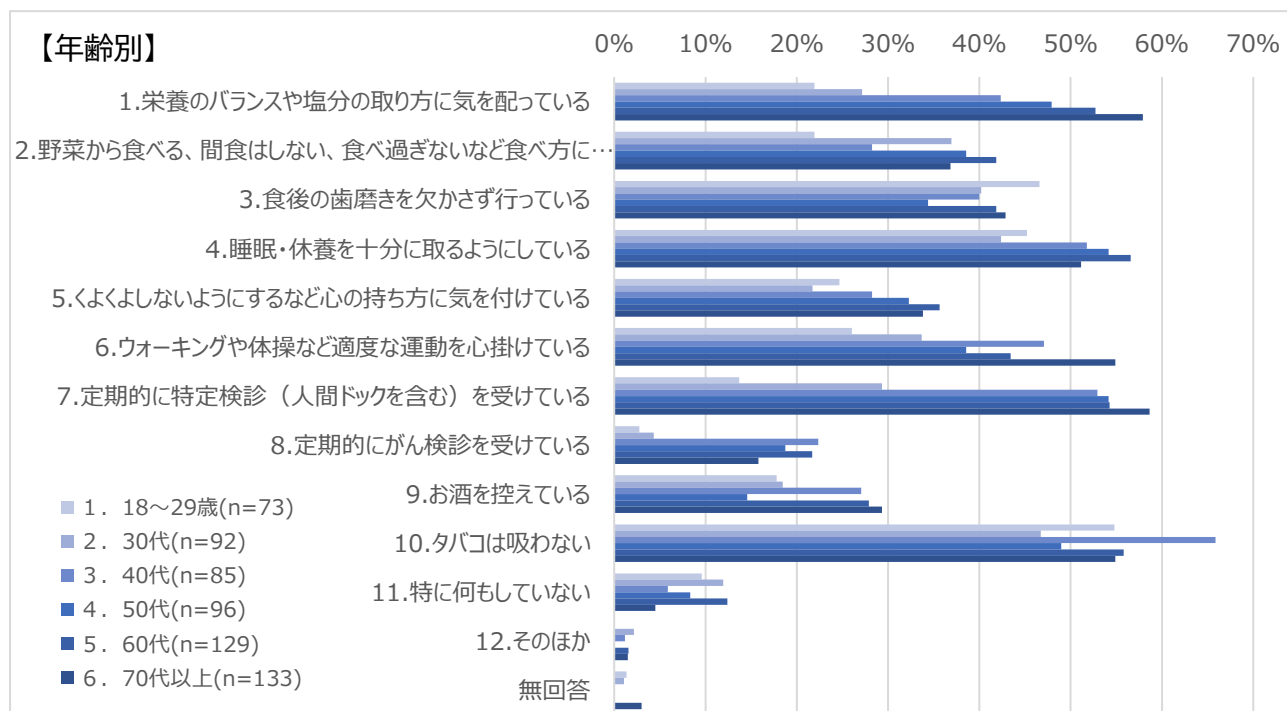
男女別では、「2.野菜から食べる、間食はしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている」、「6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている」と答えた割合が男性の方が高くなっている。それ以外の項目では、女性の方が高くなっている。

【男女別】



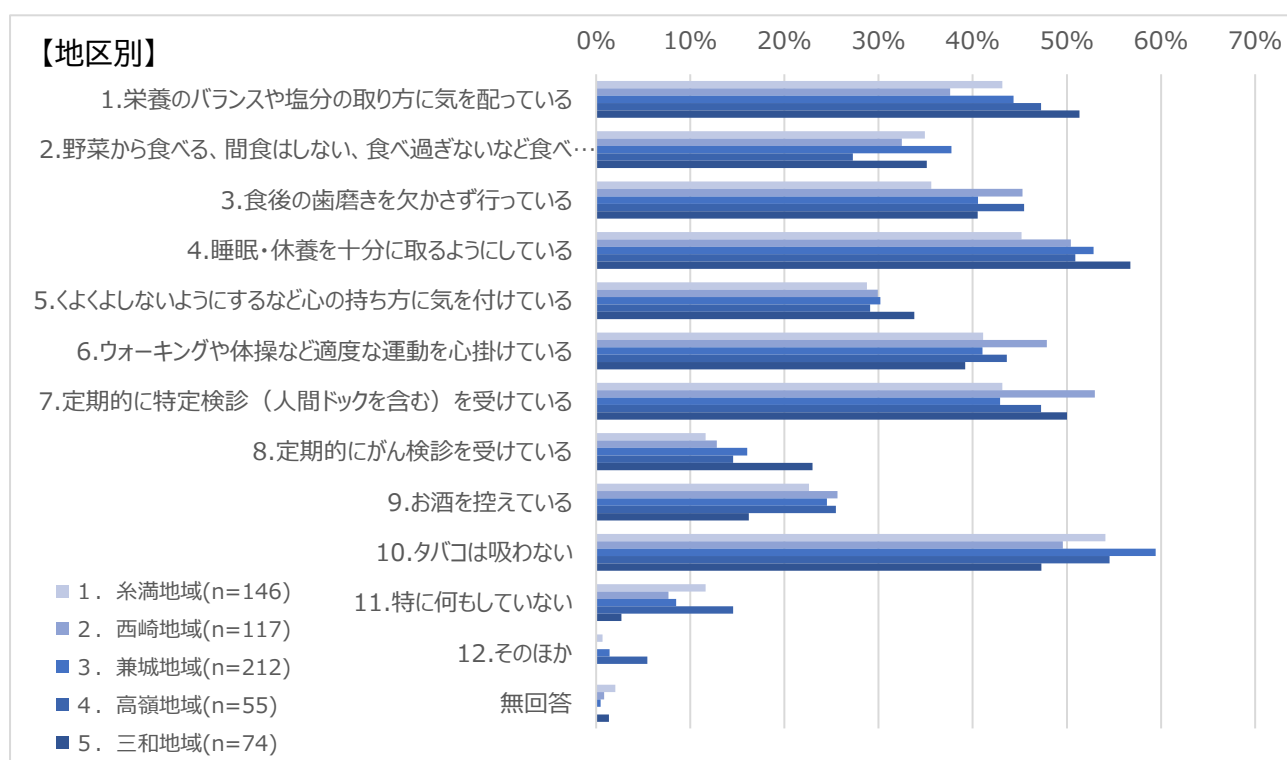
	1. 男性 (n=235)	2. 女性 (n=364)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	37.0%	48.1%
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	37.0%	34.6%
3. 食後の歯磨きを励行している	35.3%	44.8%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	49.4%	51.1%
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	26.8%	32.1%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	47.2%	39.3%
7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている	44.7%	47.3%
8. 定期的ながん検診を受けている	8.1%	19.8%
9. お酒を控えている	22.6%	23.1%
10. タバコは吸わない	53.2%	54.4%
11. 特に何もしていない	8.1%	9.6%
12. そのほか	1.7%	0.8%
無回答	0.9%	1.1%

年代別では、「7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている」と答えた割合が18～29才では13.7%、30代でも29.3%(全体46.4%)と、他の年代に比べて低くなっている。また、18～29才では「1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている」と答えた割合が21.9%(全体44.1%)、「2. 野菜から食べる、間食はしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている」21.9%(全体35.2%)、「8. 定期的にがん検診を受けている」2.7%(全体15.1%)と他の年代に比べて低くなっている。



	1. 18～29歳(n=73)	2. 30代(n=92)	3. 40代(n=85)	4. 50代(n=96)	5. 60代(n=129)	6. 70代以上(n=133)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	21.9%	27.2%	42.4%	47.9%	52.7%	57.9%
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	21.9%	37.0%	28.2%	38.5%	41.9%	36.8%
3. 食後の歯磨きを励行している	46.6%	40.2%	40.0%	34.4%	41.9%	42.9%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	45.2%	42.4%	51.8%	54.2%	56.6%	51.1%
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	24.7%	21.7%	28.2%	32.3%	35.7%	33.8%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	26.0%	33.7%	47.1%	38.5%	43.4%	54.9%
7. 定期的に特定健診(人間ドックを含む)を受けている	13.7%	29.3%	52.9%	54.2%	54.3%	58.6%
8. 定期的にがん検診を受けている	2.7%	4.3%	22.4%	18.8%	21.7%	15.8%
9. お酒を控えている	17.8%	18.5%	27.1%	14.6%	27.9%	29.3%
10. タバコは吸わない	54.8%	46.7%	65.9%	49.0%	55.8%	54.9%
11. 特に何もしていない	9.6%	12.0%	5.9%	8.3%	12.4%	4.5%
12. そのほか	0.0%	2.2%	1.2%	0.0%	1.6%	1.5%
無回答	1.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%

地域別では、三和地域で「1.栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている」と答えた割合が 51.4%、兼城地域で「2.野菜から食べる、間食はしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている」が 35.1%と他の地域と比べて高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地域 (n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている	43.2%	37.6%	44.3%	47.3%	51.4%
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている	34.9%	32.5%	37.7%	27.3%	35.1%
3. 食後の歯磨きを励行している	35.6%	45.3%	40.6%	45.5%	40.5%
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている	45.2%	50.4%	52.8%	50.9%	56.8%
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている	28.8%	29.9%	30.2%	29.1%	33.8%
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている	41.1%	47.9%	41.0%	43.6%	39.2%
7. 定期的に特定健診（人間ドックを含む）を受けている	43.2%	53.0%	42.9%	47.3%	50.0%
8. 定期的ながん検診を受けている	11.6%	12.8%	16.0%	14.5%	23.0%
9. お酒を控えている	22.6%	25.6%	24.5%	25.5%	16.2%
10. タバコは吸わない	54.1%	49.6%	59.4%	54.5%	47.3%
11. 特に何もしていない	11.6%	7.7%	8.5%	14.5%	2.7%
12. そのほか	0.7%	0.0%	1.4%	5.5%	0.0%
無回答	2.1%	0.9%	0.5%	0.0%	1.4%

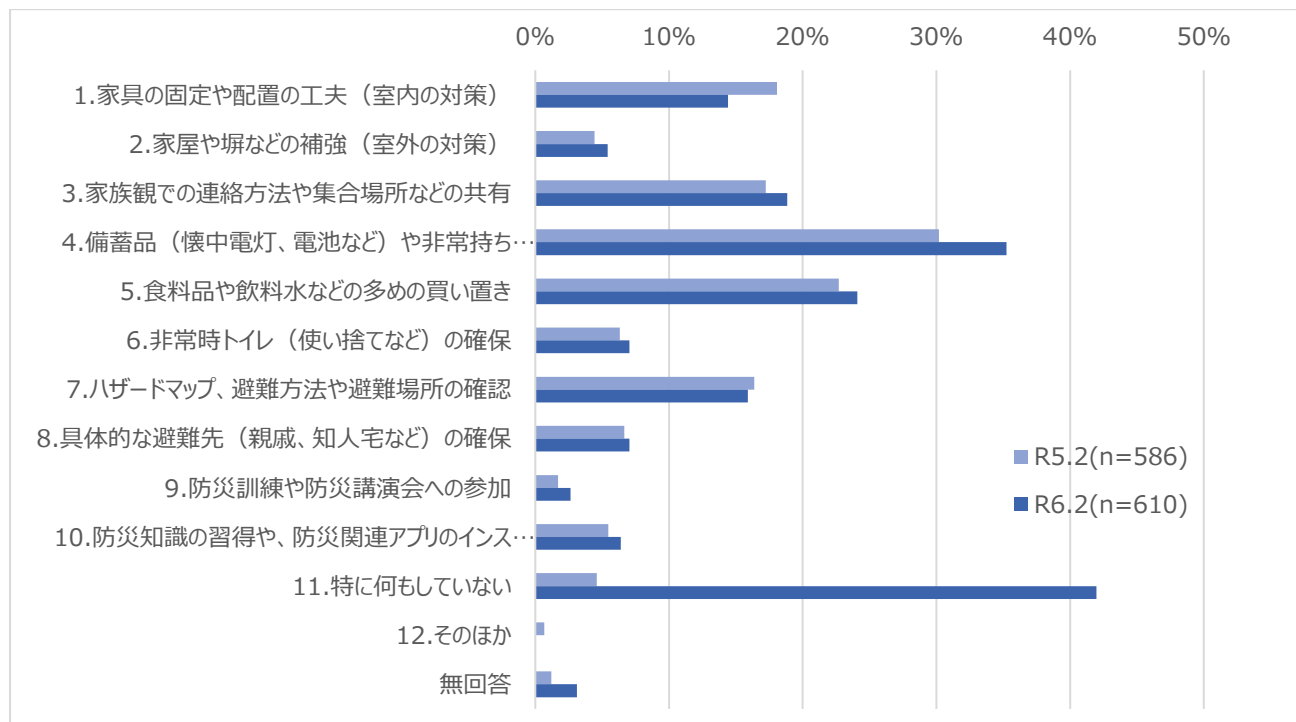
●12. そのほか

- 市の健診に
- 食事作り(野菜中心)家事を全力でやる
- 毎日 3 食 食事を取るようになっている(食費不足)
- 母親の介護でストレスがたまっている。
- ストレスフリーな生き方をする
- お酒を全く飲まない
- サプリや自炊をするようになっている

●災害への備えについて

問24. あなたは、災害に備えてどのような対策をしていますか。(当てはまるものすべてに○)

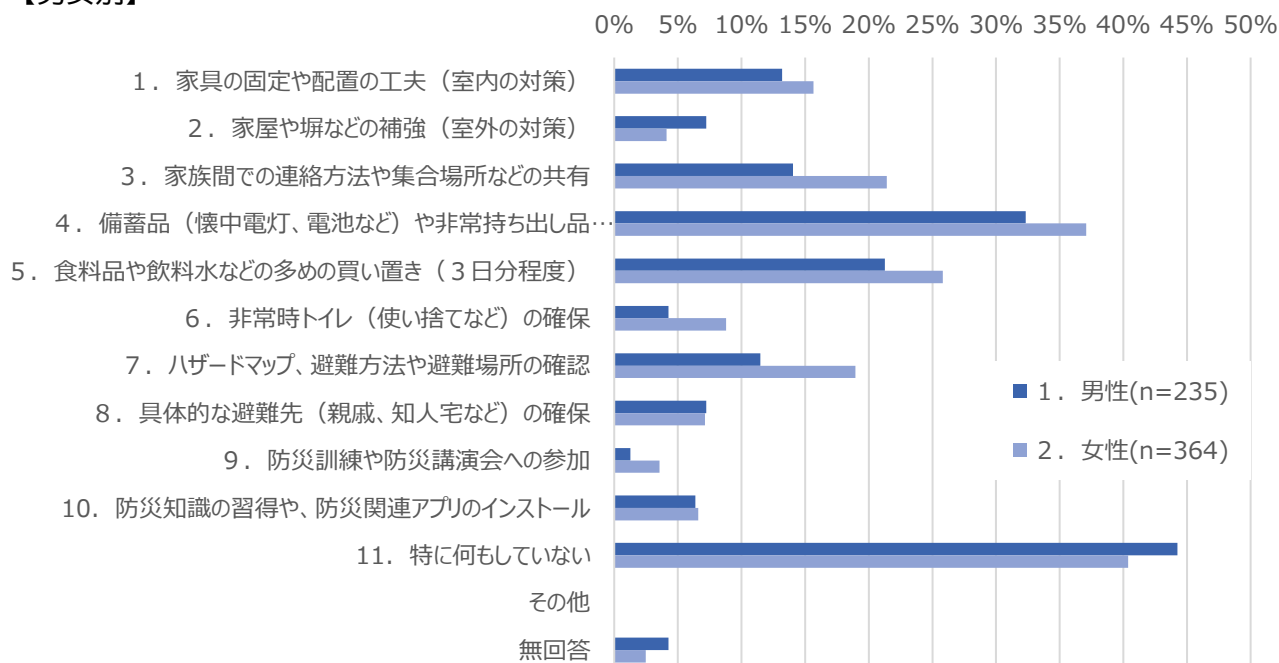
「11.特に何もしていない」と答えた割合が42.0%と最も高く、次いで「4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備」35.2%、「5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)」24.1%となっている。



	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	18.1%	14.4%
2. 家屋や塀などの補強(室外の対策)	4.4%	5.4%
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	17.2%	18.9%
4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	30.2%	35.2%
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	22.7%	24.1%
6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	6.3%	7.0%
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	16.4%	15.9%
8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	6.7%	7.0%
9. 防災訓練や防災講演会への参加	1.7%	2.6%
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	5.5%	6.4%
11. 特に何もしていない	4.6%	42.0%
12. その他	0.7%	0.0%
無回答	1.2%	3.1%

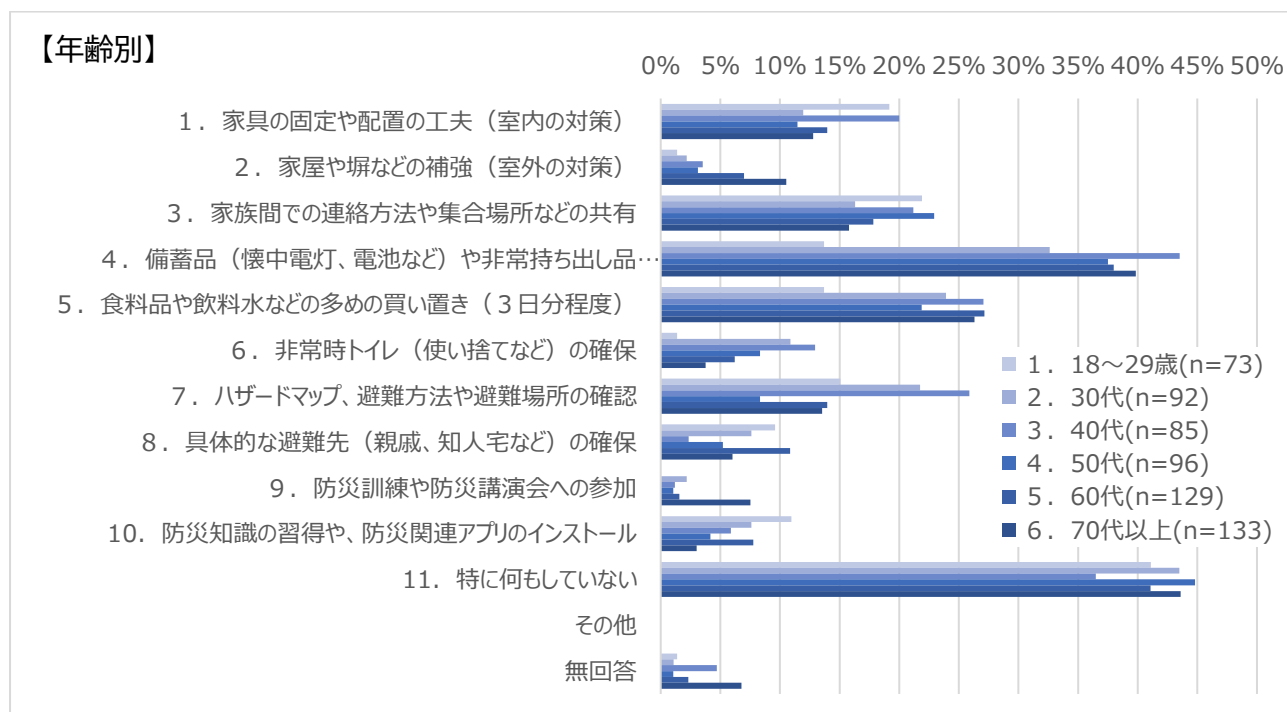
男女別では、「11.特に何もしていない」と答えた割合が男性 44.3%、女性40.4%と男性が高くなっている。一方で、「5.食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)」と答えた割合は男性 21.3%、女性25.8%、「3.家族間での連絡方法や集合場所などの共有」と答えた割合は男性14.0%、女性21.4%と、女性が高くなっている。

【男女別】



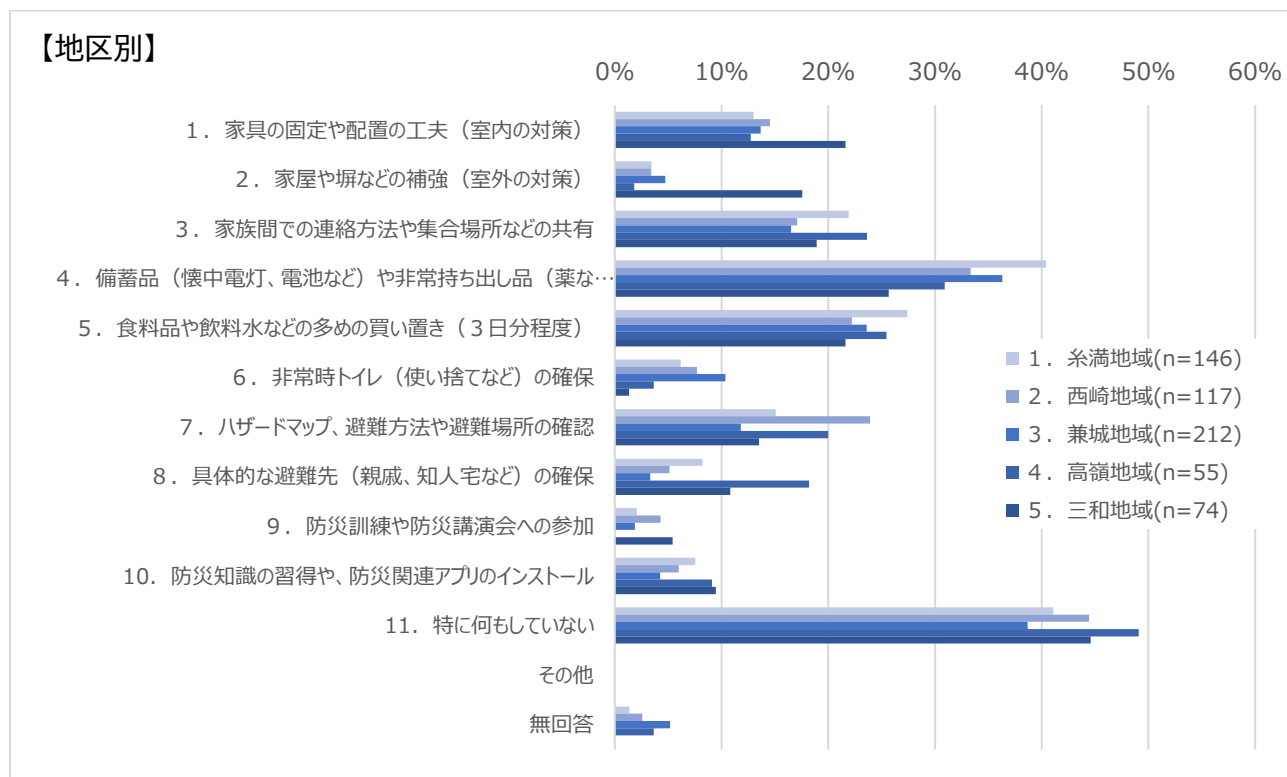
	1. 男性 (n=235)	2. 女性 (n=364)
1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	13.2%	15.7%
2. 家屋や塀などの補強(室外の対策)	7.2%	4.1%
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	14.0%	21.4%
4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	32.3%	37.1%
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	21.3%	25.8%
6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	4.3%	8.8%
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	11.5%	19.0%
8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	7.2%	7.1%
9. 防災訓練や防災講演会への参加	1.3%	3.6%
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	6.4%	6.6%
11. 特に何もしていない	44.3%	40.4%
12. そのほか	0.0%	0.0%
無回答	4.3%	2.5%

年代別では、40代以外の年代で「11.特に何もしていない」と答えた割合が一番高かった。70代以外の年代で「9.防災訓練や防災講演会への参加」と答えた割合が一番低かった。また、70代以上において「10.防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール」と答えた割合が3.0%(全体6.4%)と最も低かった。40代においては「4.備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備」と答えた割合が43.5%(全体35.2%)と一番高かった。



	1. 18~29歳(n=73)	2. 30代(n=92)	3. 40代(n=85)	4. 50代(n=96)	5. 60代(n=129)	6. 70代以上(n=133)
1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	19.2%	12.0%	20.0%	11.5%	14.0%	12.8%
2. 家屋や塀などの補強(室外の対策)	1.4%	2.2%	3.5%	3.1%	7.0%	10.5%
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	21.9%	16.3%	21.2%	22.9%	17.8%	15.8%
4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	13.7%	32.6%	43.5%	37.5%	38.0%	39.8%
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	13.7%	23.9%	27.1%	21.9%	27.1%	26.3%
6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	1.4%	10.9%	12.9%	8.3%	6.2%	3.8%
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	15.1%	21.7%	25.9%	8.3%	14.0%	13.5%
8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	9.6%	7.6%	2.4%	5.2%	10.9%	6.0%
9. 防災訓練や防災講演会への参加	0.0%	2.2%	1.2%	1.0%	1.6%	7.5%
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	11.0%	7.6%	5.9%	4.2%	7.8%	3.0%
11. 特に何もしていない	41.1%	43.5%	36.5%	44.8%	41.1%	43.6%
12. その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1.4%	1.1%	4.7%	1.0%	2.3%	6.8%

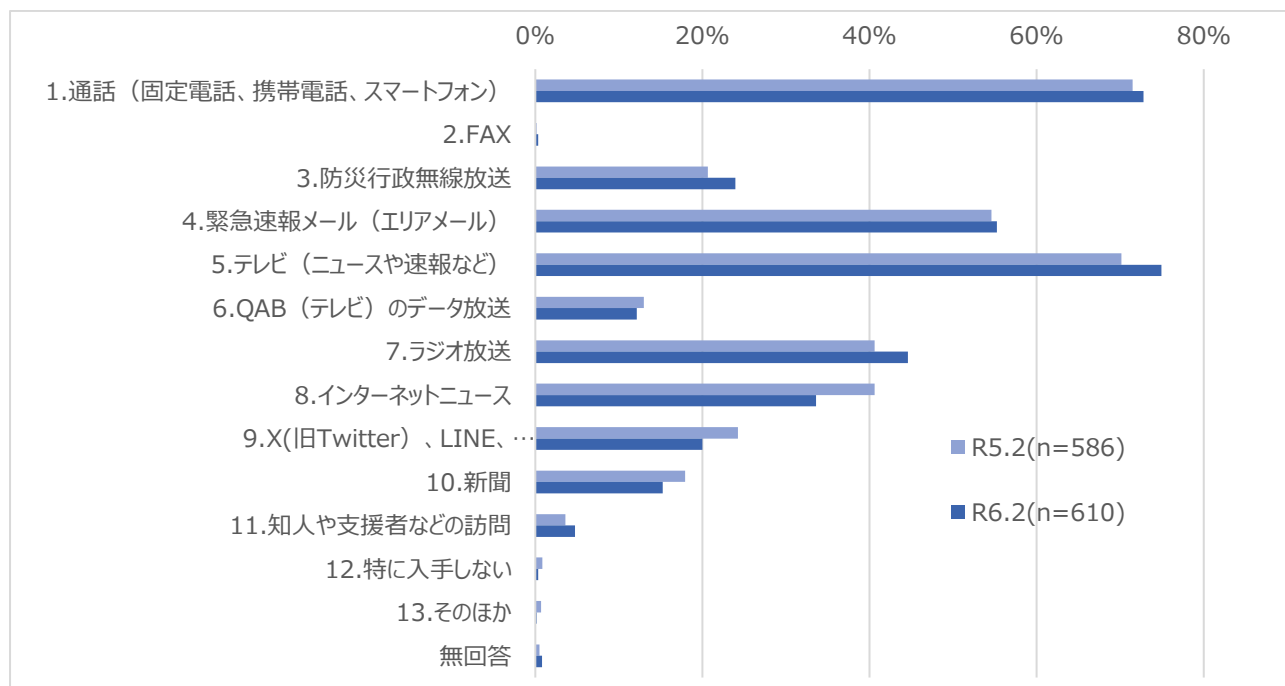
地域別では、糸満地域において「4. 備蓄品（懐中電灯、電池など）や非常持ち出し品（薬など）の準備」と答えた割合が40.4%（全体35.2%）と他の地域より高くなっている。また、高嶺地域において「8. 具体的な避難先（親戚、知人など）の確保」と答えた割合が18.2%（全体7.0%）と他の地域よりも高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地域 (n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1. 家具の固定や配置の工夫(室内の対策)	13.0%	14.5%	13.7%	12.7%	21.6%
2. 家屋や塀などの補強(室外の対策)	3.4%	3.4%	4.7%	1.8%	17.6%
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有	21.9%	17.1%	16.5%	23.6%	18.9%
4. 備蓄品(懐中電灯、電池など)や非常持ち出し品(薬など)の準備	40.4%	33.3%	36.3%	30.9%	25.7%
5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き(3日分程度)	27.4%	22.2%	23.6%	25.5%	21.6%
6. 非常時トイレ(使い捨てなど)の確保	6.2%	7.7%	10.4%	3.6%	1.4%
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認	15.1%	23.9%	11.8%	20.0%	13.5%
8. 具体的な避難先(親戚、知人など)の確保	8.2%	5.1%	3.3%	18.2%	10.8%
9. 防災訓練や防災講演会への参加	2.1%	4.3%	1.9%	0.0%	5.4%
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール	7.5%	6.0%	4.2%	9.1%	9.5%
11. 特に何もしていない	41.1%	44.4%	38.7%	49.1%	44.6%
12. その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1.4%	2.6%	5.2%	3.6%	0.0%

問25. あなたは、災害が発生または発生の恐れがある場合、どのような手段で災害情報入手しますか。(当てはまるものすべてに○)

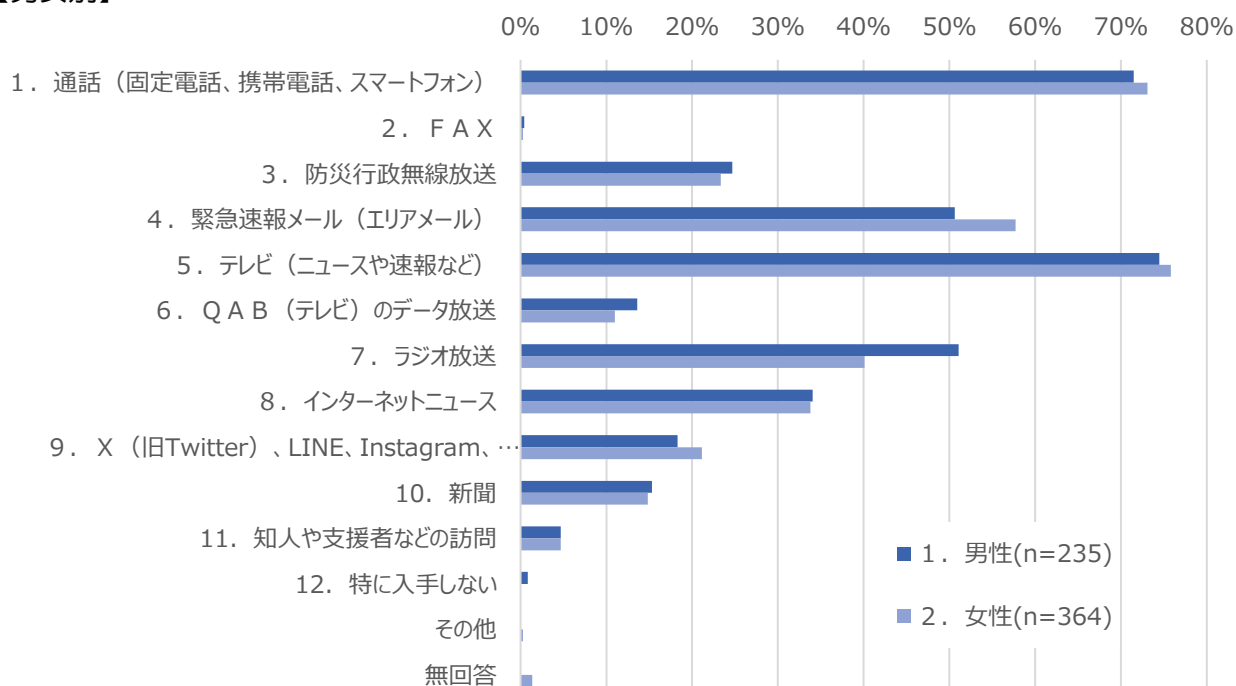
「5. テレビ(ニュースや速報など)」と答えた割合が74. 9%と最も高く、次いで「1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)」72. 8%、「4. 緊急速報メール(エリアメール)」55. 2%となっている。



	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)	71.5%	72.8%
2. FAX	0.2%	0.3%
3. 防災行政無線放送	20.6%	23.9%
4. 緊急速報メール(エリアメール)	54.6%	55.2%
5. テレビ(ニュースや速報など)	70.1%	74.9%
6. QAB(テレビ)のデータ放送	13.0%	12.1%
7. ラジオ放送	40.6%	44.6%
8. インターネットニュース	40.6%	33.6%
9. Twitter、LINE、Instagram、Facebook などのSNS	24.2%	20.0%
10. 新聞	17.9%	15.2%
11. 知人や支援者などの訪問	3.6%	4.8%
12. 特に入手しない	0.9%	0.3%
13. そのほか	0.7%	0.2%
無回答	0.5%	0.8%

男女別では、「4. 緊急速報メール(エリアメール)」と答えた割合が男性 50.6%、女性57.7%と女性が高くなっている。また、「1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)」と答えた割合も男性 71.5%、女性73.1%、「5. テレビ(ニュースや速報など)」と答えた割合も男性 74.5%、女性75.8%と女性が高くなっている。一方で、「10. 新聞」と答えた割合は男性 15.3%、女性14.8%と男性が高くなっている。

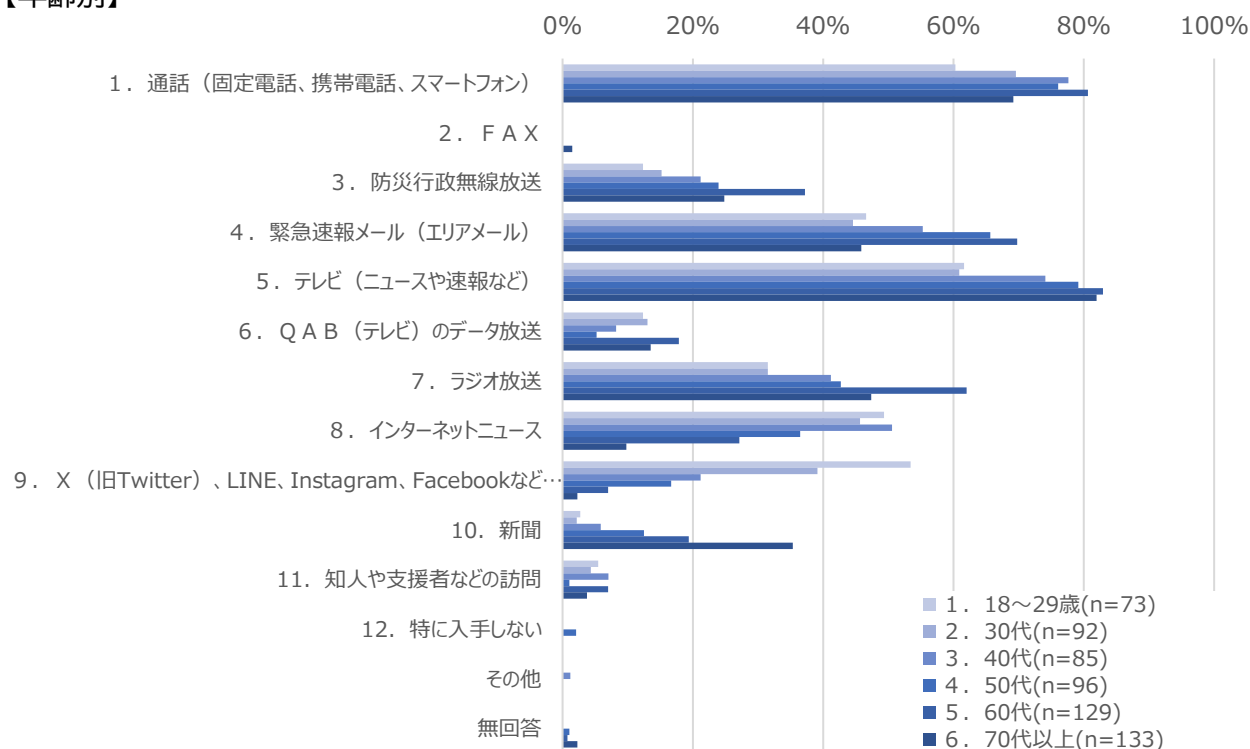
【男女別】



	1. 男性 (n=235)	2. 女性 (n=364)
1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)	71.5%	73.1%
2. FAX	0.4%	0.3%
3. 防災行政無線放送	24.7%	23.4%
4. 緊急速報メール(エリアメール)	50.6%	57.7%
5. テレビ(ニュースや速報など)	74.5%	75.8%
6. QAB(テレビ)のデータ放送	13.6%	11.0%
7. ラジオ放送	51.1%	40.1%
8. インターネットニュース	34.0%	33.8%
9. Twitter、LINE、Instagram、Facebook などのSNS	18.3%	21.2%
10. 新聞	15.3%	14.8%
11. 知人や支援者などの訪問	4.7%	4.7%
12. 特に入手しない	0.9%	0.0%
13. そのほか	0.0%	0.3%
無回答	0.0%	1.4%

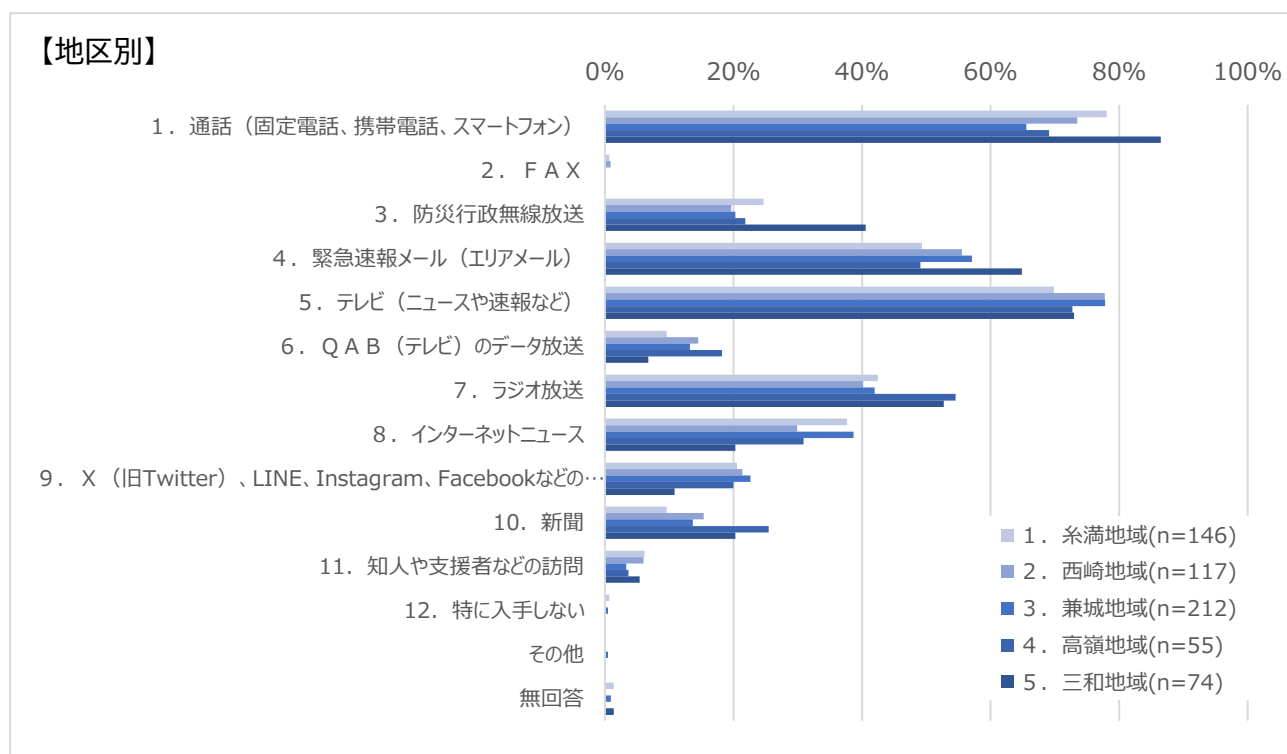
年代別では、18～29才においては「9.X(旧 Twitter)、LINE、Instagram、Facebook などの SNS」と答えた割合が 53.4%(全体 20.0%)と他の年代よりも高くなっている。60 代以上で「8.インターネットニュース」、「9.X(旧 Twitter)、LINE、Instagram、Facebook などの SNS」と答えた割合が他の年代と比べても極端に低くなっている。

【年齢別】



	1. 18～29歳 (n=73)	2. 30代 (n=92)	3. 40代 (n=85)	4. 50代 (n=96)	5. 60代 (n=129)	6. 70代以上 (n=133)
1. 通話 (固定電話、携帯電話、スマートフォン)	60.3%	69.6%	77.6%	76.0%	80.6%	69.2%
2. FAX	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
3. 防災行政無線放送	12.3%	15.2%	21.2%	24.0%	37.2%	24.8%
4. 緊急速報メール (エリアメール)	46.6%	44.6%	55.3%	65.6%	69.8%	45.9%
5. テレビ (ニュースや速報など)	61.6%	60.9%	74.1%	79.2%	82.9%	82.0%
6. QAB (テレビ) のデータ放送	12.3%	13.0%	8.2%	5.2%	17.8%	13.5%
7. ラジオ放送	31.5%	31.5%	41.2%	42.7%	62.0%	47.4%
8. インターネットニュース	49.3%	45.7%	50.6%	36.5%	27.1%	9.8%
9. Twitter、LINE、Instagram、Facebook などの SNS	53.4%	39.1%	21.2%	16.7%	7.0%	2.3%
10. 新聞	2.7%	2.2%	5.9%	12.5%	19.4%	35.3%
11. 知人や支援者などの訪問	5.5%	4.3%	7.1%	1.0%	7.0%	3.8%
12. 特に入手しない	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%
13. そのほか	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.8%	2.3%

地域別では、高嶺地域において「6. QAB(テレビ)のデータ放送」と答えた割合が18.2%(全体12.1%)、「7.ラジオ放送」54.5%(全体44.6%)、「10.新聞」25.5%(全体15.2%)と他の地域よりも高くなっている。また、三和地域において「1.通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)」と答えた割合が86.5%(全体72.8%)、「3.防災行政無線放送」40.5%(全体23.9%)、「4.緊急速報メール(エリアメール)」64.9%(全体55.2%)と他の地域よりも高くなっている。

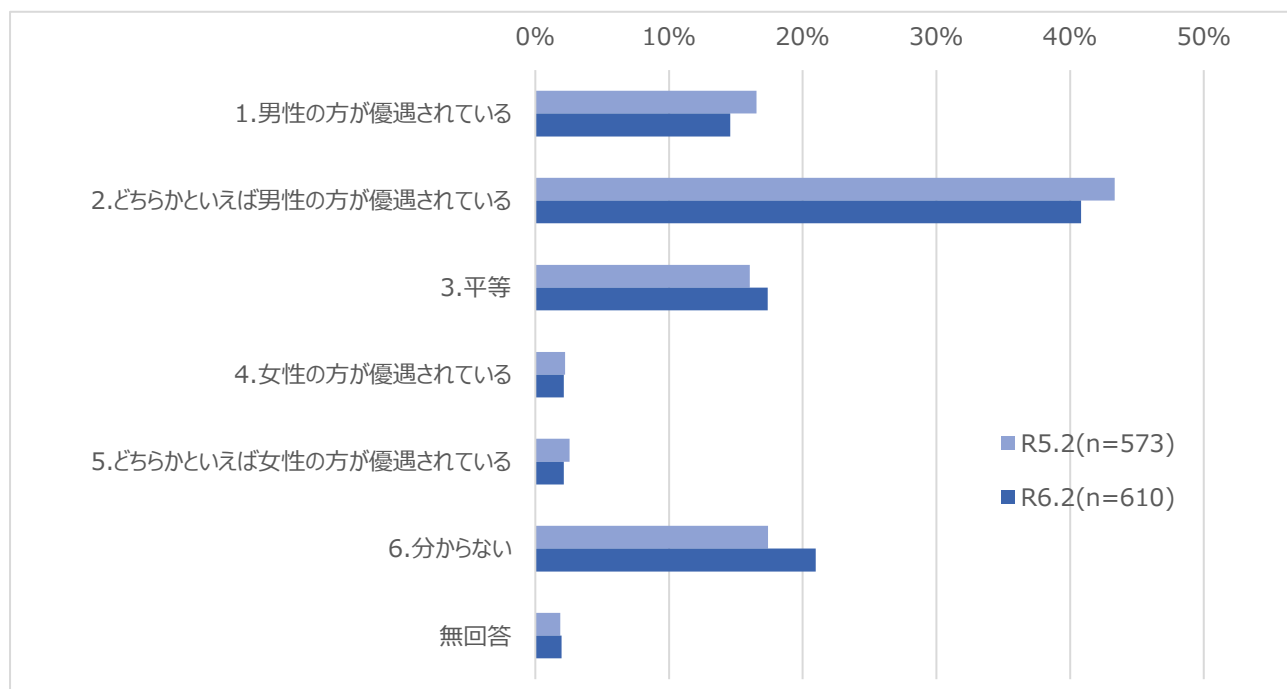


	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地 域(n=55)	5. 三和地 域(n=74)
1. 通話(固定電話、携帯電話、スマートフォン)	78.1%	73.5%	65.6%	69.1%	86.5%
2. FAX	0.7%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 防災行政無線放送	24.7%	19.7%	20.3%	21.8%	40.5%
4. 緊急速報メール(エリアメール)	49.3%	55.6%	57.1%	49.1%	64.9%
5. テレビ(ニュースや速報など)	69.9%	77.8%	77.8%	72.7%	73.0%
6. QAB(テレビ)のデータ放送	9.6%	14.5%	13.2%	18.2%	6.8%
7. ラジオ放送	42.5%	40.2%	42.0%	54.5%	52.7%
8. インターネットニュース	37.7%	29.9%	38.7%	30.9%	20.3%
9. Twitter、LINE、Instagram、FacebookなどのSNS	20.5%	21.4%	22.6%	20.0%	10.8%
10. 新聞	9.6%	15.4%	13.7%	25.5%	20.3%
11. 知人や支援者などの訪問	6.2%	6.0%	3.3%	3.6%	5.4%
12. 特に入手しない	0.7%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
13. そのほか	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
無回答	1.4%	0.0%	0.9%	0.0%	1.4%

●男女共同参画について

問26. あなたは、家庭、職場、地域、社会通念・慣習など社会のあらゆる場面において、男女の地位は「平等」になっていると思いますか。(一つに○)

男性が優遇されている(「1. 男性の方が優遇されている」「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計)と答えた割合が55.4%と半数以上となっており、「6. 分からない」21.0%、女性が優遇されている(「4. 女性の方が優遇されている」「5. どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計)と答えた割合は4.2%となっている。

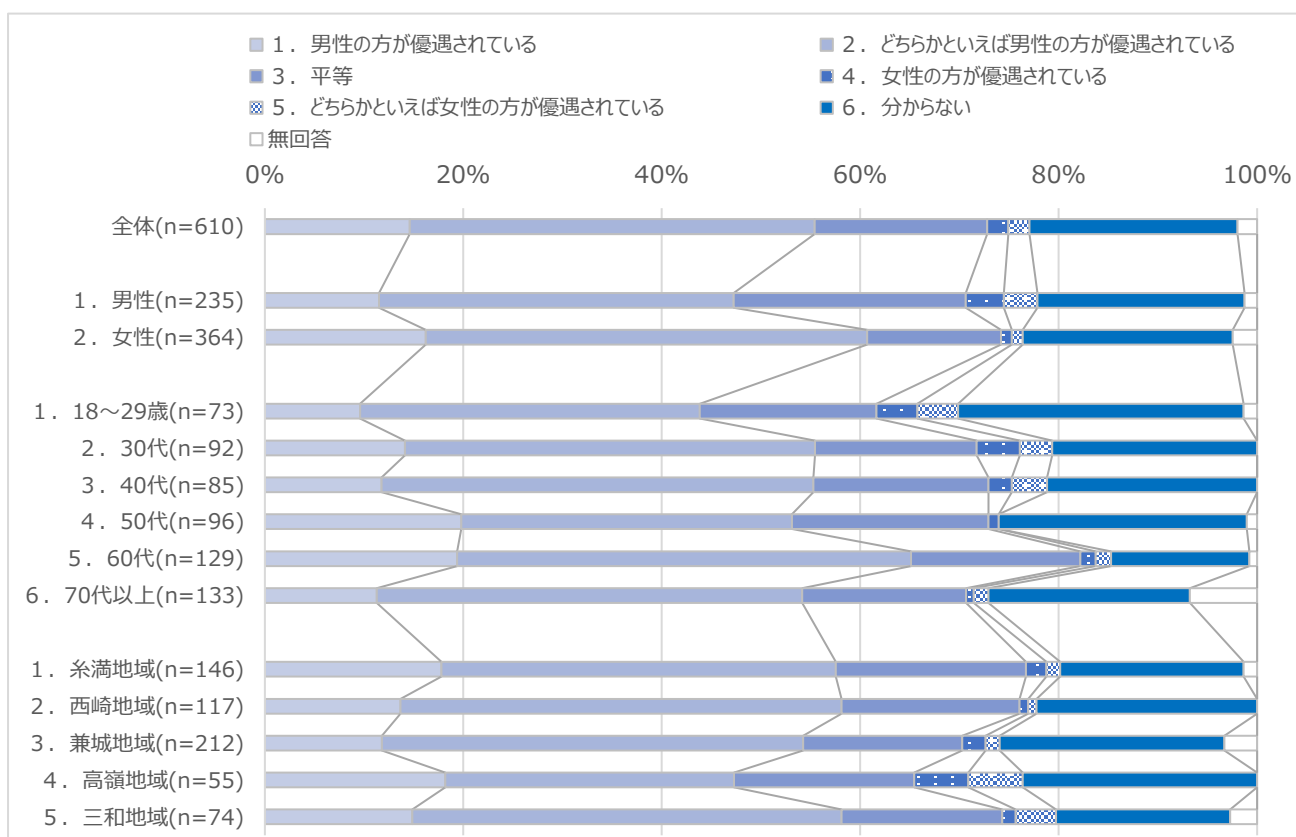


	R5.2 (n=573)	R6.2 (n=610)
1.男性の方が優遇されている	16.6%	14.6%
2.どちらかといえば男性の方が優遇されている	43.3%	40.8%
3.平等	16.0%	17.4%
4.女性の方が優遇されている	2.2%	2.1%
5.どちらかといえば女性の方が優遇されている	2.6%	2.1%
6.分からない	17.4%	21.0%
無回答	1.9%	2.0%

男女別では、「3. 平等」と答えた割合が男性23.4%、女性13.5%と男性が高くなっている。一方で、「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた割合は男性35.7%、女性44.5%と女性が高くなっている。

年齢別では、「3. 平等」と答えた割合は全体は17.4%であるが、30代で16.3%と最も低く、一方で40代17.6%、50代19.8%と他の年代よりも高くなっている。また、「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた割合が60代で45.7%(全体40.8%)と他の年代よりも高くなっている。

地域別では、西崎地域において「2. どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた割合が44.4%(全体40.8%)と他の地域よりも高くなっており、「5. どちらかといえば女性の方が優遇されている」と答えた割合が0.9%(全体2.1%)と他の地域よりも低くなっている。



	1. 男性の方が優遇されている	2. どちらかといえば男性の方が優遇されている	3. 平等	4. 女性の方が優遇されている	5. どちらかといえば女性の方が優遇されている	6. 分からない	無回答
全体(n=610)	14.6%	40.8%	17.4%	2.1%	2.1%	21.0%	2.0%

1. 男性 (n=235)	11.5%	35.7%	23.4%	3.8%	3.4%	20.9%	1.3%
2. 女性 (n=364)	16.2%	44.5%	13.5%	1.1%	1.1%	21.2%	2.5%

1. 18～29 歳 (n=73)	9.6%	34.2%	17.8%	4.1%	4.1%	28.8%	1.4%
2. 30 代 (n=92)	14.1%	41.3%	16.3%	4.3%	3.3%	20.7%	0.0%
3. 40 代 (n=85)	11.8%	43.5%	17.6%	2.4%	3.5%	21.2%	0.0%
4. 50 代 (n=96)	19.8%	33.3%	19.8%	1.0%	0.0%	25.0%	1.0%
5. 60 代 (n=129)	19.4%	45.7%	17.1%	1.6%	1.6%	14.0%	0.8%
6. 70 代以上 (n=133)	11.3%	42.9%	16.5%	0.8%	1.5%	20.3%	6.8%

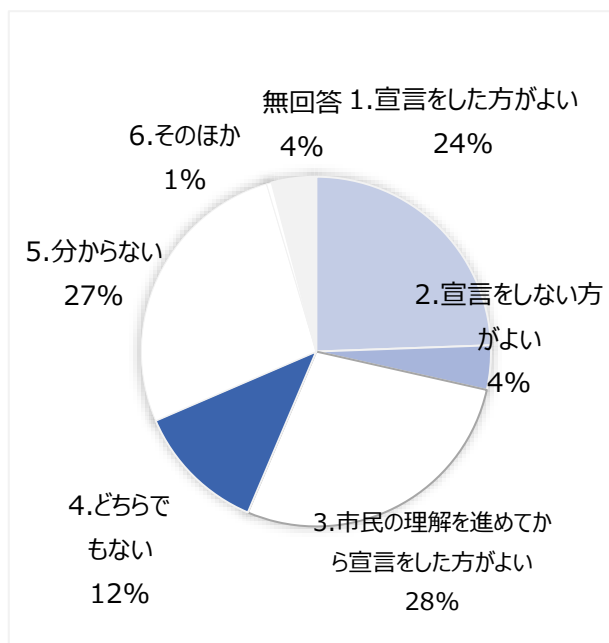
1. 糸満地域 (n=146)	17.8%	39.7%	19.2%	2.1%	1.4%	18.5%	1.4%
2. 西崎地域 (n=117)	13.7%	44.4%	17.9%	0.9%	0.9%	22.2%	0.0%
3. 兼城地域 (n=212)	11.8%	42.5%	16.0%	2.4%	1.4%	22.6%	3.3%
4. 高嶺地域 (n=55)	18.2%	29.1%	18.2%	5.5%	5.5%	23.6%	0.0%
5. 三和地域 (n=74)	14.9%	43.2%	16.2%	1.4%	4.1%	17.6%	2.7%

問27. すべての市民が暮らしやすい社会の形成や性的マイノリティへの支援を目的として、「糸満市性の多様性尊重宣言(仮称)」をするために取り組んでいます。あなたは、「糸満市性の多様性尊重宣言(仮称)」をすることについてどのように思いますか。

「1.宣言をした方がよい」と答えた割合は 24.4%だが、「2. 宣言をしない方がよい」4.1%、「3. 市民の理解を進めてから宣言をした方がよい」27.9%と答えた割合の合計が 32.0%となっている。

また、「5. 分からない」と答えた割合が 26.9%と他より高くなっている。

	回答数	比率
1.宣言をした方がよい	149	24.4%
2.宣言をしない方がよい	25	4.1%
3.市民の理解を進めてから宣言をした方がよい	170	27.9%
4.どちらでもない	74	12.1%
5.分からない	164	26.9%
6.そのほか	3	0.5%
無回答	25	4.1%

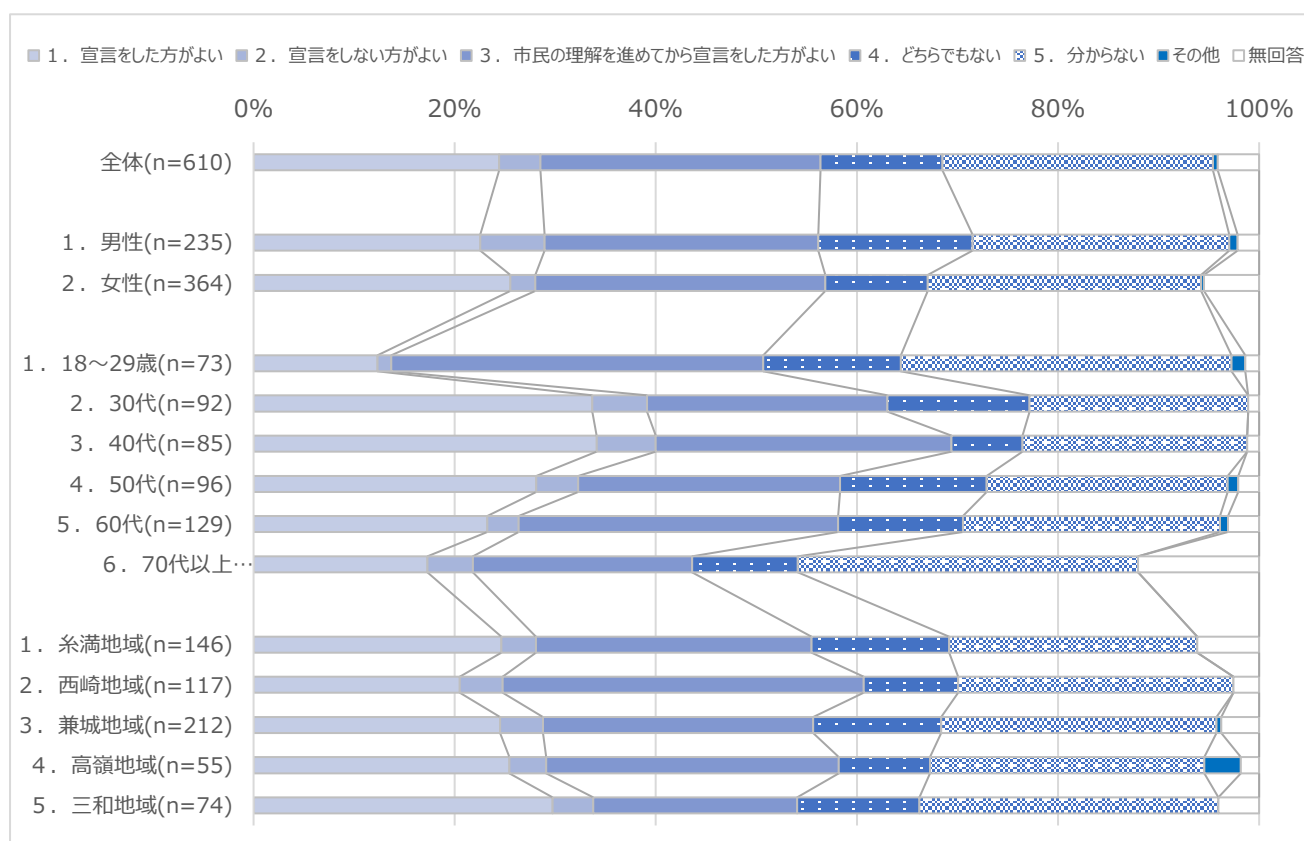


全体で、「3.市民の理解を進めてから宣言をした方がよい」、「4.どちらでもない」、「5.分からない」と答えた割合の合計は 66.8%となっている。

男女別では、「1. 宣言をした方がよい」と答えた男性の割合は 22.6%と女性 25.5%が高くなっている。

年齢別では、「1. 宣言をした方がよい」と答えた 18～29才の割合が 12.3%と一番低く、30 代の割合は 33.7%、40 代の割合は 34.1%と高くなっている。

地域別では、「1. 宣言をした方がよい」と答えた三和地域が29. 7%と一番高く、西崎地域が20. 5%と一番低くなっている。



	1. 宣言をした方がよい	2. 宣言をしない方がよい	3. 市民の理解を進めてから宣言をした方がよい	4. どちらでもない	5. 分からない	その他	無回答
全体(n=610)	24.4%	4.1%	27.9%	12.1%	26.9%	0.5%	4.1%

1. 男性(n=235)	22.6%	6.4%	27.2%	15.3%	25.5%	0.9%	2.1%
2. 女性(n=364)	25.5%	2.5%	28.8%	10.2%	27.2%	0.3%	5.5%

1. 18～29 歳 (n=73)	12.3%	1.4%	37.0%	13.7%	32.9%	1.4%	1.4%
2. 30 代(n=92)	33.7%	5.4%	23.9%	14.1%	21.7%	0.0%	1.1%
3. 40 代(n=85)	34.1%	5.9%	29.4%	7.1%	22.4%	0.0%	1.2%
4. 50 代(n=96)	28.1%	4.2%	26.0%	14.6%	24.0%	1.0%	2.1%
5. 60 代(n=129)	23.3%	3.1%	31.8%	12.4%	25.6%	0.8%	3.1%
6. 70 代以上 (n=133)	17.3%	4.5%	21.8%	10.5%	33.8%	0.0%	12.0%

1. 糸満地域(n=146)	24.7%	3.4%	27.4%	13.7%	24.7%	0.0%	6.2%
2. 西崎地域(n=117)	20.5%	4.3%	35.9%	9.4%	27.4%	0.0%	2.6%
3. 兼城地域 (n=212)	24.5%	4.2%	26.9%	12.7%	27.4%	0.5%	3.8%
4. 高嶺地域(n=55)	25.5%	3.6%	29.1%	9.1%	27.3%	3.6%	1.8%
5. 三和地域(n=74)	29.7%	4.1%	20.3%	12.2%	29.7%	0.0%	4.1%

●6.その他

- 何をするの？宣言する必要は無いです。
- 当事者ではないので、特に何も思わない。
- それよりも先にやるべきことができていない。これをやったから住みやすくなるという人は一部いるだろうが非常に限定的だ

問28.「宣言をした方がよい」、「宣言をしない方がよい」を選択した方は、その理由を教えてください。

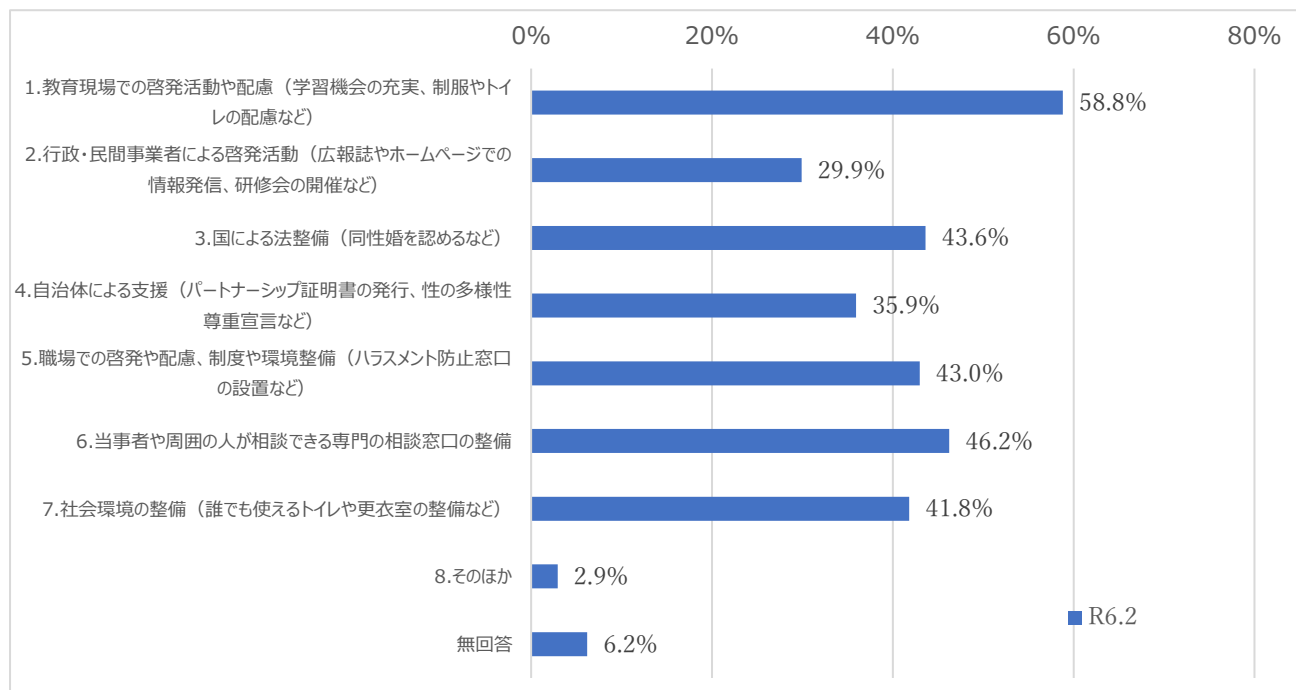
- いろいろな人が安心して住みやすくなると思う。
- 多様性は大事。個人の性認識を他人が犯す事はあってはならない。どのような人でも受け入れるべき。
- ”世間の意識が高まっているから。
- 誰もが認められている地域であれば、住みやすくなると思うから。”
- みんなが住みやすい街になることなので、良いことだと思います。なぜ宣言したくないのかが分からないな。
- 今の時代には当たり前。小中学校で学んでいる子どもたちからしたら宣言してない糸満市をどう思うのか考えた方が良い。若い世代が住みたいと思わない。
- 宣言することで、少しでも色々な人の目にとまると思うし、誰かの救いになると思うから。
- 性的マイノリティに配慮する必要性を感じない。これに有限のリソースを割くくらいなら教育や自然環境の保全に注力して欲しい。
- うまく言えないが、肩身の狭い思いや生活に困難を感じている人からしたら、『尊重します』と公言してくれた方が生きやすくなると思う。
- 自分らしく生きやすい地域 場所作りがこれからは、必要だと思う
- 住みやすくするため。
- 世界の流れだし、同意します。
- 多様性が平等になる様これからの社会は、性の多様性に限らず、障害も含め個性として全てが受け入れられる社会であって欲しいと思います。
- 多様性に厳しい田舎のイメージがあるから
- ”性についても人権についても全てにおいて生まれながらに平等だと思うから
- 性については如何なる状況でも差別はあってはならないと思う”
- ”子ども(長女)が男子バスケット部に入部した。監督や父母、チームのメンバーは快く迎えてくれたが、島尻地区バスケットボール連盟が娘のベンチ入り(マネージャー)を許さなかったことがある。部員の母がマネージャーをすることは許されているのに、女子部員だからと言ってスコアを書いていただけなのに試合途中でベンチから追い出された。今は監督のおかげで試合出場もできるようになったが(連盟に訴えてくれた)、あのときは悔しい思いをした。これは一例だが、まだまだ社会の理解が足りないと感じるから行政から変わるべき。”
- ”宣言をして、何が変わるのか？
- 市民にとって具体的にどんなメリットがあるのかわからない。役所は、宣言したという既成事実だけ作ってどうせ終わり。”
- 市が率先して宣言する事で差別や偏見を減らす、なくす姿勢を見せる事につながるのではないかと、時間はかかるかもしれないが、市民の意識も変わり、社会全体で考え、多様性を受け入れる、いろんな人がいていいんだという意識に変わっていけば、性的マイノリティだけではなく、性別も年齢も障害の有無に関わらず、誰もが平等だし、お互いを思いやる行動ができるのではないかと思います。
- ”宣言ではなく実際になにか行動を起こした方がいいと思う”

- 性の多様性が世界的に受け入れられているのに日本の取り組みや周知が遅れているためにその方々への差別や生きずらさや人間として不平等な扱いをされてるので、多様性の宣言をは早急に組み込んでほしい。
- 色々な人がいるのが普通だと思う。
- 周りにいろんな人間がいた方が、これからの子どもたちの当たり前を広げていけるから。
- ”流行りに乗ってスタートしている政策で、理念ベースで始まっておらず、無駄に予算をかけるだけなので、他の所に予算を割いたほうがいいため。
- 本当に糸満市のためを考えて宣言しているならまだいいですが、大多数の糸満市民に、還元されるものもないと考えているため。”
- 誰もが住みやすい環境にするなら、宣言して性にコンプレックスがある人も受け入れより人の集まる町にした方が良くと思う。
- 他の市町村に合わせれば良いと思う
- ”困っている人がいるため
- 男性で生まれて心が女性だからといって女性用トイレや更衣室を使用していい、となると、嘘をついても男性が女性用トイレや更衣室に入る危険があるのではと不安。またはその逆もあり得る。
- 性で差別する時代は終わったと思います。市が宣言することにより、救われる方も沢山いるし日本全国や世界からいい市だなと移住者や、観光も増えるのでは？と思います。
- いろいろな問題が起きていることと、LGBTQ の Q という意味不明のものがあるので、声の大きい人達に配慮しないでもっと考えた方がいいとおもう
- 日本は民主主義で基本メジャーな意見が通されるべきで多様性の錦の下マイノリティに力を与えるのは間違っているから
- 自分の意思、自己肯定感を普通に持ちつつ家庭や仕事(職場)で前向きに意欲的に何事にも取り組んでいくことが、人生の最期のときに後悔なく、やり切った、生ききった感を得ることができると想像できるため。
- 自分自身もはっきり理解していない
- 海外の観光客が増えている事、多様性を宣言することで多くの人に選択肢を与えることが出来る為
- 多様性を尊重するという考え方を広げた方が、考え方が違うひと、性的マイノリティも含めて、いろんな考え方を否定しない、より良い社会、サービスを検討することができると思うから。
- 性的マイノリティへの理解が深まると思われるから。
- ”どんな人でも住みやすくするため
- そのような場所を求めてる人の居場所作りのため”
- 今の時代、性の多様性は認められて当たり前だから。
- やらないよりかはした方がいいと思う為
- わざわざ宣言などする事ではなく、当然の考え。宣言すれば時代の流れや世論へのアピールと思われ、信憑性に欠ける。
- これからの世の中は全てのひとが暮らしやすく、様々な多様性に対応するべきだと思う。
- ”特に宣言する必要はないと思う。
- どちらにせよ世の中がその流れなので、あえて宣言しなくても良い”

- 様々な選択肢が増えることは良いことだと思う。
- "トランスジェンダーの人が、心の性に合わせてトイレ、更衣室、シャワー室、入浴場を利用するのには抵抗があるため。"
- その人達が他人に迷惑をかけなければいいし、幸せな人が増えるのはいい事だから
- 多様性を認めるまち住みやすいまちとしてアピールになるが性的マイノリティを受け入れられない人々の意見がある程度理解し受け入れることも必要だと思うので市民の理解を得てから宣言したほうがいいと思う。

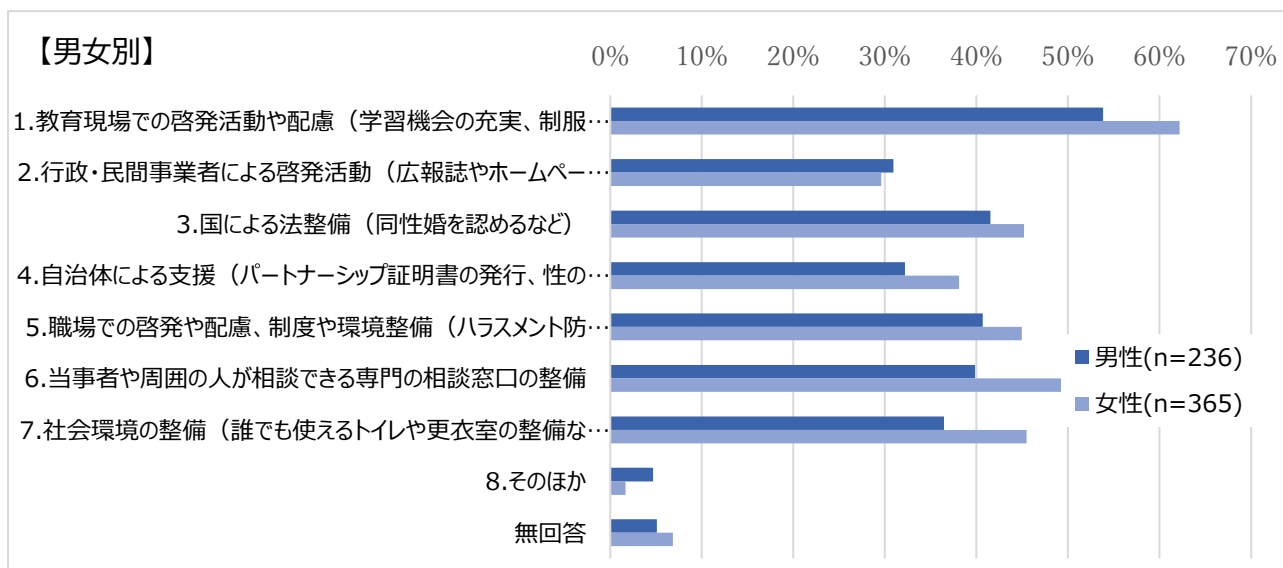
問29. 性の多様性に対する社会の理解促進や支援について、どのような取り組みが必要だと思いますか。

「1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)」と答えた割合は 58.7%、「6. 当時やや周囲の人が相談できる専門の相談窓口の整備」46.2%、「3. 国による法整備(同性婚を認めるなど)」43.4%となっている。



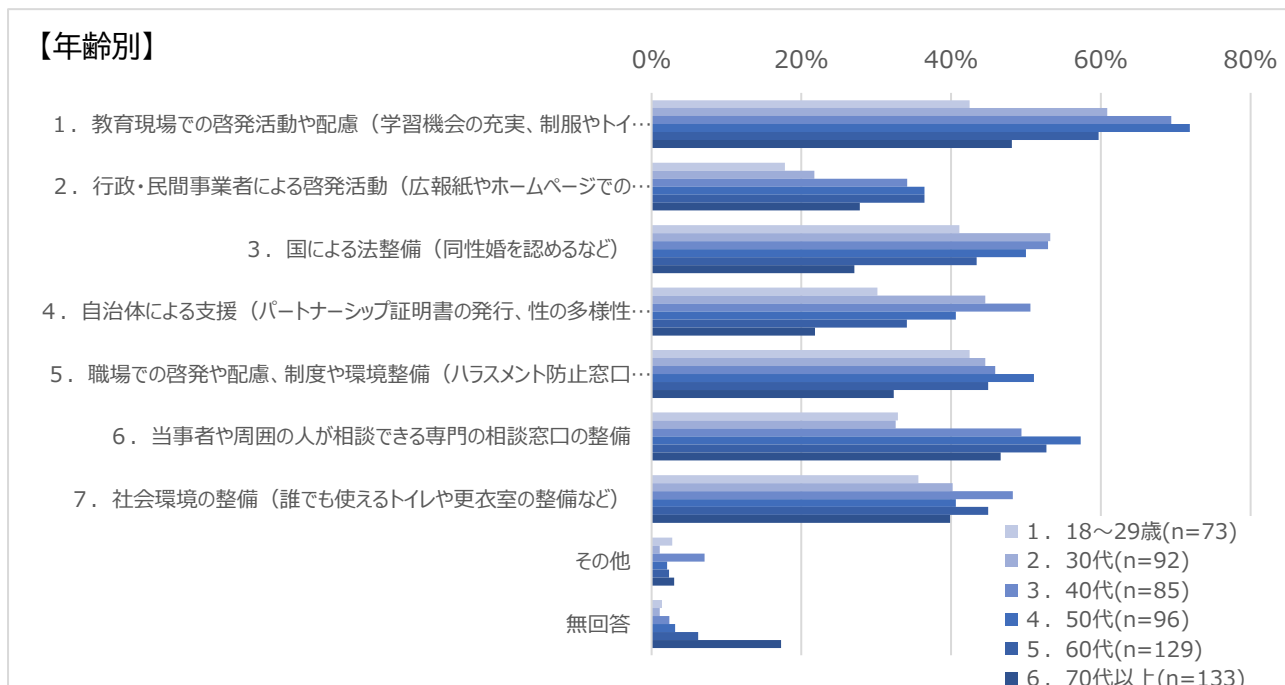
	回答数	比率
1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)	358	58.7%
2.行政・民間事業者による啓発活動(広報誌やホームページでの情報発信、研修会の開催など)	182	29.8%
3.国による法整備(同性婚を認めるなど)	265	43.4%
4.自治体による支援(パートナーシップ証明書の発行、性の多様性尊重宣言など)	218	35.7%
5.職場での啓発や配慮、制度や環境整備(ハラスメント防止窓口の設置など)	262	43.0%
6.当事者や周囲の人が相談できる専門の相談窓口の整備	282	46.2%
7.社会環境の整備(誰でも使えるトイレや更衣室の整備など)	255	41.8%
8.その他	18	3.0%
無回答	38	6.2%

男女別では、「1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)」と答えた男性の割合は53.8%、女性の割合は62.1%と他の項目と比べて高くなっている。



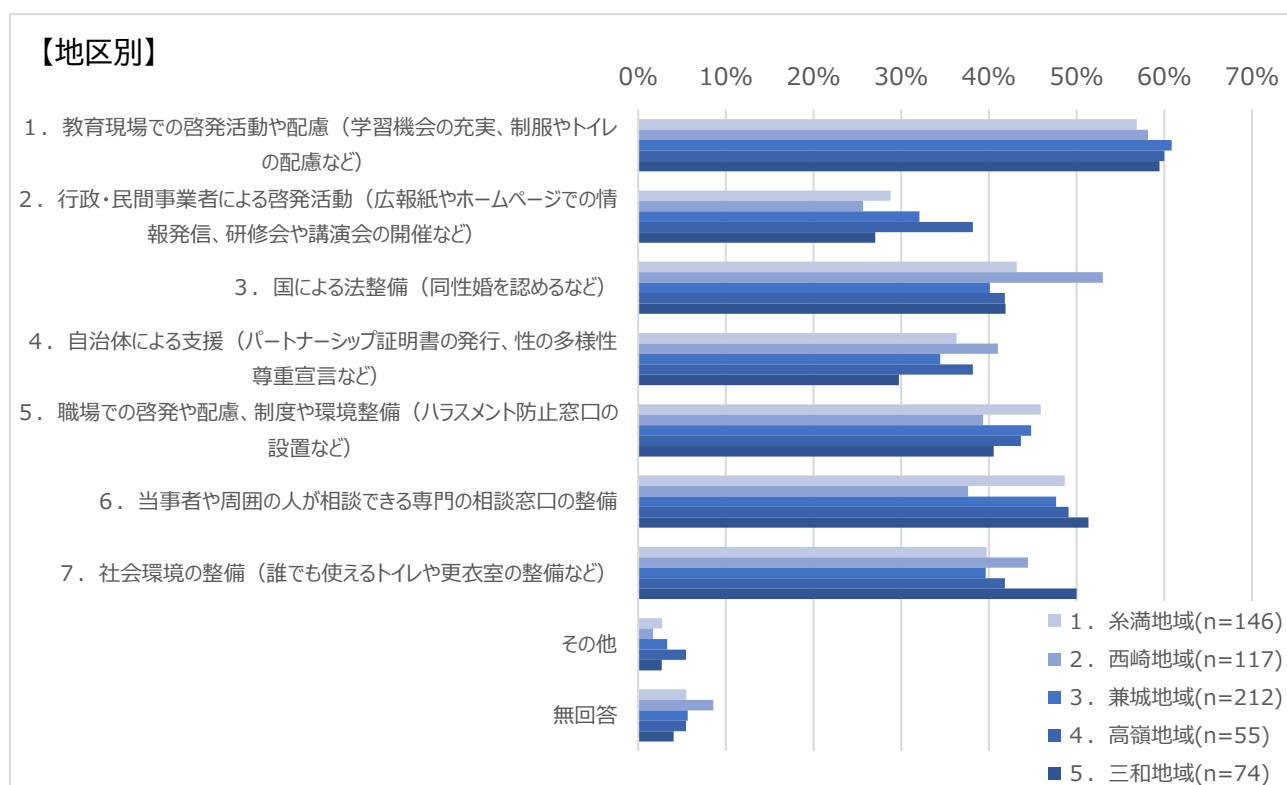
	1. 男性 (n=235)	2. 女性 (n=364)
1. 教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)	53.6%	62.1%
2. 行政・民間事業者による啓発活動(広報紙やホームページでの情報発信、研修会や講演会の開催など)	31.1%	29.4%
3. 国による法整備(同性婚を認めるなど)	41.3%	45.1%
4. 自治体による支援(パートナーシップ証明書の発行、性の多様性尊重宣言など)	31.9%	37.9%
5. 職場での啓発や配慮、制度や環境整備(ハラスメント防止窓口の設置など)	40.9%	44.8%
6. 当事者や周囲の人が相談できる専門の相談窓口の整備	40.0%	50.5%
7. 社会環境の整備(誰でも使えるトイレや更衣室の整備など)	36.6%	45.3%
その他	4.7%	1.6%
無回答	5.1%	6.9%

年齢別では、「1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)」と答えた全ての年代で1番高くなっている。18～29 歳は「1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)」で 42.5%と高くなっている。



	1. 18～29歳(n=73)	2. 30代(n=92)	3. 40代(n=85)	4. 50代(n=96)	5. 60代(n=129)	6. 70代以上(n=133)
1. 教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)	42.5%	60.9%	69.4%	71.9%	59.7%	48.1%
2. 行政・民間事業者による啓発活動(広報紙やホームページでの情報発信、研修会や講演会の開催など)	17.8%	21.7%	34.1%	36.5%	36.4%	27.8%
3. 国による法整備(同性婚を認めるなど)	41.1%	53.3%	52.9%	50.0%	43.4%	27.1%
4. 自治体による支援(パートナーシップ証明書の発行、性の多様性尊重宣言など)	30.1%	44.6%	50.6%	40.6%	34.1%	21.8%
5. 職場の啓発や配慮、制度や環境整備(ハラスメント防止窓口の設置など)	42.5%	44.6%	45.9%	51.0%	45.0%	32.3%
6. 当事者や周囲の人が相談できる専門の相談窓口の整備	32.9%	32.6%	49.4%	57.3%	52.7%	46.6%
7. 社会環境の整備(誰でも使えるトイレや更衣室の整備など)	35.6%	40.2%	48.2%	40.6%	45.0%	39.8%
その他	2.7%	1.1%	7.1%	2.1%	2.3%	3.0%
無回答	1.4%	1.1%	2.4%	3.1%	6.2%	17.3%

地域別では、西崎地域では「3.国による法整備(同性婚を認めるなど)」53.0%、「4.自治体による支援(パートナーシップ証明書の発行、性の多様性尊重宣言など)」41.0%と他の地域よりも高くなっている。兼城地域では「1.教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)」60.8%と他の地域よりも高くなっている。高嶺地域では「2.行政・民間事業者による啓発活動(広報誌やホームページでの情報発信、研修会や講演会の開催など)」38.2%と他の地域よりも高くなっている。

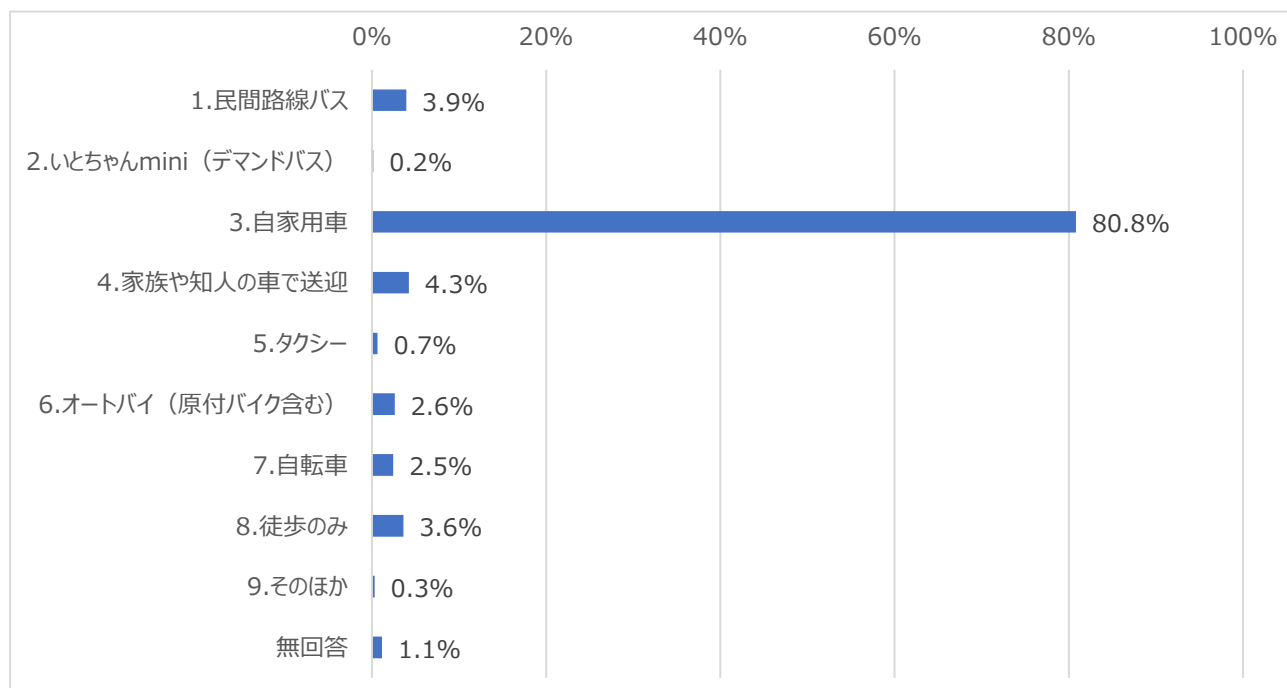


	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地 域(n=55)	5. 三和地 域(n=74)
1. 教育現場での啓発活動や配慮(学習機会の充実、制服やトイレの配慮など)	56.8%	58.1%	60.8%	60.0%	59.5%
2. 行政・民間事業者による啓発活動(広報紙やホームページでの情報発信、研修会や講演会の開催など)	28.8%	25.6%	32.1%	38.2%	27.0%
3. 国による法整備(同性婚を認めるなど)	43.2%	53.0%	40.1%	41.8%	41.9%
4. 自治体による支援(パートナーシップ証明書の発行、性の多様性尊重宣言など)	36.3%	41.0%	34.4%	38.2%	29.7%
5. 職場での啓発や配慮、制度や環境整備(ハラスメント防止窓口の設置など)	45.9%	39.3%	44.8%	43.6%	40.5%
6. 当事者や周囲の人が相談できる専門の相談窓口の整備	48.6%	37.6%	47.6%	49.1%	51.4%
7. 社会環境の整備(誰でも使えるトイレや更衣室の整備など)	39.7%	44.4%	39.6%	41.8%	50.0%
その他	2.7%	1.7%	3.3%	5.5%	2.7%
無回答	5.5%	8.5%	5.7%	5.5%	4.1%

●公共交通について

問 30. あなたの通勤・通学・通院・買い物などの主な移動手段を教えてください。(一つに○)

通勤・通学・通院・買い物などの主な移動手段として「3. 自家用車」と答えた割合は80.8%となっている。次に「4. 家族や知事の車で送迎」4.3%、「1. 民間路線バス」3.9%となっている。



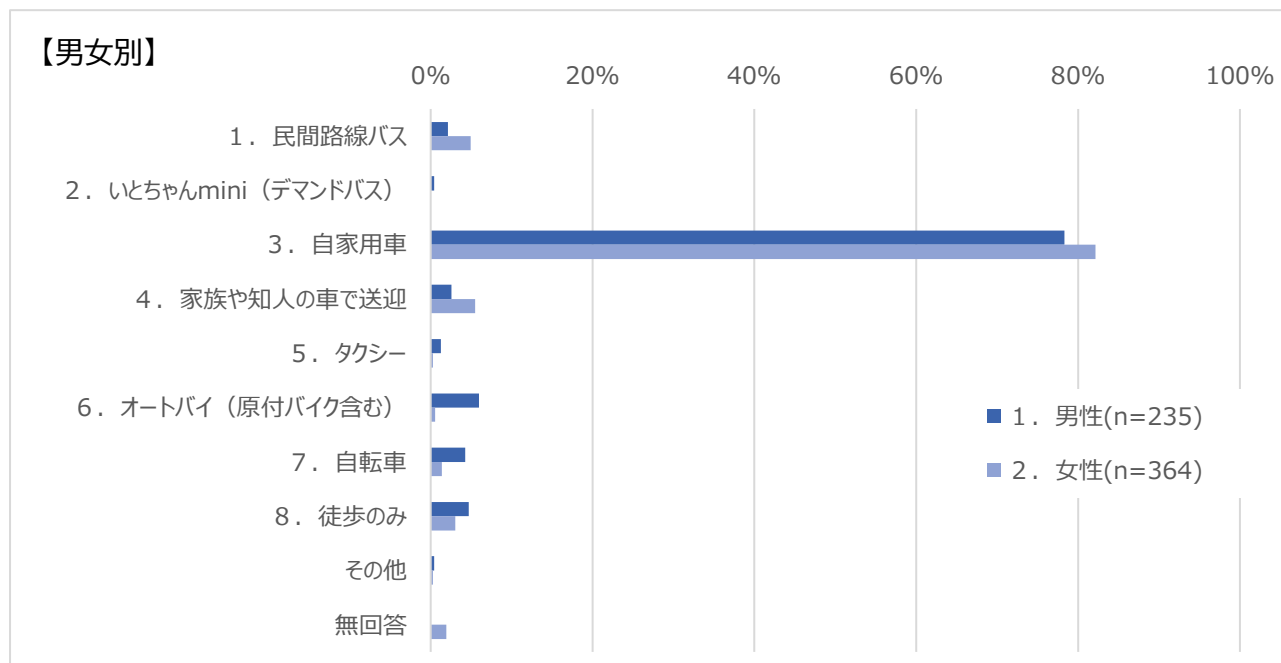
	回答数	比率
1.民間路線バス	24	3.9%
2.いとちゃん mini(デマンドバス)	1	0.2%
3.自家用車	493	80.8%
4.家族や知人の車で送迎	26	4.3%
5.タクシー	4	0.7%
6.オートバイ(原付バイク含む)	16	2.6%
7.自転車	15	2.5%
8.徒歩のみ	22	3.6%
9.その他	2	0.3%
無回答	7	1.1%

●9. その他

- 徒歩がほとんどだけど、バスやタクシーも使用します。
- 職なし

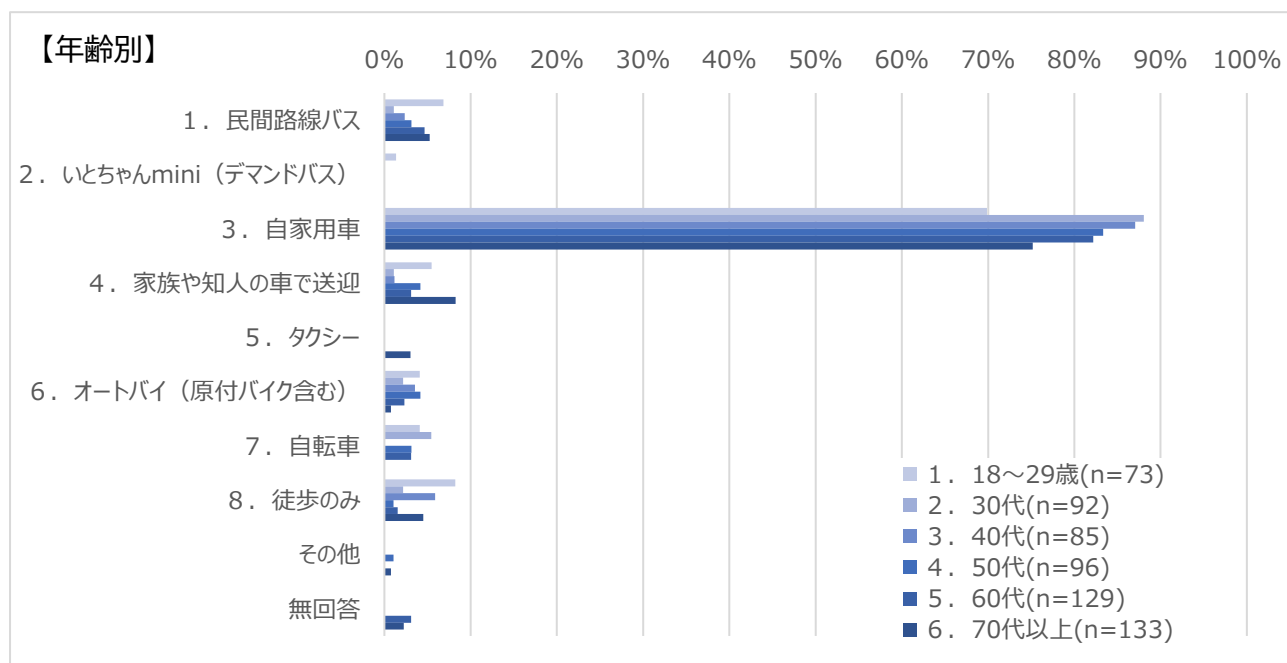
男女別では、「1. 民間路線バス」と答えた割合が男性 2.1%、女性 4.9%、「3.自家用車」と答えた割合が男性 78.3%、女性 82.1%、「4. 家族や知人の車で送迎」と答えた割合が男性 2.6%、女性 5.5%と3つの項目で女性が高くなっている。

「6.オートバイ(原付バイク含む)」、「7. 自転車」、「8.徒歩のみ」は男性が高くなっている。



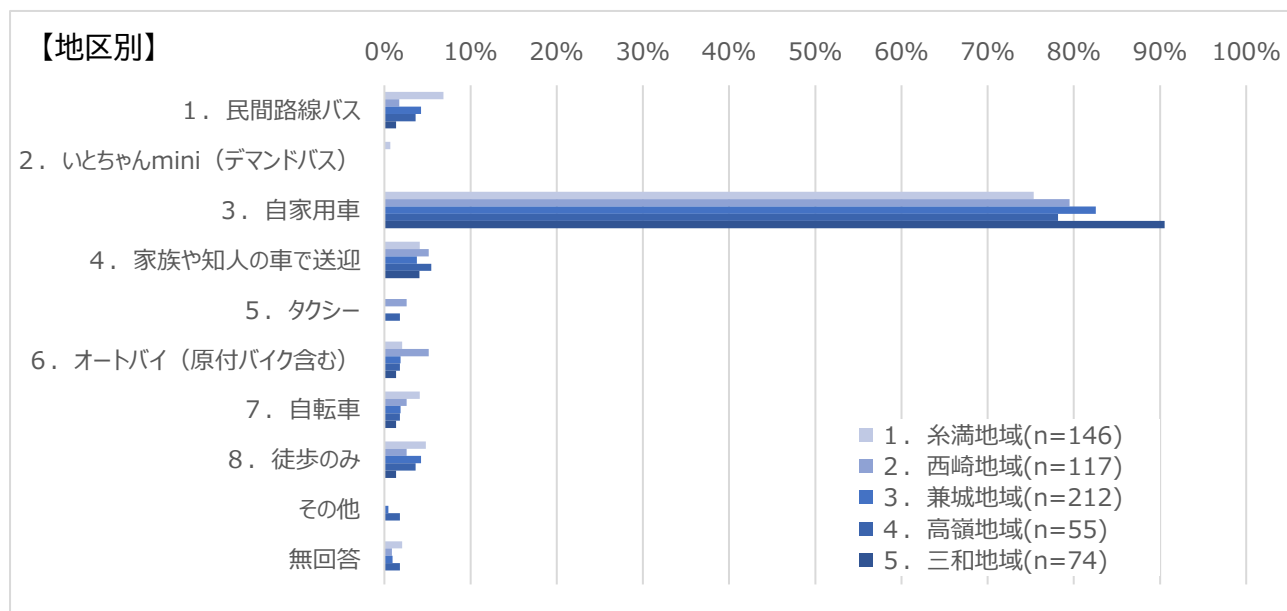
	1. 男性 (n=235)	2. 女性 (n=364)
1. 民間路線バス	2.1%	4.9%
2. いとちゃん mini(デマンドバス)	0.4%	0.0%
3. 自家用車	78.3%	82.1%
4. 家族や知人の車で送迎	2.6%	5.5%
5. タクシー	1.3%	0.3%
6. オートバイ(原付バイク含む)	6.0%	0.5%
7. 自転車	4.3%	1.4%
8. 徒歩のみ	4.7%	3.0%
その他	0.4%	0.3%
無回答	0.0%	1.9%

年齢別では、「1. 民間路線バス」と答えた割合が18～29才では6.8%、「2. いとちゃん mini(デマンドバス)」1.4%と他の年代に比べて高くなっている。また、「3. 自家用車」と答えた割合が30代では88.0%、「7. 自転車」5.4%と他の年代よりも高くなっている。一方、「4. 家族や知人の車で送迎」と答えた割合が70代では8.3%、「5. タクシー」3.0%と他の年代よりも高くなっている。



	1. 18～29歳(n=73)	2. 30代(n=92)	3. 40代(n=85)	4. 50代(n=96)	5. 60代(n=129)	6. 70代以上(n=133)
1. 民間路線バス	6.8%	1.1%	2.4%	3.1%	4.7%	5.3%
2. いとちゃん mini(デマンドバス)	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 自家用車	69.9%	88.0%	87.1%	83.3%	82.2%	75.2%
4. 家族や知人の車で送迎	5.5%	1.1%	1.2%	4.2%	3.1%	8.3%
5. タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%
6. オートバイ(原付バイク含む)	4.1%	2.2%	3.5%	4.2%	2.3%	0.8%
7. 自転車	4.1%	5.4%	0.0%	3.1%	3.1%	0.0%
8. 徒歩のみ	8.2%	2.2%	5.9%	1.0%	1.6%	4.5%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	2.3%

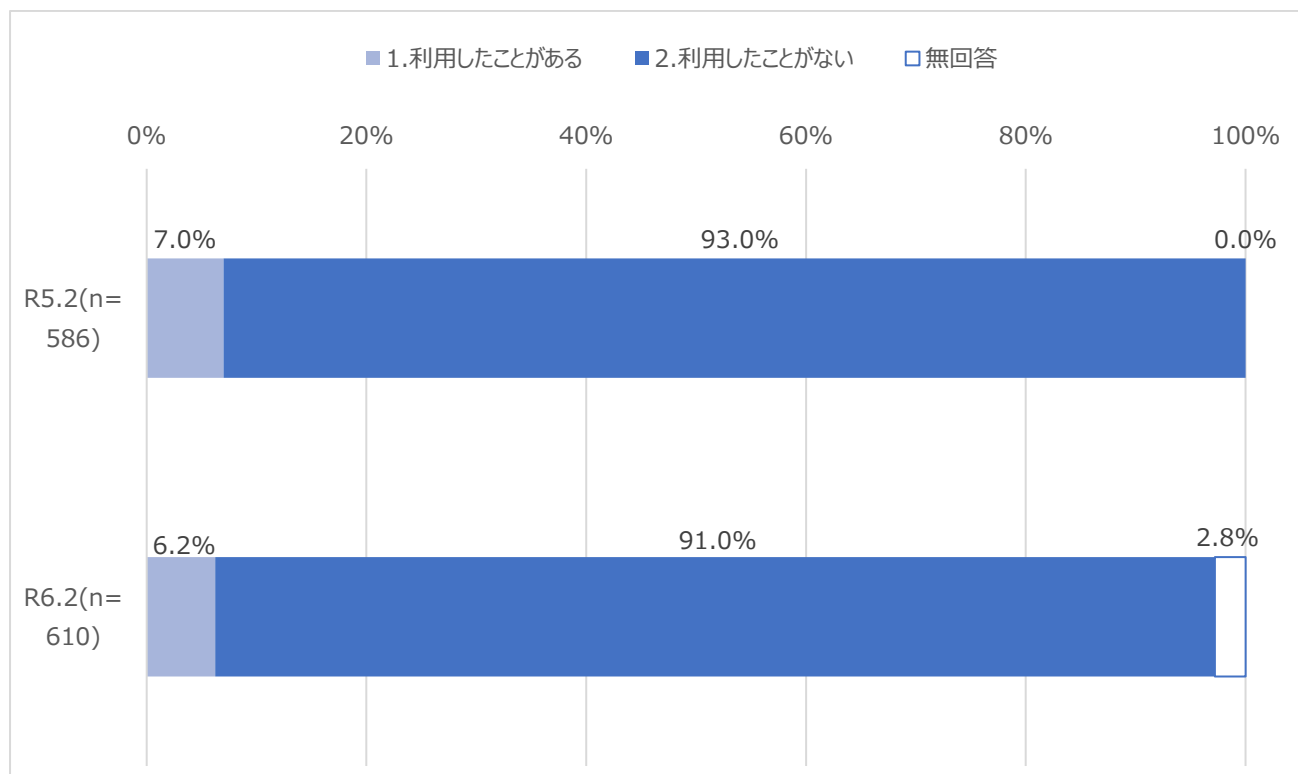
地域別では、糸満地域では「1.民間路線バス」6.8%、「2. いとちゃん mini(デマンドバス)」0.7%、「7.自転車」4.1%、「8.徒歩のみ」4.8%と他の地域よりも高くなっている。西崎地域では「5.タクシー」2.6%、「6.オートバイ(原付バイク含む)」5.1%と他の地域よりも高くなっている。高嶺地域では「4.家族や知人の車で送迎」5.5%と他の地域より高くなっている。三和地域では「3.自家用車」90.5%と他の地域より高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地 域(n=55)	5. 三和地 域(n=74)
1. 民間路線バス	6.8%	1.7%	4.2%	3.6%	1.4%
2. いとちゃん mini(デマンドバス)	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 自家用車	75.3%	79.5%	82.5%	78.2%	90.5%
4. 家族や知人の車で送迎	4.1%	5.1%	3.8%	5.5%	4.1%
5. タクシー	0.0%	2.6%	0.0%	1.8%	0.0%
6. オートバイ(原付バイク含む)	2.1%	5.1%	1.9%	1.8%	1.4%
7. 自転車	4.1%	2.6%	1.9%	1.8%	1.4%
8. 徒歩のみ	4.8%	2.6%	4.2%	3.6%	1.4%
その他	0.0%	0.0%	0.5%	1.8%	0.0%
無回答	2.1%	0.9%	0.9%	1.8%	0.0%

問 31. あなたは、交通弱者の移動手段の確保・維持を目的に市内を運行している「いとちゃん mini」を利用したことがありますか。(一つに○)

「2. 利用したことがない」と答えた割合が91.0%と大半を占め、「1. 利用したことがある」と答えた割合は6.2%と前年度と比べて0.8%低くなっている。

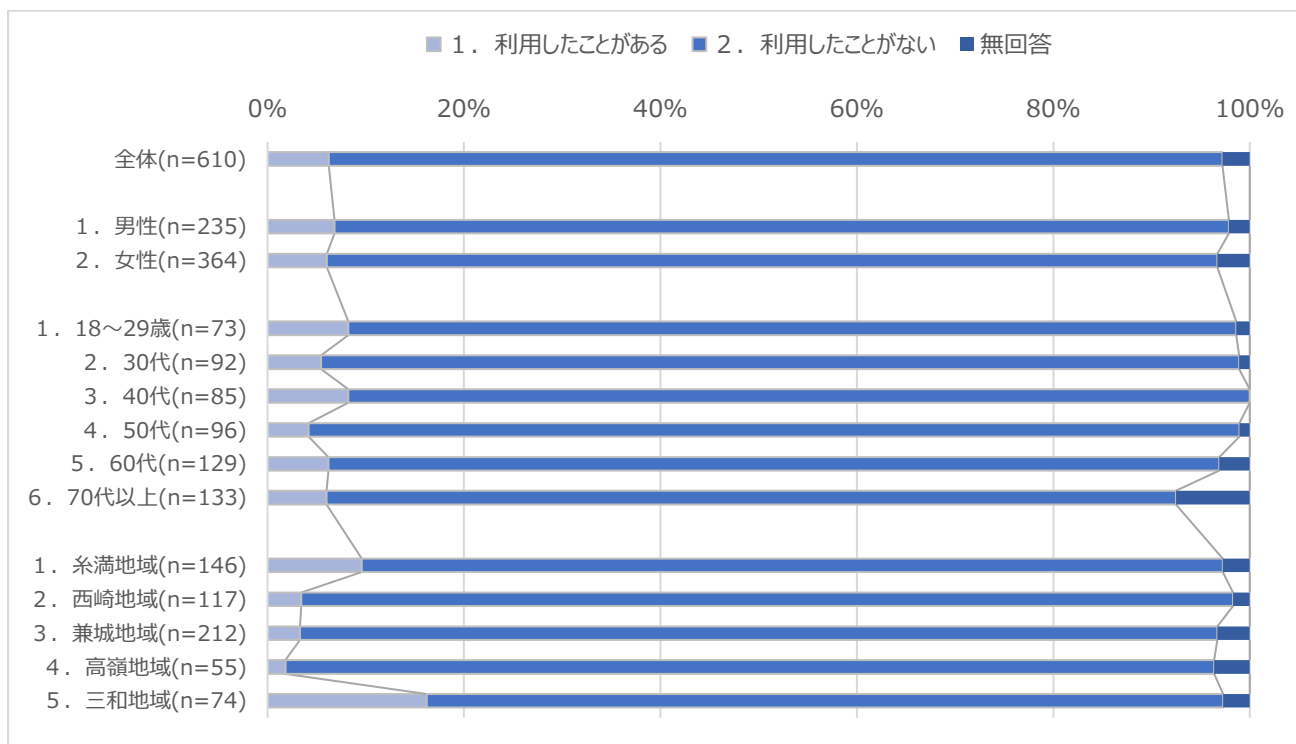


	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1.利用したことがある	7.0%	6.2%
2.利用したことがない	93.0%	91.0%
無回答	0.0%	2.8%

男女別では、「1. 利用したことがある」と答えた割合が男性 6.8%、女性 6.0%と男性が高くなっている。

年代別では、「1. 利用したことがある」と答えた割合が 50代で4.2%と最も低く、18～29才と 40代で 8.2%と最も高くなっている。

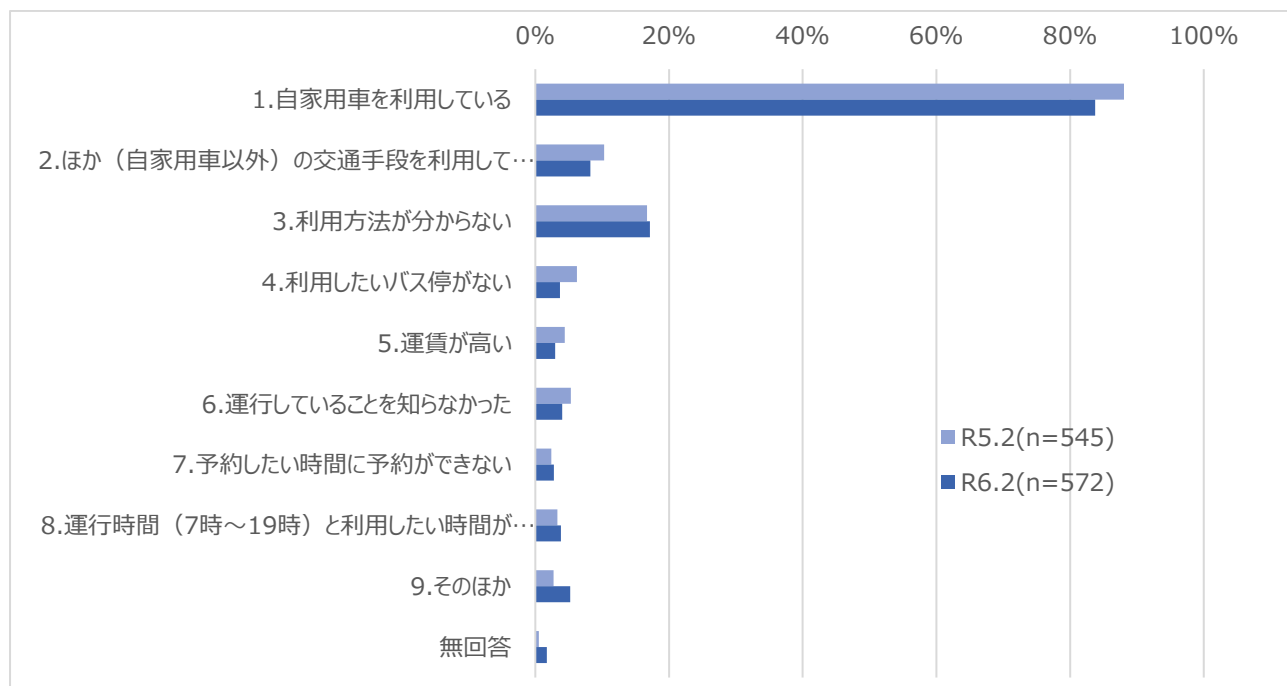
地域別では、「1. 利用したことがある」と答えた割合が高嶺地域で 1.8%と最も低くなっている。一方で、三和地域で16.2%と最も高く、次いで糸満地域 9.6%となっている。



	1. 利用したことがある	2. 利用したことがない	無回答
全体(n=610)	6.2%	91.0%	2.8%
1. 男性(n=235)	6.8%	91.1%	2.1%
2. 女性(n=364)	6.0%	90.7%	3.3%
1. 18～29 歳(n=73)	8.2%	90.4%	1.4%
2. 30 代(n=92)	5.4%	93.5%	1.1%
3. 40 代(n=85)	8.2%	91.8%	0.0%
4. 50 代(n=96)	4.2%	94.8%	1.0%
5. 60 代(n=129)	6.2%	90.7%	3.1%
6. 70 代以上(n=133)	6.0%	86.5%	7.5%
1. 糸満地域(n=146)	9.6%	87.7%	2.7%
2. 西崎地域(n=117)	3.4%	94.9%	1.7%
3. 兼城地域(n=212)	3.3%	93.4%	3.3%
4. 高嶺地域(n=55)	1.8%	94.5%	3.6%
5. 三和地域(n=74)	16.2%	81.1%	2.7%

問 32.「利用したことがない」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

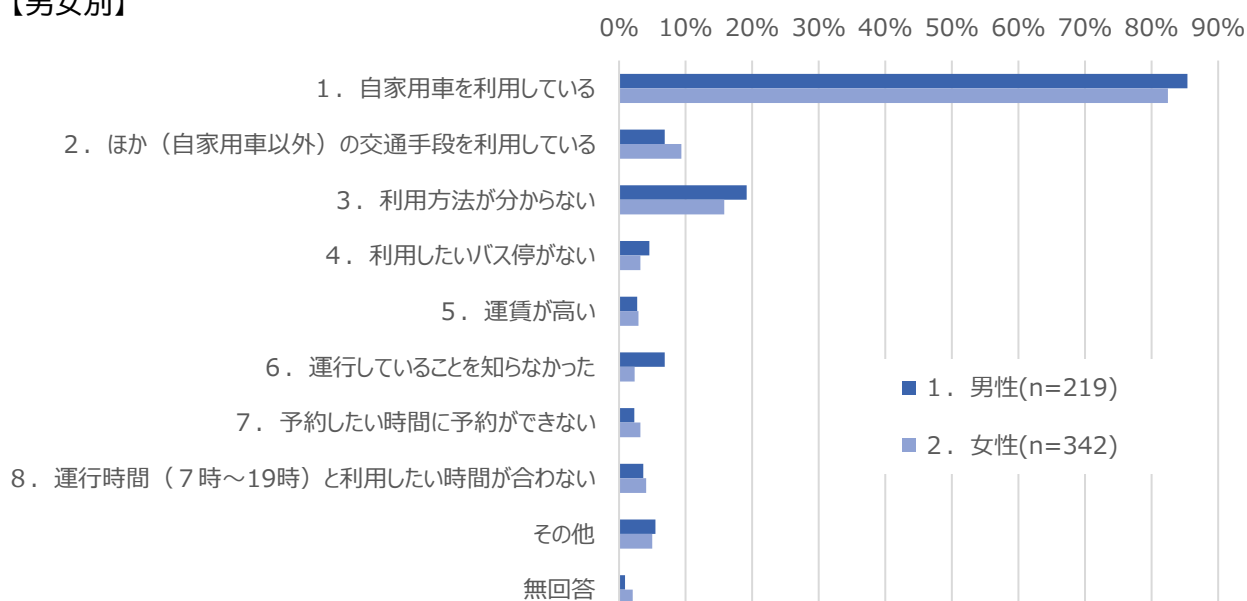
「1. 自家用車を利用している」と答えた割合が83.7%と最も高く、次いで「3. 利用方法が分からない」17.1%、「2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している」8.2%となっている。



	R5.2 (n=545)	R6.2 (n=572)
1. 自家用車を利用している	88.1%	83.7%
2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している	10.3%	8.2%
3. 利用方法が分からない	16.7%	17.1%
4. 利用したいバス停がない	6.2%	3.7%
5. 運賃が高い	4.4%	3.0%
6. 運行していることを知らなかった	5.3%	4.0%
7. 予約したい時間に予約ができない	2.4%	2.8%
8. 運行時間(7時～19 時)と利用したい時間が合わない	3.3%	3.8%
その他	2.8%	5.2%
1. 自家用車を利用している	0.6%	1.7%

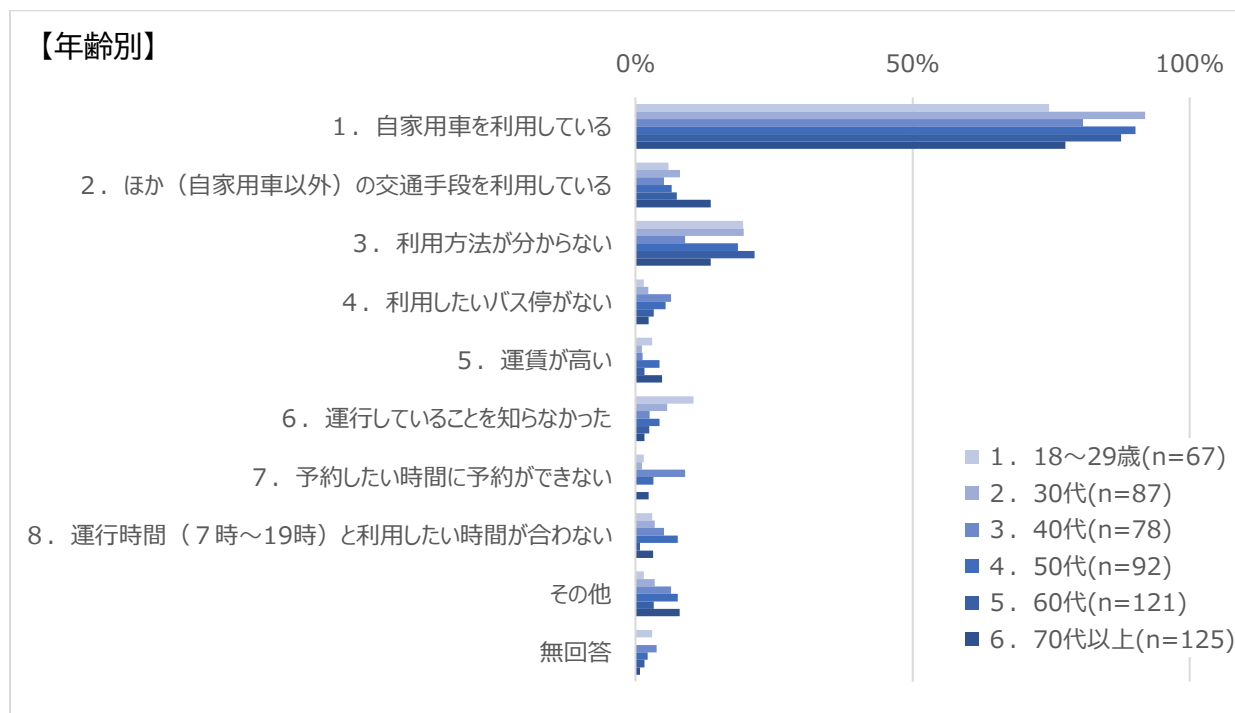
男女別では、「6. 運行していることを知らなかった」と答えた割合が男性 6. 8%、女性2. 3%と男性が高くなっている。

【男女別】



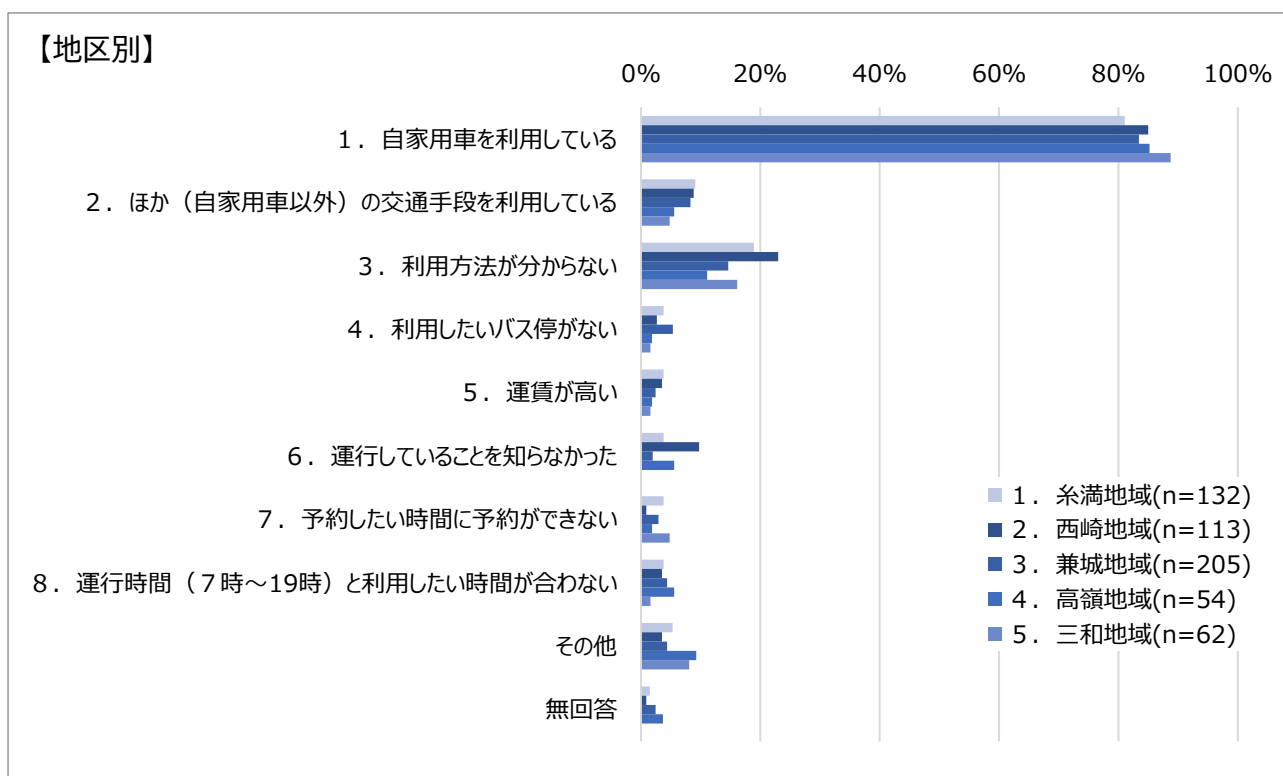
	1. 男性 (n=219)	2. 女性 (n=342)
1. 自家用車を利用している	85.4%	82.5%
2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している	6.8%	9.4%
3. 利用方法が分からない	19.2%	15.8%
4. 利用したいバス停がない	4.6%	3.2%
5. 運賃が高い	2.7%	2.9%
6. 運行していることを知らなかった	6.8%	2.3%
7. 予約したい時間に予約ができない	2.3%	3.2%
8. 運行時間(7時～19 時)と利用したい時間が合わない	3.7%	4.1%
その他	5.5%	5.0%
無回答	0.9%	2.0%

年代別では、「2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している」と答えた割合が70代以上で 13. 6% (全体 8.2%)と他の年代よりも高くなっている。



	1. 18~29歳(n=67)	2. 30代(n=87)	3. 40代(n=78)	4. 50代(n=92)	5. 60代(n=121)	6. 70代以上(n=125)
1. 自家用車を利用している	74.6%	92.0%	80.8%	90.2%	87.6%	77.6%
2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している	6.0%	8.0%	5.1%	6.5%	7.4%	13.6%
3. 利用方法が分からない	19.4%	19.5%	9.0%	18.5%	21.5%	13.6%
4. 利用したいバス停がない	1.5%	2.3%	6.4%	5.4%	3.3%	2.4%
5. 運賃が高い	3.0%	1.1%	1.3%	4.3%	1.7%	4.8%
6. 運行していることを知らなかった	10.4%	5.7%	2.6%	4.3%	2.5%	1.6%
7. 予約したい時間に予約ができない	1.5%	1.1%	9.0%	3.3%	0.0%	2.4%
8. 運行時間(7時~19 時)と利用したい時間が合わない	3.0%	3.4%	5.1%	7.6%	0.8%	3.2%
その他	1.5%	3.4%	6.4%	7.6%	3.3%	8.0%
無回答	3.0%	0.0%	3.8%	2.2%	1.7%	0.8%

地域別では、「3.利用方法が分からない」と答えた割合が西崎地域で 23.0%と他の地域より高くなっている。また、「4.利用したいバス停がない」と答えた割合が兼城地域で 5.4%と他の地域より高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=132)	2. 西崎地域 (n=113)	3. 兼城地域 (n=205)	4. 高嶺地域 (n=54)	5. 三和地域 (n=62)
1. 自家用車を利用している	81.1%	85.0%	3.4%	85.2%	88.7%
2. ほか(自家用車以外)の交通手段を利用している	9.1%	8.8%	8.3%	5.6%	4.8%
3. 利用方法が分からない	18.9%	23.0%	14.6%	11.1%	16.1%
4. 利用したいバス停がない	3.8%	2.7%	5.4%	1.9%	1.6%
5. 運賃が高い	3.8%	3.5%	2.4%	1.9%	1.6%
6. 運行していることを知らなかった	3.8%	9.7%	2.0%	5.6%	0.0%
7. 予約したい時間に予約ができない	3.8%	0.9%	2.9%	1.9%	4.8%
8. 運行時間(7時～19 時)と利用したい時間が合わない	3.8%	3.5%	4.4%	5.6%	1.6%
その他	5.3%	3.5%	4.4%	9.3%	8.1%
無回答	1.5%	0.9%	2.4%	3.7%	0.0%

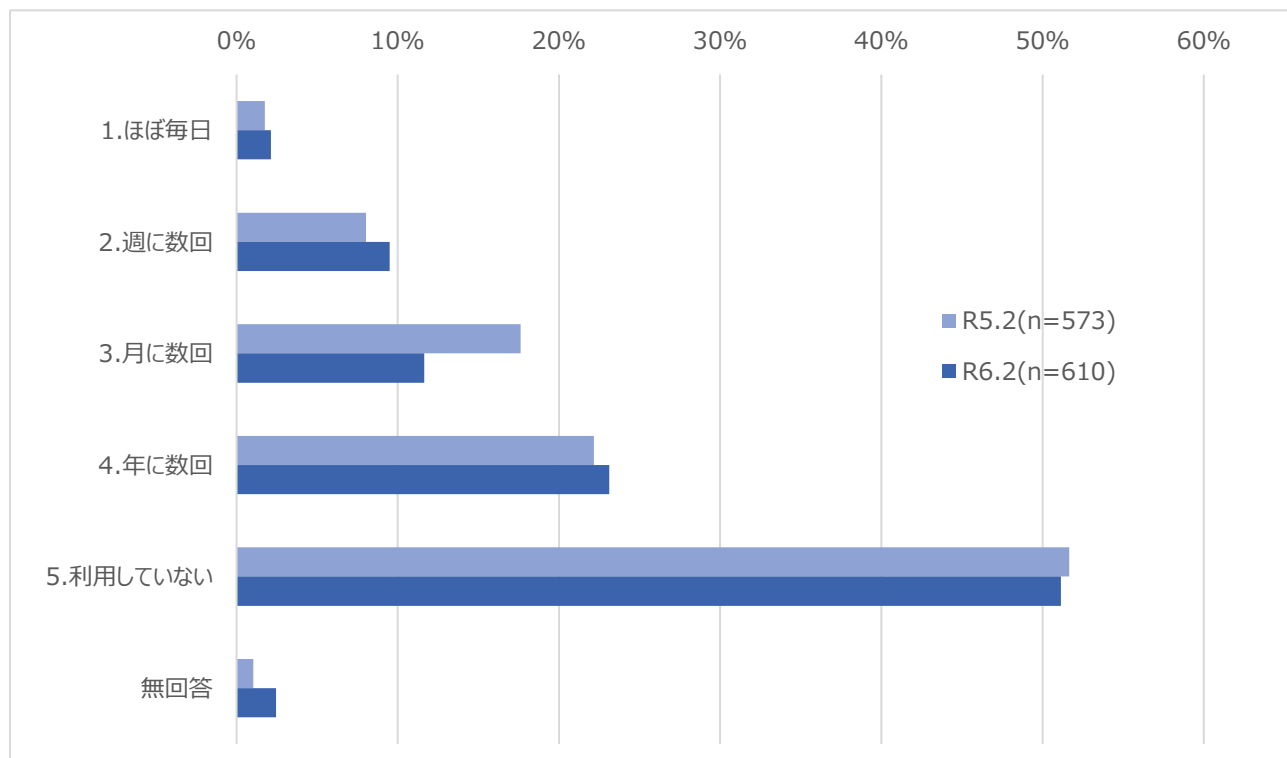
●9.その他

- 予約なしで気軽に利用したいから
- 運転免許返納後は利用したい。
- 利用に関してあまり気にかけたことがなかった。
- ケイタイ電話持っていないため、固定電話もないから。
- 利用必要の機会がなかった。
- 利用範囲が合わない。
- めんどくさい、予約するのが。
- 家族の送迎
- 自転車
- 事前に予約するという事がネックになっている。
- 今は使用しない、いずれ
- 家の近くまでこれたら、たすかります。
- いらない質問だ！
- 利用してみたいが少しハードルが高い。
- 今後は利用することもありそうです。
- いとちゃんバスの時は利用していた。
- 予約する手間がめんどくさい。
- 仕事で子どもを塾に送迎できない時に、娘が利用している。
- 前日に予約制度が不可。病院や買物へはタクシーを利用。
- これからの健康状態がどうなるか、又、高齢者の事故等があり不安
- 晴れていれば100キロまでは自転車を使うようにしている。
- 市外まで行かないから
- 予約するのが面倒、予約をしようとしたら1週間前にと言われた事がある
- 必要性が無いから
- 予約が面倒。予約してまで利用したいと思わないから。
- 予約が面倒。バス停まで遠い。
- すぐには乗れない、呼んだらすぐ来てくれるわけではない
- 個人的に使用する事は無いが使用した方から聞いた話で運転手の接客に問題があるようで使う気にならない
- まず、それを知らない。
- 利用したい場合でも、予約がとれない場合があり、お世辞にも使い勝手がいいとは思わない。移動手段が無くて時間に余裕がある人には良いかと思う

●公園について

問33. あなたは、市内の公園をどのくらいの頻度で利用していますか。(一つに○)

「5. 利用していない」と答えた割合が51.1%と最も高く、次いで「4. 年に数回」23.1%、「3. 月に数回」11.6%となっている。

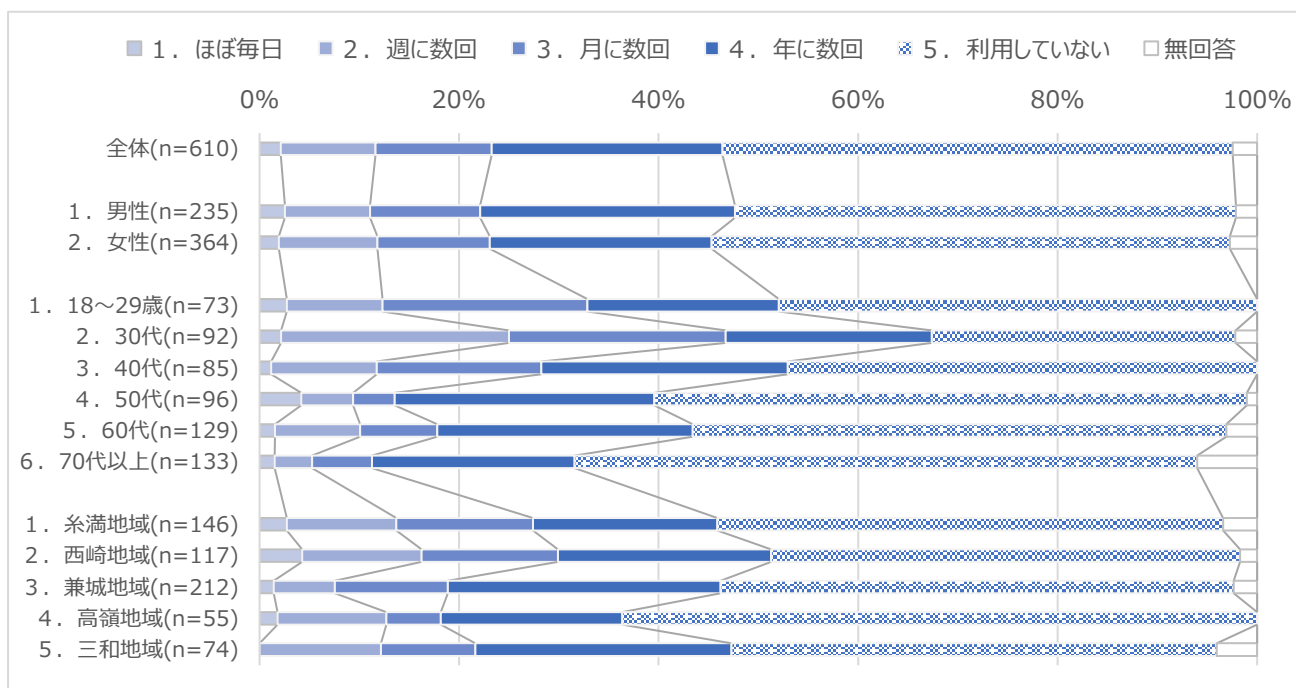


	R5.2 (n=573)	R6.2 (n=610)
1. ほぼ毎日	1.7%	2.1%
2. 週に数回	8.0%	9.5%
3. 月に数回	17.6%	11.6%
4. 年に数回	22.2%	23.1%
5. 利用していない	51.7%	51.1%
無回答	1.0%	2.5%

男女別では、「5. 利用していない」と答えた割合が男性 50.2%、女性51.9%と女性が高くなっている。一方で、「4. 年に数回」と答えた割合は男性25.5%、女性 22.3%と男性が高くなっている。

年代別では、30代では「2.週に数回」と答えた割合が 22.8%(全体 9.5%)、「3.月に数回」21.7%(全体 11.6%)と他の年代よりも高くなっている。

地域別では、糸満地域において「3. 月に数回」と答えた割合が 13.7%(全体 11.6%)と最も高くなっている。また、高嶺地域においては、「5. 利用していない」と答えた割合が 63.6%(全体51.1%)と最も高く、「3. 月に数回」と答えた割合が 5.5%(全体 11.6%)と他の地域よりも低くなっている。



	1. ほぼ毎日	2. 週に数回	3. 月に数回	4. 年に数回	5. 利用していない	無回答
全体(n=610)	2.1%	9.5%	11.6%	23.1%	51.1%	2.5%

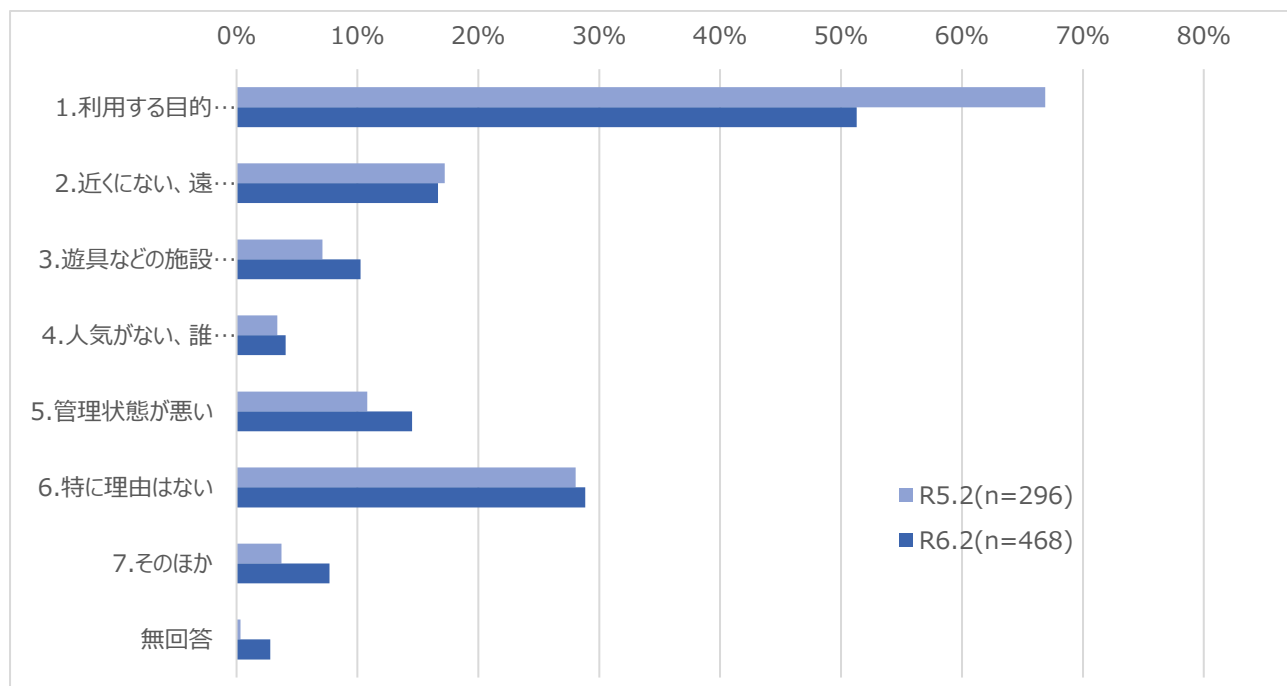
1. 男性(n=235)	2.6%	8.5%	11.1%	25.5%	50.2%	2.1%
2. 女性(n=364)	1.9%	9.9%	11.3%	22.3%	51.9%	2.7%

1. 18~29歳(n=73)	2.7%	9.6%	20.5%	19.2%	47.9%	0.0%
2. 30代(n=92)	2.2%	22.8%	21.7%	20.7%	30.4%	2.2%
3. 40代(n=85)	1.2%	10.6%	16.5%	24.7%	47.1%	0.0%
4. 50代(n=96)	4.2%	5.2%	4.2%	26.0%	59.4%	1.0%
5. 60代(n=129)	1.6%	8.5%	7.8%	25.6%	53.5%	3.1%
6. 70代以上(n=133)	1.5%	3.8%	6.0%	20.3%	62.4%	6.0%

1. 糸満地域(n=146)	2.7%	11.0%	13.7%	18.5%	50.7%	3.4%
2. 西崎地域(n=117)	4.3%	12.0%	13.7%	21.4%	47.0%	1.7%
3. 兼城地域(n=212)	1.4%	6.1%	11.3%	27.4%	51.4%	2.4%
4. 高嶺地域(n=55)	1.8%	10.9%	5.5%	18.2%	63.6%	0.0%
5. 三和地域(n=74)	0.0%	12.2%	9.5%	25.7%	48.6%	4.1%

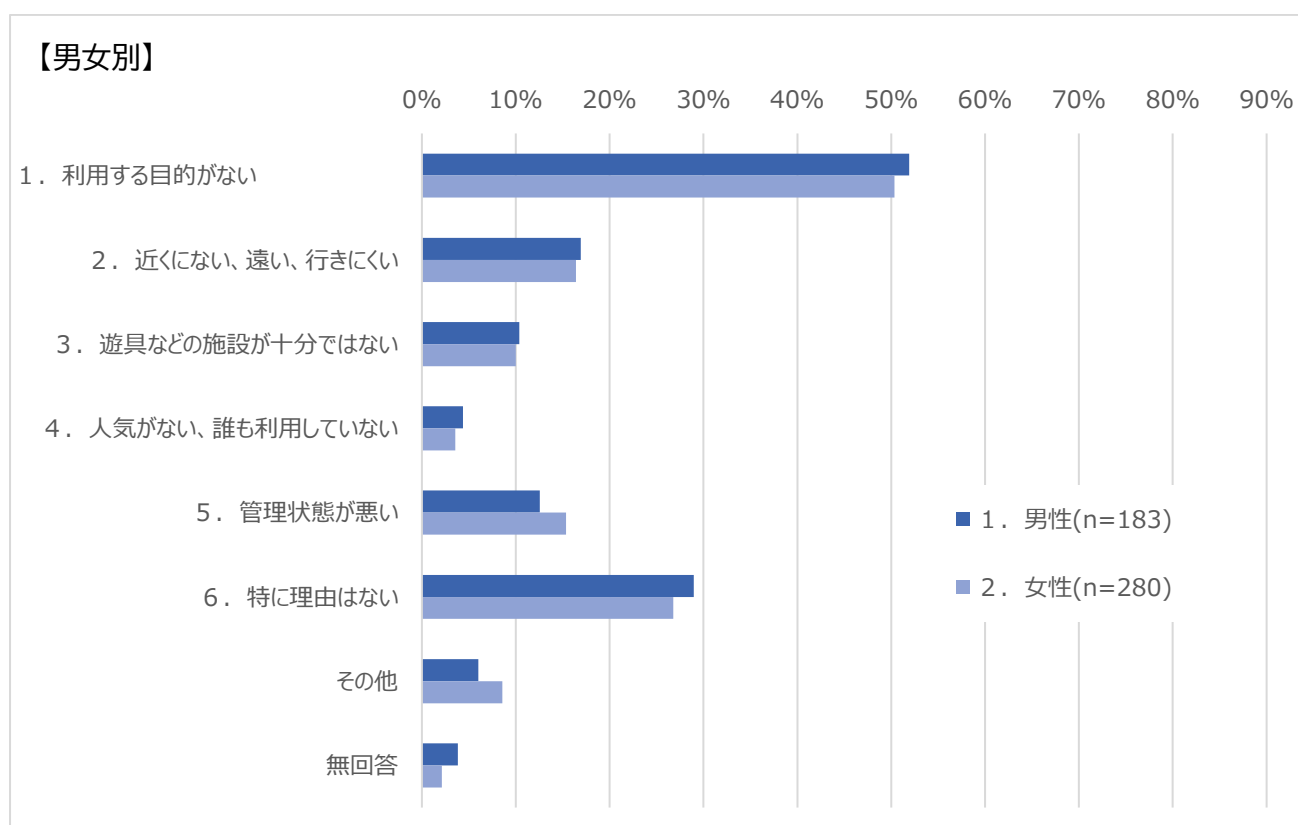
問34.「年に数回」、「利用していない」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

「1. 利用する目的がない」と答えた割合が 51.3%と最も高く、次いで「6. 特に理由はない」28.8%、「2. 近くにない、遠い、行きにくい」16.7%となっている。



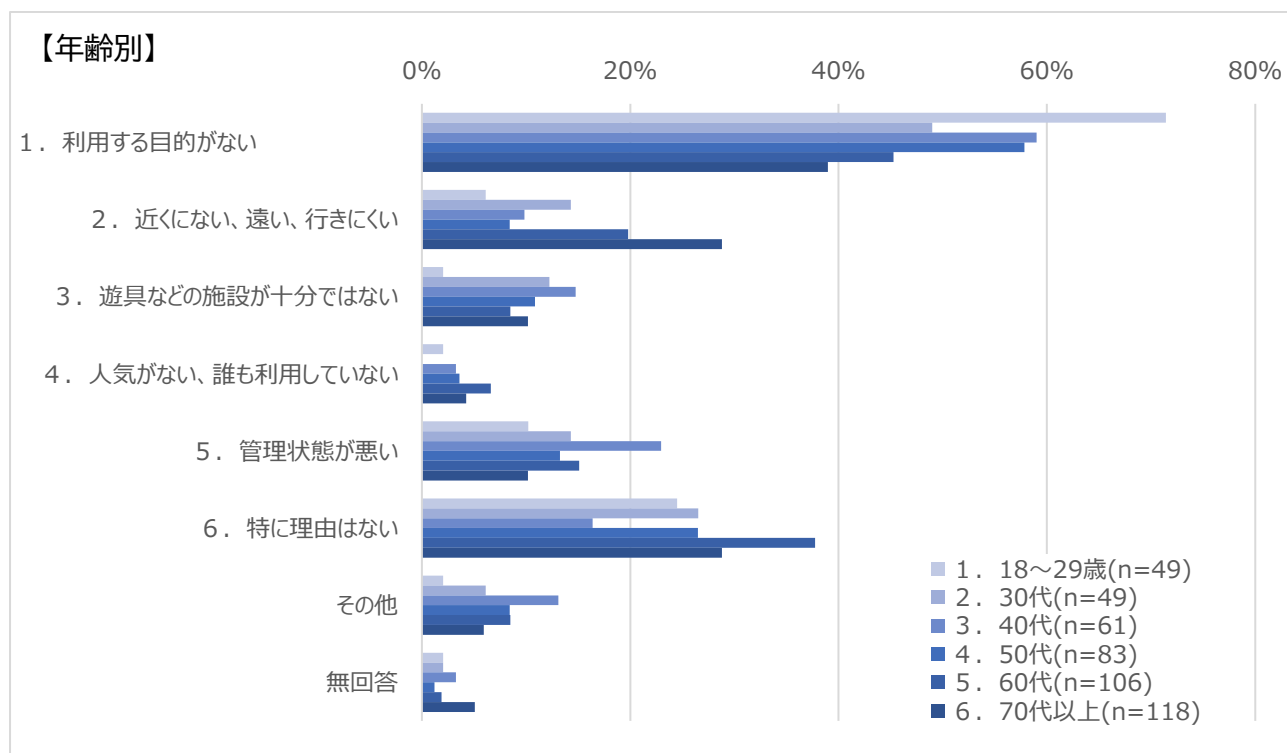
	R5.2 (n=296)	R6.2 (n=468)
1. 利用する目的がない	66.9%	51.3%
2. 近くにない、遠い、行きにくい	17.2%	16.7%
3. 遊具などの施設が十分ではない	7.1%	10.3%
4. 人気がない、誰も利用していない	3.4%	4.1%
5. 管理状態が悪い	10.8%	14.5%
6. 特に理由はない	28.0%	28.8%
7. その他	3.7%	7.7%
無回答	0.3%	2.8%

男女別では、「5. 管理状態が悪い」と答えた割合が男性 12. 6%、女性15. 4%と女性が高くなっている。



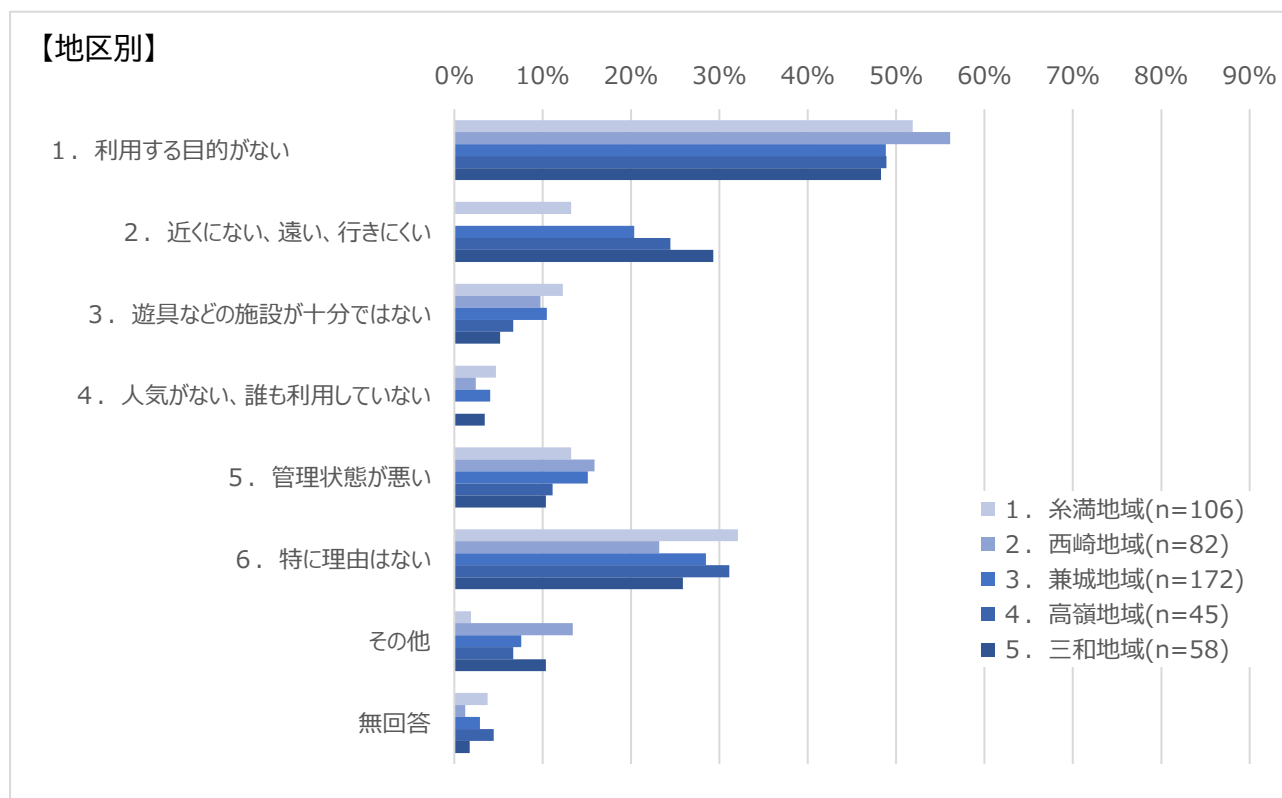
	1. 男性 (n=183)	2. 女性 (n=280)
1. 利用する目的がない	51.9%	50.4%
2. 近くにない、遠い、行きにくい	16.9%	16.4%
3. 遊具などの施設が十分ではない	10.4%	10.0%
4. 人気がない、誰も利用していない	4.4%	3.6%
5. 管理状態が悪い	12.6%	15.4%
6. 特に理由はない	29.0%	26.8%
その他	6.0%	8.6%
無回答	3.8%	2.1%

年代別では、18～29才で「2.近くにない、遠い、行きたくない」と答えた割合が6.1%(全体16.7%)、「3.遊具などの施設が十分ではない」と答えた割合が2.0%(全体10.3%)と他の年代よりも低く、「1.利用する目的がない」と答えた割合が71.4%(全体51.3%)と他の年代よりも高くなっている。また、40代では「3.遊具などの施設が十分ではない」と答えた割合が14.8%(全体10.3%)、「5.管理状態が悪い」と答えた割合が23.0%(14.5%)と他の年代よりも高くなっている。また、70代では「2.近くにない、遠い、行きにくい」と答えた割合が28.8%(全体16.7%)と他の年代よりも高くなっている。



	1. 18～29歳(n=49)	2. 30代(n=49)	3. 40代(n=61)	4. 50代(n=83)	5. 60代(n=106)	6. 70代以上(n=118)
1. 利用する目的がない	71.4%	49.0%	59.0%	57.8%	45.3%	39.0%
2. 近くにない、遠い、行きにくい	6.1%	14.3%	9.8%	8.4%	19.8%	28.8%
3. 遊具などの施設が十分ではない	2.0%	12.2%	14.8%	10.8%	8.5%	10.2%
4. 人気がない、誰も利用していない	2.0%	0.0%	3.3%	3.6%	6.6%	4.2%
5. 管理状態が悪い	10.2%	14.3%	23.0%	13.3%	15.1%	10.2%
6. 特に理由はない	24.5%	26.5%	16.4%	26.5%	37.7%	28.8%
その他	2.0%	6.1%	13.1%	8.4%	8.5%	5.9%
無回答	2.0%	2.0%	3.3%	1.2%	1.9%	5.1%

地域別では、「2. 近くにない、遠い、行きにくい」と答えた割合が西崎地域で 0.0%と最も低く、兼城地域で29.3%と最も高くなっている。また、「5. 管理状態が悪い」と答えた割合が西崎地域で 15.9%と最も高く、三和地域で 10.3%と最も低くなっている。



	1. 糸満地域 (n=106)	2. 西崎地域 (n=82)	3. 兼城地域 (n=172)	4. 高嶺地域 (n=45)	5. 三和地域 (n=58)
1. 利用する目的がない	51.9%	56.1%	48.8%	48.9%	48.3%
2. 近くにない、遠い、行きにくい	13.2%	0.0%	20.3%	24.4%	29.3%
3. 遊具などの施設が十分ではない	12.3%	9.8%	10.5%	6.7%	5.2%
4. 人気がない、誰も利用していない	4.7%	2.4%	4.1%	0.0%	3.4%
5. 管理状態が悪い	13.2%	15.9%	15.1%	11.1%	10.3%
6. 特に理由はない	32.1%	23.2%	28.5%	31.1%	25.9%
その他	1.9%	13.4%	7.6%	6.7%	10.3%
無回答	3.8%	1.2%	2.9%	4.4%	1.7%

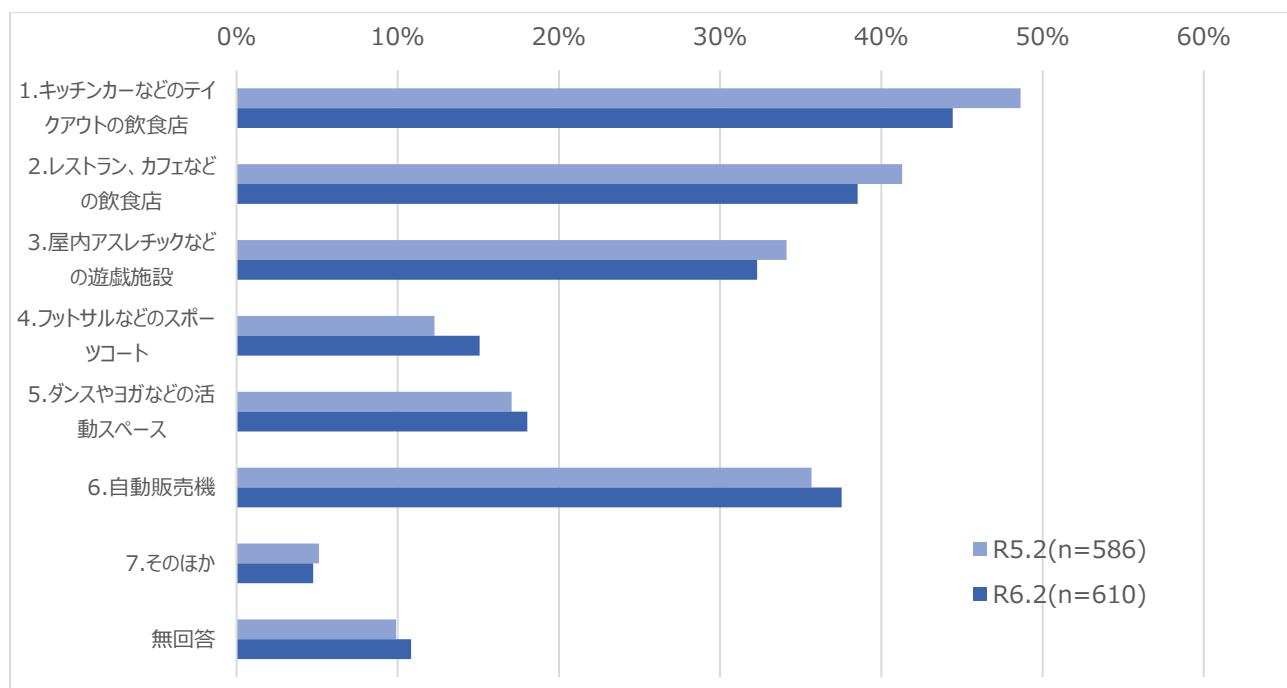
●7.その他

- 仕事と親の介護の為、利用の時間がない為
- 子どもが成人したから。孫が出来たら使う
- 早く遊具を治してほしい。(西崎親水公園)

- 暗い
- 子供たちには必要なので、怪我しない遊具や綱渡り(ぶら下がりながら移動)なども必要
- 必要性がない
- 奥武山公園のようにフィットネス広場を作ってほしい。
- 男女誰でも、1人で座って本等よんだりする場所がない。日ざしが強めで日よけも必要。子供中心が多め。静かな場所だとそれはそれで危険を感じる。
- 親の介護をしているから
- 介護や家事に忙しく行けない。孫を預かった時など、利用している。
- 古い物が多い
- 使用禁止が多い
- 市街化区域が多すぎる。
- 時々、小さい子と遊ぶ機会があるが、親水公園は遊具がない。
- 子供が大きくなって最近、公園へ行かなくなった。
- 足腰が弱く、散歩にも行けない。
- どこにあるのか、わかりません。
- 規制されて、普通につかえない
- 人が多いため遊びにくい
- 施設に入所中
- トイレがきたない。
- つかれている。週休2日ではない。
- 八重瀬・豊見城が近く子どもに人気。平和祈念公園は好きだが、少し遠いです。
- 遊具がこわれても修理されていない。浮浪者も多い。
- 他の市町村の公園も利用している。
- イメージが悪い。環境が良くないイメージ。
- トイレ汚い。こわい。
- 利用できる公園が近くにない。
- 気分が向いた時に散歩に行く程度なので。
- 青少年の不良グループのたまり場になっている。
- 仕事の都合で利用しています。
- 病気療養中で外出がままならない
- 老朽化し使えなくなっている遊具を修繕して欲しい。
- 集合住宅、団地の近くの公園は常に駐車場がいっぱいで駐車スペースが少ないです。遊具も古く、子供が遊びたいと思うような遊具ではない、遊具の種類を増やして欲しい、清潔感があまりないように感じる。もう少し公園全体や公園内のトイレを清潔に使用しやすいように整備して欲しいです。
- 子供メインで騒がしい、大人の気分転換や憩いの場所とは程遠い
- ウォーキングしてますが、豊崎の公園を使っている

問35. 公園で有料でも利用してみたいと思う施設について教えてください。
(当てはまるものすべてに○)

「1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店」と答えた割合が 44.4%と最も高く、次いで「2. レストラン、カフェなどの飲食店」38.5%、「6.自動販売機」37.5%、「3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設」32.3%となっている。なお、無回答が 10.8%ある他、「7. そのほか」の回答において「何にも利用したいと思わない」といった記述があることから、有料で利用してみたいと思う施設は無いという回答も一定程度存在すると考えられる。



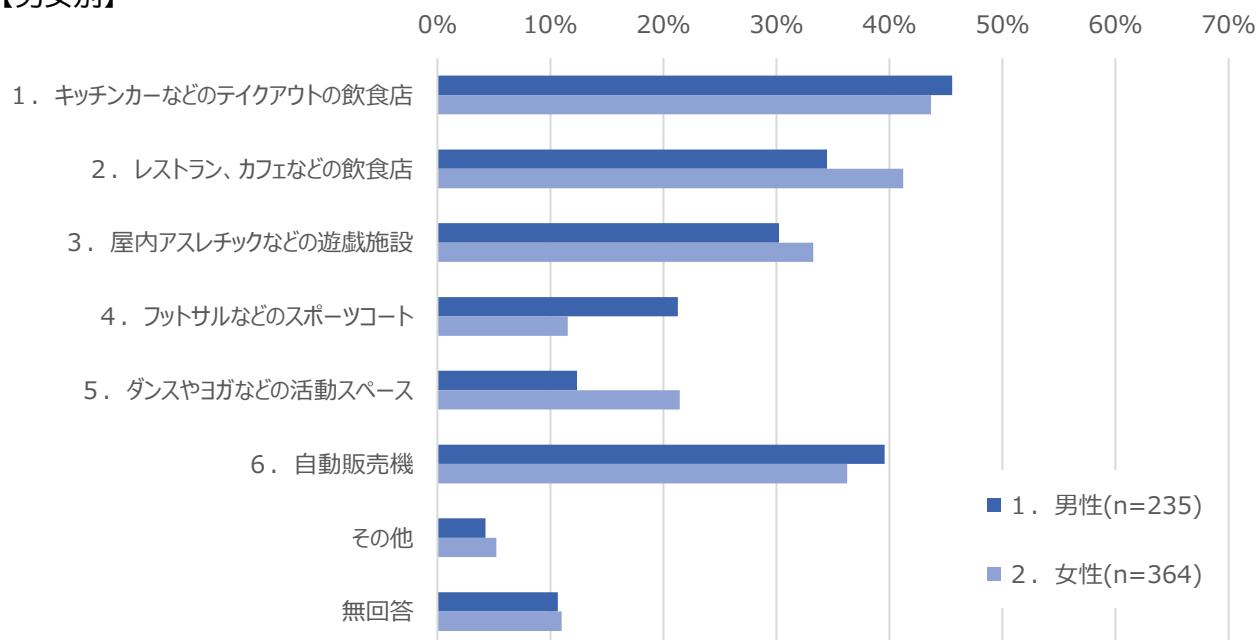
	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	48.6%	44.4%
2. レストラン、カフェなどの飲食店	41.3%	38.5%
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設	34.1%	32.3%
4. フットサルなどのスポーツコート	12.3%	15.1%
5. ダンスやヨガなどの活動スペース	17.1%	18.0%
6. 自動販売機	35.7%	37.5%
7. そのほか	5.1%	4.8%
無回答	9.9%	10.8%

●7.その他

- 何にも利用したいと思わない
- ちょっとした食材や日用品が買えるところ。ウィンドウショッピングとかできそうなところ。本屋。
- そこまでしても利用しないかも
- テニスを37年やっている。みなと公園コートを利用。
- オートキャンプ
- 掃除、草刈・遊具の手入れなど、管理が良い所
- とてもきれいなトイレ、コインロッカーのような一時的に荷物のおける所
- 屋内プール温水
- 有料になるなら、利用しない。
- バーベキューやキャンプ場等ができるスペース
- 公園は無料だからこそ、みんな使うんだと思う。
- 子どもの習い事教室。心と体に良いオーガニックのカフェやレストランなどだとありがたいです。
- 1人でも運動出来る様壁打ち用壁を作ってほしい。
- 見通しが明るい。
- 子供のバスケットボール、フットサル等の施設
- 市民プール
- 子供達が遊びたいと思えるような遊具の充実、公園内の清潔感、特にトイレは設備を整える(水漏れがない、洋式トイレにする、清潔感が感じるように整えるなど) 清潔感がなく不衛生だと感じると使用する側もキレイに使用する気持ちを持たなくなると思います。(心理的にそうさせるのではないですか?)
例えば、街中に落書きが多いと治安が悪くなるのは有名な話し、綺麗に整備されていると使用する側も大切に清潔に使用する気持ちになると思います。
- 特になし
- 利用したいと思わない
- 運動公園などは一部の人が独占して使っていることがあるので、子どもから大人まで誰でも使えるようにしてほしい。また、夜間に飲み会などをしてゴミがそのまま残されていることがある夜間の利用の制限をしてほしい。
- 自転車、ボート、ソリなど
- 時間がないから使わない
- ドックランできれば無料にしてほしい
- 潮崎の海岸辺りは上手く活用してください
- 有料で良いので綺麗に整備された授乳室、トイレ
- 高齢者も自由に使える運動器具が公園に欲しい。

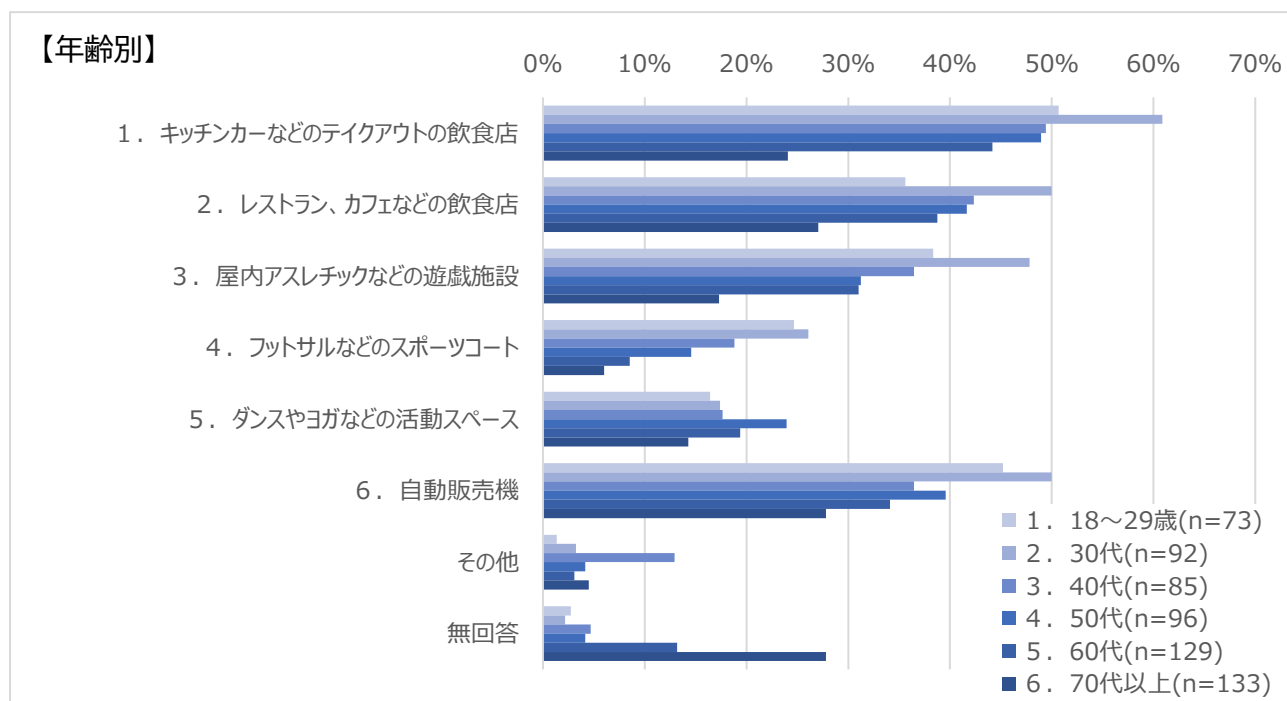
男女別では、「5. ダンスやヨガなどの活動スペース」と答えた割合が男性 12. 3%、女性21. 4%と女性が高く、「2. レストラン、カフェなどの飲食店」と答えた割合も男性 34. 5%、女性41. 2%、「3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設」と答えた割合も男性 30. 2%、女性 33. 2%と女性が高くなっている。

【男女別】



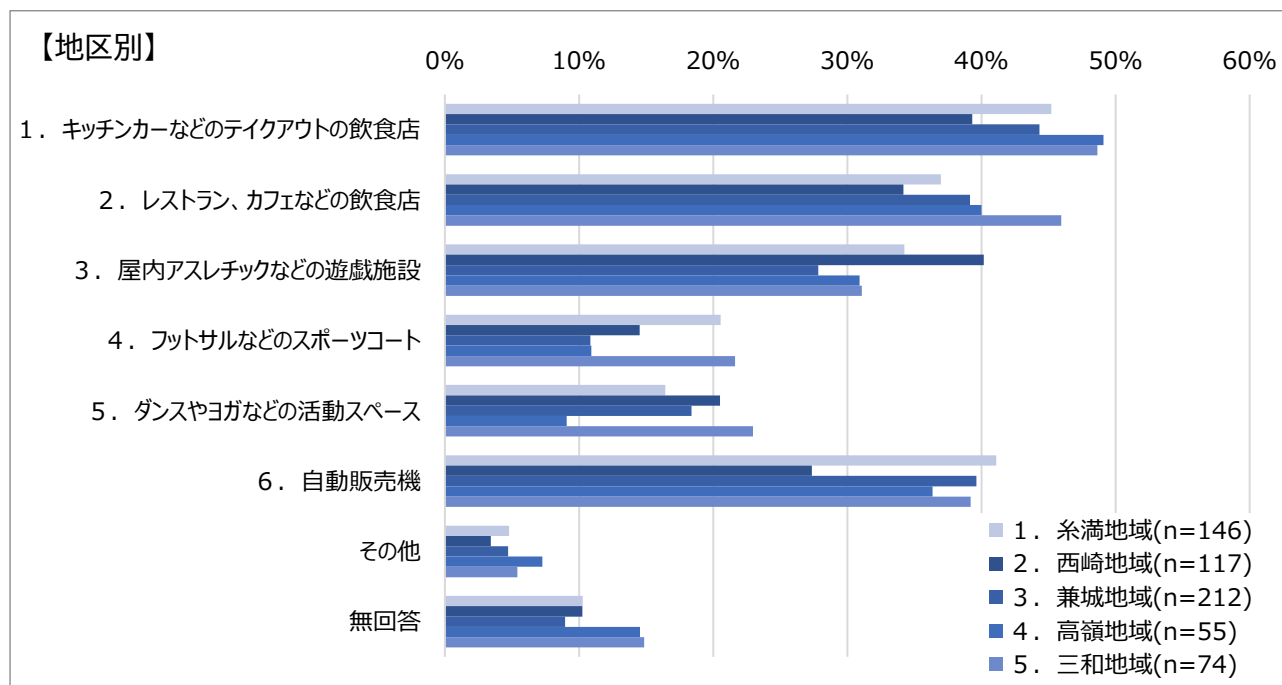
	1. 男性 (n=235)	2. 女性 (n=364)
1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	45.5%	43.7%
2. レストラン、カフェなどの飲食店	34.5%	41.2%
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設	30.2%	33.2%
4. フットサルなどのスポーツコート	21.3%	11.5%
5. ダンスやヨガなどの活動スペース	12.3%	21.4%
6. 自動販売機	39.6%	36.3%
その他	4.3%	5.2%
無回答	10.6%	11.0%

年代別では、30代では、「1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店」と答えた割合が60.9%(全体44.4%)、「2. レストラン、カフェなどの飲食店」50.0%(全体38.5%)、「3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設」47.8%(全体32.3%)、「4. フットサルなどのスポーツコート」と答えた割合が26.1%(全体15.1%)と他の年代よりも高くなっている。一方で、70代以上では無回答が27.8%と他の年代よりも高く、多くの項目で他の年代よりも低くなっている。



	1. 18~29歳(n=73)	2. 30代(n=92)	3. 40代(n=85)	4. 50代(n=96)	5. 60代(n=129)	6. 70代以上(n=133)
1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	50.7%	60.9%	49.4%	49.0%	44.2%	24.1%
2. レストラン、カフェなどの飲食店	35.6%	50.0%	42.4%	41.7%	38.8%	27.1%
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設	38.4%	47.8%	36.5%	31.3%	31.0%	17.3%
4. フットサルなどのスポーツコート	24.7%	26.1%	18.8%	14.6%	8.5%	6.0%
5. ダンスやヨガなどの活動スペース	16.4%	17.4%	17.6%	24.0%	19.4%	14.3%
6. 自動販売機	45.2%	50.0%	36.5%	39.6%	34.1%	27.8%
その他	1.4%	3.3%	12.9%	4.2%	3.1%	4.5%
無回答	2.7%	2.2%	4.7%	4.2%	13.2%	27.8%

地域別では、高嶺地域で「1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店」と答えた割合が 49.1%(全体44.4%)と他の地域よりも高くなっている。また、三和地域では「2. レストラン、カフェなどの飲食店」45.9%(全体 38.5%)、「4. フットサルなどのスポーツコート」21.6%(全体 15.1%)、「5. ダンスやヨガなどの活動スペース」と答えた割合が 23.0%(全体18.0%)と他の地域よりも高くなっている。

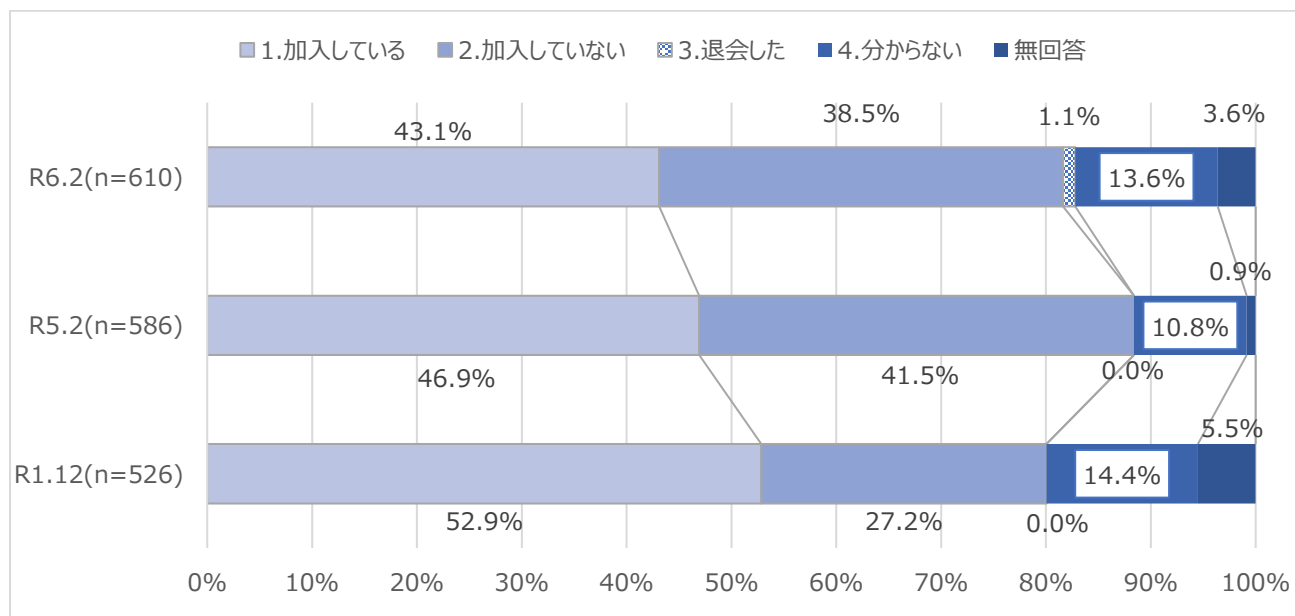


	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地 域(n=55)	5. 三和地 域(n=74)
1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店	45.2%	39.3%	44.3%	49.1%	48.6%
2. レストラン、カフェなどの飲食店	37.0%	34.2%	39.2%	40.0%	45.9%
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設	34.2%	40.2%	27.8%	30.9%	31.1%
4. フットサルなどのスポーツコート	20.5%	14.5%	10.8%	10.9%	21.6%
5. ダンスやヨガなどの活動スペース	16.4%	20.5%	18.4%	9.1%	23.0%
6. 自動販売機	41.1%	27.4%	39.6%	36.4%	39.2%
その他	4.8%	3.4%	4.7%	7.3%	5.4%
無回答	10.3%	10.3%	9.0%	14.5%	14.9%

●自治会について

問32. あなたの世帯は、自治会に加入していますか。（一つに○）

「1. 加入している」と答えた割合は52.9%から43.1%と9.8%減少している。また、「2. 加入していない」と答えた割合は27.2%から38.5%と11.3%増加している。

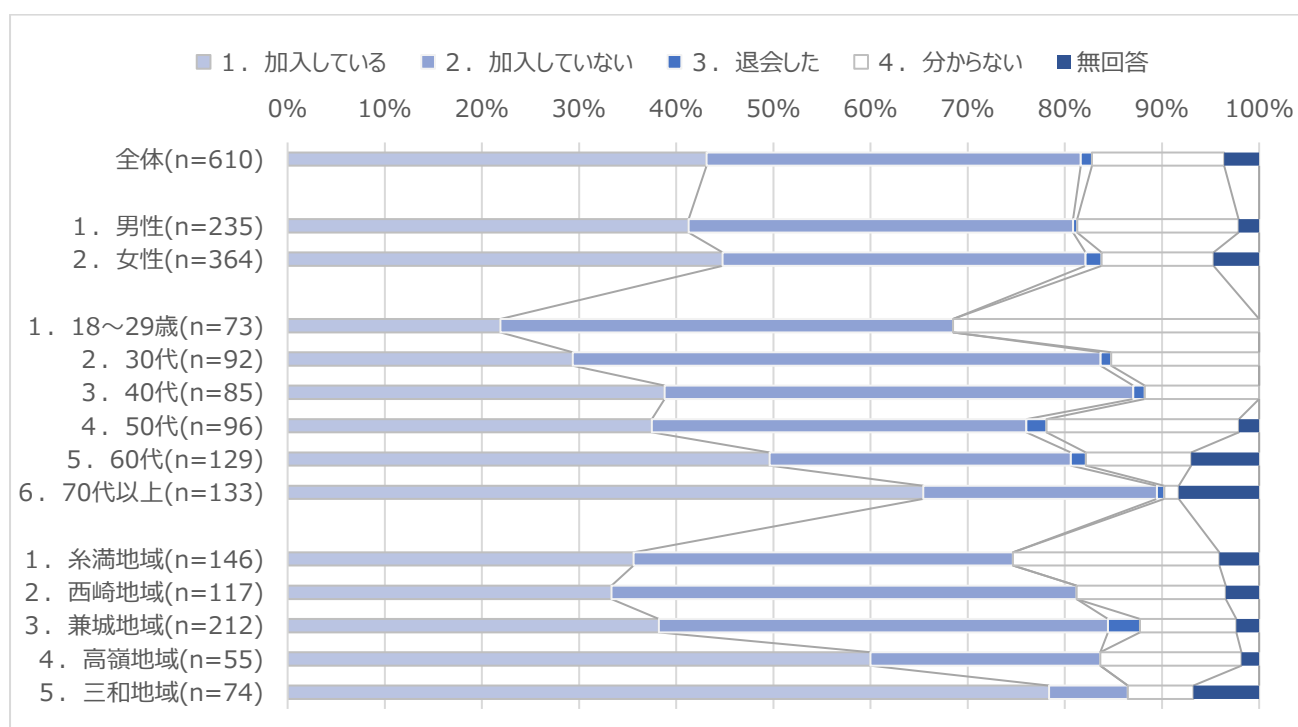


	R1.12 (n=526)	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1.加入している	52.9%	46.9%	43.1%
2.加入していない	27.2%	41.5%	38.5%
3.退会した	-	-	1.1%
4.分からない	14.4%	10.8%	13.6%
無回答	5.5%	0.9%	3.6%

男女別では、「1. 加入している」と答えた割合が男性 41.3%、女性44. 8%と女性が高くなっている。

年代別では、「1. 加入している」と答えた割合が18～29才で 21. 9%、30代で 29.3%と最も低く、70代以上で 65.4%と最も高く、年代が上がるにつれて比率も高くなっている。また、「2. 加入していない」と答えた割合は 30代で54. 3%、40代で48. 2%と他の年代よりも高くなっており、逆に 70代以上で 24. 1%と他の年代よりも低くなっている。

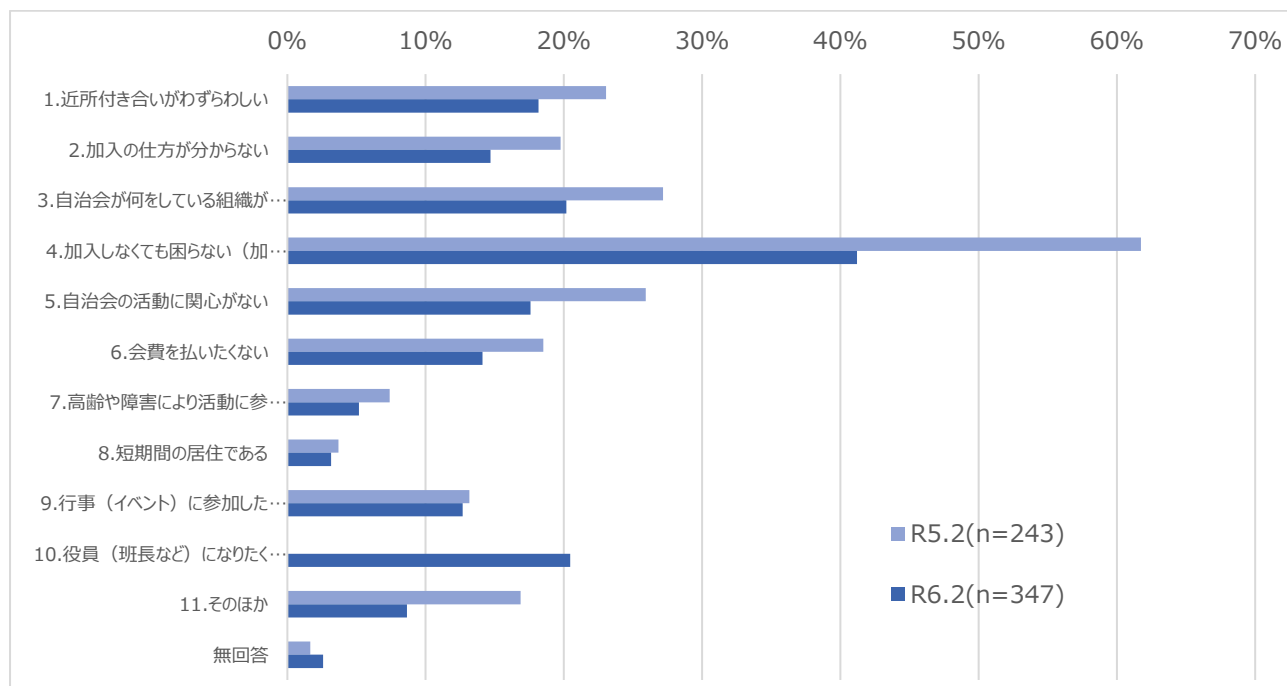
地域別では、三和地域で「1. 加入している」と答えた割合が78. 4%(全体43. 1%)と他の地域よりも高く、「2. 加入していない」が割合が 8. 1%(全体 38.5%)と他の地域よりも低くなっている。また、「1. 加入している」と答えた割合が西崎地域で 33. 3%、糸満地域で 35. 6%と他の地域よりも低くなっている。



	1. 加入して いる	2. 加入して いない	3. 退会した	4. 分からな い	無回答
全体(n=610)	43.1%	38.5%	1.1%	13.6%	3.6%
1. 男性(n=235)	41.3%	39.6%	0.4%	16.6%	2.1%
2. 女性(n=364)	44.8%	37.4%	1.6%	11.5%	4.7%
1. 18～29 歳(n=73)	21.9%	46.6%	0.0%	31.5%	0.0%
2. 30 代(n=92)	29.3%	54.3%	1.1%	15.2%	0.0%
3. 40 代(n=85)	38.8%	48.2%	1.2%	11.8%	0.0%
4. 50 代(n=96)	37.5%	38.5%	2.1%	19.8%	2.1%
5. 60 代(n=129)	49.6%	31.0%	1.6%	10.9%	7.0%
6. 70 代以上(n=133)	65.4%	24.1%	0.8%	1.5%	8.3%
1. 糸満地域(n=146)	35.6%	39.0%	0.0%	21.2%	4.1%
2. 西崎地域(n=117)	33.3%	47.9%	0.0%	15.4%	3.4%
3. 兼城地域(n=212)	38.2%	46.2%	3.3%	9.9%	2.4%
4. 高嶺地域(n=55)	60.0%	23.6%	0.0%	14.5%	1.8%
5. 三和地域(n=74)	78.4%	8.1%	0.0%	6.8%	6.8%

問37.「加入していない」、「退会した」を選択した方は、その理由を教えてください。
(当てはまるものすべてに○)

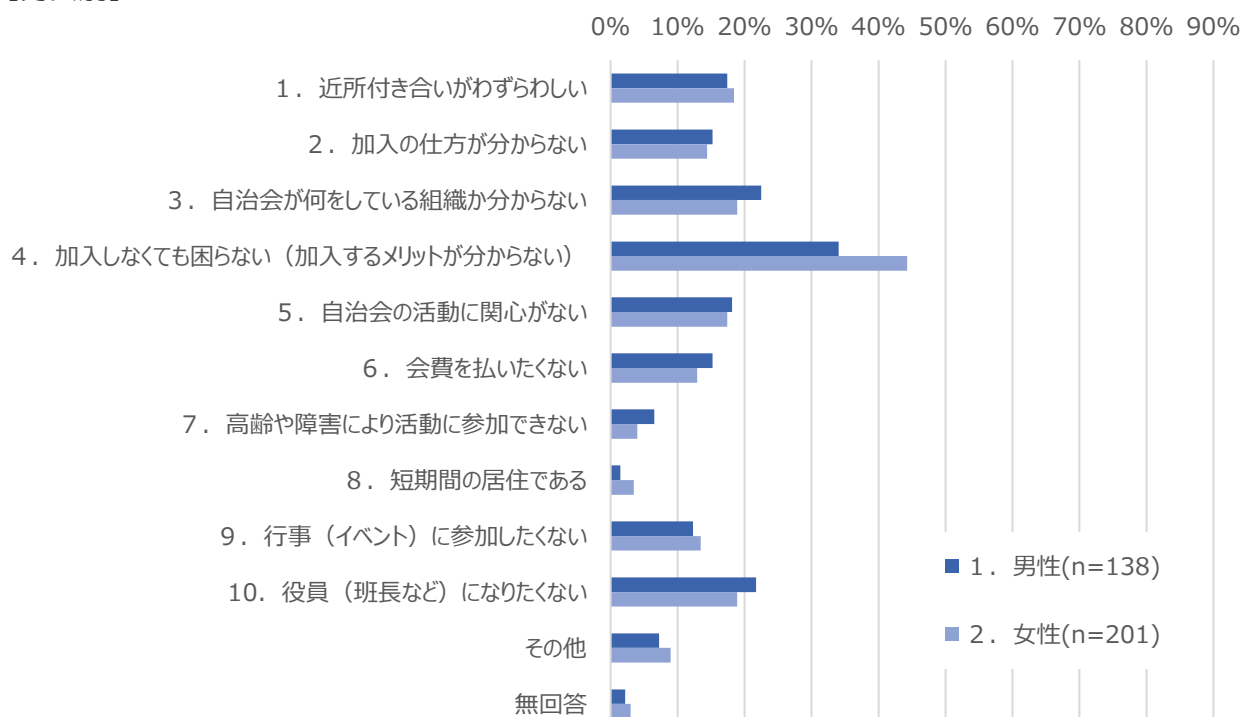
「4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)」と答えた割合が 41.2%と最も高く、次いで「3. 自治会が何をしている組織か分からない」20.2%、「1. 近所付き合いがわずらわしい」18.2%、「5. 自治会の活動に関心がない」17.6%となっている。



	R5.2 (n=243)	R6.2 (n=347)
1. 近所付き合いがわずらわしい	23.0%	18.2%
2. 加入の仕方が分からない	19.8%	14.7%
3. 自治会が何をしている組織か分からない	27.2%	20.2%
4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)	61.7%	41.2%
5. 自治会の活動に関心がない	25.9%	17.6%
6. 会費を払いたくない	18.5%	14.1%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	7.4%	5.2%
8. 短期間の居住である	3.7%	3.2%
9. 行事(イベント)に参加したくない	13.2%	12.7%
10. 役員(班長など)になりたくない	-	20.5%
その他	16.9%	8.6%
1. 近所付き合いがわずらわしい	1.6%	2.6%

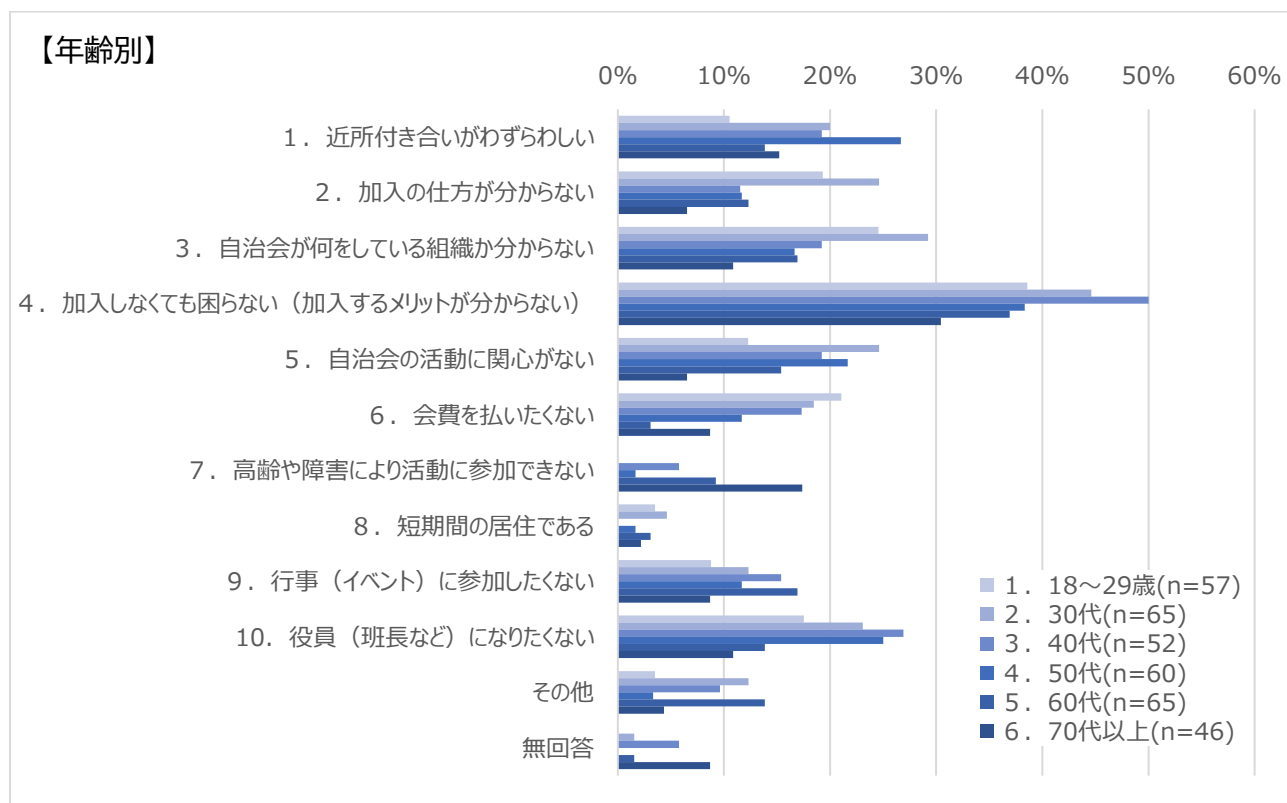
男女別では、「4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)」と答えた割合が男性 34.1%、女性 44.3%と女性が高くなっている。

【男女別】



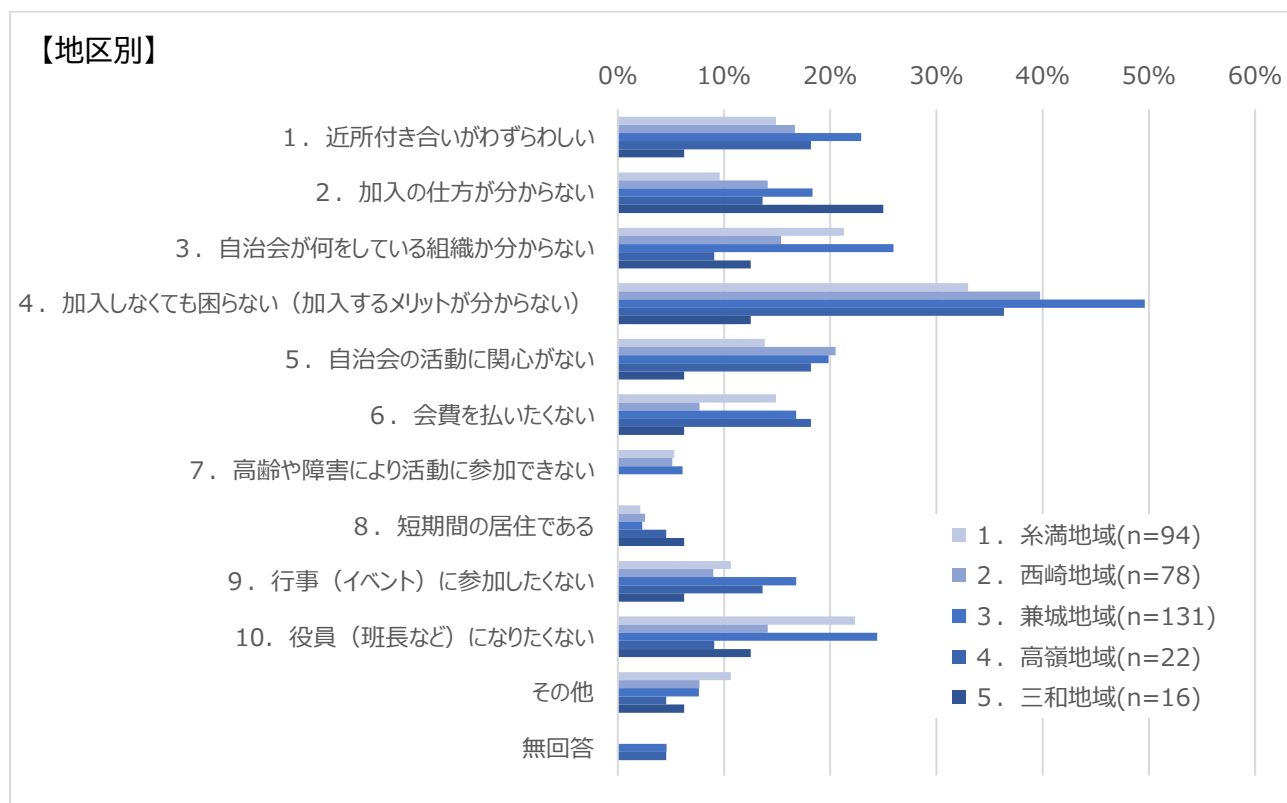
	1. 男性 (n=138)	2. 女性 (n=201)
1. 近所付き合いがわずらわしい	17.4%	18.4%
2. 加入の仕方が分からない	15.2%	14.4%
3. 自治会が何をしている組織か分からない	22.5%	18.9%
4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)	34.1%	44.3%
5. 自治会の活動に関心がない	18.1%	17.4%
6. 会費を払いたくない	15.2%	12.9%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	6.5%	4.0%
8. 短期間の居住である	1.4%	3.5%
9. 行事(イベント)に参加したくない	12.3%	13.4%
10. 役員(班長など)になりたくない	21.7%	18.9%
その他	7.2%	9.0%
無回答	2.2%	3.0%

年代別では、18～29歳においては「6.会費を払いたくない」と答えた割合が21.1%(全体14.1%)と他の年代よりも高くなっている。30代では、「2.加入の仕方が分からない」24.6%(全体14.7%)、「3.自治会が何をしている組織が分からない」29.2%(全体20.2%)、「5.自治会の活動に関心がない」24.6%(全体17.6%)、「8.短期間の居住である」と答えた割合が4.6%(全体3.2%)と他の年代よりも高くなっている。



	1. 18～29歳 (n=57)	2. 30代 (n=65)	3. 40代 (n=52)	4. 50代 (n=60)	5. 60代 (n=65)	6. 70代以上 (n=46)
1. 近所付き合いがわずらわしい	10.5%	20.0%	19.2%	26.7%	13.8%	15.2%
2. 加入の仕方が分からない	19.3%	24.6%	11.5%	11.7%	12.3%	6.5%
3. 自治会が何をしている組織が分からない	24.6%	29.2%	19.2%	16.7%	16.9%	10.9%
4. 加入しなくても困らない (加入するメリットが分からない)	38.6%	44.6%	50.0%	38.3%	36.9%	30.4%
5. 自治会の活動に関心がない	12.3%	24.6%	19.2%	21.7%	15.4%	6.5%
6. 会費を払いたくない	21.1%	18.5%	17.3%	11.7%	3.1%	8.7%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	0.0%	0.0%	5.8%	1.7%	9.2%	17.4%
8. 短期間の居住である	3.5%	4.6%	0.0%	1.7%	3.1%	2.2%
9. 行事 (イベント) に参加したくない	8.8%	12.3%	15.4%	11.7%	16.9%	8.7%
10. 役員 (班長など) になりたくない	17.5%	23.1%	26.9%	25.0%	13.8%	10.9%
その他	3.5%	12.3%	9.6%	3.3%	13.8%	4.3%
無回答	0.0%	1.5%	5.8%	0.0%	1.5%	8.7%

地域別では、高嶺・三和地域のサンプル数が約 25 以下であることに留意する必要があるが、西崎地域では「5. 自治会の活動に関心がない」と答えた割合が 20.5%(全体 14.1%)と他の地域より高くなっている。三和地域では「2.加入の仕方が分からない」25.0%(全体 14.7%)、「8. 短期間の居住である」と答えた割合が 6.3%(全体 3.2%)と他の地域より高くなっている。その他の項目は兼城地域が他の地域より高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=94)	2. 西崎地域 (n=78)	3. 兼城地域 (n=131)	4. 高嶺地域 (n=22)	5. 三和地域 (n=16)
1. 近所付き合いがわずらわしい	14.9%	16.7%	22.9%	18.2%	6.3%
2. 加入の仕方が分からない	9.6%	14.1%	18.3%	13.6%	25.0%
3. 自治会が何をしている組織か分からない	21.3%	15.4%	26.0%	9.1%	12.5%
4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)	33.0%	39.7%	49.6%	36.4%	12.5%
5. 自治会の活動に関心がない	13.8%	20.5%	19.8%	18.2%	6.3%
6. 会費を払いたくない	14.9%	7.7%	16.8%	18.2%	6.3%
7. 高齢や障害により活動に参加できない	5.3%	5.1%	6.1%	0.0%	0.0%
8. 短期間の居住である	2.1%	2.6%	2.3%	4.5%	6.3%
9. 行事(イベント)に参加したくない	10.6%	9.0%	16.8%	13.6%	6.3%
10. 役員(班長など)になりたくない	22.3%	14.1%	24.4%	9.1%	12.5%
その他	10.6%	7.7%	7.6%	4.5%	6.3%
無回答	0.0%	0.0%	4.6%	4.5%	0.0%

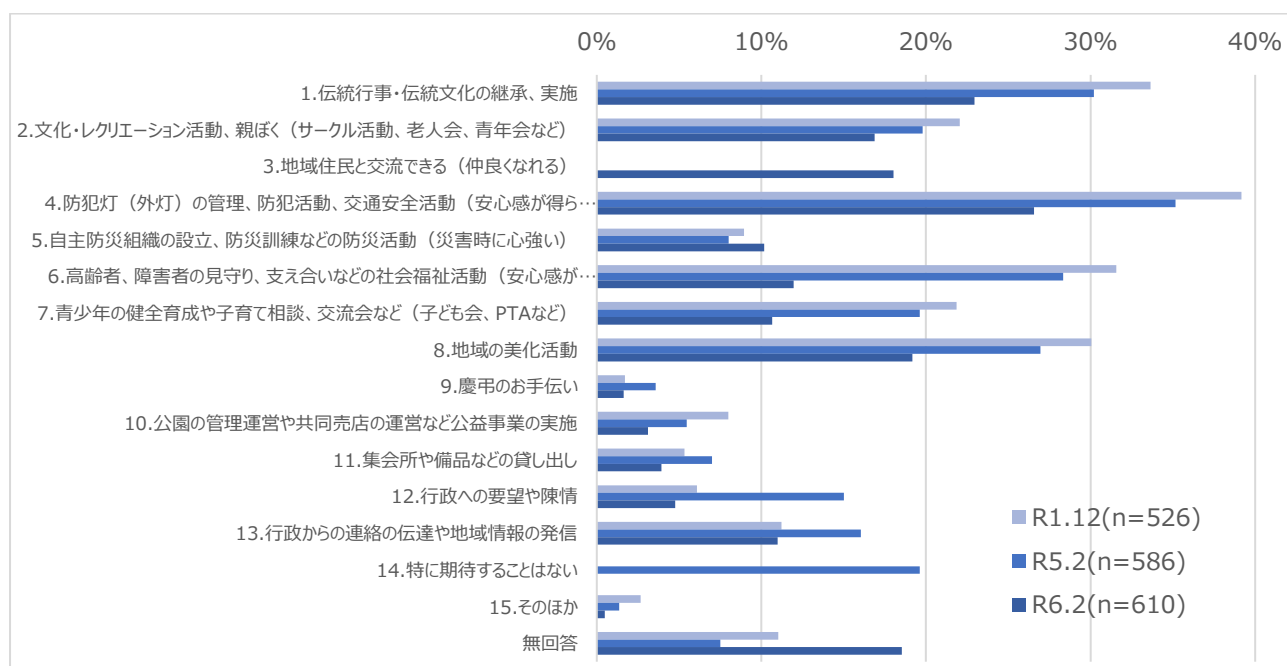
●10.その他

- 高齢の方の集り、掃除
- 寄留民
- 自治会がまだ、発足してない為
- 引っ越ししたばかりなので
- アパートが多いので、近所づきあいもありしたくない。
- 自分の持ち家ではない為。
- 会費の内訳に大いに疑問がある。飲み会代も含まれていて不快
- 加入を否定された(新たな移住者は)
- 自治会あるかわからない。
- 時間が無い。
- 今のところ、加入する必要性がないだけ。
- お金だけ会長が集金して、活動内容の説明、集会所の場所、近くにいる役員、役員紹介、会計報告もないので、自治会の事が何一つ理解できなかった 1 年だったので、もう入りたいと思わない。
- 会費が高い。(家族の人数に寄って金額が違う為)。一律にしてほしい。
- 仕事優先で参加できない。
- 参加する時間を作るのが難しい。
- 時間がとれない。
- 会費が高い。
- 住民の意見を聞かない。煩わしいことは、無視する。
- 自治体が無い
- 潮崎町はまだ自治会がないため。
- 特に勧誘されてない
- 今は、仕事や子育てなどで自治会行事に参加やそれを担うことは難しい。
- 自分の所属する自治体が、わからない。わかりづらい。
- 自治会の集会所から、かなり遠い
- 責任が生じる行動は取りたくない

問38. 自治会活動に期待すること、加入して良かったことを教えてください。(〇は三つまで)

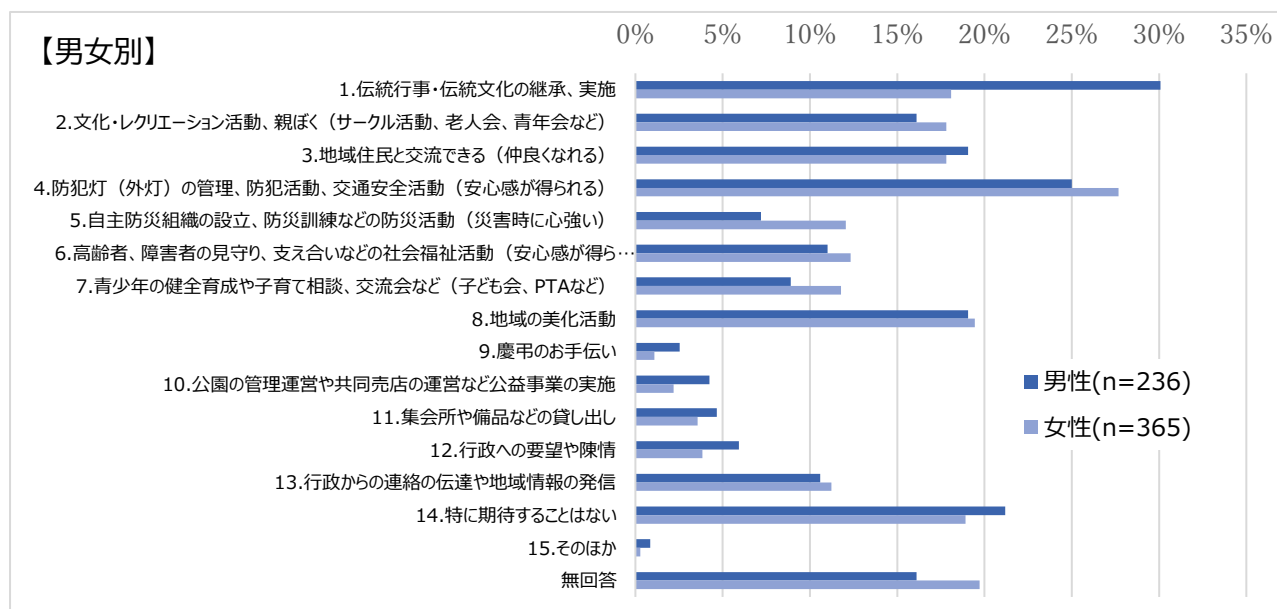
「4.防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)」と答えた割合が26.6%と最も高く、次いで「1.伝統行事・伝統文化の継承、実施」23.0%、「8.地域の美化活動」19.2%となっている。

令和元年度(R1年12月)の調査と比較すると、「6.高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)」と答えた割合は31.6%から12.0%と19.6%減少し、「4.防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)」も39.2%から26.6%と12.6%減少している。



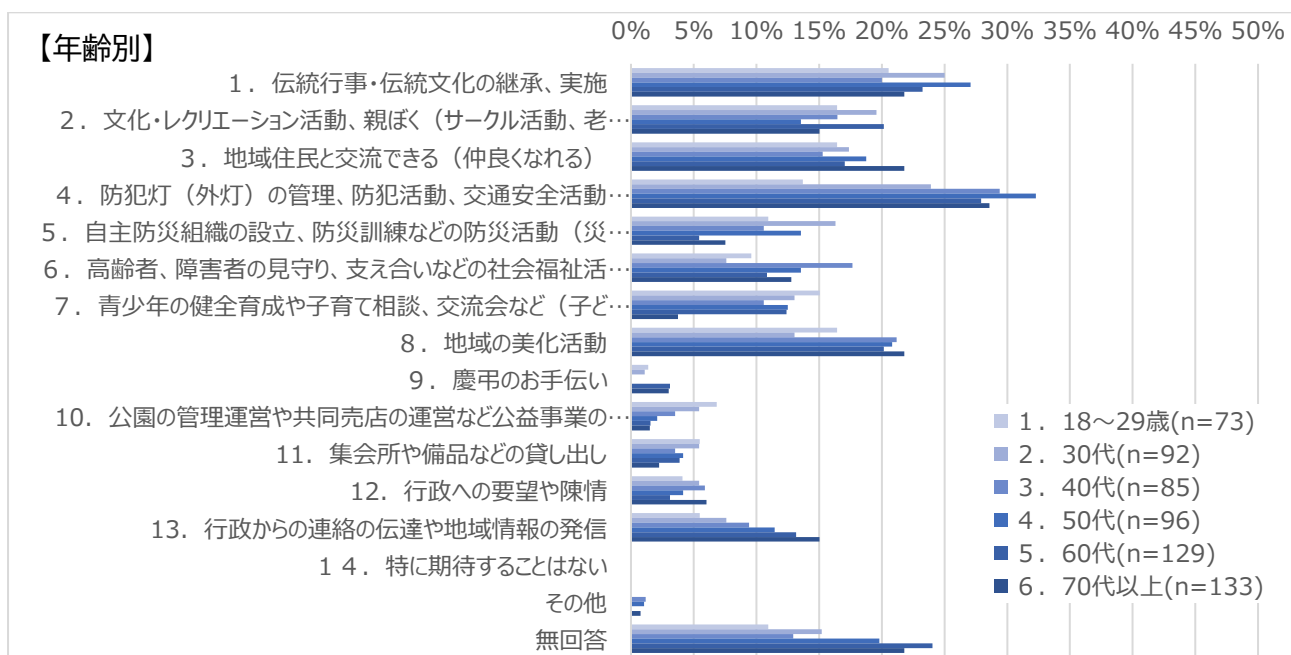
	R1.12 (n=526)	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施	33.7%	30.2%	23.0%
2. 文化・レクリエーション活動、親ばく(サークル活動、老人会、青年会など)	22.1%	19.8%	16.9%
3. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)	-	-	18.0%
4. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)	39.2%	35.2%	26.6%
5. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動(災害時に心強い)	8.9%	8.0%	10.2%
6. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)	31.6%	28.3%	12.0%
7. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTAなど)	21.9%	19.6%	10.7%
8. 地域の美化活動	30.0%	27.0%	19.2%
9. 慶弔のお手伝い	1.7%	3.6%	1.6%
10. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	8.0%	5.5%	3.1%
11. 集会所や備品などの貸し出し	5.3%	7.0%	3.9%
12. 行政への要望や陳情	6.1%	15.0%	4.8%
13. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信	11.2%	16.0%	11.0%
14. 特に期待することはない	-	19.6%	0.0%
その他	2.7%	1.4%	0.5%
無回答	11.0%	7.5%	18.5%

男女別では、「2.文化・レクリエーション活動、親ばく(サークル活動、老人会、青年会など)」と答えた割合が男性 16.2%、女性 17.8%と女性が高く、「4.防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)」が男性 25.0%、女性 27.7%、「5.自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動(災害時に心強い)」が男性 7.2%、女性 12.1%、「6.高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)」が男性 11.1%、女性 12.4%、「7.青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTAなど)」が男性 8.9%、女性 11.8%、「8.地域の美化活動」と答えた割合も男性 18.7%、女性19.5%と女性が高くなっている。



	1. 男性 (n=235)	2. 女性 (n=364)
1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施	30.2%	17.9%
2. 文化・レクリエーション活動、親ばく(サークル活動、老人会、青年会など)	16.2%	17.6%
3. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)	19.1%	17.6%
4. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)	24.7%	27.7%
5. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動(災害時に心強い)	7.2%	12.1%
6. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)	11.1%	12.4%
7. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTAなど)	8.9%	11.8%
8. 地域の美化活動	18.7%	19.5%
9. 慶弔のお手伝い	2.6%	1.1%
10. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	4.3%	2.2%
11. 集会所や備品などの貸し出し	4.7%	3.6%
12. 行政への要望や陳情	6.0%	3.8%
13. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信	10.6%	11.3%
14. 特に期待することはない	0.0%	0.0%
その他	0.9%	0.3%
無回答	16.2%	19.8%

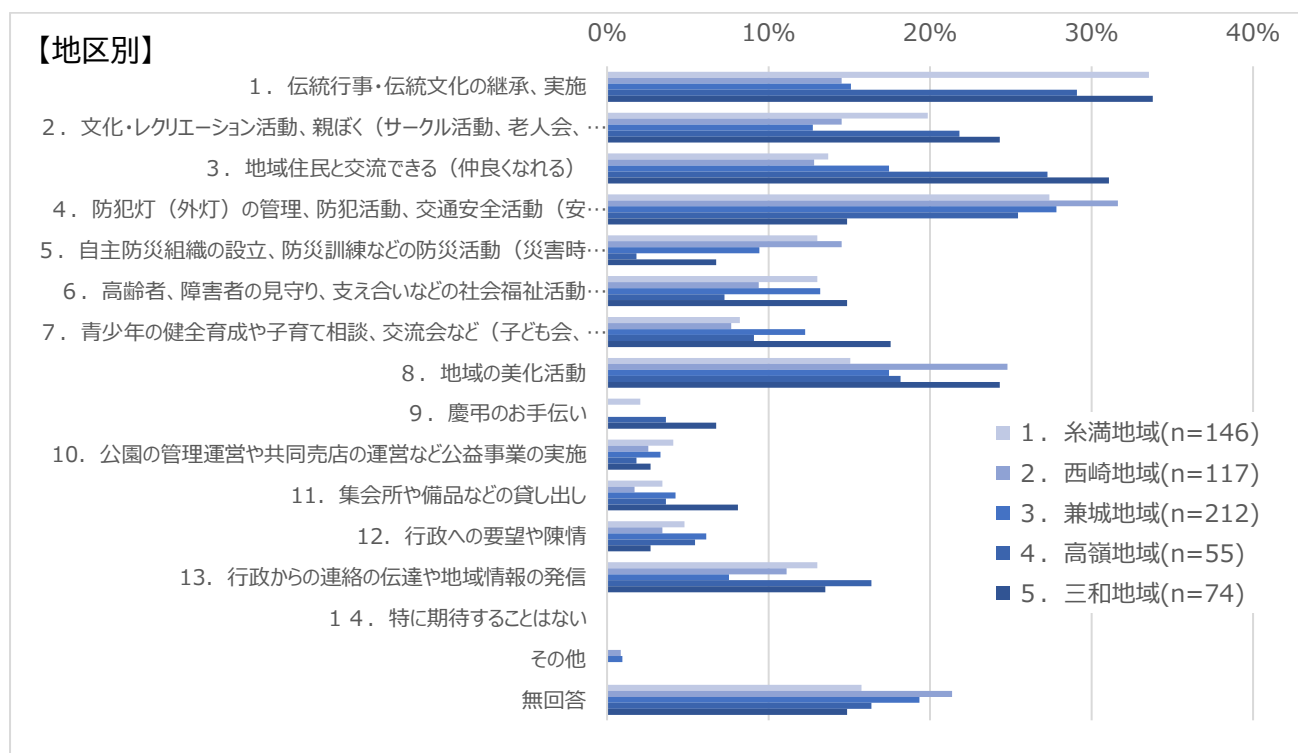
年代別では、18～29才において「7. 青少年の県税育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTA など)」と答えた割合が15.1%(全体10.7%)と他の年代よりも高くなっている。また、40代では「6. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)」と答えた割合が17.6%(全体12.0%)と他の年代よりも高くなっている。また、60代においては「2. 文化・レクリエーション活動、親ばく(サークル活動、老人会、青年会など)」と答えた割合が20.2%(全体16.9%)と他の年代よりも高くなっている。



	1. 18～29歳(n=73)	2. 30代(n=92)	3. 40代(n=85)	4. 50代(n=96)	5. 60代(n=129)	6. 70代以上(n=133)
1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施	20.5%	25.0%	20.0%	27.1%	23.3%	21.8%
2. 文化・レクリエーション活動、親ばく(サークル活動、老人会、青年会など)	16.4%	19.6%	16.5%	13.5%	20.2%	15.0%
3. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)	16.4%	17.4%	15.3%	18.8%	17.1%	21.8%
4. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)	13.7%	23.9%	29.4%	32.3%	27.9%	28.6%
5. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動(災害時に心強い)	11.0%	16.3%	10.6%	13.5%	5.4%	7.5%
6. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)	9.6%	7.6%	17.6%	13.5%	10.9%	12.8%
7. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTAなど)	15.1%	13.0%	10.6%	12.5%	12.4%	3.8%
8. 地域の美化活動	16.4%	13.0%	21.2%	20.8%	20.2%	21.8%
9. 慶弔のお手伝い	1.4%	1.1%	0.0%	0.0%	3.1%	3.0%
10. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	6.8%	5.4%	3.5%	2.1%	1.6%	1.5%

11. 集会所や備品などの貸し出し	5.5%	5.4%	3.5%	4.2%	3.9%	2.3%
12. 行政への要望や陳情	4.1%	5.4%	5.9%	4.2%	3.1%	6.0%
13. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信	5.5%	7.6%	9.4%	11.5%	13.2%	15.0%
14. 特に期待することはない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	1.2%	1.0%	0.0%	0.8%
無回答	11.0%	15.2%	12.9%	19.8%	24.0%	21.8%

地域別では、三和地域において「1.伝統行事・伝統文化の継承、実施」と答えた割合が 33.8%(全体 23.0%)、「2.文化・レクリエーション活動、親ばく(サークル活動、老人会、青年会など)」24.3%(全体 16.9%)、「3.地域住民と交流できる(仲良くなれる)」31.1%(全体 18.0%)と他の地域よりも高くなっている。また、糸満地域においては「10.公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施」と答えた割合が 4.1%(全体 3.1%)と他の地域よりも高くなっている。また、西崎地域では「4.防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)」と答えた割合が 31.6%(全体 26.6%)、「5.自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動(災害時に心強い)」14.5%(全体 10.2%)、「8.地域の美化活動」24.8%(全体 19.2%)と他の地域よりも高くなっている。



	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地域 (n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1.伝統行事・伝統文化の継承、実施	33.6%	14.5%	15.1%	29.1%	33.8%
2.文化・レクリエーション活動、親ばく(サークル活動、老人会、青年会など)	19.9%	14.5%	12.7%	21.8%	24.3%
3.地域住民と交流できる(仲良くなれる)	13.7%	12.8%	17.5%	27.3%	31.1%
4.防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)	27.4%	31.6%	27.8%	25.5%	14.9%
5.自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動(災害時に心強い)	13.0%	14.5%	9.4%	1.8%	6.8%
6.高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)	13.0%	9.4%	13.2%	7.3%	14.9%
7.青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTA など)	8.2%	7.7%	12.3%	9.1%	17.6%
8.地域の美化活動	15.1%	24.8%	17.5%	18.2%	24.3%
9.慶弔のお手伝い	2.1%	0.0%	0.0%	3.6%	6.8%
10.公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施	4.1%	2.6%	3.3%	1.8%	2.7%

11.集会所や備品などの貸し出し	3.4%	1.7%	4.2%	3.6%	8.1%
12.行政への要望や陳情	4.8%	3.4%	6.1%	5.5%	2.7%
13.行政からの連絡の伝達や地域情報 の発信	13.0%	11.1%	7.5%	16.4%	13.5%
14.特に期待することはない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15.その他	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%
無回答	15.8%	21.4%	19.3%	16.4%	14.9%

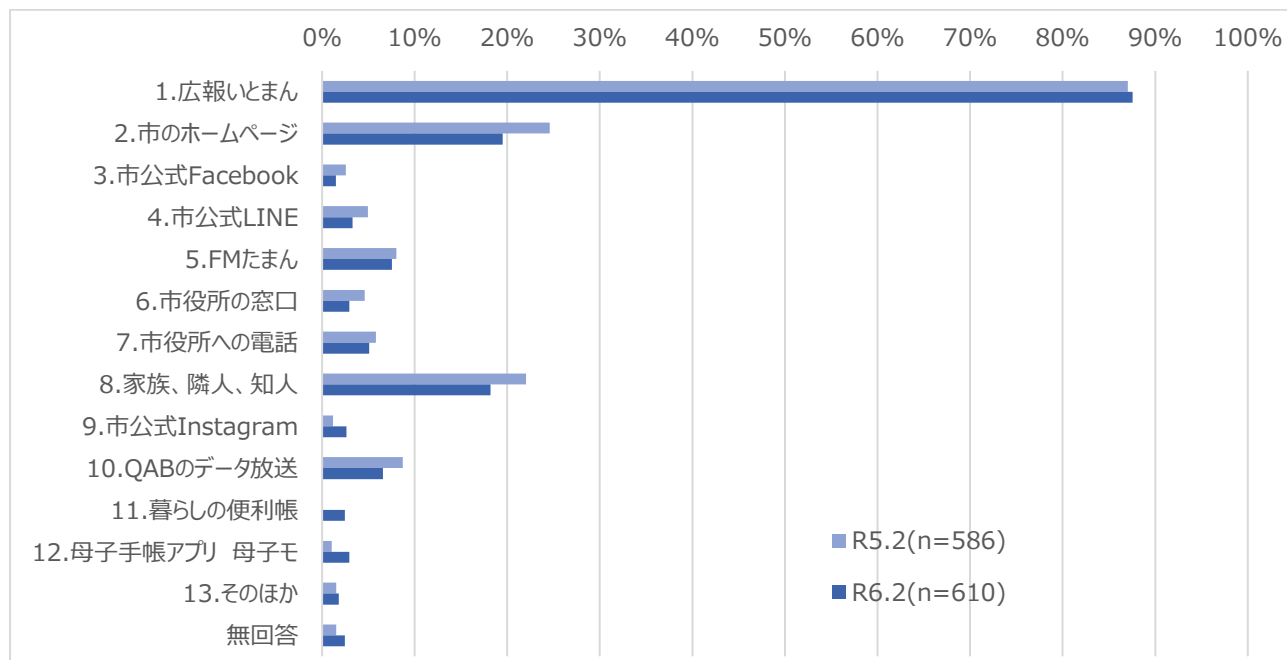
●15.その他

- 団地内での祭りがあるから。出店もある。
- 自治会への加入の有無に関わらず、災害時などの助け合いは必要だと思う。
- 行事等参加していたが、自治会のある役員から意見があれば何かありますか？と言われたので丁寧に答えたら、逆ギレされて意味がわかりませんでした。

◆5. 市政についてお伺いします。

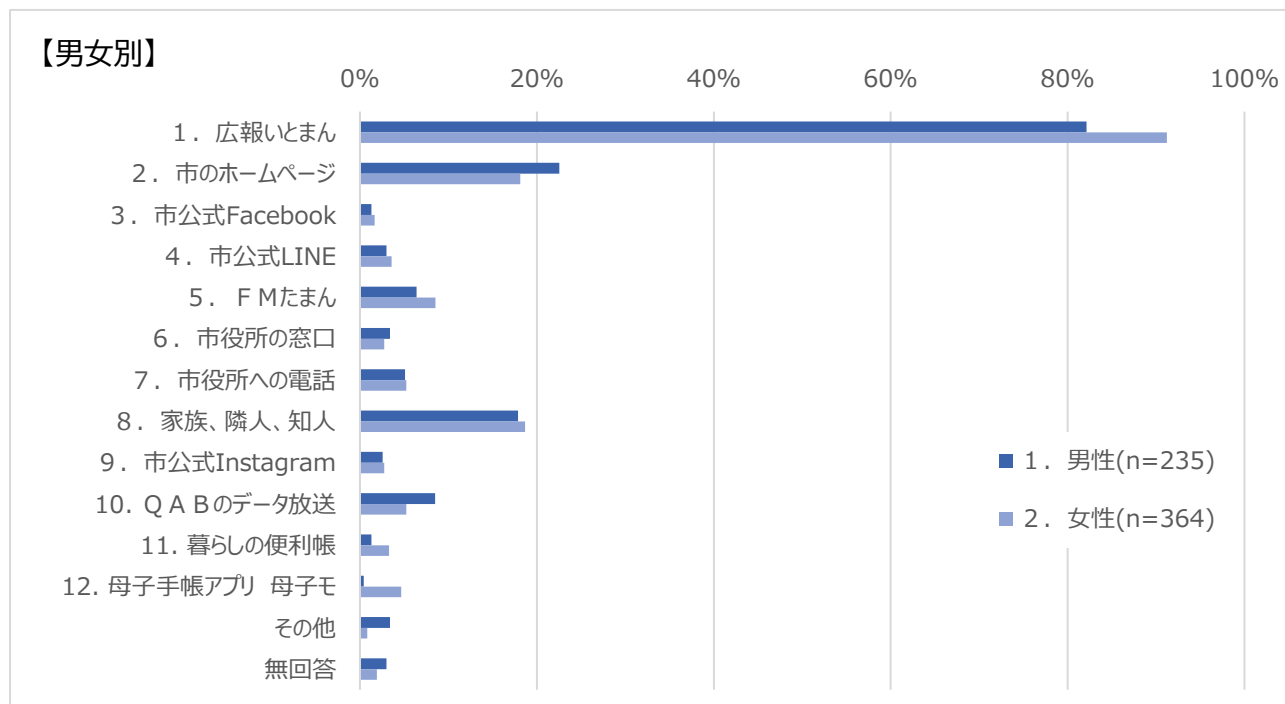
問39. 市の情報をどのような方法で入手していますか。(当てはまるものすべてに○)

「1. 広報いとまん」と答えた割合が87.5%と最も高く、次いで「2. 市のホームページ」19.5%、「8. 家族、隣人、知人」18.2%となっている。



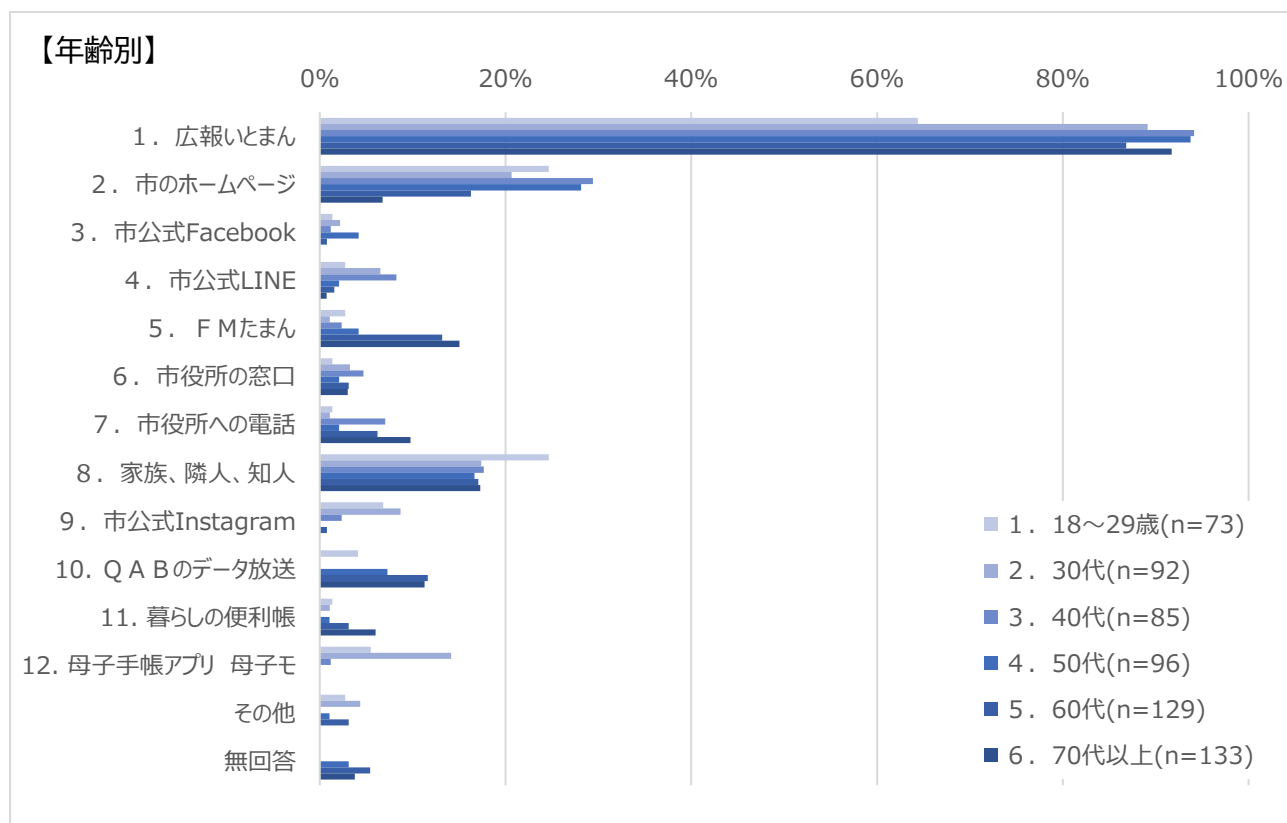
	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1. 広報いとまん	87.0%	87.5%
2. 市のホームページ	24.6%	19.5%
3. 市公式 Facebook	2.6%	1.5%
4. 市公式 LINE	4.9%	3.3%
5. FM たまん	8.0%	7.5%
6. 市役所の窓口	4.6%	3.0%
7. 市役所への電話	5.8%	5.1%
8. 家族、隣人、知人	22.0%	18.2%
9. 市公式 Instagram	1.2%	2.6%
10. QAB のデータ放送	8.7%	6.6%
11. 暮らしの便利帳	-	2.5%
12. 母子手帳アプリ 母子モ	1.0%	3.0%
13. その他	1.5%	1.8%
無回答	1.5%	2.5%

男女別では、「1. 広報いとまん」と答えた割合が男性82.1%、女性91.2%と女性が高くなっており、また、「8. 家族、隣人、知人」と答えた割合も男性17.9%、女性18.7%と女性が高くなっている



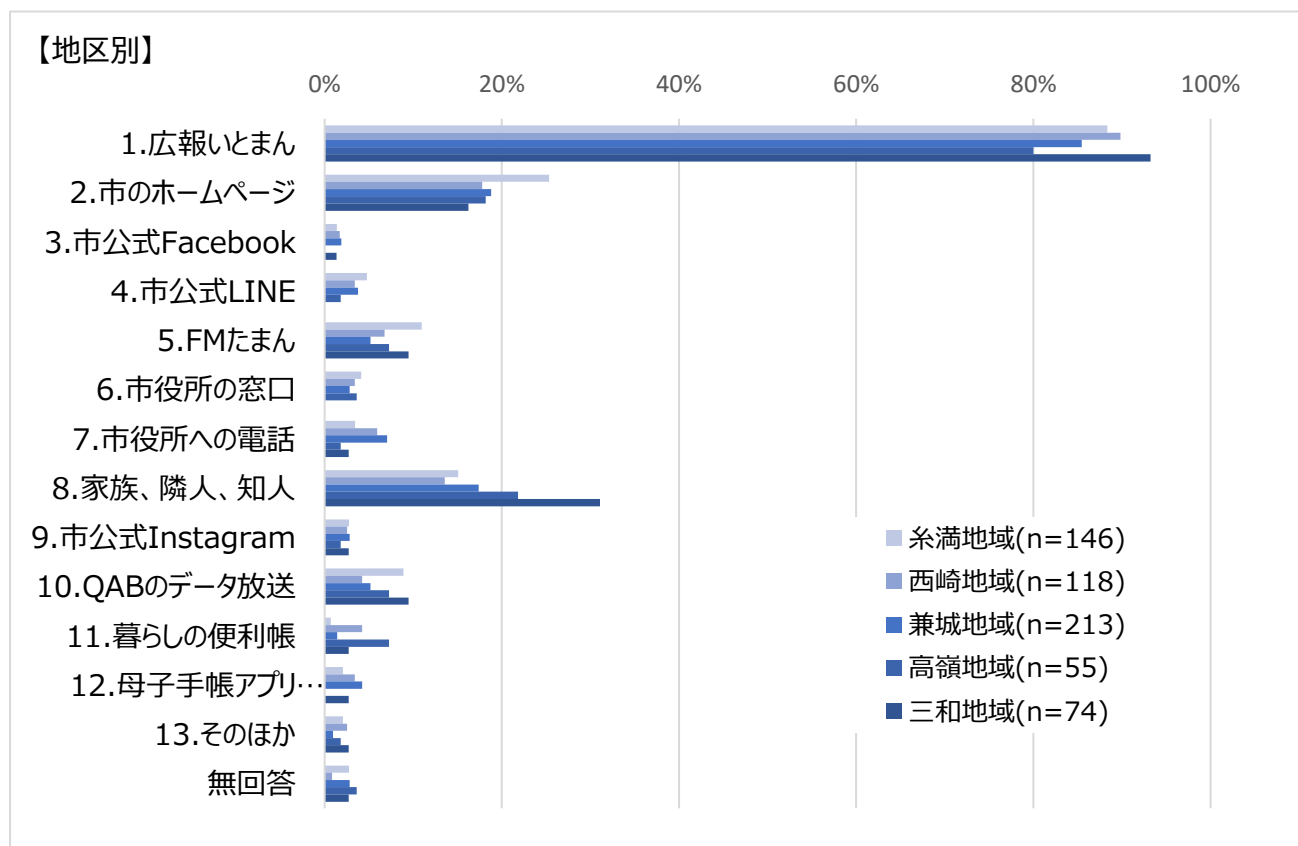
	1. 男性 (n=235)	2. 女性 (n=364)
1. 広報いとまん	82.1%	91.2%
2. 市のホームページ	22.6%	18.1%
3. 市公式 Facebook	1.3%	1.6%
4. 市公式 LINE	3.0%	3.6%
5. FMたまん	6.4%	8.5%
6. 市役所の窓口	3.4%	2.7%
7. 市役所への電話	5.1%	5.2%
8. 家族、隣人、知人	17.9%	18.7%
9. 市公式 Instagram	2.6%	2.7%
10. QABのデータ放送	8.5%	5.2%
11. 暮らしの便利帳	1.3%	3.3%
12. 母子手帳アプリ 母子モ	0.4%	4.7%
その他	3.4%	0.8%
無回答	3.0%	1.9%

年代別では、18～29才において「1. 広報いとまん」と答えた割合が64.4%(全体87.5%)と他の年代よりも低くなっている一方で、「8. 家族、隣人、知人」と答えた割合は24.7%(全体18.2%)と他の年代よりも高くなっている。また、40代では「2. 市のホームページ」と答えた割合が29.4%(全体19.5%)と他の年代よりも高くなっている。また、70代以上では「7. 市役所への電話」と答えた割合が9.8%(全体5.1%)、「5. FMたまん」と答えた割合が15.0%(全体7.5%)と他の年代よりも高くなっているが、「2. 市のホームページ」と答えた割合は6.8%(全体19.5%)と他の年代よりも低くなっている。



	1. 18~29歳(n=73)	2. 30代(n=92)	3. 40代(n=85)	4. 50代(n=96)	5. 60代(n=129)	6. 70代以上(n=133)
1. 広報いとまん	64.4%	89.1%	94.1%	93.8%	86.8%	91.7%
2. 市のホームページ	24.7%	20.7%	29.4%	28.1%	16.3%	6.8%
3. 市公式 Facebook	1.4%	2.2%	1.2%	4.2%	0.8%	0.0%
4. 市公式 LINE	2.7%	6.5%	8.2%	2.1%	1.6%	0.8%
5. FMたまん	2.7%	1.1%	2.4%	4.2%	13.2%	15.0%
6. 市役所の窓口	1.4%	3.3%	4.7%	2.1%	3.1%	3.0%
7. 市役所への電話	1.4%	1.1%	7.1%	2.1%	6.2%	9.8%
8. 家族、隣人、知人	24.7%	17.4%	17.6%	16.7%	17.1%	17.3%
9. 市公式 Instagram	6.8%	8.7%	2.4%	0.0%	0.8%	0.0%
10. QABのデータ放送	4.1%	0.0%	0.0%	7.3%	11.6%	11.3%
11. 暮らしの便利帳	1.4%	1.1%	0.0%	1.0%	3.1%	6.0%
12. 母子手帳アプリ 母子モ	5.5%	14.1%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	2.7%	4.3%	0.0%	1.0%	3.1%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	5.4%	3.8%

地域別では、地域による差はそれほど見られない。



【地域別】

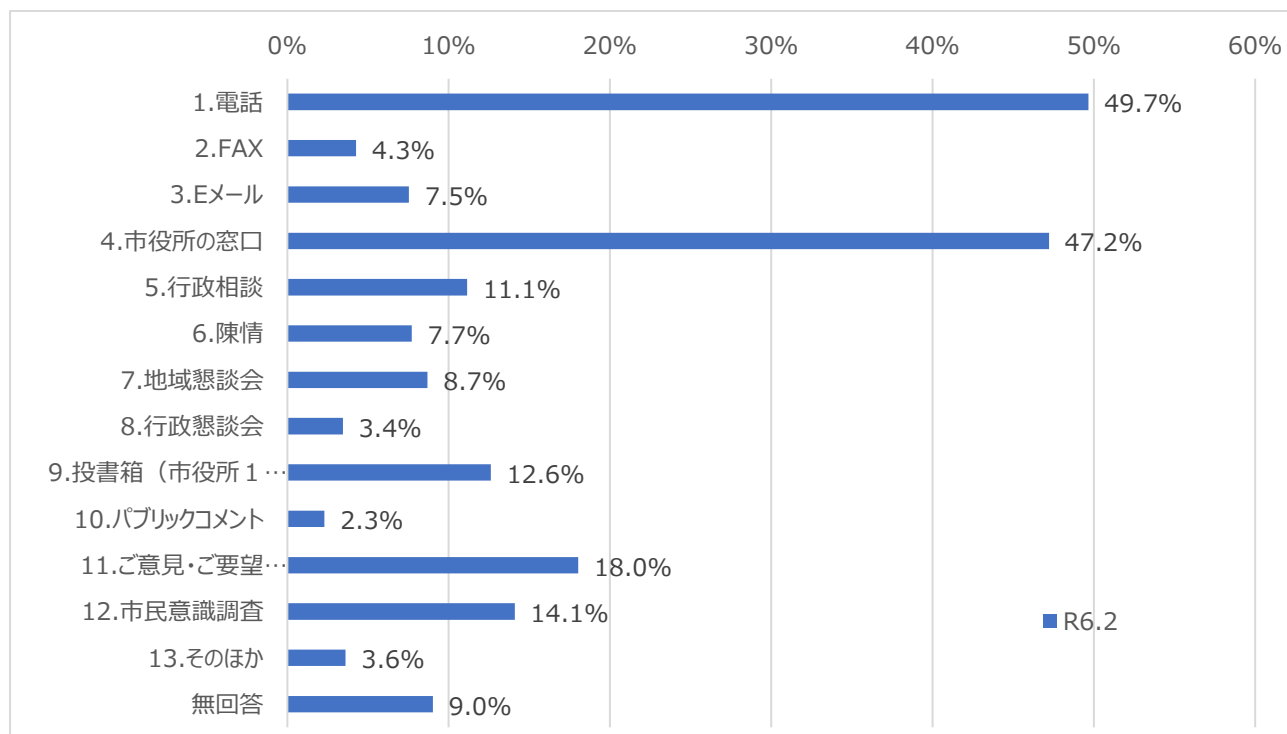
	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地域 (n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1. 広報いとまん	88.4%	89.7%	85.4%	80.0%	93.2%
2. 市のホームページ	25.3%	17.1%	18.4%	18.2%	16.2%
3. 市公式 Facebook	1.4%	1.7%	1.9%	0.0%	1.4%
4. 市公式 LINE	4.8%	3.4%	3.8%	1.8%	0.0%
5. FMたまん	11.0%	6.8%	5.2%	7.3%	9.5%
6. 市役所の窓口	4.1%	3.4%	2.8%	3.6%	0.0%
7. 市役所への電話	3.4%	6.0%	7.1%	1.8%	2.7%
8. 家族、隣人、知人	15.1%	13.7%	17.5%	21.8%	31.1%
9. 市公式 Instagram	2.7%	2.6%	2.8%	1.8%	2.7%
10. QABのデータ放送	8.9%	4.3%	5.2%	7.3%	9.5%
11. 暮らしの便利帳	0.7%	4.3%	1.4%	7.3%	2.7%
12. 母子手帳アプリ 母子モ	2.1%	3.4%	4.2%	0.0%	2.7%
その他	2.1%	2.6%	0.9%	1.8%	2.7%
無回答	2.7%	0.9%	2.8%	3.6%	2.7%

●13.その他

- 仕事
- ほとんどない、広報いとまんもとどかない
- 必要なら市へ電話している。
- チラシ
- なし
- 張り紙
- 自治会
- youtube
- 入手してない
- 支援センター
- ネット上でなんとなく情報を入手してる人が多い

問 40. 市民が市政に対して、意見や要望を言える方法について、把握しているものを教えてください。(一つに○)

「1. 電話」と答えた割合が49.7%と最も多く、次に「4.市役所の窓口」と答えた割合が47.2%、「11.ご意見・ご要望(市のホームページ)」と答えた割合が18.0%となっている。

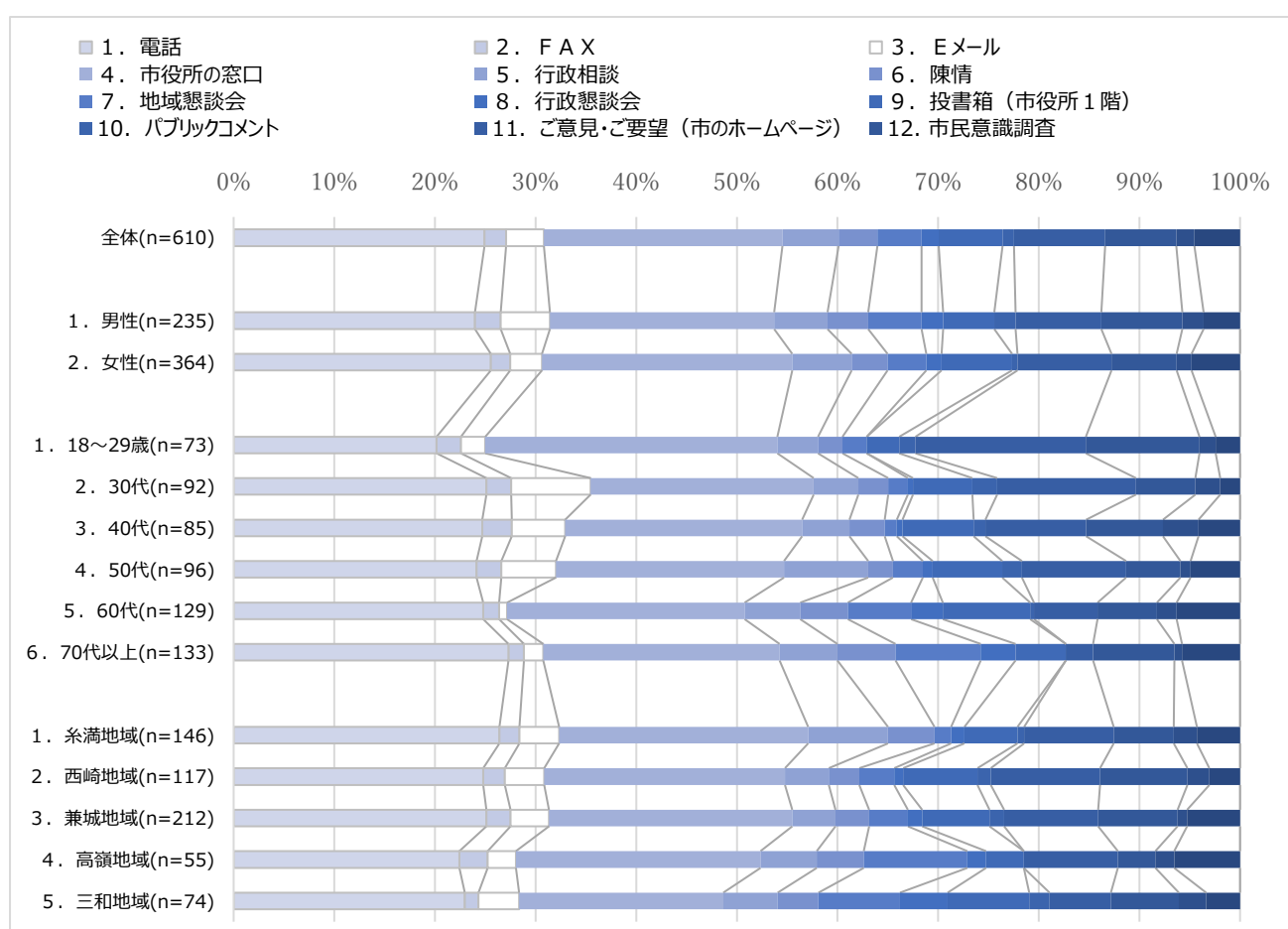


	回答数	比率
1.電話	303	49.7%
2.FAX	26	4.3%
3.Eメール	46	7.5%
4.市役所の窓口	288	47.2%
5.行政相談	68	11.1%
6.陳情	47	7.7%
7.地域懇談会	53	8.7%
8.行政懇談会	21	3.4%
9.投書箱(市役所1階)	77	12.6%
10.パブリックコメント	14	2.3%
11.ご意見・ご要望(市のホームページ)	110	18.0%
12.市民意識調査	86	14.1%
13.そのほか	22	3.6%
無回答	55	9.0%

男女別では、「1. 電話」と答えた割合が男性 48.1%、女性 51.1%と最も高く、次に「4.市役所の窓口」で男性 44.7%、女性 49.7%、「11.ご意見・ご要望(市のホームページ)」で男性 17.0%、女性 18.7%と高くなっている。

年代別では、18～29才では、「4.市役所の窓口」と答えた割合が 49.3%(全体 47.2%)と他の年代よりも高くなっている。30代では、「1. 電話」と答えた割合が 55.4%(全体 49.7%)と他の年代よりも高くなっている。70代以上では、「6.陳情」と答えた割合が 11.3%(全体 7.7%)、「7.地域懇談会」16.5%(全体 8.7%)、「8.行政懇談会」6.8%(全体 3.4%)と他の年代よりも高くなっている。

地域別では、三和地域では、「8.行政懇談会」と答えた割合が 9.5%(全体 3.4%)、「9.投書箱(市役所1階)」16.2%(全体 12.6%)、「10.パブリックコメント」4.1%(全体 2.3%)と他の地域よりも高くなっている。西崎地域では、「11.ご意見・ご要望(市のホームページ)」と答えた割合が 21.4%(全体 18.0%)、「12.市民意識調査」17.1%(全体 14.1%)と他の地域より高くなっている。



【男女別】

	1. 男性 (n=235)	2. 女性 (n=364)
1. 電話	48.1%	51.1%
2. FAX	5.1%	3.8%
3. Eメール	9.8%	6.3%
4. 市役所の窓口	44.7%	49.7%
5. 行政相談	10.6%	11.8%
6. 陳情	8.1%	7.1%
7. 地域懇談会	10.6%	7.7%
8. 行政懇談会	4.3%	3.0%
9. 投書箱(市役所1階)	10.2%	14.0%
10. パブリックコメント	4.3%	1.1%
11. ご意見・ご要望(市のホームページ)	17.0%	18.7%
12. 市民意識調査	16.2%	12.9%
その他	4.3%	3.0%
無回答	7.2%	9.6%

【年齢別】

選択項目	1. 18～29 歳(n=73)	2. 30代 (n=92)	3. 40代 (n=85)	4. 50代 (n=96)	5. 60代 (n=129)	6. 70代以上 (n=133)
1. 電話	34.2%	55.4%	49.4%	51.0%	48.8%	53.4%
2. FAX	4.1%	5.4%	5.9%	5.2%	3.1%	3.0%
3. Eメール	4.1%	17.4%	10.6%	11.5%	1.6%	3.8%
4. 市役所の窓口	49.3%	48.9%	47.1%	47.9%	46.5%	45.9%
5. 行政相談	6.8%	9.8%	9.4%	17.7%	10.9%	11.3%
6. 陳情	4.1%	6.5%	7.1%	5.2%	9.3%	11.3%
7. 地域懇談会	4.1%	4.3%	2.4%	6.3%	12.4%	16.5%
8. 行政懇談会	0.0%	1.1%	1.2%	2.1%	6.2%	6.8%
9. 投書箱(市役所1階)	5.5%	13.0%	14.1%	14.6%	17.1%	9.8%
10. パブリックコメント	2.7%	5.4%	2.4%	4.2%	0.8%	0.0%
11. ご意見・ご要望(市のホームページ)	28.8%	30.4%	20.0%	21.9%	12.4%	5.3%
12. 市民意識調査	19.2%	13.0%	15.3%	11.5%	11.6%	15.8%
その他	2.7%	5.4%	7.1%	2.1%	3.9%	1.5%
無回答	4.1%	4.3%	8.2%	10.4%	12.4%	11.3%

【地域別】

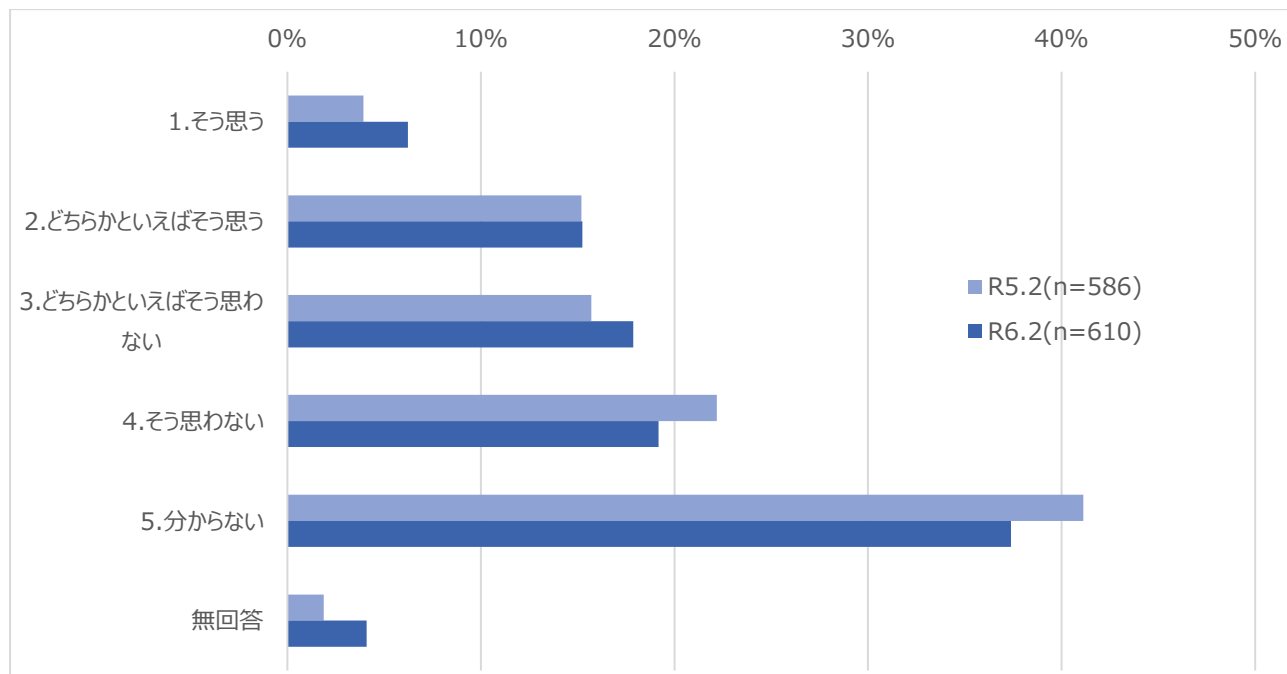
選択項目	1. 糸満地域 (n=146)	2. 西崎地域 (n=117)	3. 兼城地域 (n=212)	4. 高嶺地域 (n=55)	5. 三和地域 (n=74)
1. 電話	54.8%	48.7%	49.5%	43.6%	45.9%
2. FAX	4.1%	4.3%	4.7%	5.5%	2.7%
3. Eメール	8.2%	7.7%	7.5%	5.5%	8.1%
4. 市役所の窓口	51.4%	47.0%	47.6%	47.3%	40.5%
5. 行政相談	16.4%	8.5%	8.5%	10.9%	10.8%
6. 陳情	9.6%	6.0%	6.6%	9.1%	8.1%
7. 地域懇談会	3.4%	6.8%	7.5%	20.0%	16.2%
8. 行政懇談会	2.7%	1.7%	2.8%	3.6%	9.5%
9. 投書箱(市役所1階)	11.0%	14.5%	13.2%	7.3%	16.2%
10. パブリックコメント	1.4%	2.6%	2.8%	0.0%	4.1%
11. ご意見・ご要望(市のホームページ)	18.5%	21.4%	18.4%	18.2%	12.2%
12. 市民意識調査	12.3%	17.1%	15.6%	7.3%	13.5%
その他	4.8%	4.3%	1.9%	3.6%	5.4%
無回答	8.9%	6.0%	10.4%	12.7%	6.8%

●13.その他

- 知らない
- 考えた事がない
- 全く分からない。
- 言っても実現なし
- こんなにいろいろな方法があったなんて、目からウロコです。
- 9番の投書箱は受付など目立つ場所に置いてほしい。
- 市議員
- 議員
- 個人が特定できる状態では意見を言うことは難しい。
- 議員へ伝える
- そんなことができるとは思わなかった
- どれも知らない、分からない

問41. 市民が市政に対して、意見や要望を言える機会や方法が十分だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

「5.分からない」と答えた割合が37.4%と最も多く、「4.そう思わない」19.2%、「3.どちらかといえばそう思わない」17.9%となっている。

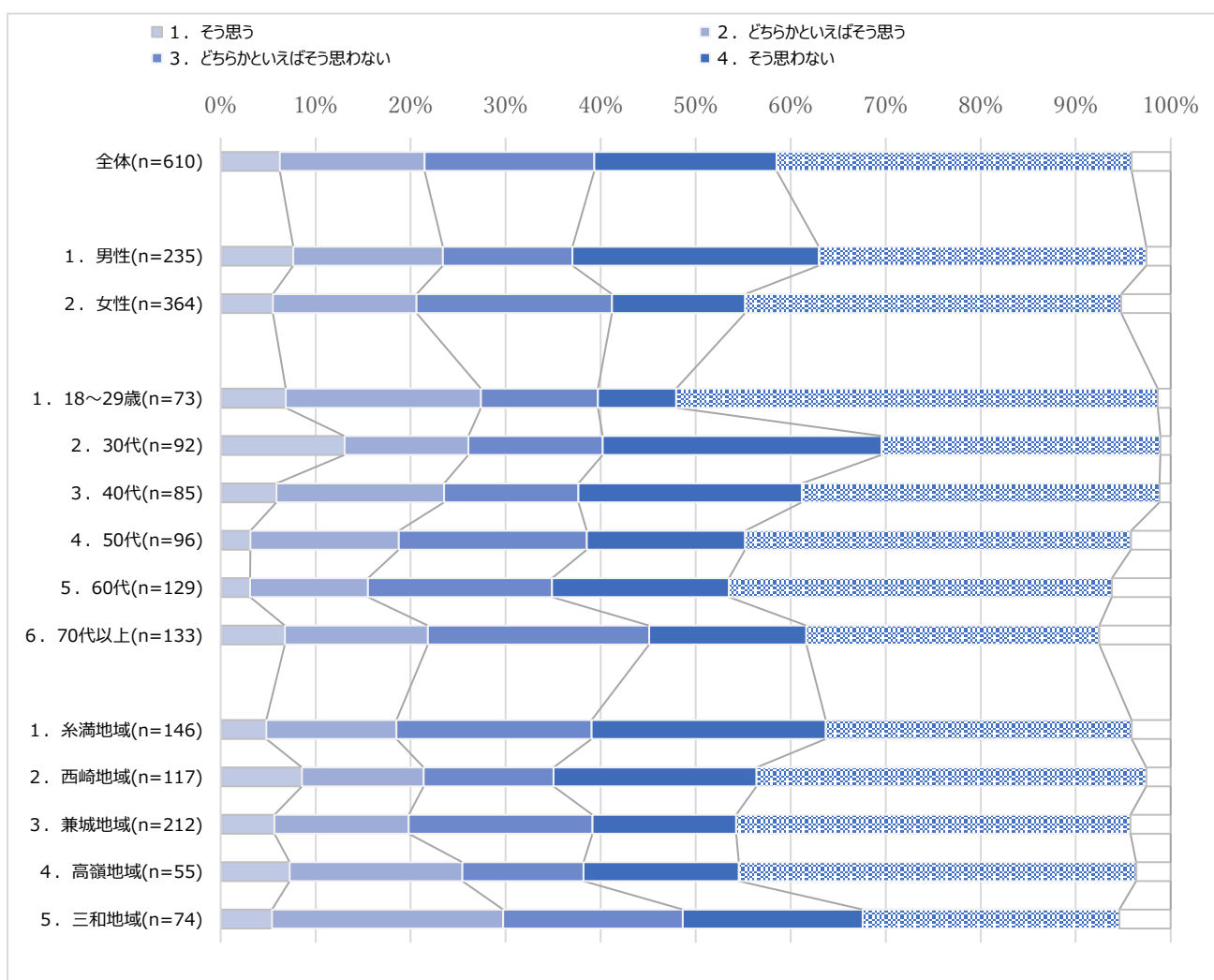


	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1.そう思う	3.9%	6.2%
2.どちらかといえばそう思う	15.2%	15.2%
3.どちらかといえばそう思わない	15.7%	17.9%
4.そう思わない	22.2%	19.2%
5.分からない	41.1%	37.4%
無回答	1.9%	4.1%

男女別では、「3 どちらかといえばそう思わない」と答えた割合が女性 20.6%、「4. そう思わない」14.0%、「5. 分からない」39.6%と全体の70%以上を占めている。

年代別では、「1. そう思う」と答えた割合が 30 代では 13.0%、「2. どちらかといえばそう思う」と答えた割合が 18～29才では 20.5%と他の年代より高くなっている。

地域別では、糸満地域では、「3.どちらかといえばそう思わない」と答えた割合が 20.5%、「4.そう思わない」24.7%と他の地域より高くなっている。



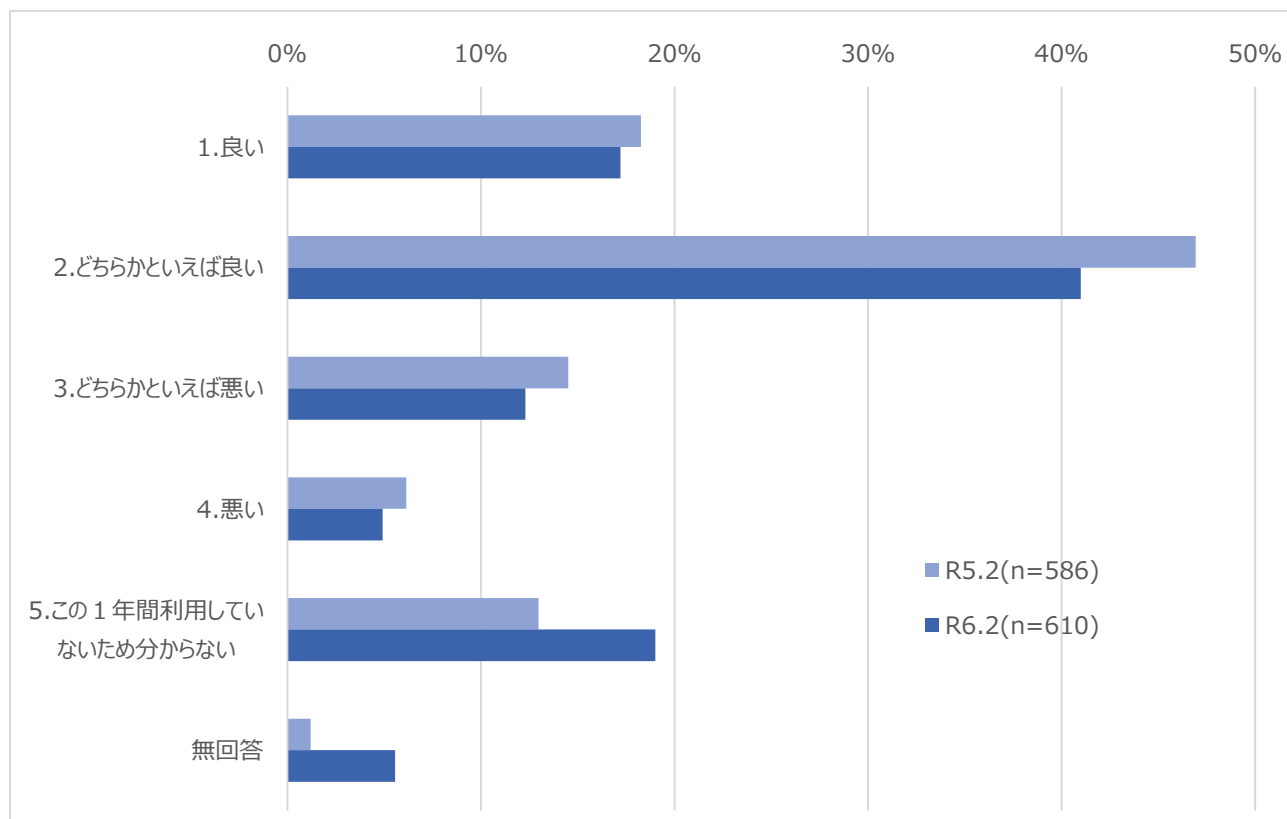
	1.そう思う	2.どちらか といえばそう 思う	3.どちらか といえばそ う思わない	4.そう思 わない	5.分から ない	無回答
全体(n=610)	6.2%	15.2%	17.9%	19.2%	37.4%	4.1%
1. 男性(n=235)	7.7%	15.7%	13.6%	26.0%	34.5%	2.6%
2. 女性(n=364)	5.5%	15.1%	20.6%	14.0%	39.6%	5.2%

1. 18～29 歳(n=73)	6.8%	20.5%	12.3%	8.2%	50.7%	1.4%
2. 30 代(n=92)	13.0%	13.0%	14.1%	29.3%	29.3%	1.1%
3. 40 代(n=85)	5.9%	17.6%	14.1%	23.5%	37.6%	1.2%
4. 50 代(n=96)	3.1%	15.6%	19.8%	16.7%	40.6%	4.2%
5. 60 代(n=129)	3.1%	12.4%	19.4%	18.6%	40.3%	6.2%
6. 70 代以上(n=133)	6.8%	15.0%	23.3%	16.5%	30.8%	7.5%

1. 糸満地域(n=146)	4.8%	13.7%	20.5%	24.7%	32.2%	4.1%
2. 西崎地域(n=117)	8.5%	12.8%	13.7%	21.4%	41.0%	2.6%
3. 兼城地域(n=212)	5.7%	14.2%	19.3%	15.1%	41.5%	4.2%
4. 高嶺地域(n=55)	7.3%	18.2%	12.7%	16.4%	41.8%	3.6%
5. 三和地域(n=74)	5.4%	24.3%	18.9%	18.9%	27.0%	5.4%

問 42. この1年間で、市役所職員の窓口や電話での対応(服装、あいさつ、応対など)は、どのように感じていますか。(一つに○)

良いと答えた割合(「1. 良い」「2. どちらかといえば良い」と答えた割合の合計)が 57. 4%と、悪いと答えた割合(「3. どちらかといえば悪い」「4. 悪い」と答えた割合の合計)18. 6%を上回っている。

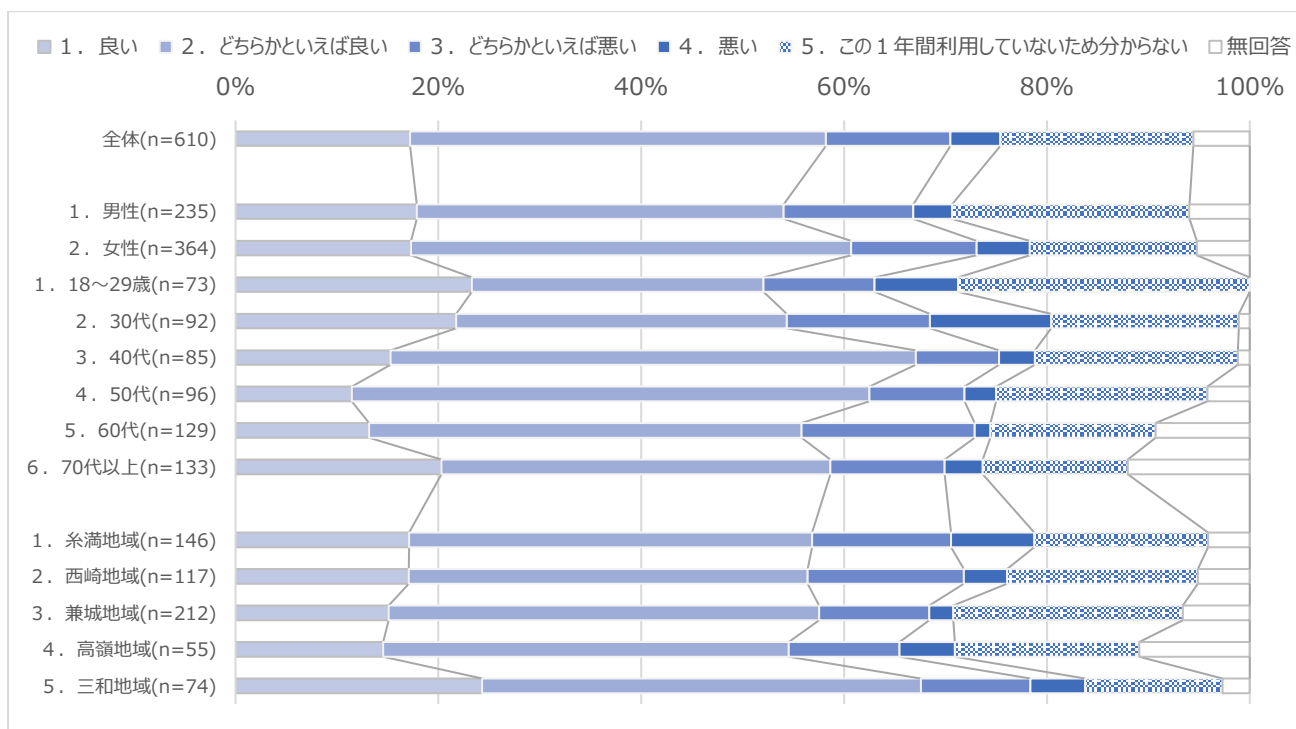


選択項目	R5.2 (n=586)	R6.2 (n=610)
1. 良い	18.3%	17.0%
2. どちらかといえば良い	46.9%	40.4%
3. どちらかといえば悪い	14.5%	13.7%
4. 悪い	6.1%	4.9%
5. この1年間利用していないため分からない	13.0%	18.5%
無回答	1.2%	5.6%

男女別では、「1. 良い」と答えた割合が女性 17.3%、「2. どちらかといえば良い」43.4%と全体の 60%以上を占めている。

年代別では、18～29才では「1. 良い」と答えた割合が 23.3%と他の年代よりも高くなっている。一方、「3. どちらかといえば悪い」と答えた割合が 60代で 17.1%、「4. 悪い」と答えた割合が 30代で 12.0%と他の年代よりも高くなっている。

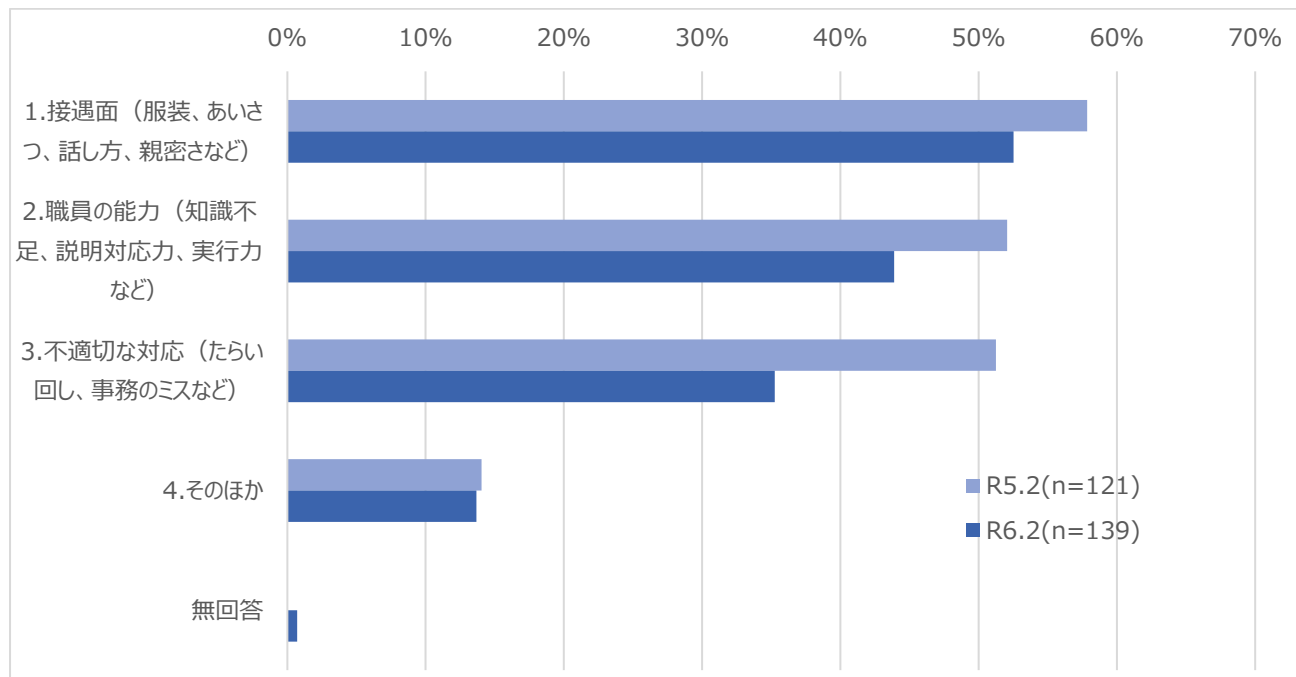
地域別では、三和地域で「1. 良い」と答えた割合が 24.3%、「2. どちらかといえば良い」43.2%と他の年代よりも高くなっており、全体の 67%を占めている。



	1. 良い	2. どちらかといえ ば良い	3. どちら かといえ ば悪い	4. 悪い	5. この1年 間利用して いないため 分からない	無回答
全体(n=610)	17.2%	41.0%	12.3%	4.9%	19.0%	5.6%
1. 男性(n=235)	17.9%	36.2%	12.8%	3.8%	23.4%	6.0%
2. 女性(n=364)	17.3%	43.4%	12.4%	5.2%	16.5%	5.2%
1. 18～29歳(n=73)	23.3%	28.8%	11.0%	8.2%	28.8%	0.0%
2. 30代(n=92)	21.7%	32.6%	14.1%	12.0%	18.5%	1.1%
3. 40代(n=85)	15.3%	51.8%	8.2%	3.5%	20.0%	1.2%
4. 50代(n=96)	11.5%	51.0%	9.4%	3.1%	20.8%	4.2%
5. 60代(n=129)	13.2%	42.6%	17.1%	1.6%	16.3%	9.3%
6. 70代以上(n=133)	20.3%	38.3%	11.3%	3.8%	14.3%	12.0%
1. 糸満地域(n=146)	17.1%	39.7%	13.7%	8.2%	17.1%	4.1%
2. 西崎地域(n=117)	17.1%	39.3%	15.4%	4.3%	18.8%	5.1%
3. 兼城地域(n=212)	15.1%	42.5%	10.8%	2.4%	22.6%	6.6%
4. 高嶺地域(n=55)	14.5%	40.0%	10.9%	5.5%	18.2%	10.9%
5. 三和地域(n=74)	24.3%	43.2%	10.8%	5.4%	13.5%	2.7%

問 43.「どちらかと言えば悪い」、「悪い」を選択した方は、その理由を教えてください。
(当てはまるものすべてに○)

「1. 接遇面」と答えた割合が 52. 5%、「2. 職員の能力」と答えた割合が 43. 9%、「3. 不適切な対応」と答えた割合が 35. 3%となっている。また、「4. そのほか」と答えた内容においても概ね接遇・職員の能力・不適切な対応に関する内容が記されており、これに加えてお昼・土日対応依頼に関する内容が記されている。

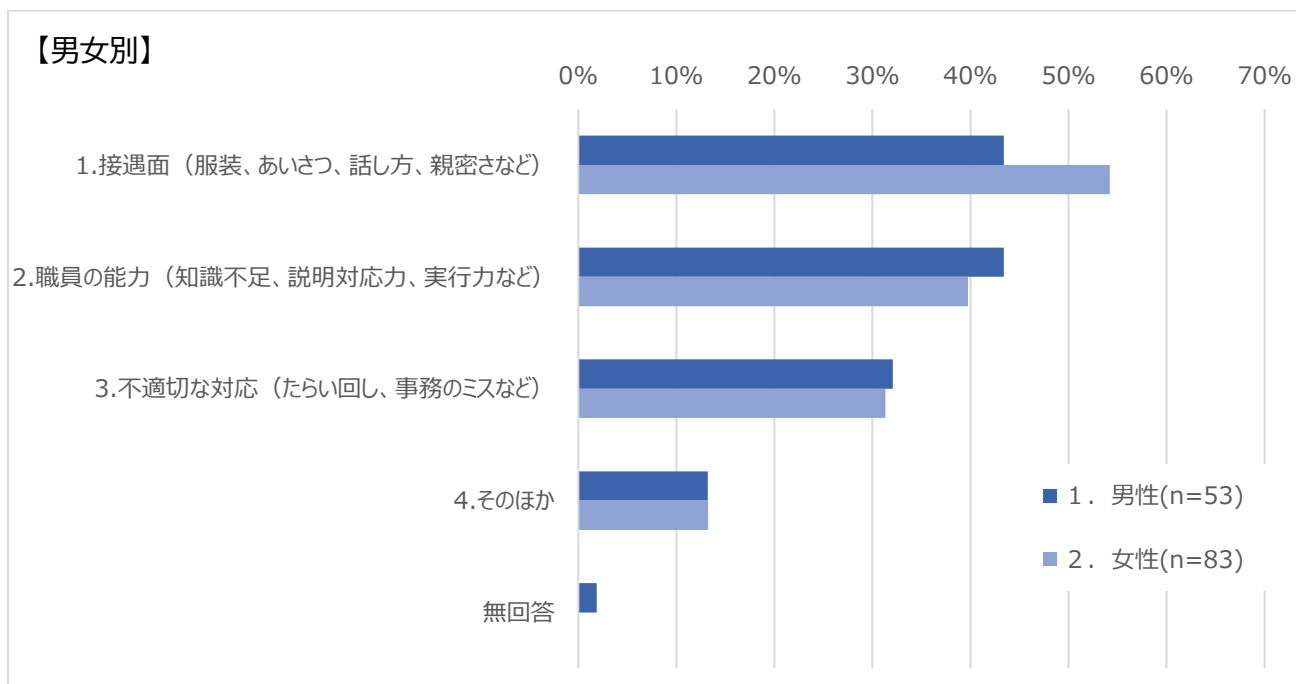


	R5.2 (n=121)	R6.2 (n=139)
1.接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)	57.9%	52.5%
2.職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)	52.1%	43.9%
3.不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)	51.2%	35.3%
4.そのほか	14.0%	13.7%
無回答	0.0%	0.7%

●4. そのほか

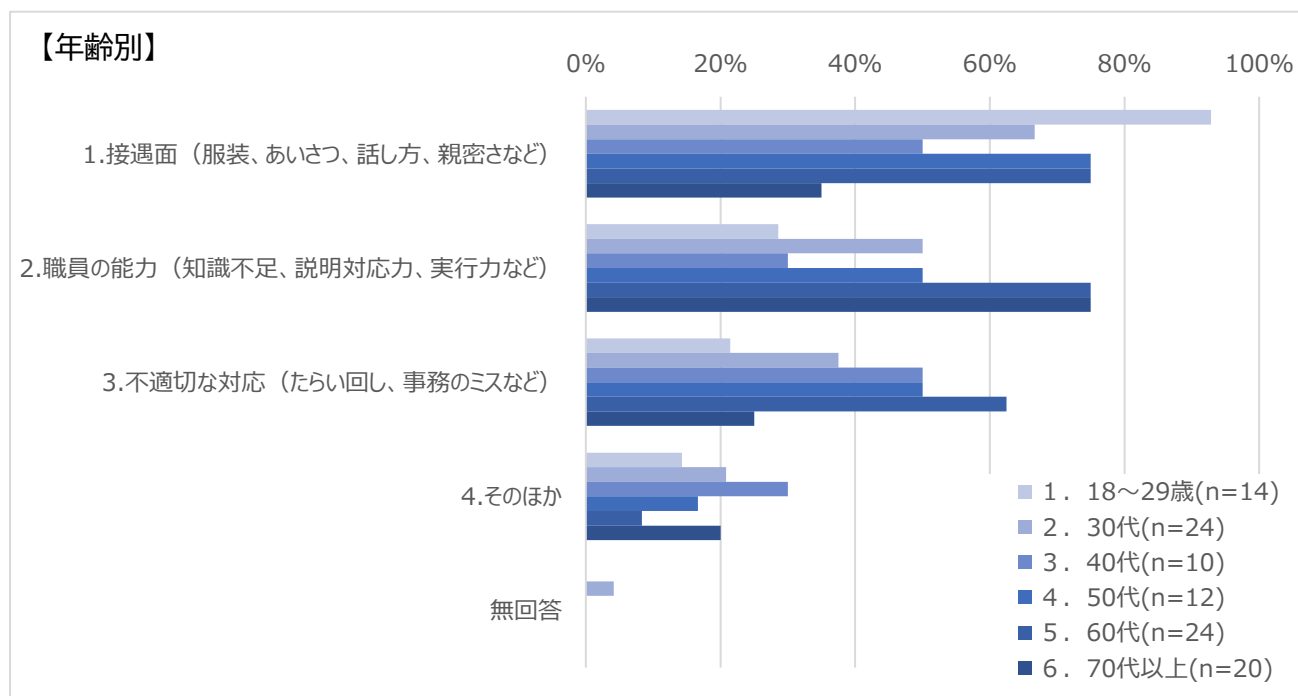
- 昼休みしか行けない人のために、すべての業務について昼でも用事がすむように
- 対応が遅すぎる
- 窓口に行っても見てみぬふりされる。全ての窓口が発券機がほしい。
- おそい
- 年寄りの方へバカにしたような
- 住民票の窓口がひどい！今までの市役所で一番ひどい。
- 連携が取れなくて手続きにかなり長い時間待たされた。
- 税金の二重請求がありました。それに対して謝罪の仕方が不適切でした。
- 対応が遅いことがあります(市民課)
- 20 時以降に調査票を自宅に持ってくる職員がいて、常識がない。
- 職員間の私語等、カウンターでの対応以外で奥の方で仕事をしている人が目立つ。役職(課長等)の人はひまそうに見える。忙しい時は、窓口対応を手伝った方がよい。ほとんどの市民はそう思う。
- いつも対応が悪い。座っていて前に出て対応しない。
- 昼休憩時、職員は一斉に休憩に入るのですか？以前、お昼休憩時に電話すると対応してもらえなかったです。市民も仕事していると昼休憩時間にしか問い合わせができないので、職員の休憩を前半と後半に分かれてするとか、行政サービスができない時間帯をなくすように工夫はされないのですか？私は医療関係の仕事をしていたのですが、職員は休憩は前半と後半に分かれて行い、患者さんの対応をしない時間帯はありません。週末もそうです。市民は仕事していると週末にしか休みがない、市役所で書類を申請しようとしても閉まっている。週末土曜日が日曜日のどちらかを業務する日にはできませんか？職員も輪番制(当番制)にするなど平日に休んでもらうとか方法はあると思います。従来通り平日の 9 時～17 時までの時間帯しか業務しないのにも限界があるのではないですか？日常生活も多様性の時代、市民が必要としているのであれば、導入を検討する時代になってきていると思います。
- 時間がかかる割には対応が悪い、話し方など
- 無愛想は表情をされるため
- 会社の昼休み(12 時から 13 時)にマイナンバーカードの手続きに行ったら担当者が昼休憩で不在だった為、別日に休暇をとって手続きをすることになったので、できれば昼の時間も開けてほしい。
- 親切さが全く伝わらないし、業務の一環としかまずみてない。職員だからみたいな感じで威張って感じるし。まずわからないで来ているのに無愛想に対応されてとても不満。正直、これに税金を使っているのが腹立つ。まず、マスクをして対応するなら声を大きく発言してほしい。全く聞こえない。やる気はありますか？これを書いても改善はないと思いますが、よろしくお願いします
- 待ち時間がながい、人を待たせても普通にしている。

男女別では、「1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)」と答えた割合で男性が43.4%、女性が54.2%と他の項目より高くなっている。



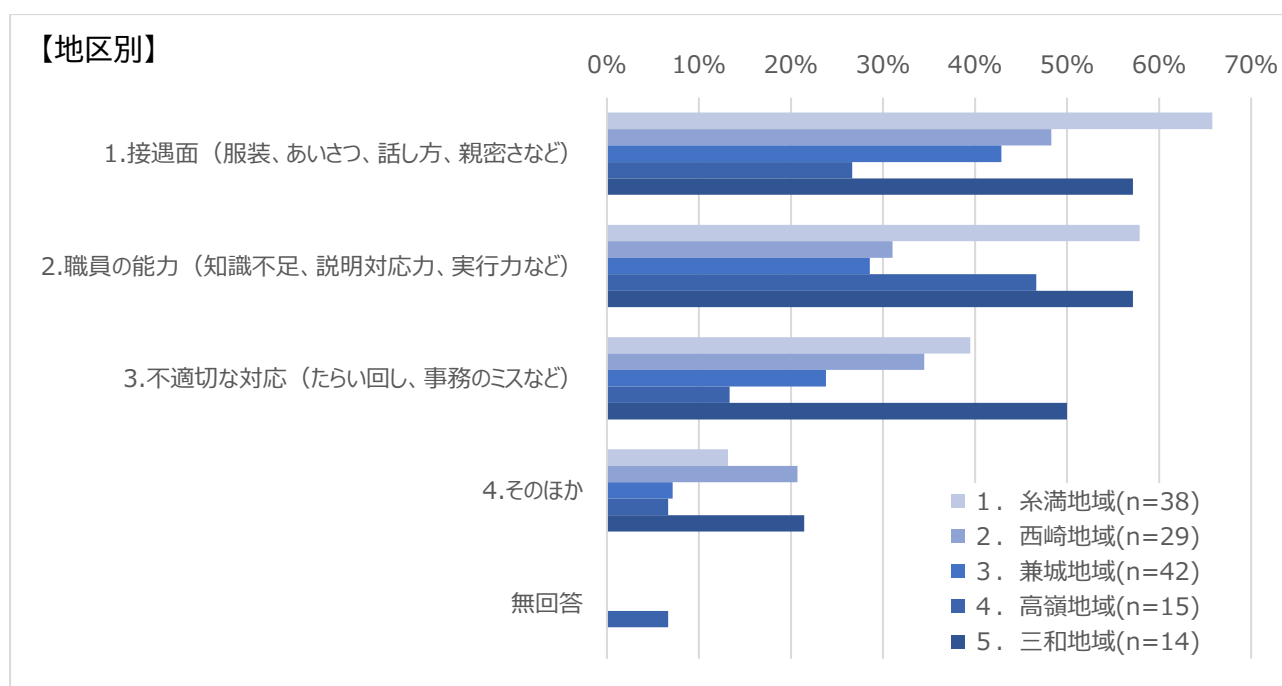
	1. 男性 (n=53)	2. 女性 (n=83)
1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)	43.4%	54.2%
2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)	43.4%	39.8%
3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)	32.1%	31.3%
4. そのほか	13.2%	13.3%
無回答	1.9%	0.0%

年代別では、各年代のサンプル数がほぼ 30 以下となっていることに留意する必要があるが、「1. 接遇面」と答えた割合が18～29才で 92. 9%、30代で 66. 7%(全体 52. 5%)と高く、70 代以上で 35. 0%と低くなっている。また、「2. 職員の能力」と答えた割合が 60 代以上で 75. 0%(全体 43. 9%)と高くなっている。



	1. 18～ 29 歳 (n=14)	2. 30 代 (n=24)	3. 40 代 (n=10)	4. 50 代 (n=12)	5. 60 代 (n=24)	6. 70 代 以上 (n=20)
1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど)	92.9%	66.7%	50.0%	75.0%	75.0%	35.0%
2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など)	28.6%	50.0%	30.0%	50.0%	75.0%	75.0%
3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど)	21.4%	37.5%	50.0%	50.0%	62.5%	25.0%
4. そのほか	14.3%	20.8%	30.0%	16.7%	8.3%	20.0%
無回答	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

地域別では、各地域のサンプル数が45以下であることに留意する必要があるが、「1. 接遇面」と答えた割合が糸満地域で65.8%と最も高く、高嶺地域で26.7%と最も低くなっている。また、「2. 職員の能力」と答えた割合が三和地域で57.1%と最も高く、兼城地域で28.6%と最も低くなっている。「3. 不適切な対応」と答えた割合は、三和地域で50.0%と最も高く、高嶺地域で13.3%と最も低くなっている。



	1. 糸満地域 (n=38)	2. 西崎地 域(n=29)	3. 兼城地 域(n=42)	4. 高嶺地 域(n=15)	5. 三和地 域(n=14)
1. 接遇面(服装、あいさつ、話し 方、親密さなど)	65.8%	48.3%	42.9%	26.7%	57.1%
2. 職員の能力(知識不足、説明 対応力、実行力など)	57.9%	31.0%	28.6%	46.7%	57.1%
3. 不適切な対応(たらい回し、 事務のミスなど)	39.5%	34.5%	23.8%	13.3%	50.0%
4. そのほか	13.2%	20.7%	7.1%	6.7%	21.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%

◆6. これまでの設問にかかわらず、ご意見などがありましたらご記入ください。

- (1)市民の皆さまの意見等は、できる限り掲載しました。しかしながら、特定の個人が識別され得る意見や、事実を確認することが困難な意見等につきましては、掲載していません。
- (2)意見等は、ほぼ原文のまま掲載しています。
- (3)意見等はおおむね、総合計画(基本計画)の関連する政策ごとに分類しています。

○政策 1-1 みんなで子どもを育む社会をつくる

- ”子育て支援を充実させてほしい
- 子どもの児童手当をあげてほしい。
- 目指せ!!”日本 No1”子育て世代にやさしい行政、街づくり!!
- 孫がいます。0歳からの保育料→無料希望します。
- 子ども園の職員採用の見きわめができてない(本務の能力)
- ”糸満市は、子育て世帯の増加をめざしてほしい。福祉・教育の充実が問題。地域問わずに、貧困の連鎖が市内では続いている世帯があると思うので、行政が主となって、教育的ネグレクトの連鎖もしっかり対応策を考えてほしい。
- 人材が育たない事は、社会の損失。本市は、子育ての数も多いので、市の財産となる子ども達に大きな投資をしてほしい。60 才以上も健康で生活できる公民館事業を各地域で(西崎・糸満地区が多いと感じる)行ってほしい。”
- 保育施設が足りなすぎです。子育ての環境が悪いと思います。
- 子供達のために、もっとお金をつかった方がいいと思う。子供達は、宝であり、市の未来である。
- 子育てがしやすい街にしてほしい。子供、母等子育て世帯のことを考えてほしい。保育園に入れなくて、仕事もできず困っている人はいる。
- 保育園(子ども園)、小、中学校施設もしっかり考えてほしい。汚れや、水もれ、壊れている施設では、子どももおちつかない。また、備品もギリギリで机、イス等でケガしている子どもの話を聞いたこともある。施設課の調査があってもいいと思う。”
- ”子供を産み育て、その子供たちを市で大事にはぐくんでいく市政をめざして下さい。
- 孫が市内に 4 人いるので、この子らの成長を安心して見ていける制度の拡充を期待します。
- 南風原に負けない子育て支援のまちづくりを希望する。沖縄県で 1 番のまちになることを期待しています。
- こども園や保育所の入所はむずかしいですが、入園できればとてもいい環境で助かっています。
- 子育て支援で何年か前に、お迎えの支援事業を市のチラシで知り、公民館に行ったが、チラシはあるけどできる人の登録がないと言われた。申込はしましたが、結局おとさたがない。できる人を募集しているのかもわからないし、ボランティアとかで募っているのならむずかしいのかなと思う。
- 子育て支援にももっと力をいれてほしいです。福祉の町糸満といえるぐらい他の市町村の取り組みも参考にして様々な取り組みをして欲しいです。”

○政策 1-2 学校の魅力をさらに高める

- 給食費の値上がりや、医療費無料化の拡大”
- 糸満南小学校は、10 年前と比べて子供の人口が倍に増えているのに、トイレの数はそのまま。先生数は足りず、教育環境の悪化が心配です。もっと、子どもを大事にして下さい。”
- 糸満市からオーガニック給食の仕組みが誕生する事を願っています。未来を担う子どもたちの心身の健康を守りサポートする為のとても大切で重要な分野だと感じます。また、オーガニック産業は、

地球にとっても、すべての生き物にとってもいい影響しかなく SDG'sのかかえる課題解決と密につながっています。糸満市から力を入れてほしいです。

- 糸満市の未来、日本の未来をにう子供達をしっかり教育していくことが一番なによりも大切だと思っています。給食の質、量、味には、特に気をつけてほしいと思います。4年前に、転校してきた時は、おいしくなさすぎて、子供がいつもびっくりしていました。最近、すこしましになってきたということで、感謝しております。更なる向上をお願いいたします。小、中学校の教師の質の低下を感じております。沖縄は内申点を重視しているにもかかわらず、好み等で悪い評価を付けたりする先生もいます。しっかりとしたチェック機構が必要だと思います。教育内容についても、他県に対し、学力が低いを感じています。勉強を好きになるような環境づくりも必要だと思います。
- 子育てがしにくいと感じる理由→学校のモップが4本中老朽化で折れたり壊れたりして1本しか使えなかった。学校にモップ購入をお願いしても糸満市教育委員会から許可が降りるまで時間がかかると教頭に言われ、なにも動いてくれなかった。部活の大会の会場校になり、モップ1本ではどうしようもない、自費で購入するか、中学校から借りるか、など父母会で頭を悩ませた。1人の父母が市議員へDMを送ると、2日後くらいにモップ2本が送られた。学校と教育委員会はなにをしていたのか非常に疑問。体育館のモップを揃えることがこんなに難しいことなのか？まず、このアンケートの意味もあるのか正直疑問。まずは学校の備品が全て充分かチェックしてくれませんか？学校の水漏れや老朽化などチェックしていますか？自分たちの働く環境だけ快適になっていませんか？現実的なところが甘い。モップ、まだ揃ってないです。これでも動かないならアンケートなどとらないでほしい。
- 教育に関してもっとお金をかけてほしいです。子どもの居場所の確保や、学校の支援員の増加など。不登校の子どもに対しての支援にも手厚くして欲しいです。

○政策 1-3 誰でもいつでも学べる環境をつくる

- 小学生の「さんすうセット」は、学校等で準備・保管できないのでしょうか？
- 兼城地区にすんでいます、子供の学区が兼城小学校になります。ですが、徒歩で30分以上かかるようで、新1年生ではもう少しかかるのではないかと思います。スクールバスなどの使用はできないでしょうか。
- サークルをもっと増やしてもらえたらありがたい。”

○政策 1-4 歴史・文化・芸術に親しむ環境をつくる

- トートメー継承問題で、生きづらさを感じている人がなんて多いことか！現代社会では、難しさを感じます。多様性が叫ばれてる今、生活の多様性として、市全体として考えても良いのではないのでしょうか。伝統や文化は、大切にしたいとか、古い慣習から脱却するとか、個人の考えでしょ！そうは言っても、個人で判断・決断することも、カンタンじゃないんだよ。皆で、わかりあわなければ、、、皆で考えなければ、、、。どんな形で継承していけるのか。それは、糸満市が住みやすいとか生きやすさにつながらないでしょうか。

○政策 1-5 スポーツに親しむ環境をつくる

- スポーツ施設、日曜は17:00まではあり得ない、どこの市でも17:00までの所はない。”
- ”前にあった屋内温水プールがあったら、中・高年の人は、トレーニングに行かなくても体がいい運動になれる。シニアの人はジムに行くことはできない。
- 足、こしをきたえることでねたきをふせぐ。”
- 屋内練習場が出来るので良かったと思います。
- 陸上競技場を無料にしてください

○政策 2-1 健康で健全に暮らす環境をつくる

- 糸満市に総合病院がないのは、市民の損である。

- 私は糸満市出身ではないので、糸満市に住んでみて、地元と色々比べるところもあり、住みやすい静かな街だとは思いますが、ただ、病院がない。(あるけど、総合病院?)のが、残念。まだ、子どもは居ないが、産婦人科も 1 つしかない。その婦人科も 5 月までで出産対応を終えるとウワサでいっています。出産だけでなく、ちょっとした女性の体に関する事情ですぐにスムーズに診てもらえる婦人科施設があったらいいのに。急な症状のときにすぐに利用できる場所があったらいいのにと思う経験がありました。耳鼻科も皮膚科ももっと増えたら助かるのに。糸満市が歯医者が多いのにビックリ。
- サウナ施設があるといい。
- ”「シャボン玉石けんくる糸満」 文化、スポーツ、イベントなどたくさん利用出来るように考える。
※ 特定健診受診の気持ちもなくなる。せめてレントゲンだけでもやってほしい。検査内容がつまらない。レントゲン検査がほしい。
※ 北中城村の行政手本にしてほしい。”
- ”静かで住み良い環境で、空港や那覇にも距離的には近く、大きな県立病院もあるという事で、将来的にも(高齢者になっても)暮らしていけると思い、30 代で糸満市に家を購入しました。定年後は、安心して暮らせると思っていたのですが、家を糸満市に購入の決め手の一つの大きな病院(南部病院)が無くなり、かなり残念な思いです。
- 南部に住む友人たちも子どもからお年寄りまで近くに大きな病院が一つあると安心なのに、と残念がっていました。公共交通の不便な南部ならなおさら、しんどい車で車を運転して遠い病院へ行くのはつらいと聞きます。大きな病院と交通機関の充実は、市民が根付いて生活するには、必要なものの一つだと思います。市民が根づいて暮らせるという事は、市内での労働力も増え、それによって企業も糸満市の魅力を感じ、誘致・進出、観光業へも繋がるのではないかと思います。空港・那覇への立地が良い糸満なのに、アクセスが悪いのはもったいないし、市民生活を充実させるためにも、まずは、交通の便と医療・福祉に力を入れてもらえるとありがたいです。”
- いとちゃん mini バスを予約したけど、きゅうきょキャンセルをしなくてはいけなくなり、時間を見ると TEL も終了している時でした。バスの予約時間に「すみません、キャンセルで」と言いに行くと、では、居なかったということになります。と、言われ不快を感じた。居なかった、ではなくてキャンセルですね。と返答して欲しかったです。マニュアルでは、「居なかった」かもしれませんが、利用者としてキャンセルをお願いしに予約したバス停まで来たのだから、言い方を考えてもらいたいです。又、キャンセルの TEL も 1 つの回線をつなげていて欲しいです。予約は受付終了だけど、キャンセルの TEL 番号を作って欲しいです。終了時間とは、バスの運行終了時間のことです。
- また、いとちゃんバスもそうです。年間いくらの税金が投入されているのか、4 年前、年間 3,000 万の赤字があると聞いています。もっと効率の良い運行を考えてみては。
- 市の健康診断の結果報告の対応が良かった。
- 高齢化が進み、運転免許の返納が進むと思いますが、糸満市の交通は不便。いとちゃんバスだけでなく、高齢者にタクシーチケットを配るなどしてほしい。
- 高齢者への行政サービスがどのくらい有るのか良くわからない。市民が損をしないよう、積極的にアプローチして欲しい。

○政策 2-2 支え合い、後押しする福祉環境をつくる

- 糸満市で生まれて、生活して 70 数年になります。むかしからの糸満市、すべてに、なつかしく良い思い出ばかりです。田舎暮らしですが、人間もすばらしい方達ばかりで、つくづく糸満市民に生まれて良かった思い出でいます。那覇で生活していた若者が、(友人)ふとした事から、糸満で、子育てを始めた所、子供達も明るく、のびのび育てられて、笑い声が絶えなくなったと報告してくれた。私も、むかしからの糸満を知る者として、そうよ、オジーもオバーも周りが恵まれているよと、むかしむかしの糸満の事を話してあげる。「糸満市民に幸多かれといつも願います。」
- 障害家族の事をもっと助けてほしい。家賃とか住みやすい場所やマンションの提供。市営団地、県営団地など優先してほしい。
- 糸満市は税金が高いイメージと子育てしていく方、高齢の方にとって住みにくいと感じます。相談窓

口や職員の対応が冷たいので、利用しにくいのと対応が悪い方が担当した事があって、すべての職員の方が同じように感じられてしまって、あえて、相談に行かないです。私は、高齢の父を通いながら糸満に住んでいます。悩みを相談しても結局のところ、他人事で親身でないと感じる。そう思うので、私が年を取ったら不便な所にいるよりも、より良い場所に住みたいと考えています。交通の便、サークルの充実、コミュニティーのある場所が近くにある所へ行こうと思っています。

- ”①糸満市役所の住まい窓口で、賃貸契約の締結をする際や雇用契約を締結するときの緊急連絡先の行政サービスを導入してほしい(高齢者と障害者だけに限定しないで、糸満市民全員が駆け込み寺として、頼れる様にして欲しい。)
- ”地域福祉の充実
- 高齢者や障害者が住みやすく、子育てが充実していり糸満市なら、若い方も集まって来ると思います。やはり福祉の充実、環境整備にもっと力を注ぐべきだと思います。”
- 現在、非課税世帯への給付金制度があるが、真面目に税金を納めているのに非課税世帯より収入が低い人も現実的に起きている。非課税世帯以外への配慮もしてほしい。

○政策 2-3 高齢者の保健福祉を充実させる

- 高齢者や介護中、病中病後で体調があまりよくない時など、市役所に行かなくても手続きができるシステムがあると大変助かります。(介護、高額医療費の払い戻しなど)

○政策 3-1 日常的な安全をつくる

- 市として、パトロールを増やして、安心できるまちづくりをして欲しいです。
- 兼城小学校の通学路で現市長が交通安全の立哨活動をしている姿をよく見ることがあります。子どもたちの安全のため、出勤前の忙しい中、対応されていてありがたく思います。

○政策 3-2 緊急事態に備える

- サイレンの音がやかましく感じる。毎日のように救急車、パトカーが神戸に住んでいた頃は、1年に1回聞けなぐらいの感じなのに糸満は毎日のように。
- 家を建てて最も納得していないことは仮換地の問題。郵便物もそうだが、救急車を読んだとき場所がわからないと言われたときは絶望感がひどかった。苦情を言いに行ったが返事は「自分たちは情報を提供しているので、救急や宅配会社の問題だ」と言われたが、自分たちが何をいつているのかわかっているのだろうか？物が来るように、救急車が遅れないようにすることが仕事であると考える私は、この市の対応に強い不満を持っている。この問題に比べたら、性的マイノリティとかどうでもいいと思う。本当に反省してほしい。
- 地域によって防災対策の差があり、私の地域は取り残されている気がする。市は防災対策にどれくらい真剣に取り組んでいるか疑問、例えば西崎中に避難したとしても本当に津波に耐えられるのか？1人暮らしのお年寄りの対策や、ペットの避難はどうなるのか、具体的にマップなど作って欲しい
- 海沿いにも関わらず、防災、津波に対しての防災対策が、不十分。また防災無線の音量が小さいのか、家にいても聞こえず、防災無線の意味を成していないと感じる。
- ”大地震による津波の対策をよく考えて欲しい。
- 市役所は海岸沿いにあるが本当に大丈夫なのか、高台に移設した方がいいのではないのか？
- 光洋小学校も海沿いで、津波の避難場所は第二団地だが、大地震の時は小学生だけでなく地域住民も避難することになるが、本当に第二団地で周囲の人が避難することはできるのか？
- 津波シェルターの導入など東日本大震災以上の震災がきても対応できるよう対策を考えて頂きたい。”

○政策 3-3 支え合う地域で安心を生む

- 地域の人達がボランティアで見守って安全を保つ体制を作る老人会・婦人会・子供会が協力できる

時間を提供するなど。”

- 駐車違反が多い(西崎琉銀、郵便局前道路)
- ”私はアパートに住んでいるのですが、ポストに表札が出てないのにビックリした。他人の郵便が入っていた。近所づき合いもゴミ当番もそうじの日もない。ゴミの日の残ったゴミをかたづける。年に1回は皆です。
- 潮平高層団地横の道路に(川沿い)常に、路上駐車がたくさんあり、景観も悪い。中には、ナンバーもない車もあります。豊見城方面からの車も多く交通量もあるので、気になります。川沿いの駐車がなくなれば、歩道をつくり、豊崎方面へウォーキングにも行きやすいと思います。

○政策 3-4 平和を希求し未来へ発信する

○政策 3-5 多様性を認め合う社会をつくる

- 男女共同参画という事に予算をつかうならもっと違うことに予算を使ってほしい”

○政策 4-1 循環型社会をつくる

- 工事後のような空間もずっとそのままです。おそらくすでに不法投棄になっているのもある？と思います。”
- 不法投棄が多い。”
- 逆に、自然が大好きな人にはとても良いと思います。
- 川の中のゴミ、空き地のゴミ、公園内のゴミ、道路の脇、住人のモラルがないのに驚きです。”
- 何とかして下さい。ゴミの出し方(毎回の事です)社会性を疑います。”
- 不法投棄物に対する対応が悪すぎます。こちらが収集し、TELしても取りに来てもらえず、あきらめて自分で処分しました。(何回も)次の選挙では、現市長を支持しません。
- 歩道の雑草を掃除してゴミの処分の仕方を聞いたら管轄で押し付けあいのように他部署の管轄ですといった感じで、たらい回しにされて、思い出すだけで数時間も無駄になり腹がたった、正確な回答が出来るようにしてほしい。”

○政策 4-2 生活環境をよりよく保つ

- 糸満市内に火葬場を設置してほしいです。
- 糸満には火葬場がなく、豊見城にはお金は流れ、市での建設を。1度は行く場所なのです。埋立てでもお金を使っても、作るべきだと思います。私も明日にもいくかも？
- ”1. 市に共同墓地の施設を作る予定はありますか。那覇市のようにはできなくとも市民の共同墓地を作ってほしいという要望をずっと持っていました。墓に対する重要な要望がもう1つあります。無縁仏の墓、市長さん始め、職員の方々ご覧になったことあるでしょうか。あれほど、粗末なものはありません。哀しく、さびしくいたたまれなさが漂っています。一刻もはやくその場を去りたいそのような墓地です。人の生と死に「つながりを深め」地味ではありますが、「チャレンジ」する町になってください。那覇市のパンフレットをいただきましたので、同封させていただきます。
- ”ノラ猫の多いこと。ノラ猫にえさをやる人もいて困っています。糸満市はどこもかしこも猫だらけ。糞だらけ。「家では窓が開けられません」糞公害です。
- ”ドックランを作してほしい。

○政策 4-3 地域のインフラを整える

- ”・糸満市～那覇市内(特に国際通りあたりへの交通の便について)
- 「89」のバス 糸満市(ロータリー)→国際通りあたりに行く便がない
↓
すべて開南へ行くバスのみであり、とても不便である。
↓

- バスターミナル→パレット久茂地を通り→バスターミナルへ行く
- (那覇商業へは通ってほしくないの?)不便です!!
 - バスターミナル→泊り→崇元寺→国際通りをへて→バスターミナルへ行く
 - ※ 牧志あたりに仕事をしようとしても乗りかえが必要である。
 - ※ 今のバスは、昔からのままであり、開南を通る必要はあまり必要がないかと思う。
 - ※ 豊崎からは新都心とかいろんなルートがある
 - ※ 豊崎からは経塚あたりへ行く便もあり、琉大もある
 - ※ なぜ、糸満市内から新都心とか琉大とかのバス便やルートを新設できないのか？
 - ※ 昔ながらのルート以外の新設ができないのか？！
 - ※ 車を使わないといけないのか？！
 - ※ もう少し考えて！！
 - 交通の便が悪いので、あまり子供たちにはすすめられないです。(仕事上で)”
 - とても良い街ですが、最近、市役所前の道路や側道に少年少女が、夜遅くまで遊んでいます。平日休みを問わず、暴走族が走りまわっています。市役所的には、何も対策はしないのですか？ 糸満市役所の前は、暴走族が通り、眠れません。病院に入院しているお年寄りも同じ思いをしていると思います。Nシステムをオービスに変えてみてはいかがでしょうか？(糸満市役所前の)検討して下さい！
 - ”糸満市はやさしい町となる為、車間距離を空ける相手に譲る等の努力をして世界中の人々が糸満へ行きたいと思うようにさせたい。
 - 1977年に今の土地に家を建てる。家の後の道は、舗装されてなく、月1回は草刈り機で掃除している。排水溝がないので、路地に20mのビニールパイプを使っている。この道を舗装してほしい。”
 - ”街灯が少ない。
 - ”糸満市に移住して、交通の便が悪い、道路や下水の整備がされていない事に驚きました。とても住みづらいです。
 - ”街路樹の剪定について
 - 木陰ができるように枝、葉を残して剪定して欲しいです。
 - 沿道の雑草が伸びて見苦しいです。
 - ”外灯が少なすぎる(親水公園まわり等)
 - 保安林について 三和地域には、海岸沿いに保安林に指定され開発どころか家も建てられない。今後、保安林として指定継続するのであれば、県が買い取って、保安林を植樹する様働きから実現させるのが、市行政の務めではないか？あまりにも市街化区域にかたよりすぎる。”
 - ”空き地の雑草、道路まで伸び道路幅が狭くなり、草刈が出来てないのか通りづらい。
 - 道路が狭いの、に、駐車している車が多い。特に公園の水回りや団地の周り。
 - 糸満市へ引っ越して来て(他市より)、街灯が少ないことにおどろきました。夕方～ウォーキングや散歩へ出るのが、少しこわいです。ここ最近、潮崎の南浜公園は、暗くなると街灯が点いていて安心してウォーキングできます。役所から潮崎南浜公園への道のりが、大変暗くこわいです。費用もかかることだとは思いますが、安心して暮らせる町にしたいです。休み明けの公園のゴミポイ捨てが多い。他の市町村から来た方が、捨てたのかは解りませんが、使わせてもらっているのに、ゴミ袋等があれば勤めてゴミ拾いをするようにしています。
 - 役所はもっと改革が必要ではないか。現在の市長になってから、無駄が多すぎる。例：バスターミナル(糸満)から空港までのバスの運行。私は時々水産高校前から糸満市場までバスを利用していますが、ほとんど私1人しか乗ってない状態です。それでも、バス運行を続けていく必要があるのでしょうか。バスの運転手も言っていました。役所の援助があるのだと、それは税金の無駄遣いだと思います。
 - バス通勤していた時、時刻表が破れたり、汚れていたりしていた。暑い中、雨の中、30分以上待ってもいつも「お待たせしました」の言葉がなく。神戸では、時間通りに来ても「お待たせしました」と言ってもらえた。回数券、普通、土日、時差(10:00~17:00)を考えてほしい。利用する人がふえると思います。”

- バス停留所にベンチがあればいいと思います。よろしくお願いします。80 才より
- 電話対応は良い。タイルがはがれても、直さない。(良くない)西崎歩道のタイル、子供が足をひっかけて転んで大変でした。早めの対応をお願いしたい。
- 夜間ランニングをしています。南山病院～アグリハウス向けの道、7 号線沿い、除草整備の間隔を短くし、常にキレイにして欲しいです。また、舗装がデコボコです。最近は木を切ってますが、もう少し歩道も整備してほしいと思います。
- 道路行政等については、国や県の管轄だからという事で、単に「管轄庁に伝えておく。」というような回答をしないでほしい。具体的に「管轄庁のどの係にどのように伝えた。」そして、「どのような回答を得た。」のか位の回答をしてほしい。現に困っているのは、糸満市民なので回答を一市民の立場になって回答してほしい。”
- 先日、水道料金が増えていたので、電話をするとすぐ、対応してくれました。漏水の箇所があると教えてもらい、市内の水道工事業所の名簿をもらったので、早急に事業所に連絡できました。水道部の職員の方ありがとうございました。”
- ○米須小学校の近くの S 字カーブ、真壁地域の直線は、電柱、標識の位置が悪く、危険である。何十年も前から、工場をしているが、あと何十年かかるのか、大きな事故が起きてからでは遅いので、市長、議会の職責を全うしてほしい。”
- ”夜から運動する場所、市役所近くで、ウォーキングするコースなど設け防犯対策として、街灯を付けて整備して欲しい。”
- ”市外市内にかかわらず、バスが 89 番しかないのが不便です。最近は本数も減り、さらに不便を感じます。必ず乗り換えしないといけなくて、同じ糸満市でも、バスが通らず、駐車場も少ないのに車必須になるので、市内で働きたくても通勤しにくいです。”

○政策 4-4 快適に暮らせるまちをつくる

- ”子育て支援は、まず公園の整備、魅力ある公園を造ることが広い世代の子供や大人、老人にいたるまで必要としていて、健康のためにもなる。
- ぜひ、公園を楽しく、多様性のある魅力あふれる所にして下さい。”
- ”西崎、潮崎地区や新しく道路ができた付近(南近隣公園など)にしか、大きな公園がない。
- 武富にある北波平武富公園は、管理ができていない。利用する人も少ない。
- 自然を活かした公園を造るべきではないでしょうか。
- 公園の維持管理は与那原町を見習うべき。
- 公園に近隣住民が日中夜間関係なしに車をとめていて、利用するときに止められません。時間を規制して管理して頂きたい！(南近隣公園)
- まだ子どもが小さいので公園をよく利用しますが、遊具がこわれている所が多く、すぐに直してほしいです。
- ”公園をもっとふやしてもらいたい。
- 公園でくぎがとびでていたり、草が伸びて遊びにくかったり、もう少し、遊びやすいようにしてほしいです。あと、球技禁止の公園で小学生ぐらいの子供たちがボール(サッカー等)遊びをしていて、車にボールをぶつけられるので、公園に柵をつくるか、看板を立てるか等の対策をしてほしいです。よろしくお願いします！
- ”①潮平高層住宅付近の無許可と思われる駐車について日常的に駐車されており、横断歩道利用なしでの人(子どもを含む)の行き来がある。最近は、ナンバープレートのない車も複数駐車されている。不法投棄等や事故が起これかねないので、対策してほしいです。
- ”子供達が屋外で安心・安全に遊べる場所作りをしてほしいです。例えば、各字に安全な広場を設けて、野球やバスケット、サッカーなど子供達が帰宅しても遊べるようにしたい。
- 有料で良いので、他市からも通いたくなる施設(公園など)を作って欲しい。
- 公園に運動器具等があれば、皆、利用すると思います。”
- 公園設備や充実は、子育て世代にとってもとてもありがたいです。

- 球場や体育館などの施設(トイレ)が暗いし、きたない。駐車場も近隣の方達が自分の車庫替わりに使用しているのか、とめっばなし。料金制にするなどした方がいいと思います。
- 役所の駐車場がいっぱいなかなか止められない時がある。(申請の時期とか)白線を引いてほしい。(奥の場所)
- 特に西崎の公園の駐車場を市外のようにコインパーキングにした方がいいと思う。利用者はあまりいないが、無断駐車が多いと思う。
- 字糸満に何年か前に出来た橋の下にある公園ですが、管理出来ていないので担当者を変えるか有料化してください。昼間は家族連れやレクレーションで使われていてとても明るい印象で良いですが、夕方から深夜、特に深夜の使用状態を把握していますか？言い方悪いですが不良の溜まり場化しています。夜中までバイク、車のエンジンの騒音、スケボーの音、大声での話し声、大音量での音楽……家が隣接しているので耐え難く、何回も警察に通報しようと思いました。留まったのは疲れているところに警察とのやりとりをしないとイケないのは面倒だったからです。テレビの音量をあげてもすぐ隣の事なので意味無く、そろそろ本気で窓開けて『うるせえんだよ静かにしろ！』と叫びそうです。この件について、どう考えますか？担当者は付近に住んでないから他人事ですか？広報いとまんで返答して欲しいくらいです。
- ”子どもたちが安全に遊べる場所が少ないです。また、公園の整備がかなり行き届いてないです。遊具の整備、草刈りやトイレ清掃などをできれば毎日して欲しいです。

○政策 4-5 まちの賑わいや調和をつくる

- 糸満市に人が流れてくるような魅力ある市になってもらいたい。
- 常に豊見城市と比べられて恥ずかしい！”
- 糸満市に住んでいる人への特典をつけてもらいたい！例→ホテルの無料宿泊券とか！”
- ”他市町村より転入して 5 年ぐらいいりますが、町づくりが下手な感じを受けます。施設を建てる際の利便性などを考えているか、町をどのようにつくっていきたいのかがわからない市だと思いました。
- 豊見城の様に、近くに全て集約した町づくりをすとか、那覇市の首里の様に町の景観を重視した町づくりをする等の様に町全体、市全体をどういう風な町にすればよいか考えながら、統一した町づくりをしてほしい。
- すぐに成果が見えることはないが地道に努力することが大事。
- 国吉(高嶺)に買い物ができる場所がほしいです。身寄りのいないおばあちゃんが歩いてサンエーまで行っています。時々、乗せていってあげますが、車のないお年寄りも多いと思うので、お願いします。
国吉に建売が増え、子ども達も増えてきましたので、近くに遊具のある公園を造ってほしいです。交流の場があると地域住民も仲良くなるきっかけになるので。”
- これからも、糸満市がより良い地域になりますように。
- 畑と家のごちゃごちゃしている地域が多すぎて、区画整理して、さとうきびや平和の町として整えたら良いと思います。
- 三和地域において過疎化対策がなされてない感じがする。斬新な計画性がない！
- ”もう少し講演会などをしてほしい。
- 鉾山開発場所からの砂利飛散があり、家の掃除と干し物等に支障あり。対策願います。
- 今使われていない土地や畑をもっともっと、活用してほしい。もっと活用したい人に宣伝し、活用したい人が簡単に情報入手できるシステムや環境をつくってほしいと思います。「使いたいのになら良いか分からない」の人が多いので、よろしくお願いします。
- 書店が少ないのでぜひ大手の書店を誘致して欲しいです。
- 公園や新たな土地開発、くくる糸満の設立など子育て世帯だけでなく糸満市民として暮らしやすい街になってきて嬉しい反面、コロナの影響で幼い子が伝統行事に参加したことがなく、人との関わりが減ってしまったなど淋しいこともありました。現在は回復に向かっていますがこれからも糸満の良

さがなくならないように頑張ってください。

○政策 5-1 産業人材を育成する

- 糸満市でも八重瀬町や沖縄市のように、起業実践プログラム等のサポートや運営があれば、チャレンジする人々が増え、地域おこしへもつながっていくと感じます。

○政策 5-2 農業・水産業を活性化させる

- 糸満市だけではないですが、荒廃農地や耕作放棄地が多い印象なので、転用できればと思います。こちらは、お金の面だけではなく権利等の関係もあるので難しいとは思いますが、荒地があちこちにありるのは安全面でも不安があります。一意見ですが、お目通しいただけますと幸いです。”
- 住宅用地として住宅が建てられる所を市または公社が買って、求めやすい値段で売却してはどうか？名護市では、40 年前に農村地域に住宅を貸し出していた。特別枠をもうけて学習塾の無償化はどうか？

○政策 5-3 商工業・観光業を活性化させる

- ”糸満市は、中央に近いのにもかかわらず、企業誘致が少ない様に思う。税金が高いのも一因ではないのと思う。
- 南部にサッカー場(県民の森)があるので、整備し、誘致してもよいのでは？又、近くの海はサーファーがたくさん利用しているので、その整備ともかねそなえ、広くアピールするのもいいのでは。
- 温泉等の調査等も考えてほしい(市の発展のため)
※ 県内市の中で税収が少ないのでは？”
- 豊見城市までは出展しても糸満市に出展はないと考える業者は多いと思います。”
- 道の駅いとまんで、イカスミを食べたら、がっかりした。非常にまずかった。これでは、来客が減る気がする。メニューはすべて点検か又は、各お店のおいしさ競争をさせておいしい食べものをふやしてほしい。
- くくる糸満の利用料が高い。市民が使いやすい仕組みにしてほしい。利用料の減免がある等。
- 葬祭会館をつくってほしい。昔の糸満の町、さびれている、ビックリ。企業を入れて、ユニオンスーパー、メガドンキーなど。いつまでもこだわっている考えをかえよう。モノレールがあつたら、車の免許をかえしたい。時間とおりにきちんとくるから。
- ”観光について、魅力的な観光施設、観光スポットが増えるといいなと思っています。2, 3 度観光する分は楽しめると思うのですが、正直あまり惹かれるところがありません。友人と遊ぶ際も、もっぱら那覇か北谷でしか遊んでいません。(観光施設、遊べるスポットが充実してないため)2025 年には、北部に大型のテーマパークが出来る。それに合わせて、施設なども充実していくと思うので、さらに留まる機会が減りそうです。何か大きなイベントや企業の誘致、施設確保に力を入れていただけると嬉しいです。
- いとまん商品券先着順で買えない市民がいるなら不要なのでしっかりと整備して欲しい。
- 糸満市内でイベントを今以上に積極的に行い、糸満市の魅力を伝えたいです。ライブやイベントなど！！
- ”糸満市のくくる糸満の利用料が高いと思いました。他の市のホールの方がかなり安く利用できる、少し遠くてもそっちを借りています。
- 糸満市民・企業には安くするでもいいし、セット料金みないなのがあれば、分かりやすいし、みんなが利用しやすいと思います。それに色んなイベントが出来て、市の活性化にも繋がると感じました。”

○政策 5-4 産業の魅力に磨きをかける

○政策 6-1 みんなで元気な地域をつくる

- 自治会に加入していますが、15 年ぐらい地元を離れていた、前とくらべると、住民の意見が届

かなくなったと思いました。地域住民との交流もあまりできていません。自治会の活動に関心がない人が増えたと思いました。

○政策 6-2 市政運営を強化する

- 使用していない土地(兼城幼稚園、糸満幼稚園など)を有効に使ってもらいたい。
- 糸満市、造って終わり、他の市町村ちゃんと維持管理している。
- 工場や貨物の物流施設だけでなく、他の市町村からうらやましがられるような夢のある箱物ではない。
- 定期的に告示修理している。
- ”市議員の質問&市側の説明等を聞きたいが、いつ、どこでのやり方がわからない。
- せっかく広報をはっこうしているのだから、のせてほしい(毎回)”
- ”お昼 12 時も受け付けてほしい。
- 平日フルタイム働いている人は行けなく代理で行ってもらえない。
- 他市町村は 12 時でも受け付けている。
- 以前お昼時間に行ったらイヤな顔をされ、受け付けてもらったが、「次からはさけて下さい」とイヤみっぽく言われた。”
- ”市役所職員が市外の業者への横柄な態度で接していることをきいています。当初、契約した全額などを役所都合で勝手にかえたりしている。そういう市に信頼して店を展開する業者は減る一方ではないかと考えていますからあまり期待していません。
- 質問した事に対してキチンとした回答はせず、自分の知識のノウハウを話して時間がかかった。という事が数年前にあり、市役所には行きたくないと思っています。職員一人一人の意識の向上に努めてほしいです。
- 役所の対応について 不備や間違いが多い。コロナワクチンの接種券の発送や固定資産税の金額間違いでの職員の対応がとても悪く感じた。不信感がとても出た。”
- 市内に「ハコモノ」施設が散見される。もっと有効的な活用はできないのか？過去の産物かもしれないが、維持・管理の面でも負担があるのであれば、疑問だ。もっと、ビジネス的な思考(民間への貸与等...)で、活性に努めてほしい。
- 2. 市の嘱託は 5 年だと思っていましたが、何年過ぎても続いている方がいます。その仕事をしながら、他の公の定例会に顔だけ出し、「交通費」をもらったら、すぐにいなくなり、個人的になにかある時には威圧的な態度で長くいます。問 43 の「接遇面」に引っ掛かる方です。市の仕事をうまく利用していると強く感じます。
- 市内でのイベントの情報が遅い。
- 市民が減ると、税収も減るはずですが。市政運営もやりづらくなるでしょう。市民に「ここが良い」と思わせる糸満市にするには、どうすればよいかを子ども、年配の方の話を聞いて、何年かけても良いので、話し合ってもらいたい。旧態依然では、いずれ「つぶれて」しまいかねません。”
- ”糸満市は税金をとりすぎだと思う。
- いらぬ建物たてすぎ！
- 市長は、市民の事、市の事、全然なにもしてないと思う。”
- ”業務時間の変更はできないか問う！昼休みの 12 時～1 時を→1 時～2 時にしてほしい。(市民が必要とする書類を扱う部署→市民課)理由：自営業者と農業者は昼の時間は、関係ないと思うが企業会社員は昼休み 12 時～1 時に必要な手続きを市役所に行くが、昼休みの担当職員はいて手続き等してくれるが、肝心の書類を 1 時にならないとコピー機を作動できないから、出せないと言われた事がある。せっかく、昼休みに行っても必要書類が出せないと困るよ。こういう事がない様に提案の時間を検討してもらいたい。
- 電話対応の件を疑う
- 質問事項等に対しての事で、担当者がいないと分からないとあるが、各部署課長は、自分の部署の職員に質問事項等しっかり答えられる様、教育してくれ！

- 深夜にインターフォンを鳴らして、調査を依頼してくる職員(40～50代)の処分を厳正に行ってください。今回の調査ではなく、国勢調査で迷惑しております。
- 糸満市の全議員に言いたい、役所はもっと赤字を減らす方法を考えてみては？例えば、議員の数を半分に減らすとか。
- 質問に対しての答え方が感情的になっている。親切さが薄い。言葉遣いが教育されていない。職員教育が必要。恥ずかしくない糸満市職員の育成をしてほしい。行き届いた親切、見える思いやり、心くばりが必要。お年寄りや初めて来る解らない客へのやさしい接待、思いやりの中で質問してほしいです。
- ”自分の仕事に対してあまりうけ答えがなくはっきりした事がいえないな。
- ”特にカウンター(窓口)の奥で仕事をしている職員は、忙しい時は窓口対応を手伝った方が良い。ヒマそうに見える。ほとんどの市民はそう思っている。
- 月2回だけでも良いので、糸満市役所を開庁(窓口業務)して頂けるととても助かります。”
- 職員の皆様、もっと能力を発揮して下さい。
- ”広報誌の表紙の最近の変化、いとまんの文字のとり組みやいろんな方々の写真等、とてもいいと思います。おかげさまで、広報誌を見るのが楽しいです。いつも、おつかれさまです。”
- 若い方々の市に対する意見、夢、希望等も言える、聞いてもらえる場も検討されてみてはどうでしょうか。
- 民間力を活用しての取り組みが全国的な流れです。税金を大切に使って欲しい。
- 窓口では毎回同じことを説明するのは大変だと思いますが、親切丁寧に説明していただいたので嬉しかったです！
- 糸満市の職員さんは親切で優しいです
- 特には無い
- 市のお金を無駄に使わないで欲しいです。付き合いなどある様ですが、無駄な工事は辞めていただきたい。
- 糸満市の広報誌やInstagramが写真たっぷりとてもいいです。これからも頑張ってください。あと、仕事場でラジオを聞いていることが多いし、イベントとか知った時には終わっていたことが何回かあったので、少しは流れていると思うけど、もっと糸満市の情報をラジオでも流してほしいです。役所の仕事も多くて大変だと思うけど、頑張ってください！”※感謝を伝えたいです。
- また、市役所の職員の皆様が、業務とは別に休日イベントなどで市民の為、尽力されていること。夜間遅くまで残業していることに対して、感謝を伝えたいです。いつもありがとうございます。
- 一部の市役所職員の対応について(改善をお願いしたいです。)
- 以前、窓口で提示した書類を窓口の職員が私に返却するのを忘れていた。私も何か所か窓口での手続きがあったので、手渡された証明書と一緒に手渡されたものと思い、そのまま帰ってしまい、帰宅後に書類が無い事に気づき、窓口に問い合わせたが対応した職員からは「返しました」「こちらにはその書類は見当たりません」の一点張りであった。しかし、かなり日数が経過したある日、「あなたの書類が窓口にあるので、取りに来てほしい」との連絡があった。その書類は重要な書類だったので、探すのにかなり時間をかけて、再発行の為、費用も掛かったが、職員の方からは何の謝罪もなかった。
- ②(①とは別の職員の方の対応)市役所の職員の方から電話があり、交付した証明書に不備があるので、「自宅に取りに来て良いか」と電話があった。自宅まで取りに来る必要はないと思ったので、「郵送での文書の差替え」を提案して、郵送で対応してもらった。しかし、差替え後も再度不備があるというので「自宅に取りに来て良いか」と電話があった。この時も郵送での対応をもらった。郵送で対応できることを業務中に席を離れて対応することへの不信感もあるが、何度も同じような不備の書類に気づかないことも疑問に感じた。”
- ”職員の人数が多すぎると思います。機械にまかせて無人化出来ることはまかせたほうがいいと思います。
- ”糸満市のホームページが使いにくい。早く改善してほしい。各種申請書などがダウンロードできるようにし、市民の知りたい窓口がどこか、必要な書類は？など、検索した設問からのフローチャート式

の解答方式を取り入れ、ページヘリンクからジャンプできるようにしてほしい。現在の中身はというと、時系列にお知らせが箇条書きで並んでいるだけのページ。

たとえその箇条書きから、何かしら文言を探そうにも、なんの情報にも行きつかない。まったく、必要な情報は行きつかない為、結局仕事の途中で時間を作って窓口へ電話をかけるしかない。職員の負担も減らせ、市民にも親切であると思えるようなものに！予算を調整してでも改善すべきである。”

- 以前までの広報いとまんは、平気で終わったイベントのチラシを入れている。糸満市政を体現したような意味ない広報誌でしたが、去年の夏あたりから担当の方が変わられたのか、とても良くなっていると感じています。現在の管理職の世代には全く期待できないので、新陳代謝が行われるのを期待しています。
- ”役所内の管轄を明確にしてほしい。
- ”市役所近隣(南区)付近に役所職員が車を駐車している。一般的にどの職業でも職員の為に駐車場は用意すべきだが、糸満市では個人で近隣に借りてもらうか、ボーリング跡地に有料で貸しているとの話。そのため、近隣に迷惑な止め方をして、歩いて通う役所職員がいる。何度も電話で訴えるが、変わらない。たまにかりゆしウェアを着た役所職員が南区付近で見張りをしているが、翌日にはまたいつもの役所職員らが止める。意味がない。糸満市はボーリング跡地を専用駐車場として職員に無料で貸し出し、そこから市役所までいとちゃんミニや、マイクロバス等でピストンして、送迎してあげればいい。
- 職員もそれぞれ近隣の駐車場を借りなくても助かる。それによって、近隣の住民は不便を解消される。
- また、駐車している職員は、停めていることに悪気を感じているのか、あいさつしても無視し、急いでいるかのように、または隠れたり、かち合わないよう降りたら、乗ったりしている。総務課はもっと徹底してもらいたい。議員にも訴えている。今後、議会に上がると思われる。”

○政策 6-3 総合計画・総合戦略を効果的に実施する

- このアンケートの全設問の結果をきちんと公表して欲しい。(総評等ではなく、何名回答等も)”
- 今回、このような「意識調査」がありまして、思うことが書くことができました。2の方は書こうか否か迷いましたが、思い切って書かせてもらいました。”
- ”この調査を「行っただけ」なら、紙代がムダですので、やめて頂きたいです。
- 統計をちゃんととり、市政に反映させてもらわないと、この調査に答える時間もムダになります。
- 「聞いた」からには、まとめて対策をする必要があるような気がします。
- アンケートの具体的な目的を知りたかった。例えば、若手の回答が欲しければ、広報いとまんに QR コードを貼るなど。紙での印刷、郵便代を考えれば、既に目とまることを活用し、そこに QR コードを貼って、回答者には抽選で粗品プレゼントの方がお互いにメリットがあるのではないかな。また、このアンケートが何に活用されたのか、実績はどう活かされたかが共有いただけるとよりアンケート回答の意欲が増します。
- 糸満市は大変住みやすい町だと感じております。この調査がより良い糸満市を作る材料になったら嬉しいです。
- ”問 42 から問 44 への文面がないのはどうなっているのか教えて下さい。
- このような調査をして頂いた糸満市に感謝し、今後の糸満市に大きな期待と将来への希望を見出す事(結果)が出れば幸いです。※糸満市頑張れ！
- インターネットからの質問への回答時、14,の意見欄に文字入力する際、訂正が必要になった場合に使用しづかったです。(Q44.以外) もう少し使用しやすいように改善した方がよいと思います。担当者の方も一度長文で入力し、訂正する作業を実践して体験してみてください。
- 同じ調査をするのは良いですが、アンケートに答えたのに、何も市から返答が無いのは何故ですか？

令和5年度 糸満市市民意識調査



「皆さまの声をお聞かせください」

糸満市では、まちの最上位計画の「総合計画」と、人口の維持・増加などを目的とした「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、各種施策や事業などに取り組んでいます。

この調査は、市民の皆さまが感じていることや関心のあることを把握し、今後の総合計画や総合戦略の推進に役立てるために実施しています。調査の実施に当たり、市内にお住いの18歳以上の方から2,000人を無作為に選び、調査票を送らせていただきました。

お忙しいところお手数をお掛けしますが、調査へのご協力をお願いします。

回答方法 「インターネット」・「紙」 どちらかを選択

インターネット回答 (スマートフォン・パソコン)

QRコードかURLから回答してください。



<https://logoform.jp/form/mn7P/502107>

※インターネット回答の場合は、調査票の提出は不要です。

紙回答

- ① 調査票に直接記入してください。
- ② 同封の返信用封筒でご返送ください。
(※切手を貼る必要はありません。)
- ③ 回答は、指定のない限り該当する番号を○で囲んでください。

お願い

- 回答はすべて統計的に処理しますので、個人情報特定されることはありません。
- ご本人(郵便の宛名人)の回答が難しい場合は、ご家族のどなたかがご回答ください。
- 調査票は、令和6年3月8日(金)までに郵便ポストへ投函してください。

この調査のお問い合わせ先 : 糸満市 企画部 行政経営課 098-840-8193

1. あなた（回答者）のことにについて伺います。

下表の設問について、当てはまるもの一つに〇をつけてください。

設問	選択肢
【問1】性別	1. 男性 2. 女性 3. その他 ※ご回答は任意です。必須ではありません。
【問2】年齢	1. 18・19 歳 2. 20～24 歳 3. 25～29 歳 4. 30～34 歳 5. 35～39 歳 6. 40～44 歳 7. 45～49 歳 8. 50～54 歳 9. 55～59 歳 10. 60～64 歳 11. 65～69 歳 12. 70～74 歳 13. 75 歳以上
【問3】お住まいの地域	1. 糸満地域（南区、前端区、新川区、新島区、新屋敷区、上之平区、西区、西川町、町端区、潮崎町） 2. 西崎地域 3. 兼城地域（照屋、兼城、座波、賀数、北波平、武富、阿波根、潮平） 4. 高嶺地域（豊原、与座、大里、国吉、真栄里） 5. 三和地域（真壁、宇江城、真栄平、新垣、伊敷、名城、小波蔵、糸洲、南波平、喜屋武、束里、福地、山城、伊原、米須、大度、摩文仁）
【問4】糸満市での居住年数（通算）	1. 2 年未満 2. 2～5 年 3. 6～10 年 4. 11～20 年 5. 21～30 年 6. 31 年以上
【問5】家族構成	1. 自分 1 人 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子（二世帯）世帯 4. 親と子と孫（三世帯世帯） 5. その他（ ）
【問6】同居家族	1. 18 歳未満がいる 2. 18 歳未満はいない
【問7】職業など	1. 正規の職員 2. 派遣・嘱託・契約社員 3. パート・アルバイトなど 4. 自営業・家族従業者 5. 家事専業 6. 学生 7. 今は働いていない
【問8】勤務先・通学先	1. 自宅 2. 糸満市内 3. 糸満市以外（ 市町村） 4. 通勤・通学していない

2. 結婚や子育て、仕事について伺います。

【問9】あなたは、結婚（事実婚を含む）していますか。（一つに○）

1. 結婚している ⇒問 12 ハ
2. 結婚していたことはあるが、離別・死別した ⇒問 10 ハ
3. 結婚していない ⇒問 10 ハ

【問10】今後、結婚したいと思いますか。（一つに○）

1. 結婚したい ⇒問 12 ハ
2. 結婚したいとは思わない ⇒問 11 ハ

【問11】「結婚したいとは思わない」を選択した方は、その理由を教えてください。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. まだ若いから | 2. 必要性を感じないから |
| 3. 仕事に集中したいから | 4. 趣味に集中したいから |
| 5. 独身生活の方が気楽で自由だから | 6. 人付き合いが苦手だから |
| 7. 結婚したい相手に巡り合わないから | 8. 結婚資金がないから |
| 9. 周囲の同意が得られないと思うから | 10. 自分や相手の収入が不安定だから |
| 11. 結婚後の子育てが不安だから | 12. 自分や相手の親の介護が不安だから |
| 13. 前回の結婚でもう十分だから | |
| 14. その他（ | ） |

【問12】糸満市は、子育てがしやすいまちだと思いますか。（一つに○）

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 思う ⇒問 14 ハ | 2. どちらかといえば思う ⇒問 14 ハ |
| 3. どちらかといえば思わない ⇒問 13 ハ | 4. 思わない ⇒問 13 ハ |
| 5. 分からない ⇒問 14 ハ | |

【問13】「どちらかといえば思わない」、「思わない」を選択した方は、その理由を教えてください。（当てはまるものすべてに○）

1. 出産前に子育てに関する知識を習得する機会が充実していないから
2. 出産後の母子への心身ケアが充実していないから
3. 妊産婦や乳幼児への健康管理の機会が充実していないから
4. 多様な保育サービスが充実していないから
5. ひとり親家庭への支援サービスが充実していないから
6. 子どもや親同士の交流できる場が少ないから

※この質問は、次のページに続く。

7. 子育てに配慮している施設が充実していないから
8. 地域での子育て支援がないから
9. 子育ての情報提供や相談体制が充実していないから
10. そのほか（

）

【問 14】 今後、就職または転職するとした場合、どこで就業したいと思いますか。（一つに○）

1. 糸満市内 ⇒問 16 へ
2. 糸満市以外の県内（市町村） ⇒問 15 へ
3. 県外・海外 ⇒問 15 へ
4. 新たに就職・転職するつもりはない ⇒問 16 へ
（現在無職で、将来にわたって就業希望がない方を含む。）

【問 15】 糸満市以外で働きたいと選択した方は、その理由を教えてください。（当てはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. より高い賃金を得るため | 2. 専門性・技能を活かせる仕事に就くため |
| 3. 正職員として働ける仕事に就くため | 4. 福利厚生が充実した仕事に就くため |
| 5. 開業後の顧客・販路が期待できるため | 6. キャリアアップができる仕事に就くため |
| 7. 時間の融通が利く仕事に就くため | 8. 子育てや介護に理解がある職場に就くため |
| 9. 買い物などが便利な場所にある職場に就くため | |
| 10. 自分の出身地で就職したいため | 11. 特に理由はない |
| 12. そのほか（ | ） |

【問 16】 糸満市で働く人が増えるためには、どのような取り組みが効果的だと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

1. 市内企業の賃金を上げる取り組みに力を入れる
2. 市内企業の正職員での雇用を増やす
3. 市内企業の合同就職説明会、職場見学会、就業体験などの機会を増やす
4. 糸満市への企業誘致に力を入れる
5. 魅力的な商品・サービスを持つ企業を育てる
6. 事業相談やコワーキングスペース運営など企業支援を行う
7. 専門的な知識や能力を高める人材育成支援を行う
8. 長時間労働の削減、ハラスメントの防止など法令順守の取り組みに力を入れる
9. 子育てや介護などへの理解促進の取り組みに力を入れる
10. 外国人や障害者、高齢者など幅広い人々が働ける環境づくりに力を入れる
11. そのほか（

）

3. 住みやすさや今後も住み続けたいかについて伺います。

【問 17】 あなたにとって糸満市は住みよいですか。(一つに○)

- | | | |
|----------|--------------|------------|
| 1. 住みよい | 2. まあまあ住みよい | 3. やや住みにくい |
| 4. 住みにくい | 5. どちらともいえない | |

【問 18】 あなたが「糸満市は住みにくい」と思うところがあれば教えてください。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 自然環境に恵まれていない | 2. 交通の便が悪い |
| 3. 道路・公園・下水道などの整備が遅れている | 4. 日用品の買い物が不便 |
| 5. 病院や介護福祉施設が少ない | 6. 娯楽・文化施設が少ない |
| 7. 働く場が少ない | 8. 税金や公共料金が高い |
| 9. 防災・防犯面で不安がある | 10. 子育て、教育環境が悪い |
| 11. 地域行事や近所付き合いがわずらわしい | 12. 特に住みにくいとは思わない |
| 13. その他 (|) |

【問 19】 あなたは、今後も糸満市に住み続けたいと思いますか。(一つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. そう思う ⇒問 21 へ |
| 2. おおむね5年以内には市外へ転居する予定 ⇒問 20 へ |
| 3. 将来的には市外へ転居したい ⇒問 20 へ |
| 4. 分からない ⇒問 21 へ |

【問 20】 「おおむね5年以内には市外へ転居する予定」、「将来的には市外へ転居したい」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 就職のため | 2. 進学のため |
| 3. 結婚のため | 4. 地元・実家に戻るため |
| 5. 市外に家・土地を取得するから | 6. 市外に住む家族と同居するため |
| 7. 通勤・通学を便利にしたいから | 8. 買い物などの日常生活を便利にしたいから |
| 9. より安心・安全に暮らしたいから | 10. 子育て・教育環境をよくしたいから |
| 11. 医療・介護福祉環境をよくしたいから | 12. 地域になじめないから |
| 13. その他 (|) |

4. 日ごろの暮らしについて伺います。

● 文化・スポーツ・健康について

〔問 21〕観光客の誘客や地域文化の発展を目的として、糸満市観光文化交流拠点施設「シャボン玉石けん くくる糸満」が 2022 年 4 月にオープンしました。「シャボン玉石けん くくる糸満」を利用したことがありますか。（当てはまるものすべてに○）

1. 大ホール・多目的室・活動室・会議室など利用料を支払い利用したことがある
2. イベントなどに参加することで利用したことがある
3. 常設展示（無料）を見学したことがある
4. 利用したことがない

〔問 22〕あなたは、過去 1 年間にどのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか（一つに○）。

- | | | |
|------------------|--------------|--------------|
| 1. 週 2 回以上 | 2. 週 1 回程度 | 3. 月 1 ～ 3 回 |
| 4. 3 か月に 1 ～ 2 回 | 5. 年 1 ～ 3 回 | 6. まったくしなかった |

〔問 23〕あなたは、健康のために何か心掛けていることはありますか。（当てはまるものすべてに○）

1. 栄養のバランスや塩分の取り方に気を配っている
2. 野菜から食べる、間食をしない、食べ過ぎないなど食べ方に気を付けている
3. 食後の歯磨きを欠かさず行っている
4. 睡眠・休養を十分取るようにしている
5. くよくよしないようにするなど心の持ち方に気を付けている
6. ウォーキングや体操など適度な運動を心掛けている
7. 定期的に特定健診（人間ドックを含む）を受けている
8. 定期的ながん検診を受けている
9. お酒を控えている
10. タバコは吸わない
11. 特に何もしていない
12. そのほか（）

● 災害への備えについて

〔問 24〕あなたは、災害に備えてどのような対策をしていますか。（当てはまるものすべてに○）

1. 家具の固定や配置の工夫（室内の対策）
2. 家屋や塀などの補強（室外の対策）
3. 家族間での連絡方法や集合場所などの共有
4. 備蓄品（懐中電灯、電池など）や非常持ち出し品（薬など）の準備

※この質問は、次のページに続く。

5. 食料品や飲料水などの多めの買い置き（3日分程度）
6. 非常時トイレ（使い捨てなど）の確保
7. ハザードマップ、避難方法や避難場所の確認
8. 具体的な避難先（親戚、知人宅など）の確保
9. 防災訓練や防災講演会への参加
10. 防災知識の習得や、防災関連アプリのインストール
11. 特に何もしていない
12. そのほか（

）

【問 25】あなたは、災害が発生または発生の恐れがある場合、どのような手段で災害情報を入手しますか。（当てはまるものすべてに○）

1. 通話（固定電話、携帯電話、スマートフォン）
2. F A X
3. 防災行政無線放送
4. 緊急速報メール（エリアメール）
5. テレビ（ニュースや速報など）
6. Q A B（テレビ）のデータ放送
7. ラジオ放送
8. インターネットニュース
9. X（旧 Twitter）、LINE、Instagram、Facebook などの S N S
10. 新聞
11. 知人や支援者などの訪問
12. 特に入手しない（理由：
13. そのほか（

）

）

● 男女共同参画について

【問 26】あなたは、家庭、職場、地域、社会通念・慣習など社会のあらゆる場面において、男女の地位は「平等」になっていると思いますか。（一つに○）

1. 男性の方が優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等
4. 女性の方が優遇されている
5. どちらかといえば女性の方が優遇されている
6. 分からない

● 性の多様性について

〔問 27〕すべての市民が暮らしやすい社会の形成や性的マイノリティへの支援を目的として、「糸満市性の多様性尊重宣言（仮称）」をするために取り組んでいます。あなたは、「糸満市性の多様性尊重宣言（仮称）」をすることについてどのように思いますか。（一つに○）

1. 宣言をした方がよい ⇒問 28 へ
2. 宣言をしない方がよい ⇒問 28 へ
3. 市民の理解を進めてから宣言をした方がよい ⇒問 29 へ
4. どちらでもない ⇒問 29 へ
5. 分からない ⇒問 29 へ
6. そのほか（ ）

〔問 28〕「宣言をした方がよい」、「宣言をしない方がよい」を選択した方は、その理由を教えてください。（自由記述）

〔問 29〕性の多様性に対する社会の理解促進や支援について、どのような取り組みが必要だと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

1. 教育現場での啓発活動や配慮（学習機会の充実、制服やトイレの配慮など）
2. 行政・民間事業者による啓発活動（広報紙やホームページでの情報発信、研修会の開催など）
3. 国による法整備（同性婚を認めるなど）
4. 自治体による支援（パートナーシップ証明書の発行、性の多様性尊重宣言など）
5. 職場での啓発や配慮、制度や環境整備（ハラスメント防止窓口の設置など）
6. 当事者や周囲の人が相談できる専門の相談窓口の整備
7. 社会環境の整備（誰でも使えるトイレや更衣室の整備など）
8. そのほか（ ）

● 生活交通について

〔問 30〕あなたの通勤・通学・通院・買い物などの主な移動手段を教えてください。（一つに○）

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1. 民間路線バス | 2. いとちゃん mini（デマンドバス） |
| 3. 自家用車 | 4. 家族や知人の車で送迎 |
| 5. タクシー | 6. オートバイ（原付バイク含む） |
| 7. 自転車 | 8. 徒歩のみ |
| 9. そのほか（ ） | |

【問 31】あなたは、交通弱者の移動手段の確保・維持を目的に市内を運行している「いとちゃん mini」を利用したことがありますか。(一つに○)

1. 利用したことがある ⇒問 33 へ

2. 利用したことがない ⇒問 32 へ

【問 32】「利用したことがない」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

1. 自家用車を利用している
2. ほか（自家用車以外）の交通手段を利用している
3. 利用方法が分からない
4. 利用したいバス停がない
5. 運賃が高い
6. 運行していることを知らなかった
7. 予約したい時間に予約ができない
8. 運行時間（7時～19 時）と利用したい時間が合わない
9. そのほか（

● 公園について

【問 33】あなたは、市内の公園をどのくらいの頻度で利用していますか。(一つに○)

1. ほぼ毎日 ⇒問 35 へ

2. 週に数回 ⇒問 35 へ

3. 月に数回 ⇒問 35 へ

4. 年に数回 ⇒問 34 へ

5. 利用していない ⇒問 34 へ

【問 34】「年に数回」、「利用していない」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

1. 利用する目的がない
2. 近くにない、遠い、行きにくい
3. 遊具などの施設が十分ではない
4. 人気がない、誰も利用していない
5. 管理状態が悪い
6. 特に理由はない
7. そのほか（

【問 35】公園で有料でも利用したいと思う施設を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

1. キッチンカーなどのテイクアウトの飲食店
2. レストラン、カフェなどの飲食店
3. 屋内アスレチックなどの遊戯施設
4. フットサルなどのスポーツコート
5. ダンスやヨガなどの活動スペース
6. 自動販売機
7. そのほか（

● 自治会について

【問 36】 あなたの世帯は、自治会に加入していますか。(一つに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 加入している ⇒問 38 へ | 2. 加入していない ⇒問 37 へ |
| 3. 退会した ⇒問 37 へ | 4. 分からない ⇒問 38 へ |

【問 37】 「加入していない」、「退会した」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

1. 近所付き合いがわずらわしい
2. 加入の仕方が分からない
3. 自治会が何をしている組織か分からない
4. 加入しなくても困らない(加入するメリットが分からない)
5. 自治会の活動に関心がない
6. 会費を払いたくない
7. 高齢や障害により活動に参加できない
8. 短期間の居住である
9. 行事(イベント)に参加したくない
10. 役員(班長など)になりたくない
11. その他()

【問 38】 自治会活動に期待すること、加入して良かったことを教えてください。(○は三つまで)

1. 伝統行事・伝統文化の継承、実施
2. 文化・レクリエーション活動、親ぼく(サークル活動、老人会、青年会など)
3. 地域住民と交流できる(仲良くなれる)
4. 防犯灯(外灯)の管理、防犯活動、交通安全活動(安心感が得られる)
5. 自主防災組織の設立、防災訓練などの防災活動(災害時に心強い)
6. 高齢者、障害者の見守り、支え合いなどの社会福祉活動(安心感が得られる)
7. 青少年の健全育成や子育て相談、交流会など(子ども会、PTAなど)
8. 地域の美化活動
9. 慶弔のお手伝い
10. 公園の管理運営や共同売店の運営など公益事業の実施
11. 集会所や備品などの貸し出し
12. 行政への要望や陳情
13. 行政からの連絡の伝達や地域情報の発信
14. 特に期待することはない
15. その他()

5. 市政について伺います。

【問 39】市の情報をどのような方法で入手していますか。(○は三つまで)

- | | | |
|------------------|-------------|------------------|
| 1. 広報いとまん | 2. 市のホームページ | 3. 市公式 Facebook |
| 4. 市公式 LINE | 5. FMたまん | 6. 市役所の窓口 |
| 7. 市役所への電話 | 8. 家族、隣人、知人 | 9. 市公式 Instagram |
| 10. Q A B のデータ放送 | 11. 暮らしの便利帳 | 12. 母子手帳アプリ 母子モ |
| 13. その他か (| |) |

【問 40】市民が市政に対して、意見や要望を言える方法について、把握しているものを教えてください。(当てはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------|-----------------------|---------------|
| 1. 電話 | 2. F A X | 3. Eメール |
| 4. 市役所の窓口 | 5. 行政相談 | 6. 陳情 |
| 7. 地域懇談会 | 8. 行政懇談会 | 9. 投書箱(市役所1階) |
| 10. パブリックコメント | 11. ご意見・ご要望(市のホームページ) | |
| 12. 市民意識調査 | 13. その他か (|) |

【問 41】市民が市政に対して、意見や要望を言える機会や方法が十分だと思いますか。(一つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |
| 5. 分からない | |

【問 42】この1年間で、市役所職員の窓口や電話での対応(服装、あいさつ、応対など)は、どのように感じていますか。(一つに○)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 良い ⇒問 44 へ | 2. どちらかといえば良い ⇒問 44 へ |
| 3. どちらかといえば悪い ⇒問 43 へ | 4. 悪い ⇒問 43 へ |
| 5. この1年間利用していないため分からない ⇒問 44 へ | |

【問 43】「どちらかといえば悪い」、「悪い」を選択した方は、その理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 接遇面(服装、あいさつ、話し方、親密さなど) | |
| 2. 職員の能力(知識不足、説明対応力、実行力など) | |
| 3. 不適切な対応(たらい回し、事務のミスなど) | |
| 4. その他か (|) |

6. これまでの設問にかかわらず、ご意見などがありましたらご記入ください。

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

記入されました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずに **3月8日**
(金)までに郵便ポストへ投函してください。